

第6期町づくり総合計画に関する

町民アンケート結果報告書

平成27年5月

士幌町

も く じ

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	3

(ア)	性別	3
(イ)	年代	5
(ウ)	職業	7
(エ)	家族構成	9
(オ)	居住歴	11
(カ)	居住地域	13

III	設問別調査結果	15
------------	----------------------	-----------

1	暮らしの満足度・重要度	15
1-1	まちづくりで特に重要なこと	26
2	住みよさ	30
3	定住意向	33
4	町の将来像	43
5	産業の振興	46
6	農業の振興	50
7	観光・交流の振興	54
8	少子高齢化や子育て支援	58
9	老後の不安	61
10	ほしいまちづくりや地域の情報	65
11	参加したいまちづくり活動	68
12	まちづくりや町民参加への意識	70
13	これからのサービスのあり方	76
14	まちづくりへのアイデアや提案	78
15	人口減少対策に関するアイデアや提案	87
16	まちづくりへのアイデアや提案	99

IV	調査票	128
-----------	------------------	------------

I 調査の概要

この調査は、平成 28 年度から平成 37 年度までの町づくり計画を策定するにあたり、土幌町での暮らしに関する意識、今後のまちづくりへの意向、まちづくりに関する意見や提案など把握するために実施しました。

調査の実施概要については、次のとおりです。

対 象	16 歳以上の町民 2,000 人（無作為抽出）
配布・回収の方法	郵送にて配布 郵送および「回収ボックス」にて回収
調査期間	平成 27 年 2～3 月
配布数	2,000 票
回収数	874 票（回収率 43.7%）

報告書の集計・表記方法についての留意点は、次のとおりです。

- 比較や順位付けは、回答数ではなく「回答率」や「加重平均値」で行っています。そのため、「多い・少ない」ではなく、「高い・低い」と表記しています。
- 集計は属性ごとに行っていますが、この報告書では「全体数」「性別」「年代別」「居住歴別」を中心に説明しています。
- 属性別の説明文は、他の属性と比べて「高いのがめだつ」あるいは「低いのがめだつ」ものを記載しています。グラフがあっても説明がない箇所もあります。
- 集計結果は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から 1 つだけ選択する設問では、%を合計しても 100.0%にならないことがあります。
- 「性別」「年代別」など属性別の結果は、属性が分からなかった（無回答）部分を除いて表示しているため、属性の合計は全回答者数（874 人）にはなりません。
- 実際に用いた調査票の言葉が長い選択肢については、グラフや文章で示す際、文章を短縮しているものがあります。
- その他に記載のあった内容については、同じ内容のものについてはまとめ、回答数を（ ）で示しています。
- 自由記載については、記述事項を一部整理・要約して掲載しています。

調査の企画・編集：土幌町 総務課企画グループ

結果の集計・分析：株式会社 日本コンサルタントグループ

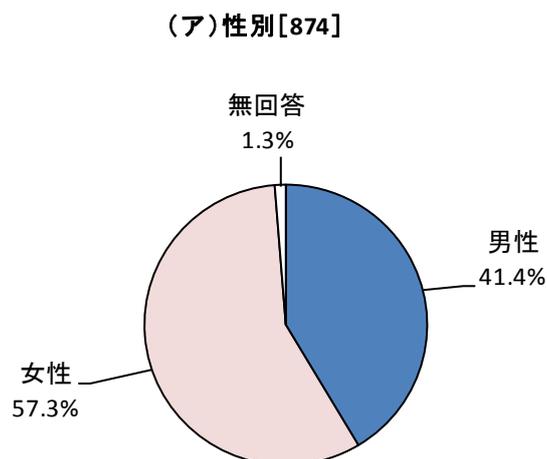
属性別の回収内訳

全体の回収数		874
性別	男性	362
	女性	501
	性別が「無回答」	11
年代	10・20代	134
	30代	145
	40代	150
	50代	164
	60代	160
	70代以上	117
	年代が「無回答」	4
職業	農林水産業	162
	製造業、建設業	59
	商業、金融・サービス業など	60
	福祉・医療関係	52
	公務員、団体職員など	165
	その他の職業	82
	家事専業、学生	120
	無職、退職された方	158
	職業が「無回答」	16
家族構成	三世代（親・子・孫等）以上	112
	二世代（親・子）	314
	夫婦	240
	一人暮らし（単身赴任も含みます）	184
	その他	20
	家族構成が「無回答」	4
居住歴	土幌生まれ、ずっと土幌町	214
	土幌生まれ、一度町外で再び土幌町（Uターン）	185
	土幌町以外で生まれ、引っ越してきた（Iターン）	472
	居住歴が「無回答」	3
居住地区	土幌市街	493
	土幌北	31
	土幌南	46
	中土幌	142
	上居辺	43
	佐倉	17
	下居辺	23
	北中音更	19
	新田	28
	西上音更	22
	居住地区が「無回答」	10

II 回答者の属性

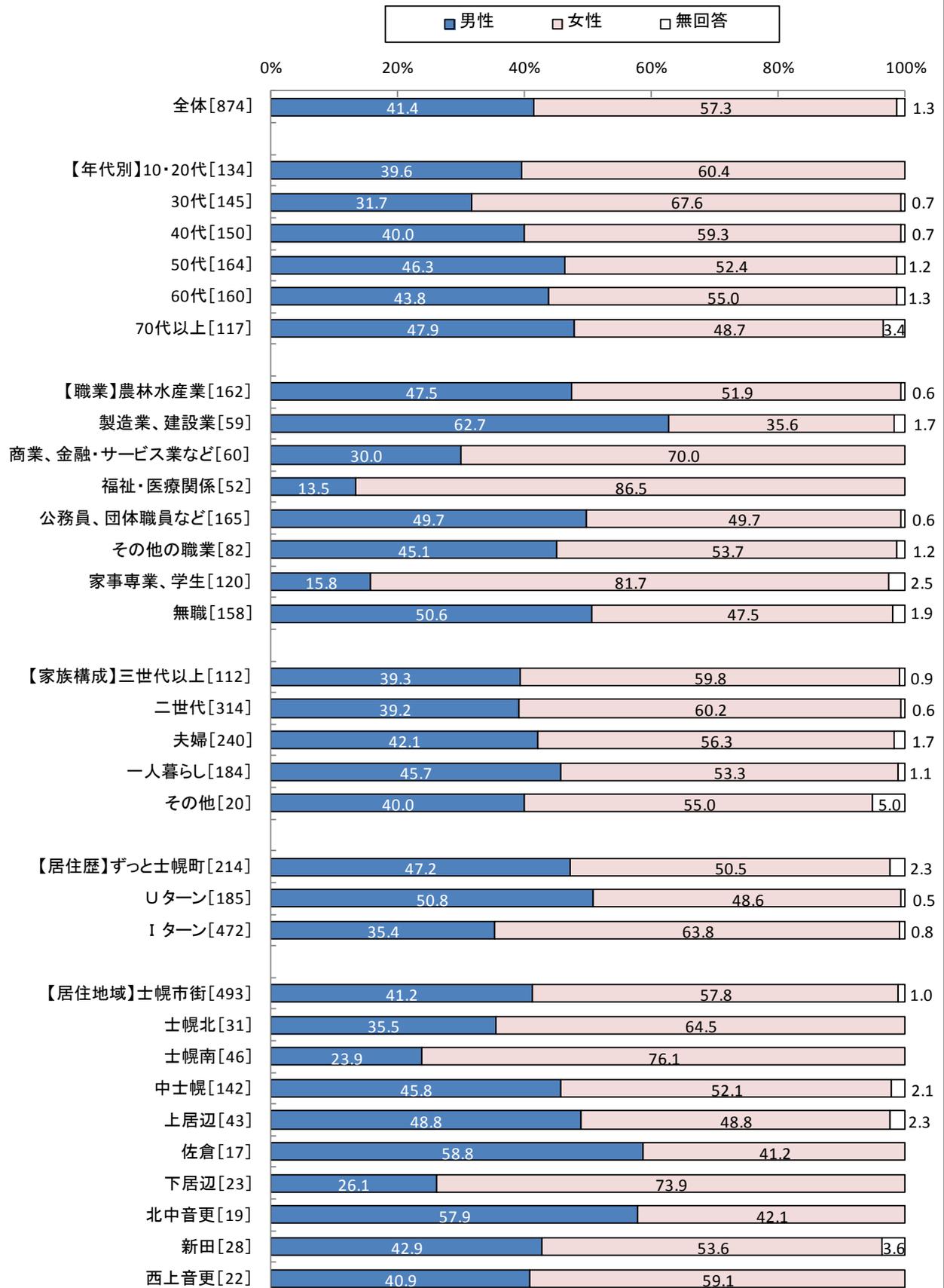
(ア) 性別

○「男性」が41.4%、「女性」が57.3%で、女性の回答率が高いです。



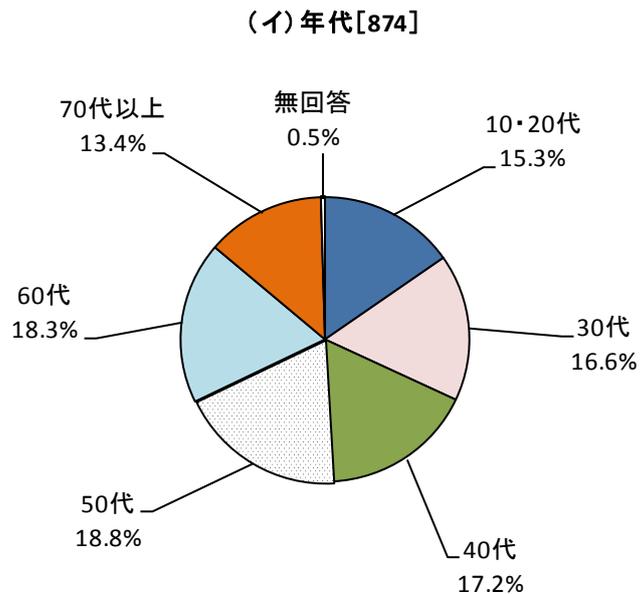
- 年代別で見ると、いずれの年代も「女性」が高いですが、最も高いのは30代(67.6%)です。
- 職業別で見ると、「商業、金融・サービス業など」と「家事専業、学生」では8割以上が「女性」です。一方、「製造業、建設業」と「無職」は「男性」の回答率が高いです。
- 居住歴別で見ると、Iターンは「女性」の回答率が高いです。
- 居住地域別で見ると、土幌南と下居辺は「女性」の回答率が高いです。

(ア) 性別(属性別)



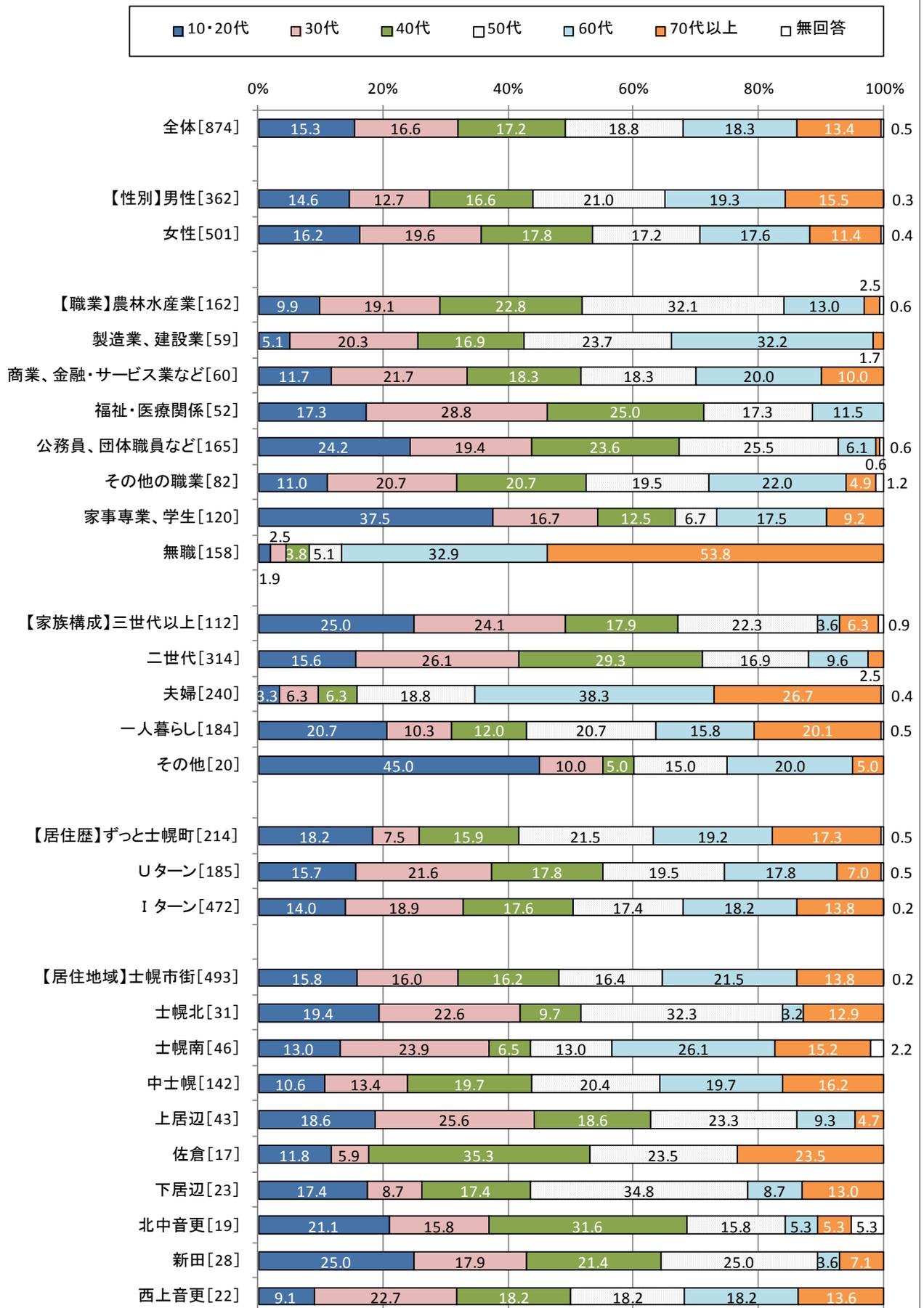
(イ) 年代

○「50代」(18.8%)が最も高いですが、「60代」(18.3%)が僅差で続きます。最も低いのは「70代以上」(13.4%)ですが、全体的に回答率の差が少ないです。



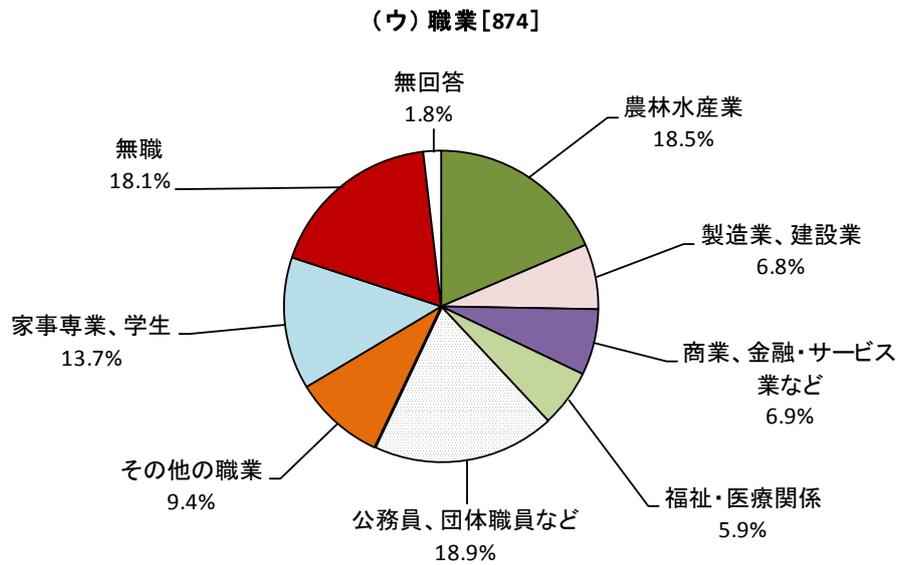
- 性別で見ると、男性は「50代」、女性は「30代」が、それぞれ最も高いです。
- 職業別で見ると、家事専業、学生は「10・20代」が約4割、「無職」は「70代以上」が約半数を占めます。
- 家族構成別で見ると、その他は「10・20代」が4割以上を占めます。
- 居住地域別で見ると、新田では「10・20代」が4分の1、佐倉では「40代」が約3分の1、土幌北と下居辺では「50代」が約3分の1を占め、他より高いのがめだちます。

(イ)年代(属性別)



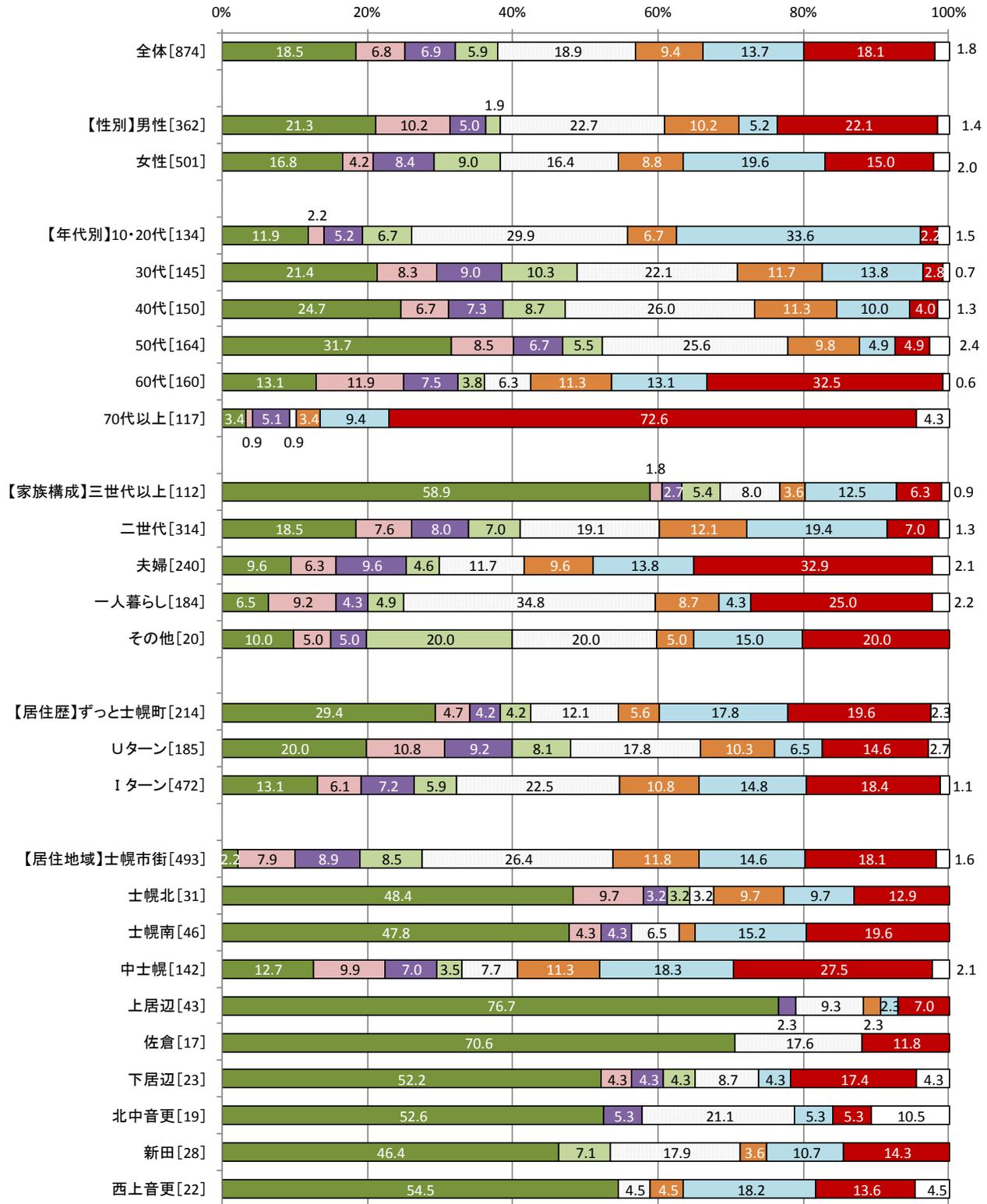
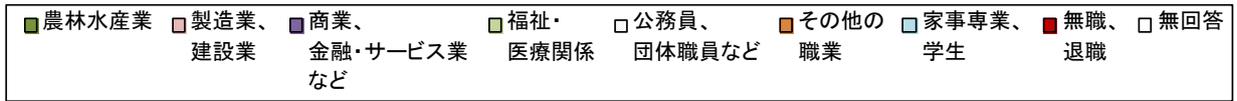
(ウ) 職業

- 「公務員、団体職員など」(18.9%)が最も高く、「農林水産業」(18.5%)、「無職」(18.1%)が僅差で続きます。



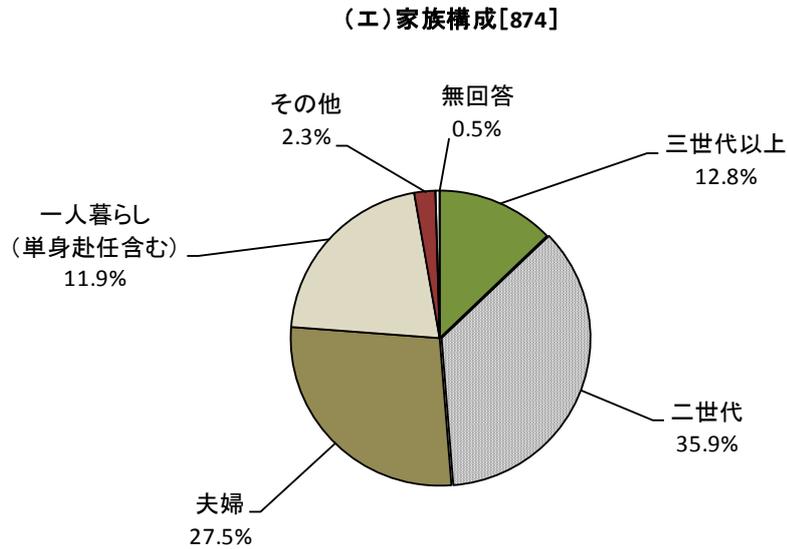
- 性別で見ると、男性は「無職」、女性は「家事専業、学生」が最も高いです。
- 年代別で見ると、10・20代は「家事専業、学生」が3分の1、70代以上は「無職」が7割以上を占め、他より高いのがめだちます。
- 家族構成別で見ると、三世代以上は「農林水産業」が約6割を占めます。
- 居住地域別で見ると、土幌市街と中土幌は「農林水産業」が他の地区に比べて低いです。

(ウ) 職業(属性別)



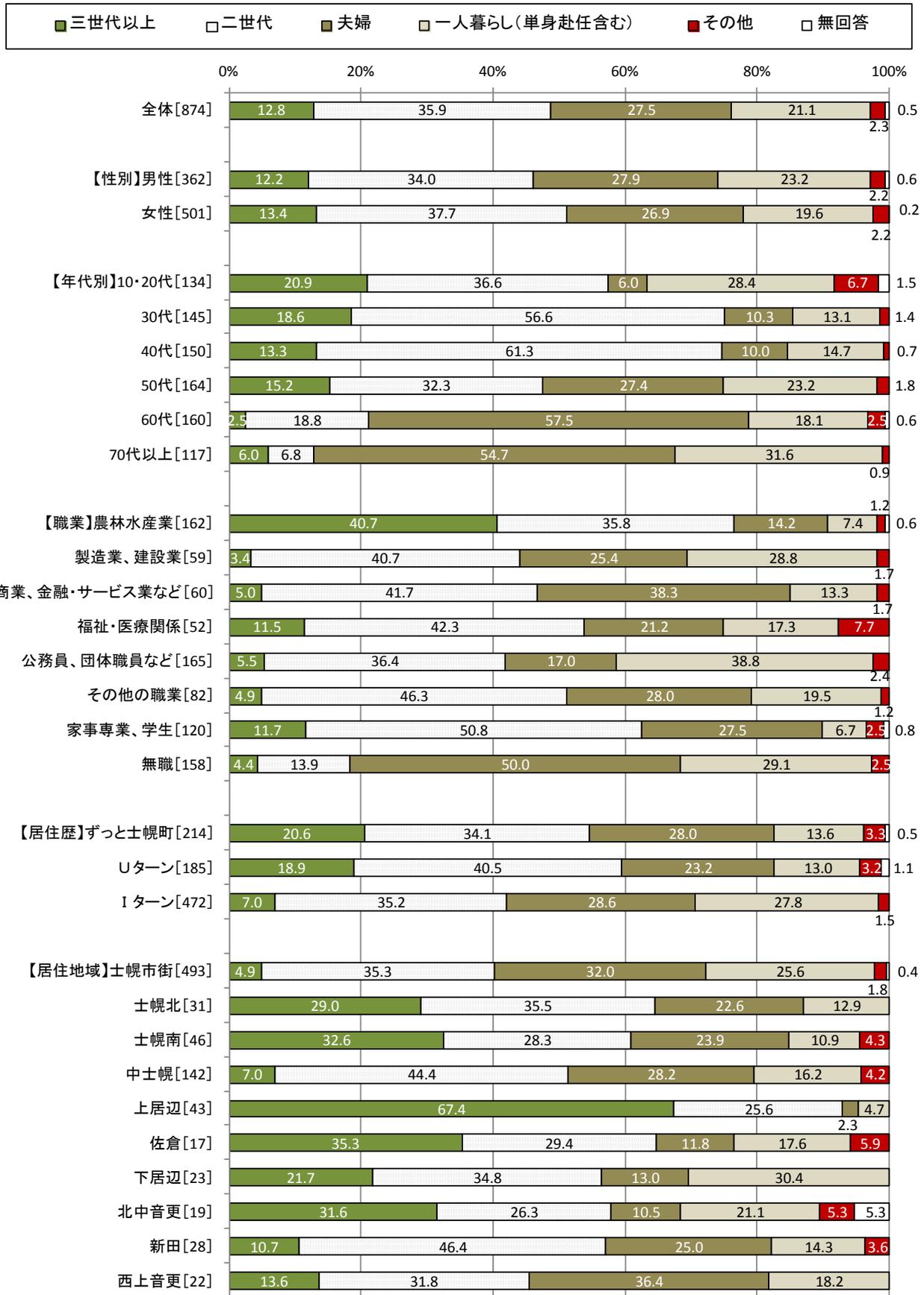
(工) 家族構成

○「二世代」(35.9%) が最も高く、「夫婦」(27.5%) が続きます。



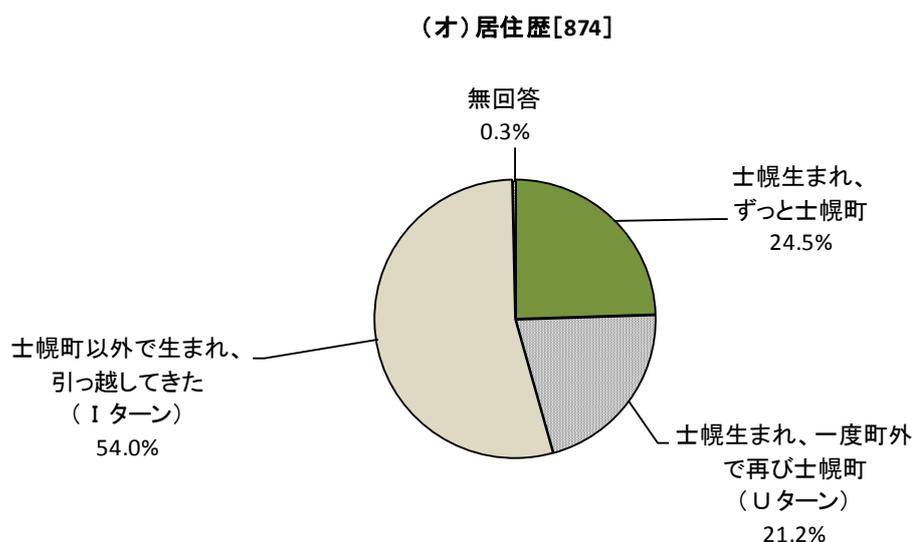
- 年代別で見ると、30代と40代は「二世代」、60代と70代以上は「夫婦」が、それぞれ半数以上を占めます。
- 職業別で見ると、農林水産業は「三世代以上」が約4割、無職は「夫婦」が半数を占めます。
- 居住地域別で見ると、上居辺は「三世代以上」が6割以上を占めます。

(エ) 家族構成(属性別)



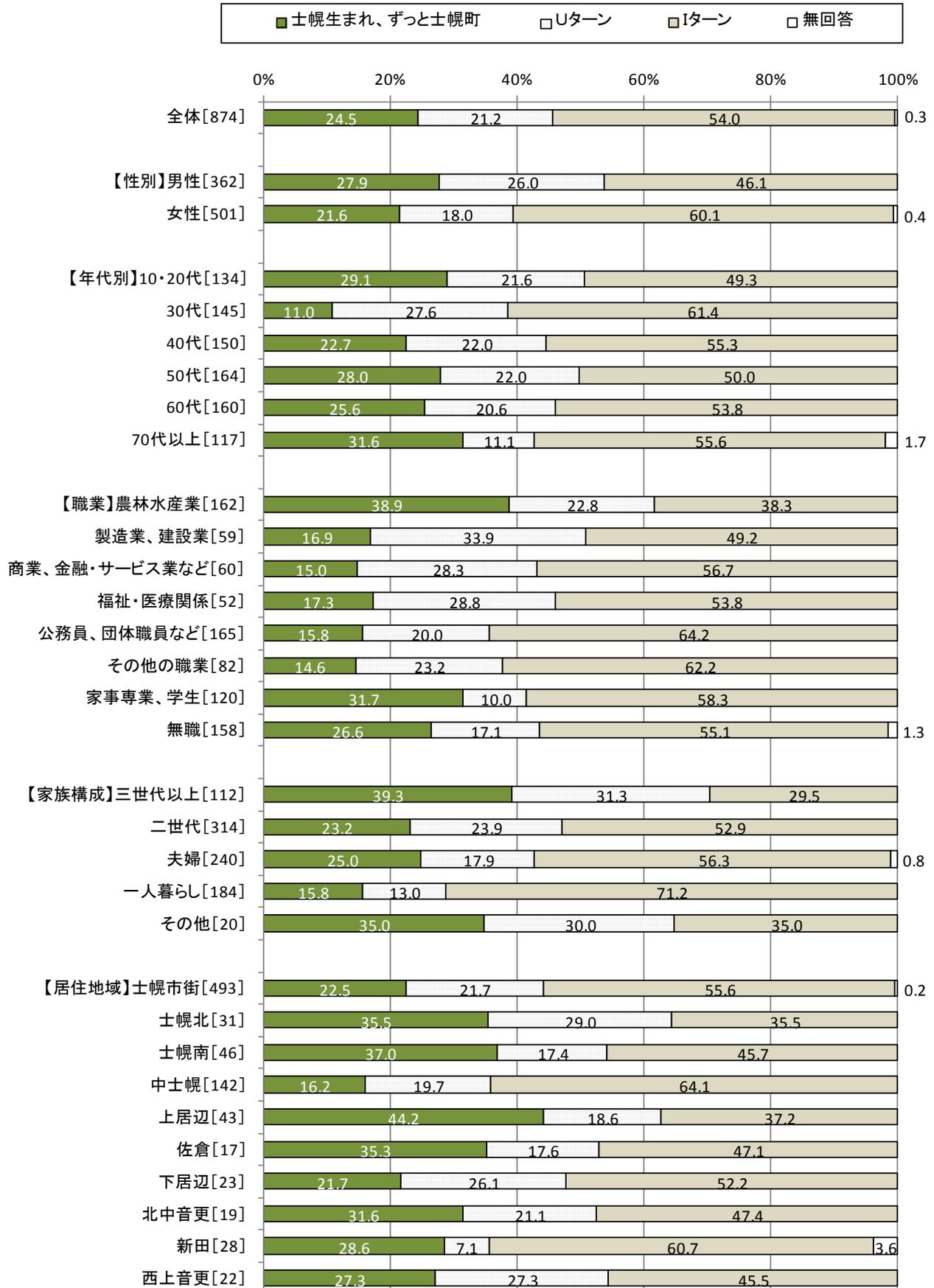
(オ) 居住歴

- 「土幌町以外で生まれ、引っ越してきた（Iターン）」が過半数（54.0%）を占め最も高く、「土幌生まれ、ずっと土幌町」（24.5%）、「土幌生まれ、一度町外で再び土幌町（Uターン）」（21.2%）の順です。



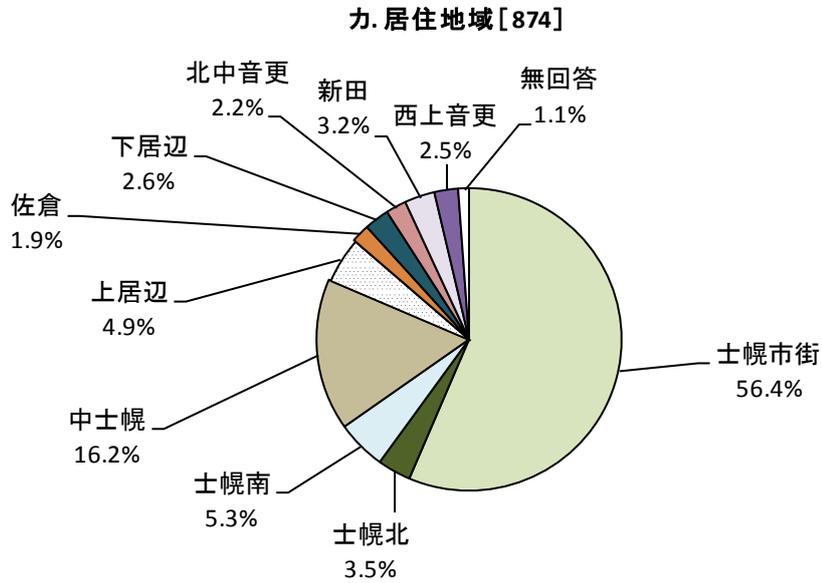
- 性別で見ると、男女とも「Iターン」が最も高く、女性は約6割を占めます。
- 年代別で見ると、各年代とも「Iターン」が最も高く、30代は約6割を占めます。
- 職業別で見ると、農林水産業は「土幌生まれ、ずっと土幌町」と「Iターン」がほぼ同率であるものの、農林水産業が最も高いです。
- 家族構成別で見ると、三世以上は「土幌生まれ、ずっと土幌町」が最も高く、その他は「土幌生まれ、ずっと土幌町」と「Iターン」が同率です。
- 居住地域別で見ると、上居辺は「土幌生まれ、ずっと土幌町」が最も高く、土幌北は「土幌生まれ、ずっと土幌町」と「Iターン」が同率です。

(オ)居住歴(属性別)



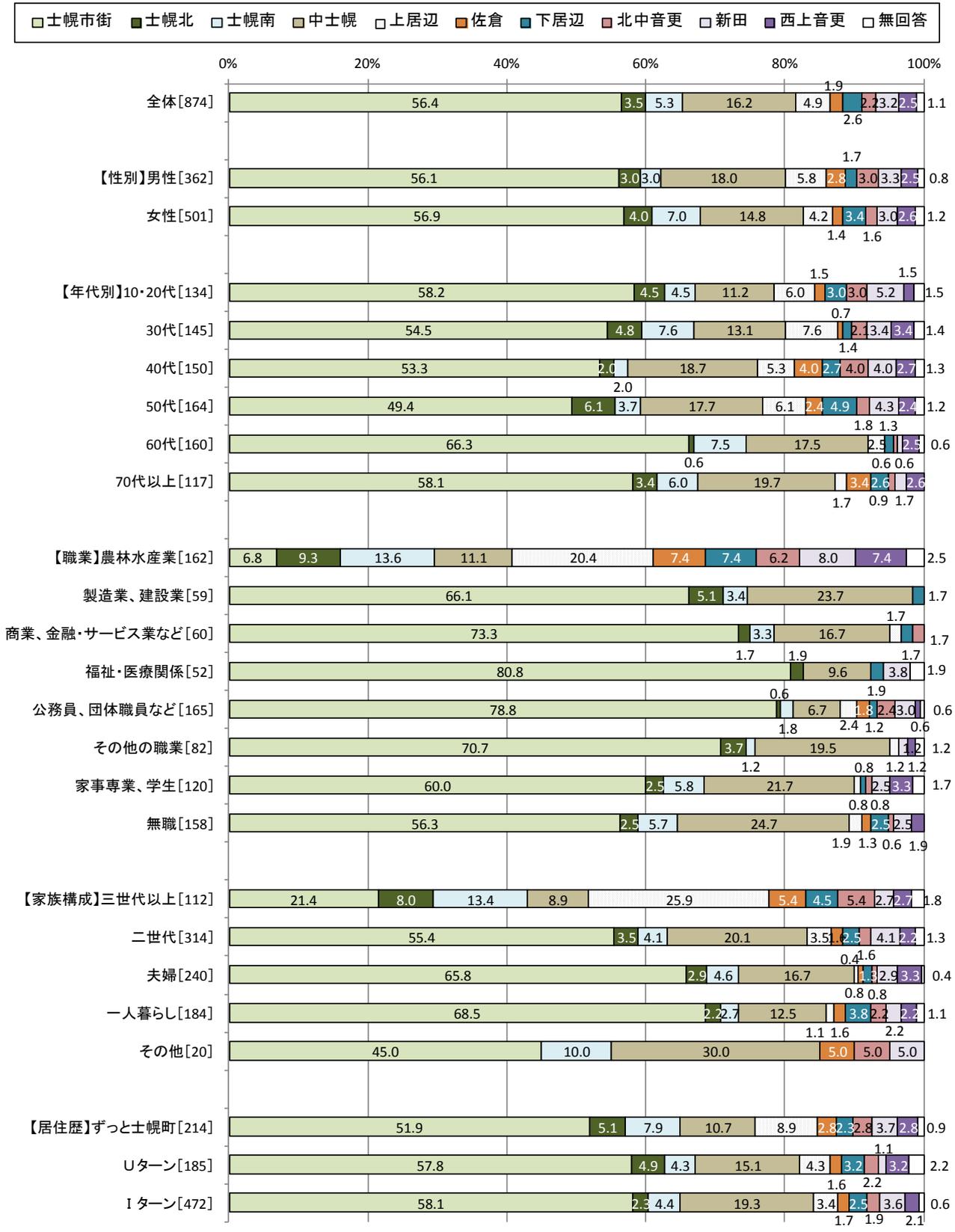
(カ) 居住地域

○「土幌市街」が過半数（56.4%）を占め最も高く、「中土幌」（16.2%）が続きます。



- 年代別で見ると、各年代とも「土幌市街」が最も高く、最も高いのは60代（66.3%）です。
- 職業別で見ると、農林水産業のみ「上居辺」が最も高いです。
- 家族構成別で見ると、三世代以上のみ「上居辺」が最も高いです。

(カ) 居住地域(属性別)



Ⅲ 設問別調査結果

1 暮らしの満足度・重要度

【問1】土幌町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」を評価してください。具体的な内容は示していませんが、全般としての評価をお願いします。

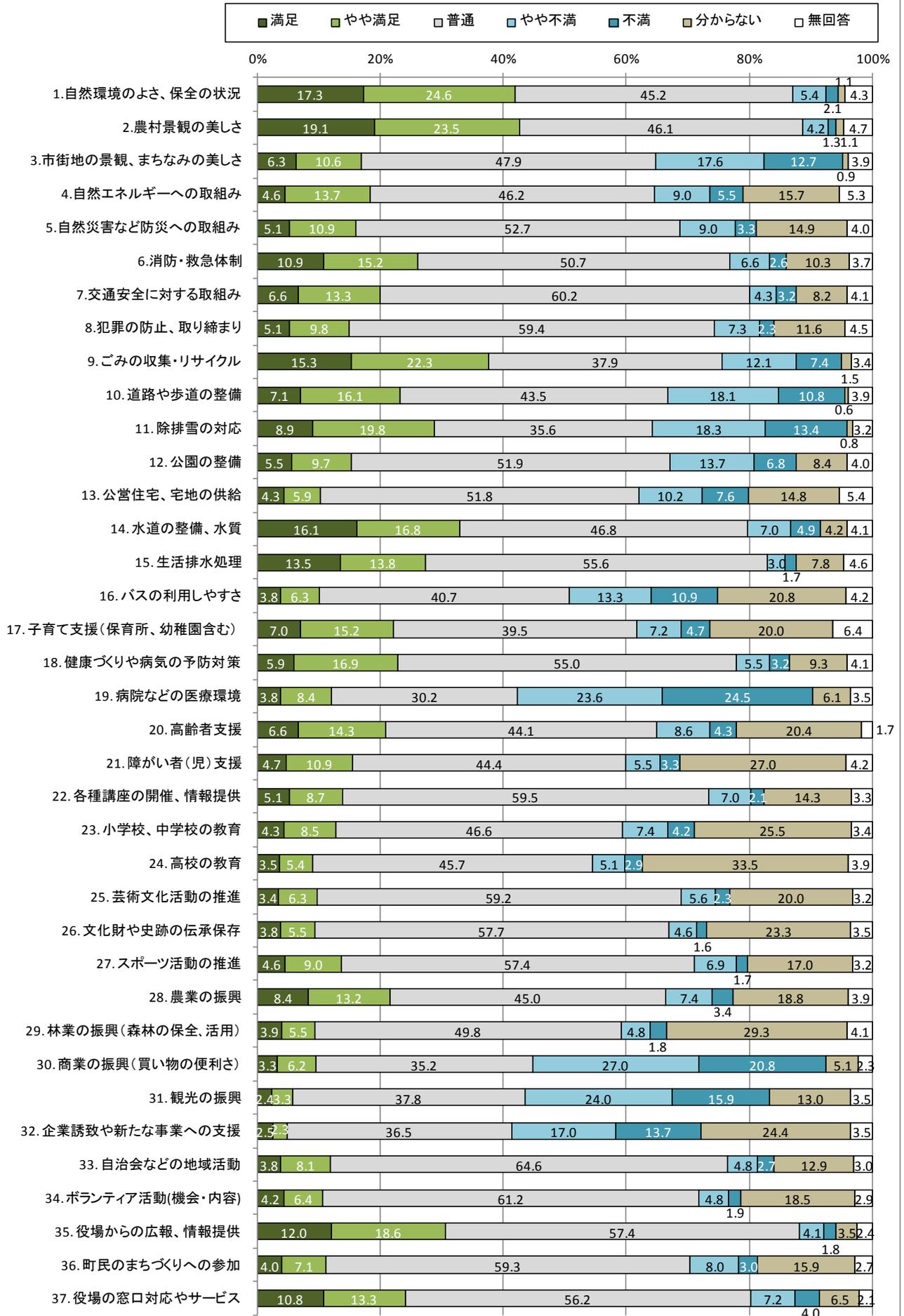
<「満足度」のグラフについて>

- 「満足」が最も高いのは「2.農村景観の美しさ」(19.1%)で、「1.自然環境のよさ、保全の状況」(17.3%)、「14.水道の整備、水質」(16.1%)、「9.ごみの収集・リサイクル」(15.3%)、「15.生活排水処理」(13.5%)、「35.役場からの広報、情報提供」(12.0%)、「6.消防・救急体制」(10.9%)、「37.役場の窓口対応やサービス」(10.8%)と続きます。この8項目では「満足」が1割以上を占めます。
- 「不満」が最も高いのは「19.病院などの医療環境」(24.5%)で、「30.商業の振興(買い物の便利さ)」(20.8%)と続きます。以下、「31.観光の振興」(15.9%)、「32.企業誘致や新たな事業への支援」(13.7%)、「11.除排雪の対応」(13.4%)、「3.市街地の景観、まちなみの美しさ」(12.7%)、「16.バスの利用しやすさ」(10.9%)、「10.道路や歩道の整備」(10.8%)と続きます。この8項目では「不満」が1割以上を占めます。

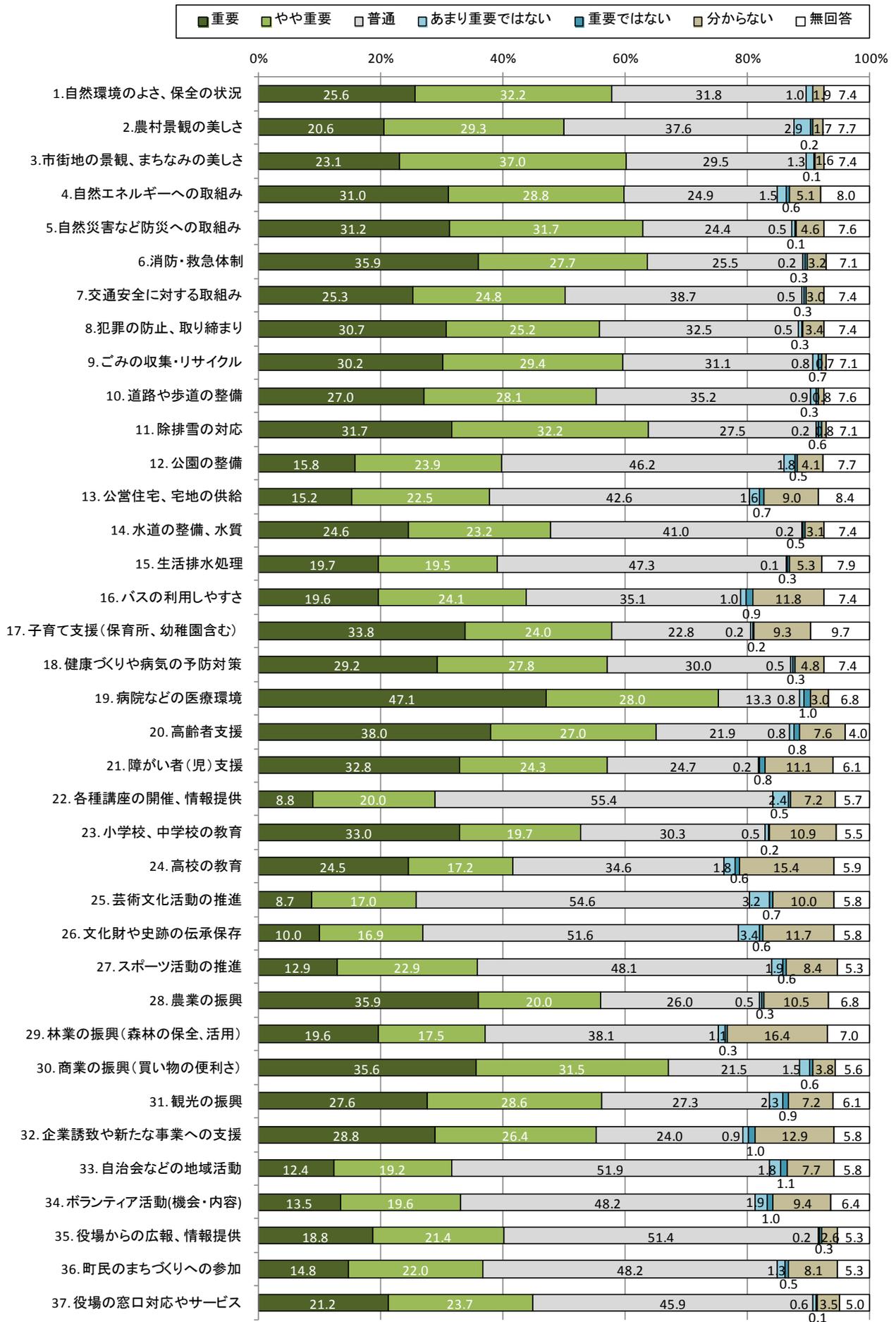
<「重要度」のグラフについて>

- 「重要」が最も高いのは「19.病院などの医療環境」(47.1%)で、「20.高齢者支援」(38.0%)、「6.消防・救急体制」(35.9%)、「28.農業の振興」(35.9%)、「30.商業の振興(買い物の便利さ)」(35.6%)、「17.子育て支援(保育所、幼稚園含む)」(33.8%)、「23.小学校、中学校の教育」(33.0%)、「21.障がい者(児)支援」(32.8%)、「11.除排雪の対応」(31.7%)、「5.自然災害など防災への取組み」(31.2%)、「4.自然エネルギーへの取組み」(31.0%)、「8.犯罪の防止、取り締まり」(30.7%)、「9.ごみの収集・リサイクル」(30.2%)と続きます。この13項目では「重要」が3割以上を占めます。

【問1】暮らしの満足度について[874]



【問1】暮らしの重要度について[874]



<加重平均値※での比較>

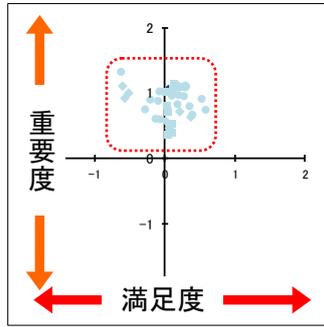
○重要度はすべてプラスです。

○「満足度」の加重平均値が最も高いのは、「2.農村景観の美しさ」です。一方最も低いのは「19.病院などの医療環境」で、「重要度」で最も高い項目でもあります。「重要度」で最も低いのは「25.芸術文化活動の推進」です。

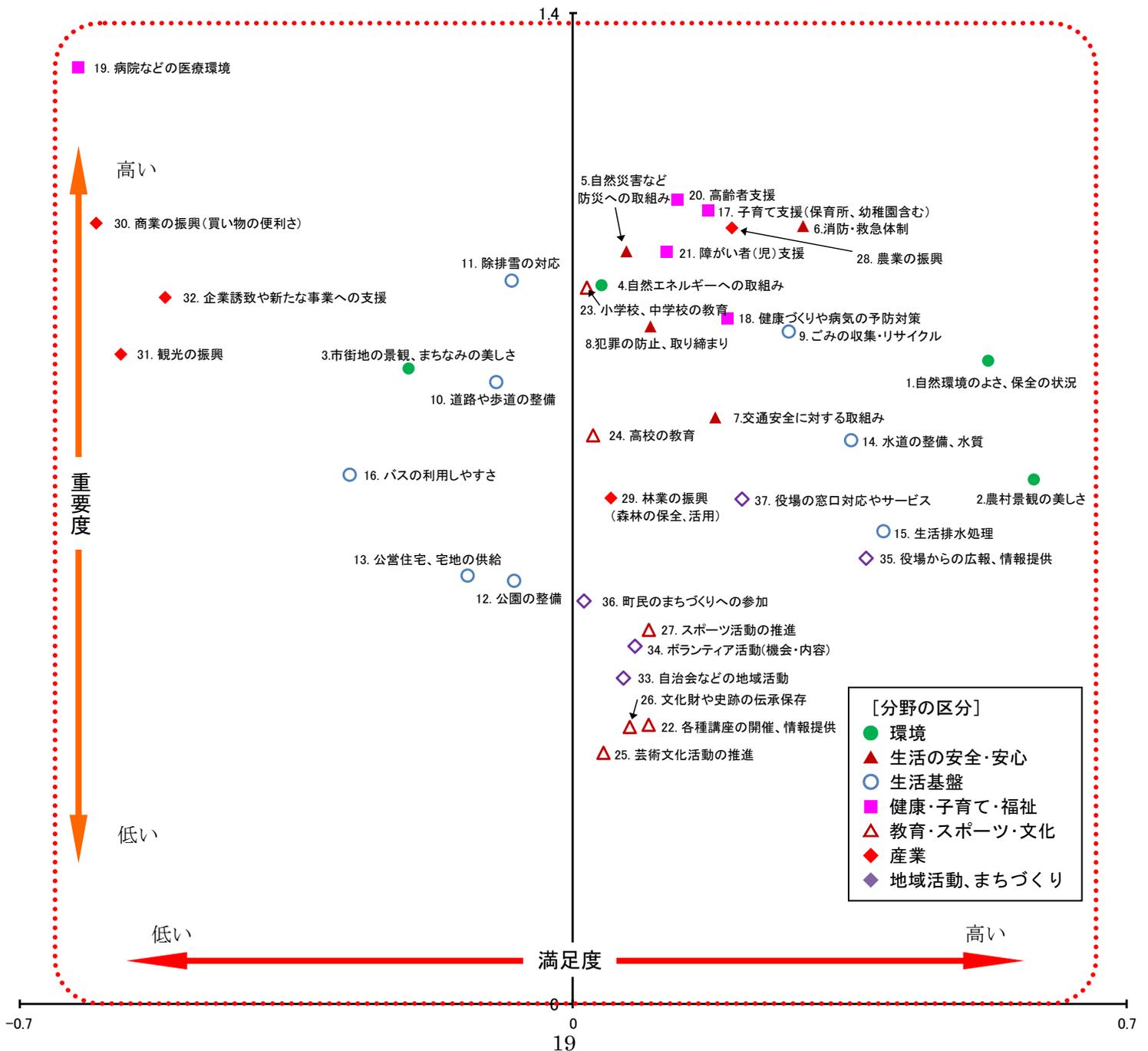
※「加重平均値」とは回答者が選んだ選択肢から平均を算出した数値です。算出方法は次の通りです。
 満足度：{(満足×2)+(やや満足×1)+(やや不満×-1)+(普通×0)+(不満×-2)}÷(回答者数-分らない)
 重要度：{(重要×2)+(やや重要×1)+(普通×0)+(あまり重要でない×-1)+(重要でない×-2)}÷(回答者数-分らない)
 数値は-2から+2の範囲で、-2に近いほど低く、+2に近いほど高い、とみます。

項目	満足度	重要度
1. 自然環境のよさ、保全の状況	0.53	0.91
2. 農村景観の美しさ	0.58 (最も高い)	0.74
3. 市街地の景観、まちなみの美しさ	-0.21	0.90
4. 自然エネルギーへの取組み	0.04	1.02
5. 自然災害など防災への取組み	0.07	1.06
6. 消防・救急体制	0.29	1.10
7. 交通安全に対する取組み	0.18	0.83
8. 犯罪の防止、取り締まり	0.10	0.96
9. ごみの収集・リサイクル	0.27	0.95
10. 道路や歩道の整備	-0.10	0.88
11. 除排雪の対応	-0.08	1.02
12. 公園の整備	-0.07	0.60
13. 公営住宅、宅地の供給	-0.13	0.61
14. 水道の整備、水質	0.35	0.80
15. 生活排水処理	0.39	0.67
16. バスの利用しやすさ	-0.28	0.75
17. 子育て支援(保育所、幼稚園含む)	0.17	1.12
18. 健康づくりや病気の予防対策	0.20	0.97
19. 病院などの医療環境	-0.63 (最も低い)	1.32 (最も高い)
20. 高齢者支援	0.13	1.14
21. 障がい者(児)支援	0.12	1.06
22. 各種講座の開催、情報提供	0.10	0.39
23. 小学校、中学校の教育	0.02	1.01
24. 高校の教育	0.03	0.80
25. 芸術文化活動の推進	0.04	0.35 (最も低い)
26. 文化財や史跡の伝承保存	0.07	0.39
27. スポーツ活動の推進	0.10	0.53
28. 農業の振興	0.20	1.10
29. 林業の振興(森林の保全、活用)	0.05	0.71
30. 商業の振興(買い物の便利さ)	-0.60	1.10
31. 観光の振興	-0.57	0.92
32. 企業誘致や新たな事業への支援	-0.52	1.00
33. 自治会などの地域活動	0.06	0.46
34. ボランティア活動(機会・内容)	0.08	0.51
35. 役場からの広報、情報提供	0.37	0.63
36. 町民のまちづくりへの参加	0.01	0.57
37. 役場の窓口対応やサービス	0.21	0.71

○タテ軸を「重要度」、ヨコ軸を「満足度」として各項目の分布をグラフで示すと、重要度はすべてプラスなのでグラフの上半分に、ヨコ軸（満足度）は-1から+1の間に集中しています。○の部分拡大すると、下の拡大したグラフになります。



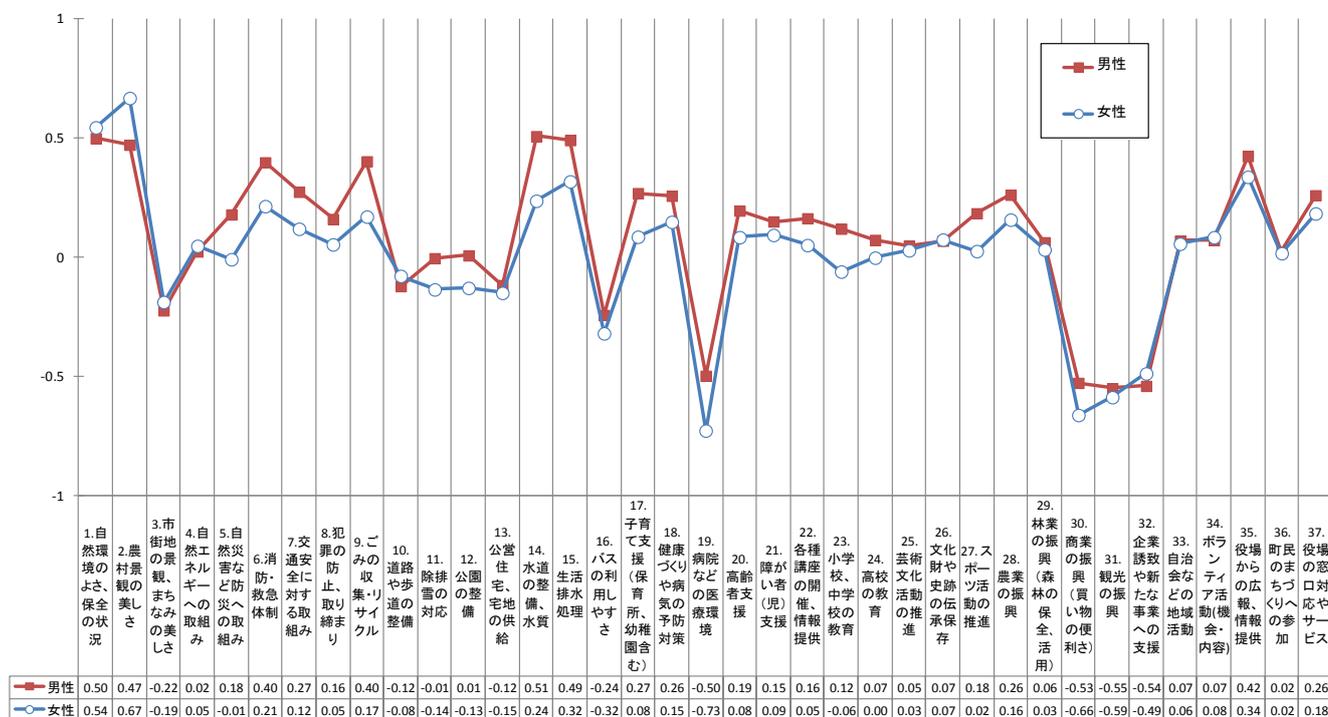
○満足度が低くて重要度が高い位置にある項目は「19.病院などの医療環境」をはじめ「30.商業の振興」「32.企業誘致や新たな事業への支援」「31.観光の振興」などです。



< 「加重平均値」での満足度の比較（性別） >

- 性別で見ると、男性の数値の方が高い項目が多く、37項目中30項目は、男性の方が高いです。
- 最も数値が高いのは、男性は「14.水道の整備、水質」、女性は「2.農村景観の美しさ」です。一方、最も数値が低いのは、男性は「31.観光の振興」、女性は「19.病院などの医療環境」です。
- 男性と女性で最も差があるのは「14.水道の整備、水質」で、男性の方が高いです。

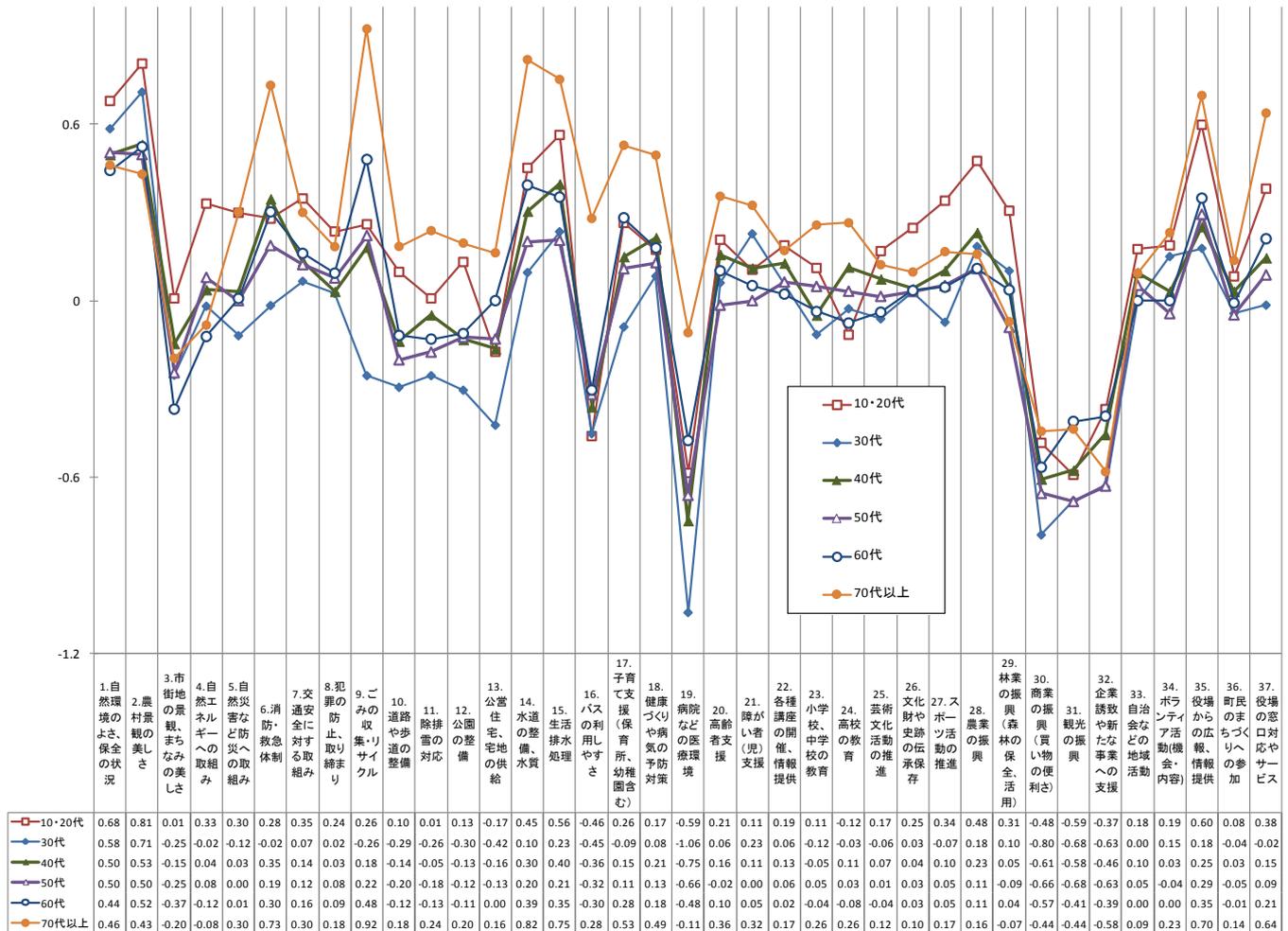
【問1】満足度について<加重平均値>[性別]



< 「加重平均値」での満足度の比較（年代別） >

- 年代別で見ると、70代以上数値が全体的に高く、他の年代と同率であるものも含めて、37項目中22項目で最も高い数値となっています。
- 最も数値が高いのは、40代以下と60代は「2.農村景観の美しさ」、50代は「1.自然環境のよさ、保全の状況」と「2.農村景観の美しさ」（同じ数値）、70代以上は「9.ごみの収集・リサイクル」です。
- 最も数値が低いのは、40代以下は「19.病院などの医療環境」、50代は「31.観光の振興」、60代は「30.商業の振興（買い物の便利さ）」、70代以上は「32.企業誘致や新たな事業への支援」です。
- 年代による差が最も大きいのは「9.ごみの収集・リサイクル」です。

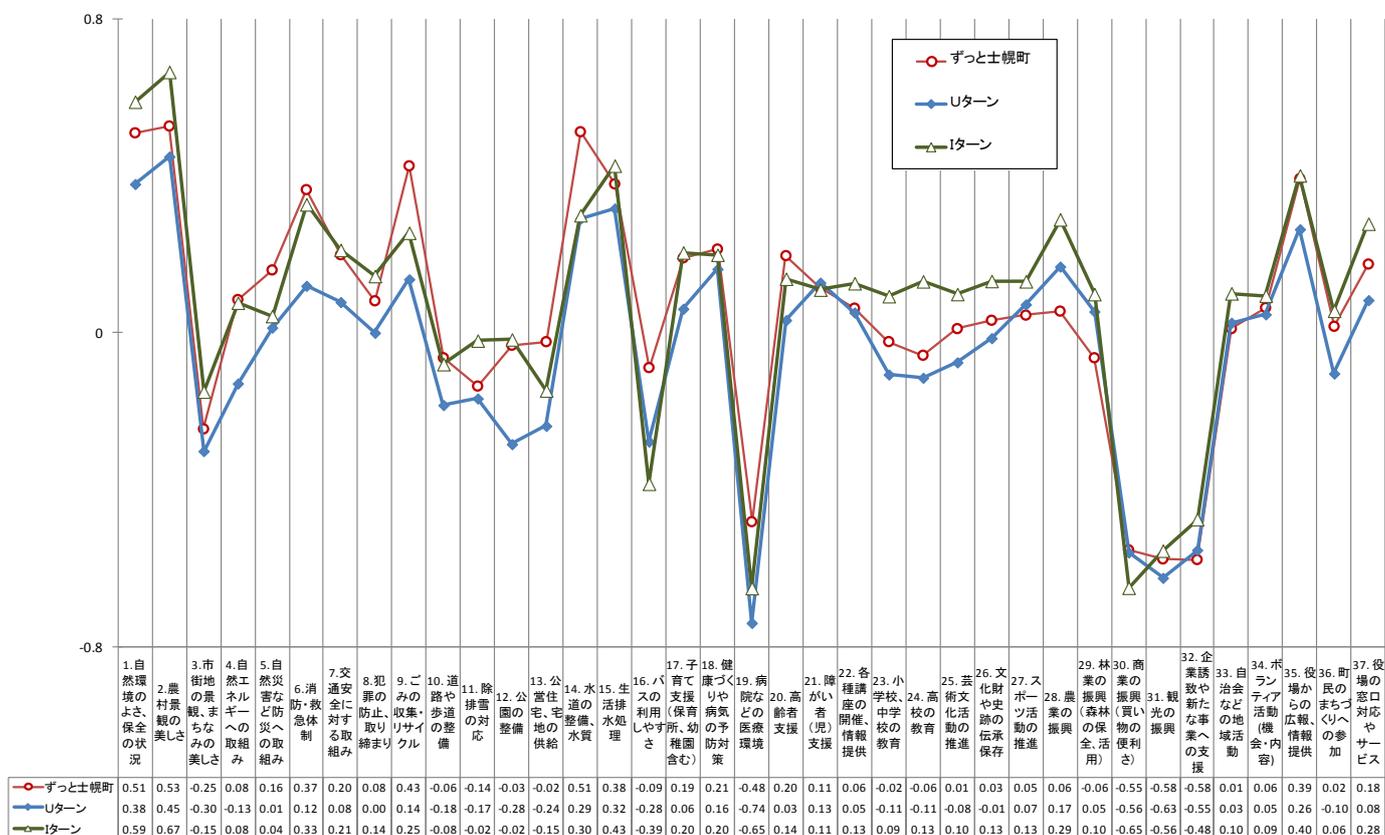
【問1】満足度について加重平均値>[年代別]



<「加重平均値」での満足度の比較（居住歴別）>

- 居住歴別でみると、Iターンの数値が全体的に高く、37項目中25項目で最も高い数値となっています。
- 最も数値が高いのは、いずれも「2.農村景観の美しさ」です。
- 最も数値が低いのは、ずっと土幌町は「31.観光の振興」と「32.企業誘致や新たな事業への支援」（同率）、Uターンは「19.病院などの医療環境」、Iターンは「19.病院などの医療環境」と「30.商業の振興（買い物の便利さ）」（同率）です。
- 居住歴による差が最も大きいのは「16.バスの利用しやすさ」です。

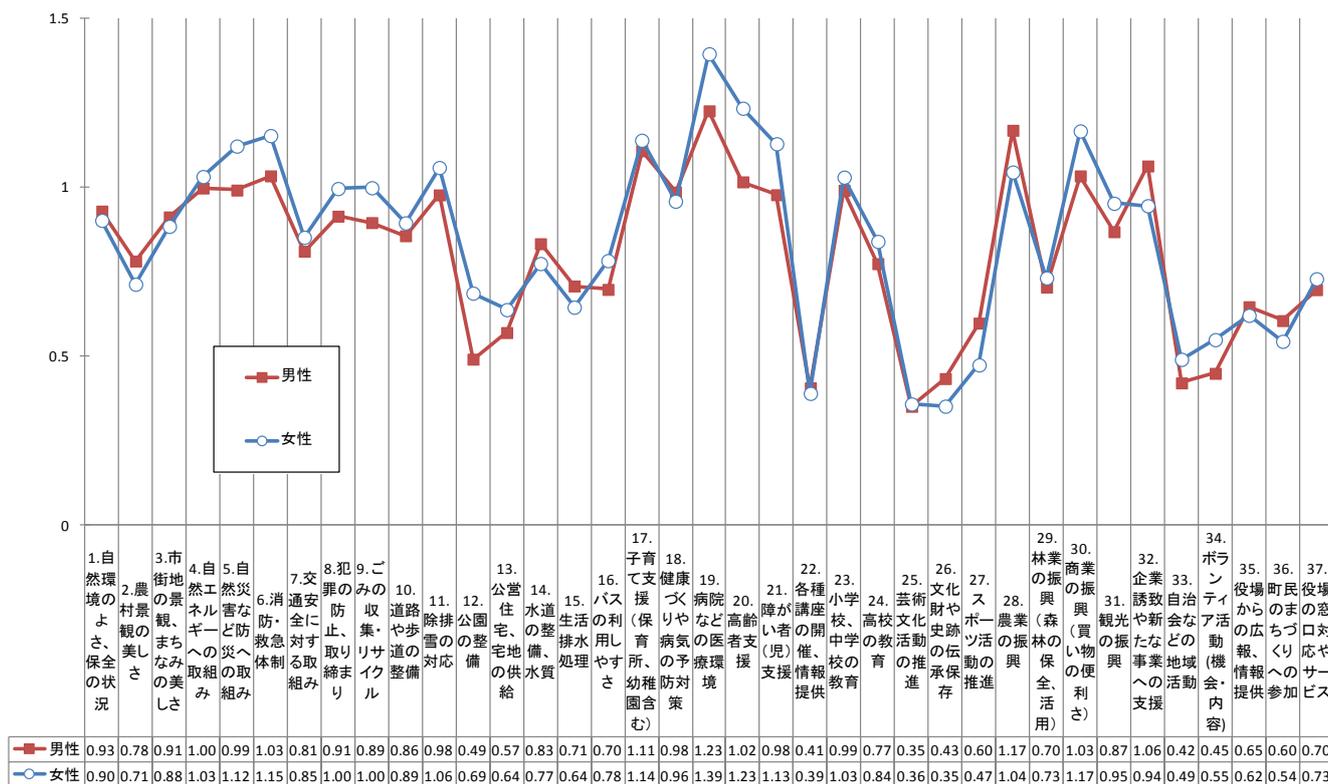
【問1】満足度について<加重平均値>【居住歴別】



<「加重平均値」での重要度の比較（性別）>

- 性別で見ると、女性の数値の方が高い項目が多く、37項目中24項目は、女性の方が高いです。
- 最も数値が高いのは、男女とも「19.病院などの医療環境」です。
- 男性と女性で最も差があるのは「20.高齢者支援」で、女性の方が高いです。

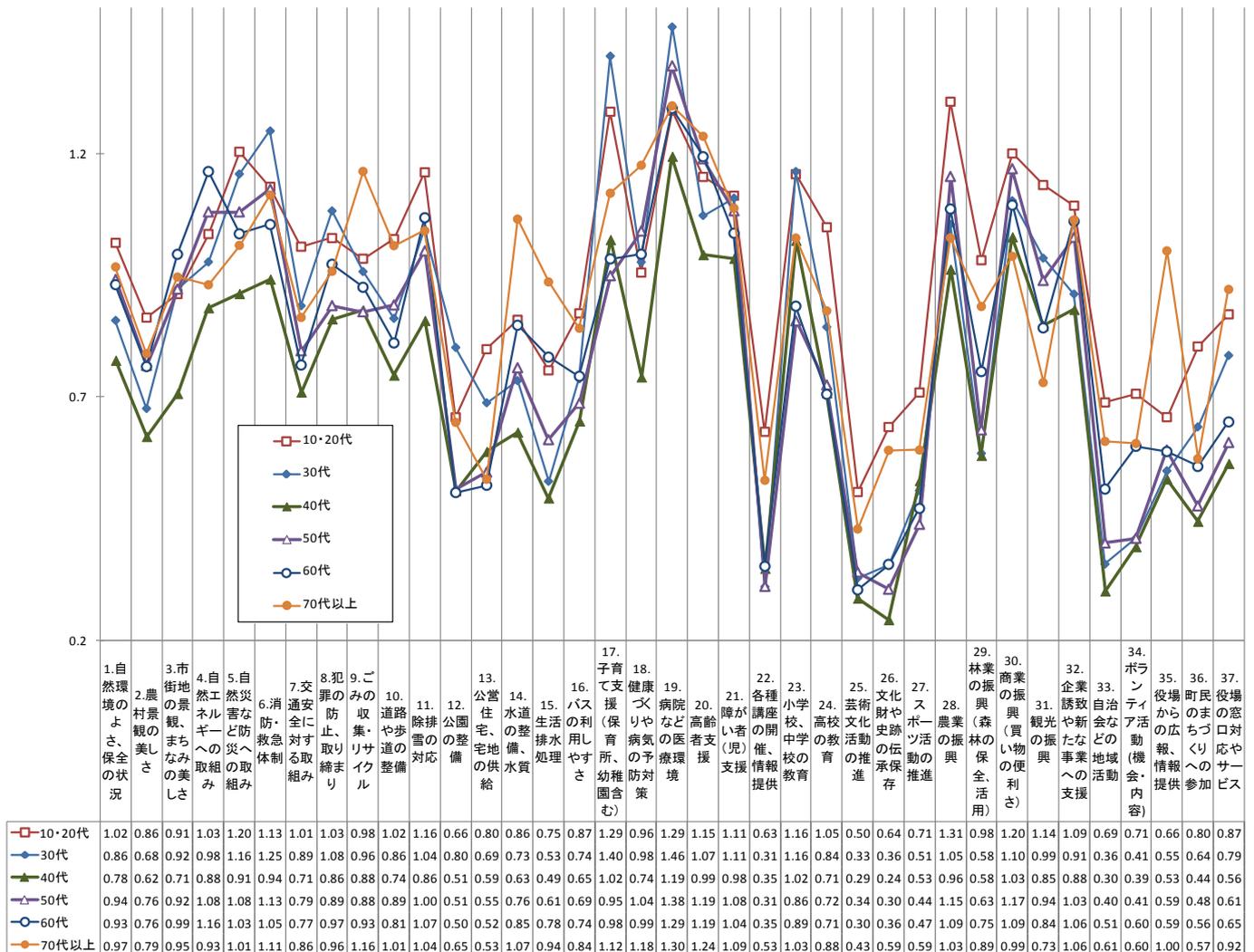
【問1】重要度について<加重平均値>【性別】



< 「加重平均値」での重要度の比較（年代別） >

- 年代別でみると、10・20代の数値が全体的に高く、他の年代と同率であるものも含めて、37項目中23項目で最も高い数値となっています。
- 最も数値が高いのは、10・20代のみ「28.農業の振興」で、その他は「19.病院などの医療環境」です。
- 年代による差が最も大きいのは「35.役場からの広報、情報提供」です。

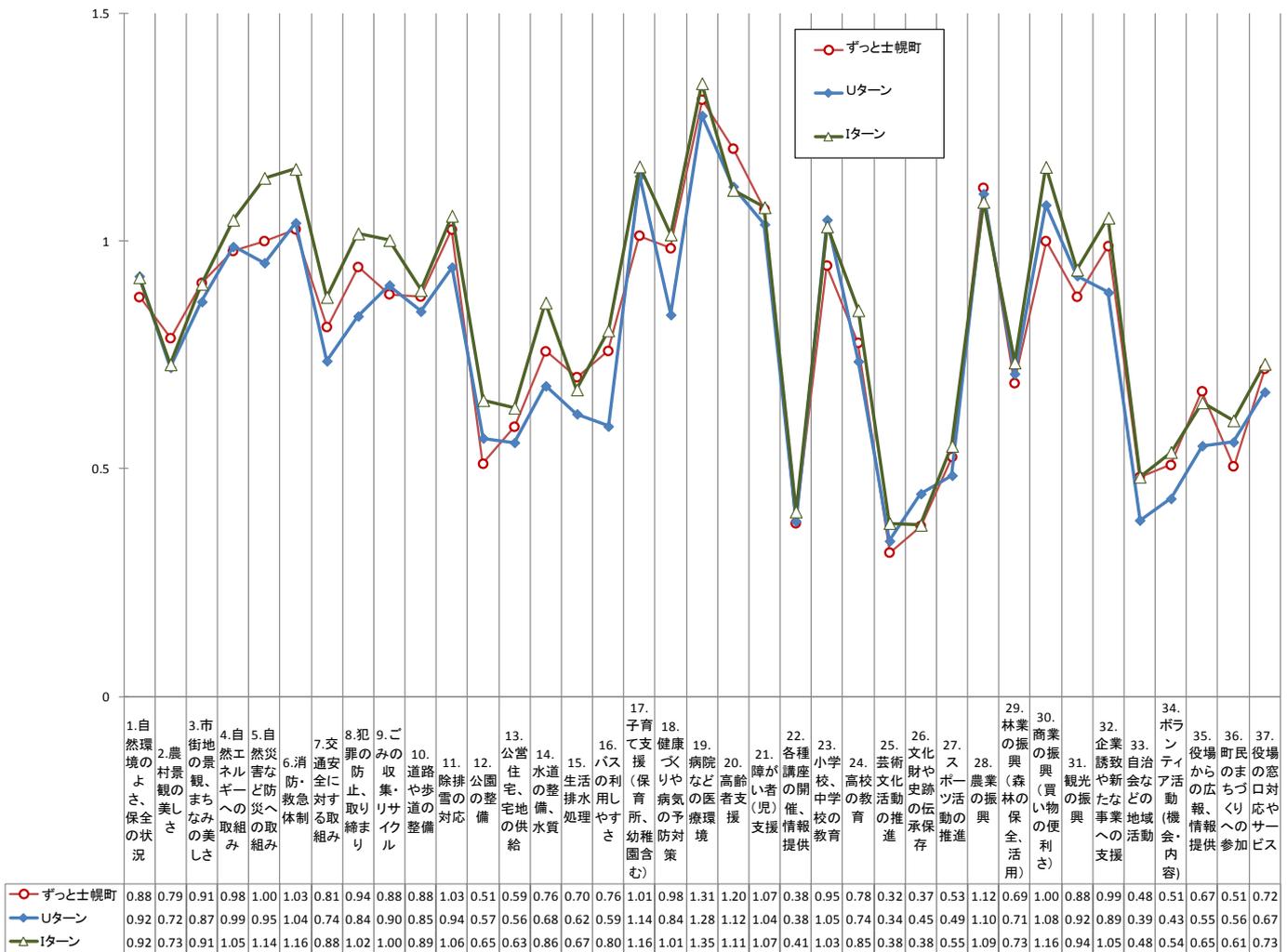
【問1】重要度について<加重平均値>【年代別】



< 「加重平均値」での重要度の比較（居住歴別） >

- 居住歴別で見ると、Iターンの数値が全体的に高く、他の年代と同率であるものも含めて、37項目中30項目で最も高い数値となっています。
- 最も数値が高いのは、いずれも「19.病院などの医療環境」です。
- 居住歴による差が最も大きいのは「16.バスの利用しやすさ」です。

【問1】重要度について<加重平均値>【居住歴別】

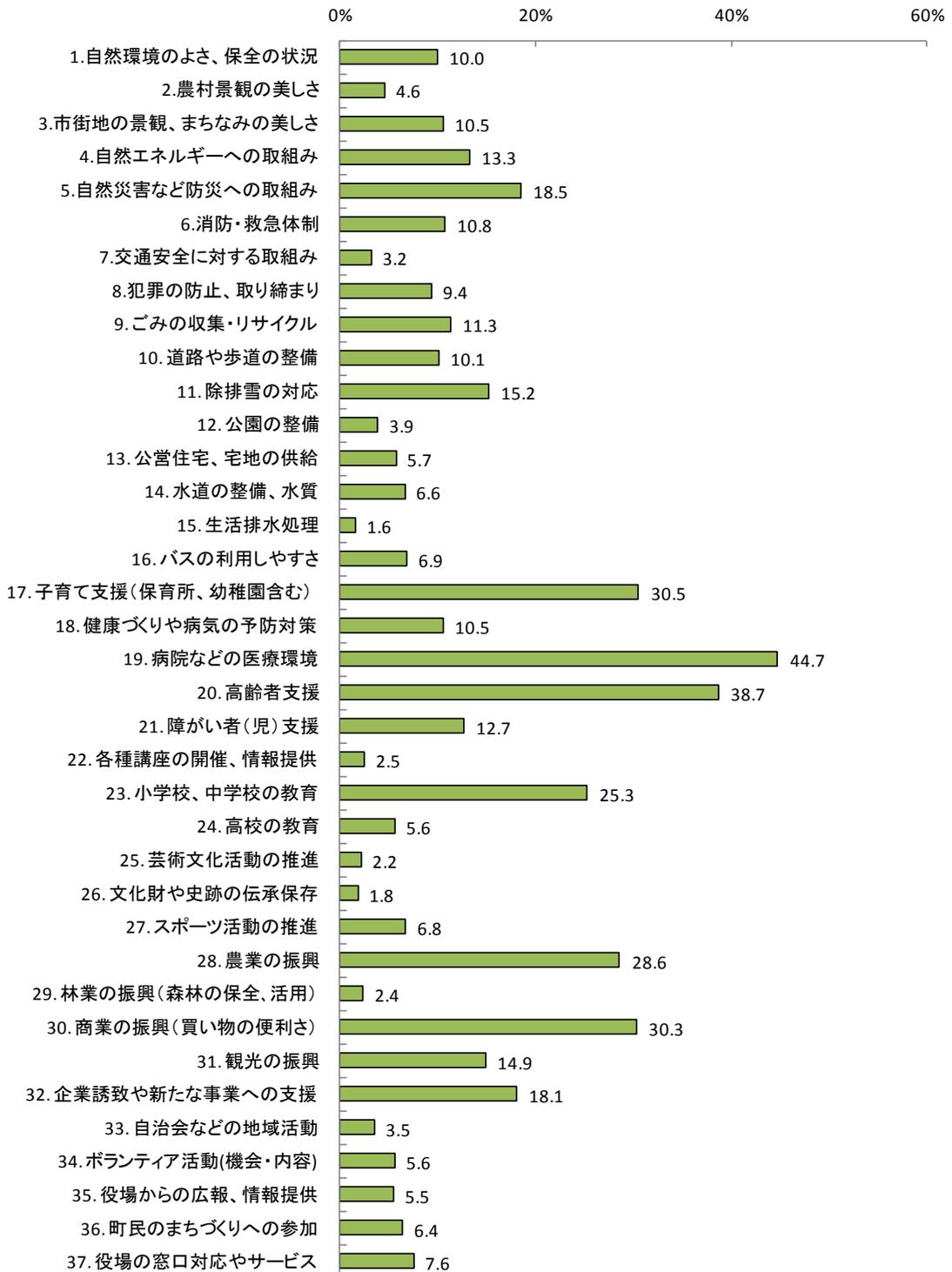


1-1 まちづくりで特に重要なこと

【問1-1】問1の37項目の中で、今後のまちづくりで特に重要と思うものを5つまで選んで、下の枠に番号をお書きください。

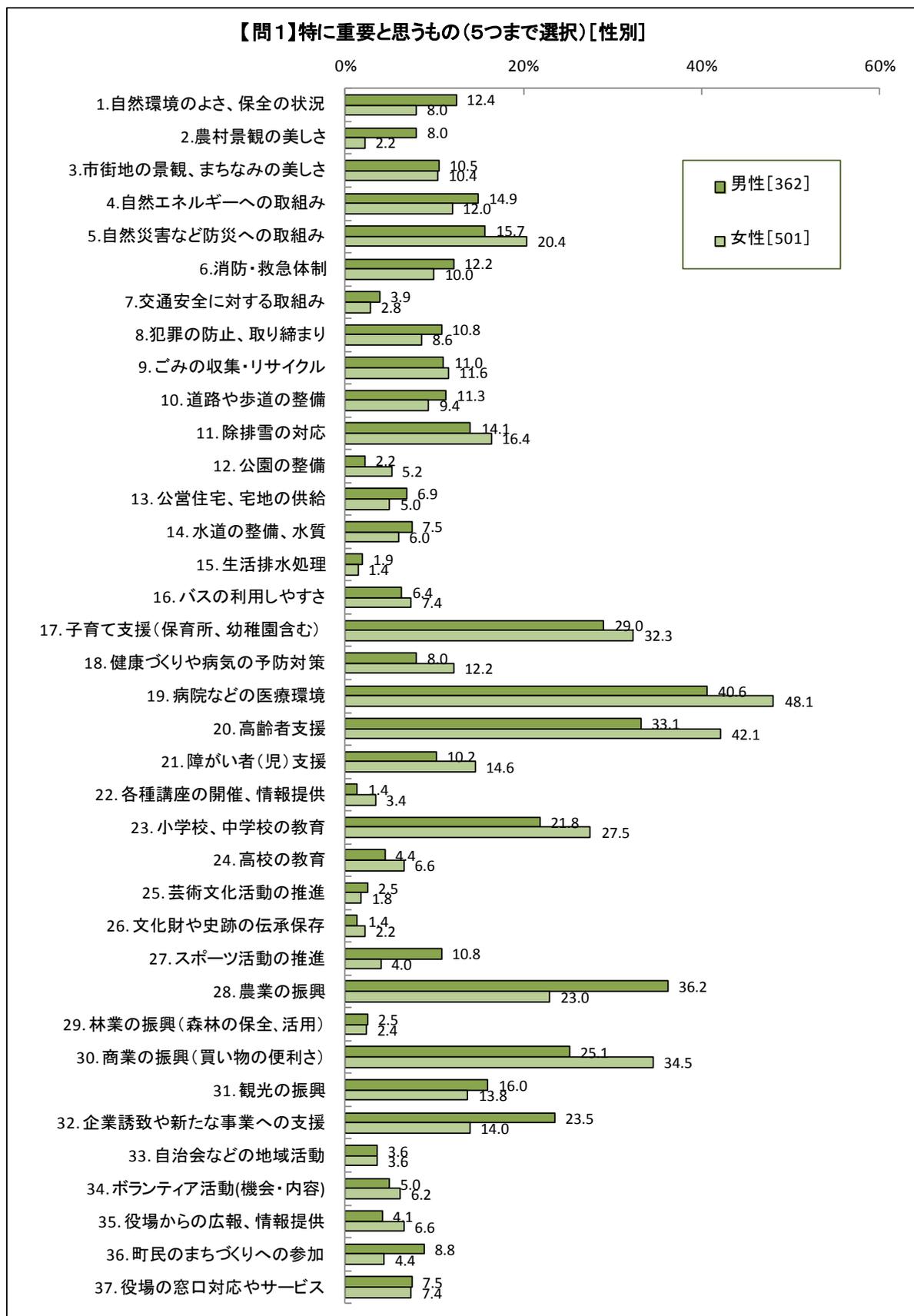
- 「19.病院などの医療環境」(44.7%)が最も高く、「20.高齢者支援」(38.7%)、「17.子育て支援(保育所、幼稚園含む)」(30.5%)、「30.商業の振興(買い物の便利さ)」(30.3%)、「28.農業の振興」(28.6%)と続きます。

【問1】特に重要と思うもの(5つまで選択)



○性別でみると、男女とも「19.病院などの医療環境」です。2位は、男性は「28.農業の振興」、女性は「20.高齢者支援」です。

○「28.農業の振興」や「32.企業誘致や新たな事業への支援」は男性、「20.高齢者支援」や「30.商業の振興」は女性の回答率がそれぞれ高く、差がめだちます。



<属性ごとの上位5位>

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	19.医療環境	20.高齢者支援	17.子育て支援	30.商業の振興	28.農業の振興
	44.7	38.7	30.5	30.3	28.6

<性別>

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 [362]	19.医療環境	28.農業の振興	20.高齢者支援	17.子育て支援	30.商業の振興
	40.6	36.2	33.1	29.0	25.1
女性 [501]	19.医療環境	20.高齢者支援	30.商業の振興	17.子育て支援	23.小中学校教育
	48.1	42.1	34.5	32.3	27.5

<年代別>

	1位	2位	3位	4位	5位
10・20代	19.医療環境	17.子育て支援	20.高齢者支援 30.商業の振興		23.小中学校教育 28.農業の振興
	40.3	38.8	29.1 (同率)		27.6(同率)
30代	17.子育て支援	19.医療環境	23.小中学校教育	20.高齢者支援	30.商業の振興
	51.7	48.3	40.0	29.7	27.6
40代	17.子育て支援	19.医療環境	30.商業の振興	20.高齢者支援	28.農業の振興
	44.0	42.0	36.7	32.7	30.7
50代	19.医療環境	20.高齢者支援	28.農業の振興	30.商業の振興	17.子育て支援
	52.4	42.7	42.1	26.2	25.6
60代	19.医療環境	20.高齢者支援	30.商業の振興	28.農業の振興 32.企業誘致、支援	
	50.0	43.1	35.0	21.3 (同率)	
70代以上	20.高齢者支援	19.医療環境	30.商業の振興	32.企業誘致、支援	28.農業の振興
	56.4	30.8	26.5	23.1	22.2

<職業別>

	1位	2位	3位	4位	5位
農林水産業 [162]	28.農業の振興	19.医療環境	17.子育て支援	20.高齢者支援	23.小中学校教育
	61.1	48.1	38.3	35.2	25.9
製造業、 建設業 [59]	19.医療環境	17.子育て支援	30.商業の振興	20.高齢者支援	10.道路 28.農業 32.企業誘致、支援
	42.4	33.9	30.5	27.1	20.3 (同率)
商業、金融 ・サービス業等 [60]	19.医療環境 30.商業の振興		20.高齢者支援	17.子育て支援	31.観光の振興
	43.3 (同率)		35.0	28.3	25.0
福祉・ 医療関係 [52]	19.医療環境	20.高齢者支援	17.子育て支援 23.小中学校教育		21.障がい者支援 30.商業の振興
	57.7	53.8	38.5 (同率)		30.8 (同率)
公務員、団 体職員など [165]	17.子育て支援	19.医療環境	23.小中学校教育	28.農業の振興	20.高齢者支援 30.商業の振興
	43.6	39.4	30.9	30.3	27.3 (同率)
その他 [82]	19.医療環境	20.高齢者支援	30.商業の振興	17.子育て支援	23.小中学校教育
	50.0	36.6	28.0	24.4	22.0
家事専業、 学生 [120]	19.医療環境	30.商業の振興	20.高齢者支援	17.子育て支援	23.小中学校教育
	45.0	39.2	37.5	31.7 (同率)	
無職 [158]	20.高齢者支援	19.医療環境	30.商業の振興	32.企業誘致、支援	28.農業の振興
	54.4	41.8	31.0	23.4	19.0

<家族構成別>

	1位	2位	3位	4位	5位
三世代以上 [112]	28.農業の振興	19.医療環境	20.高齢者支援	17.子育て支援	23.小中学校教育
	50.9	44.6	37.5	33.9	33.0
二世代 [314]	19.医療環境	17.子育て支援	20.高齢者支援	30.商業の振興	23.小中学校教育
	48.4	41.7	34.7	33.4	29.3
夫婦 [240]	19.医療環境	20.高齢者支援	30.商業の振興	28.農業の振興	23.小中学校教育
	44.6	43.8	26.7	22.1	20.4
一人暮らし [184]	19.医療環境	20.高齢者支援	30.商業の振興	17.子育て支援	28.農業の振興
	39.7	37.5	34.8	28.3	25.5
その他 [20]	20.高齢者支援	19.医療環境	11.除排雪の対応	28.農業の振興	17.子育て支援 30.商業の振興
	50.0	45.0	40.0	30.0	25.0 (同率)

<居住歴別>

	1位	2位	3位	4位	5位
ずっと 土幌町 [214]	20.高齢者支援	19.医療環境	28.農業の振興	30.商業の振興	23.小中学校教育
	43.9	43.0	42.1	29.9	22.0
Uターン [185]	19.医療環境	20.高齢者支援	17.子育て支援	23.小中学校教育 28.農業の振興	
	45.9	40.5	35.7	29.2 (同率)	
Iターン [472]	19.医療環境	20.高齢者支援	17.子育て支援	30.商業の振興	23.小中学校教育
	45.3	35.4	32.8	31.4	25.4

<居住地域別>

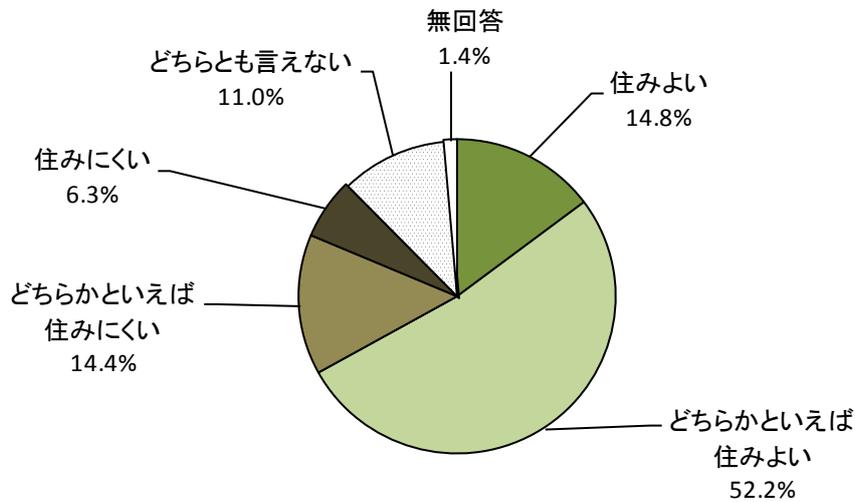
	1位	2位	3位	4位	5位
土幌市街 [493]	19.医療環境	20.高齢者支援	17.子育て支援 30.商業の振興		23.小中学校教育
	45.6	37.1	31.2 (同率)		26.2
土幌南 [46]	19.医療環境	20.高齢者支援	28.農業の振興	17.子育て支援	30.商業の振興
	52.2	43.5	39.1	26.1	23.9
中土幌 [142]	20.高齢者支援	19.医療環境	30.商業の振興	28.農業の振興	17.子育て支援
	46.5	39.4	35.2	26.8	23.2
上居辺 [43]	28.農業の振興	20.高齢者支援	17.子育て支援 19.医療環境		23.小中学校教育
	55.8	41.9	34.9 (同率)		27.9
佐倉 [17]	28.農業の振興	17.子育て支援	19.医療環境	20.高齢者支援	23.小中学校教育
	58.8	52.9	47.1	35.3	29.4
下居辺 [23]	17.子育て支援 19.医療環境		28.農業の振興	5.防災への取組み 11.除排雪の対応 23.小中学校教育	
	43.5 (同率)		34.8	21.7 (同率)	
北中音更 [19]	28.農業の振興	30.商業の振興	4.自然エネルギー 19.医療環境 20.高齢者支援 23.小中学校教育		
	63.2	31.6	26.3 (同率)		
新田 [28]	19.医療環境 28.農業の振興		20.高齢者支援	17.子育て支援 30.商業の振興	
	50.0 (同率)		39.3	35.7 (同率)	
西上音更 [22]	19.医療環境	20.高齢者支援	17.子育て支援 23.小中学校教育		28.農業の振興 30.商業の振興
	59.1	36.4	31.8 (同率)		27.3 (同率)

2 住みよさ

【問2】総合的に考えて、土幌町の住みよさはいかがですか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- 「どちらかといえば住みよい」が 52.2%と約半数を占め、「住みよい」(14.8%)が続きます。この2つを合計すると 67.0%で、程度の差はあれ7割近くは“住みよい”と感じています。
- 一方、「どちらかといえば住みにくい」は 14.4%で、「住みにくい」(6.3%)と合わせると“住みにくい”は約2割です。

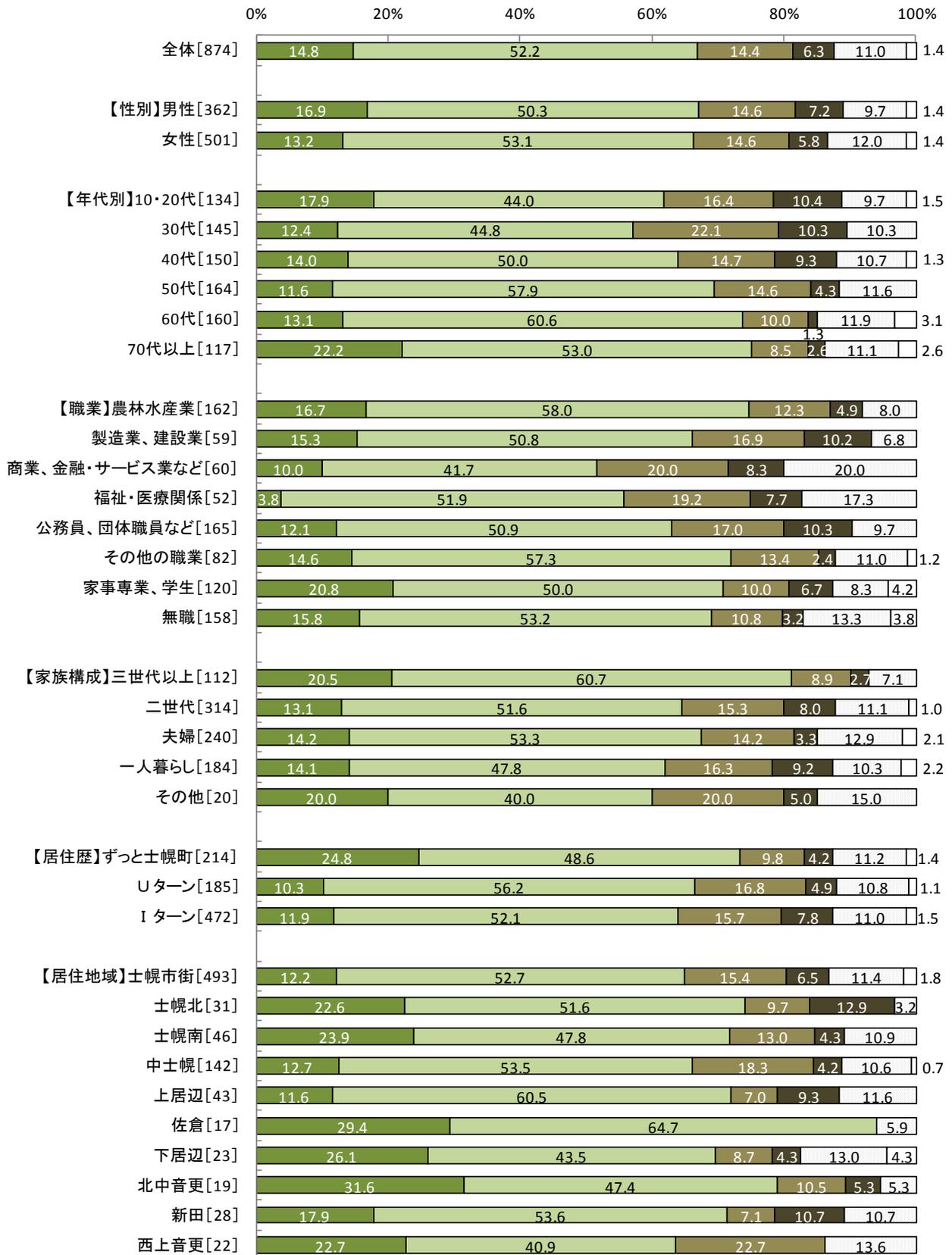
【問2】土幌町の住み良さ[874]



- 年代別で見ると、70代以上は「住みよい」が2割以上を占める一方、30代は「どちらかといえば住みにくい」が2割以上を占めます。「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は30代が最も低く、年代が高まるにつれて高くなります。
- 職業別で見ると、家事専業、学生は「住みよい」が約2割を占めます。
- 家族構成別で見ると、三世帯は「住みよい」「どちらかといえば住みよい」とともに最も高いです。
- 居住歴別で見ると、ずっと土幌町は「住みよい」が2割以上を占めます。
- 居住地域別で見ると、北中音更は「住みよい」が3割以上を占めます。佐倉は「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の回答がなく、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計が94.1%と9割をこえます。一方、土幌北と新田はともに「住みにくい」が1割をこえます。

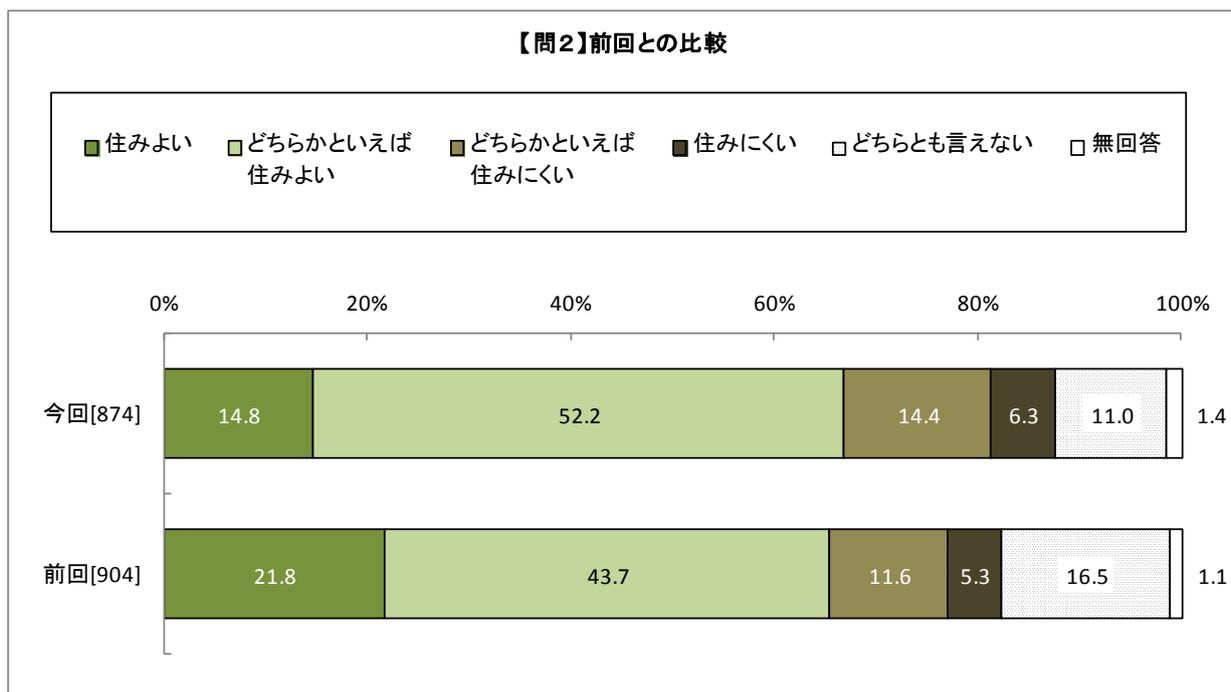
【問2】土幌町の住み良さ(属性別)

■ 住みよい □ どちらかといえば 住みよい ■ どちらかといえば 住みにくい ■ 住みにくい □ どちらとも言えない □ 無回答



<前回との比較>

- 今回のアンケートと前回（平成 17 年度実施）と比べると、「住みよい」は低くなりましたが、「どちらかといえば住みよい」が高くなり、2つを合計した“住み良い”という割合は、前は65.5%、今回は67.0%で、今回の方が高くなっています。
- 「どちらとも言えない」は、前回よりも低くなり、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」はともにやや高くなっています。

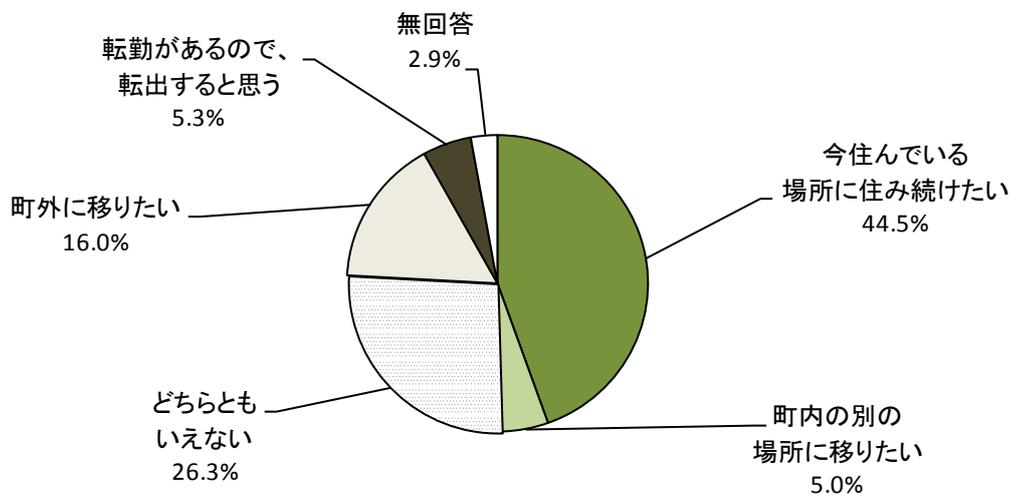


3 定住意向

【問3】 将来も土幌町に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

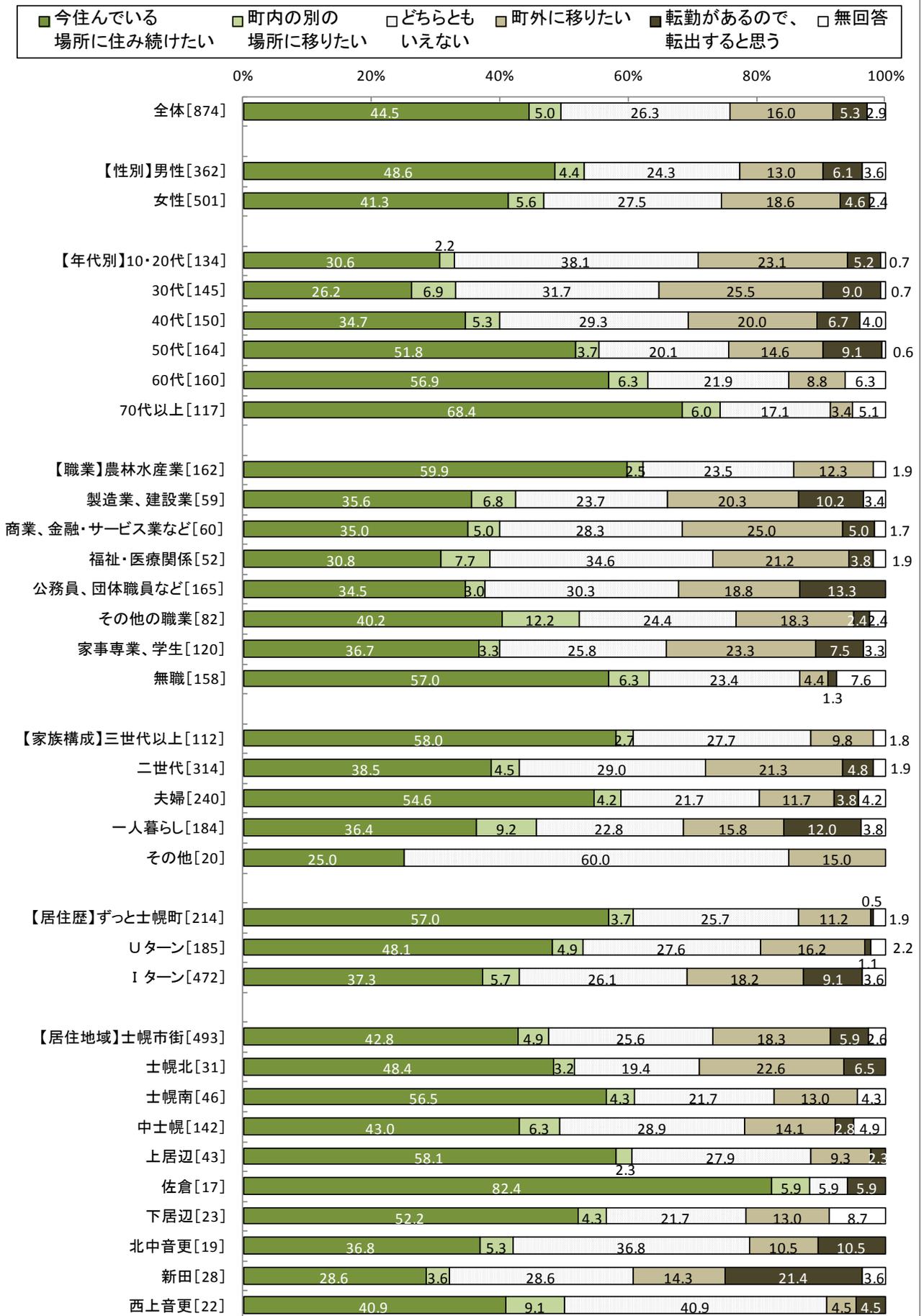
- 「今住んでいる場所に住み続けたい」が 44.5%と最も高く、「どちらともいえない」(26.3%)が続きます。以下、「町外に移りたい」(16.0%)、「町内の別の場所に移りたい」(5.0%)、「転勤があるので、転出すると思う」(5.3%)の順です。
- 「今住んでいる場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」を合わせると 49.5%で、土幌町内に“住み続けたい”割合は約半数です。

【問3】将来も土幌町に住み続けたいか[874]



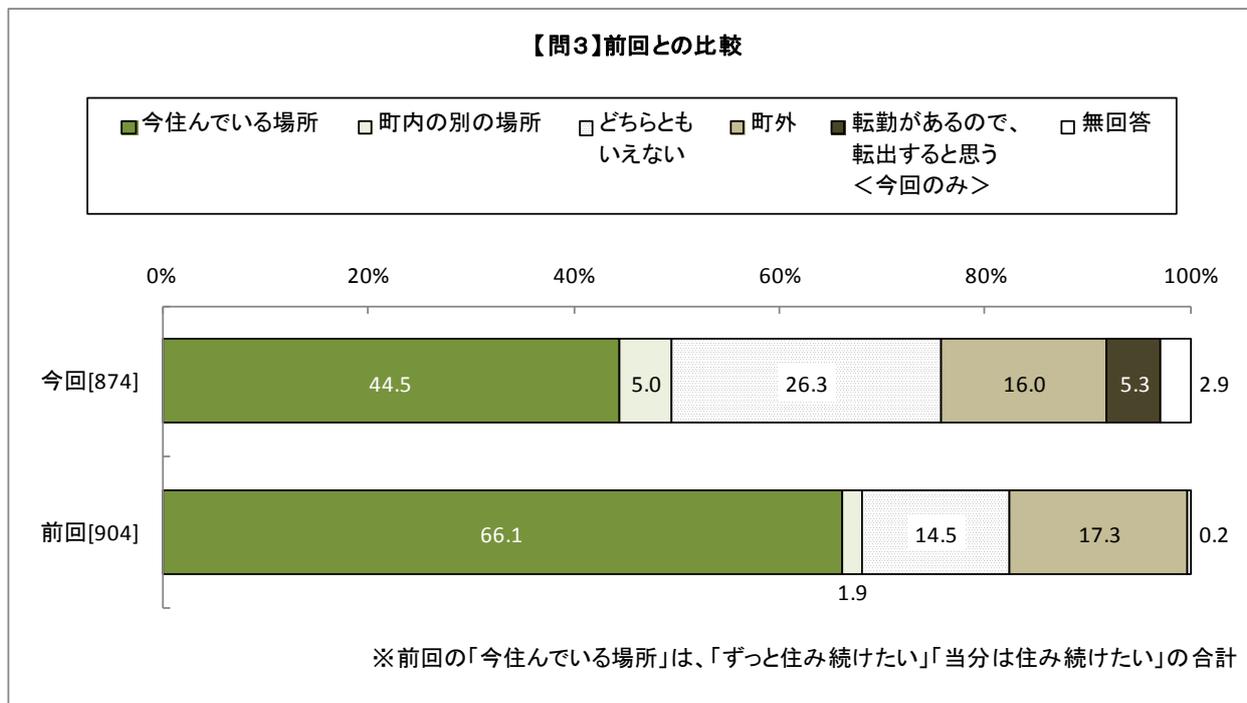
- 性別で見ると、「今住んでいる場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」を合計した“住み続けたい”は、男性が高いです。
- 年代別で見ると、年代が高まるにつれて“住み続けたい”が高くなります。一方、40代以下は「町外に移りたい」が2割以上を占めます。
- 職業別で見ると、農林水産業と無職は「今住んでいる場所に住み続けたい」が過半数を占めます。製造業、建設業と公務員、団体職員などは「転勤があるので、転出すると思う」が1割をこえます。
- 家族構成別で見ると、三世代以上と夫婦は「今住んでいる場所に住み続けたい」が過半数を占めます。一人暮らしは「転勤があるので、転出すると思う」が1割をこえます。
- 居住歴別で見ると、ずっと土幌町は「今住んでいる場所に住み続けたい」が過半数を占めます。
- 居住地域別で見ると、佐倉は「今住んでいる場所に住み続けたい」が8割以上を占めます。「転勤があるので、転出すると思う」は、北中音更で約1割、新田は約2割を占めます。

【問3】将来も土幌町に住み続けたいか(属性別)



<前回との比較>

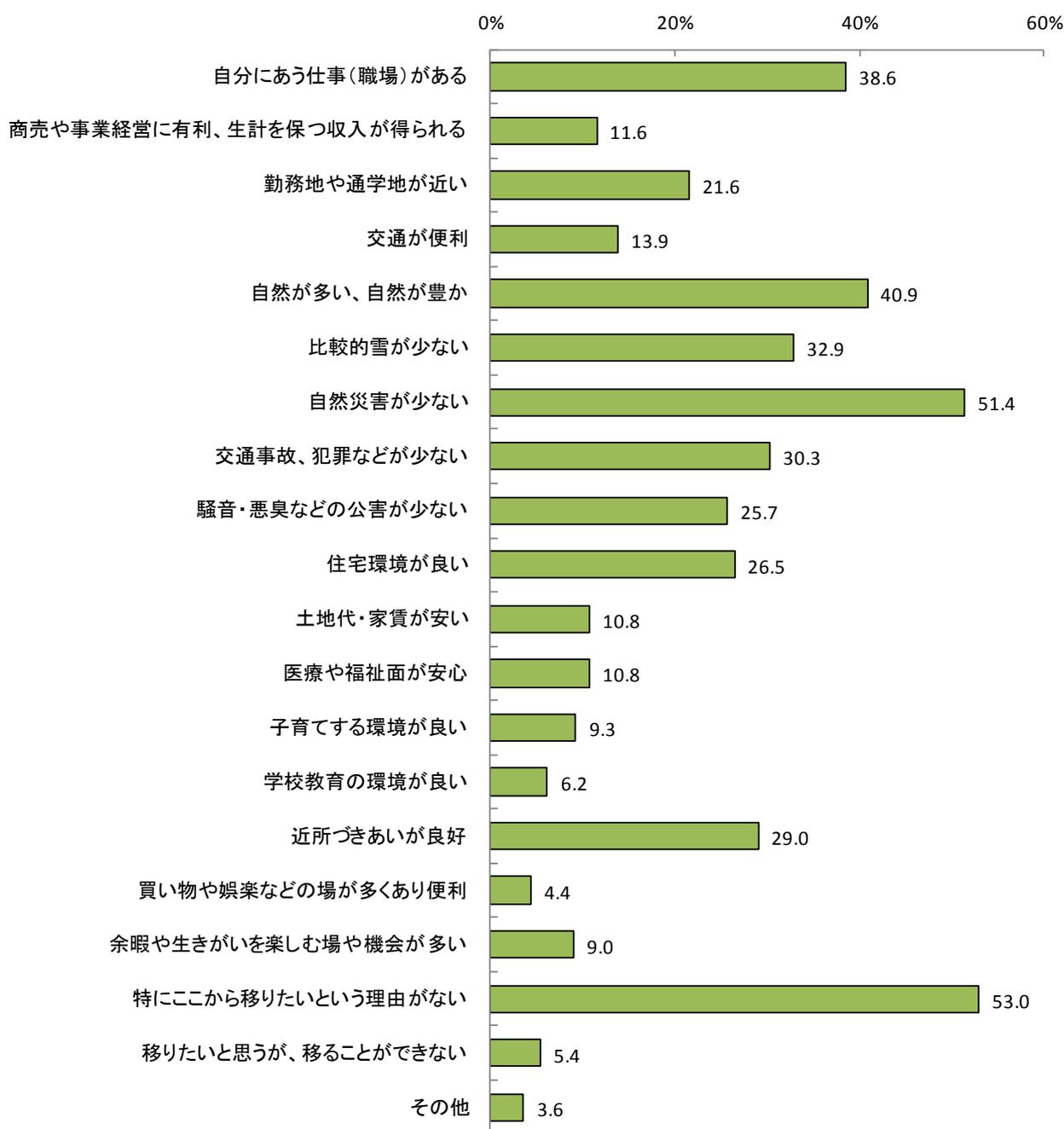
○今回のアンケートと前回（平成 17 年度実施）と比べると、「町外に移りたい」はやや低くなりましたが、「どちらともいえない」が高くなり、「今住んでいる場所に住み続けたい」が低くなっています。



【問3-1】問3で「1.今住んでいる場所に住み続けたい」を選んだ方にお尋ねします。その回答を選んだ理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

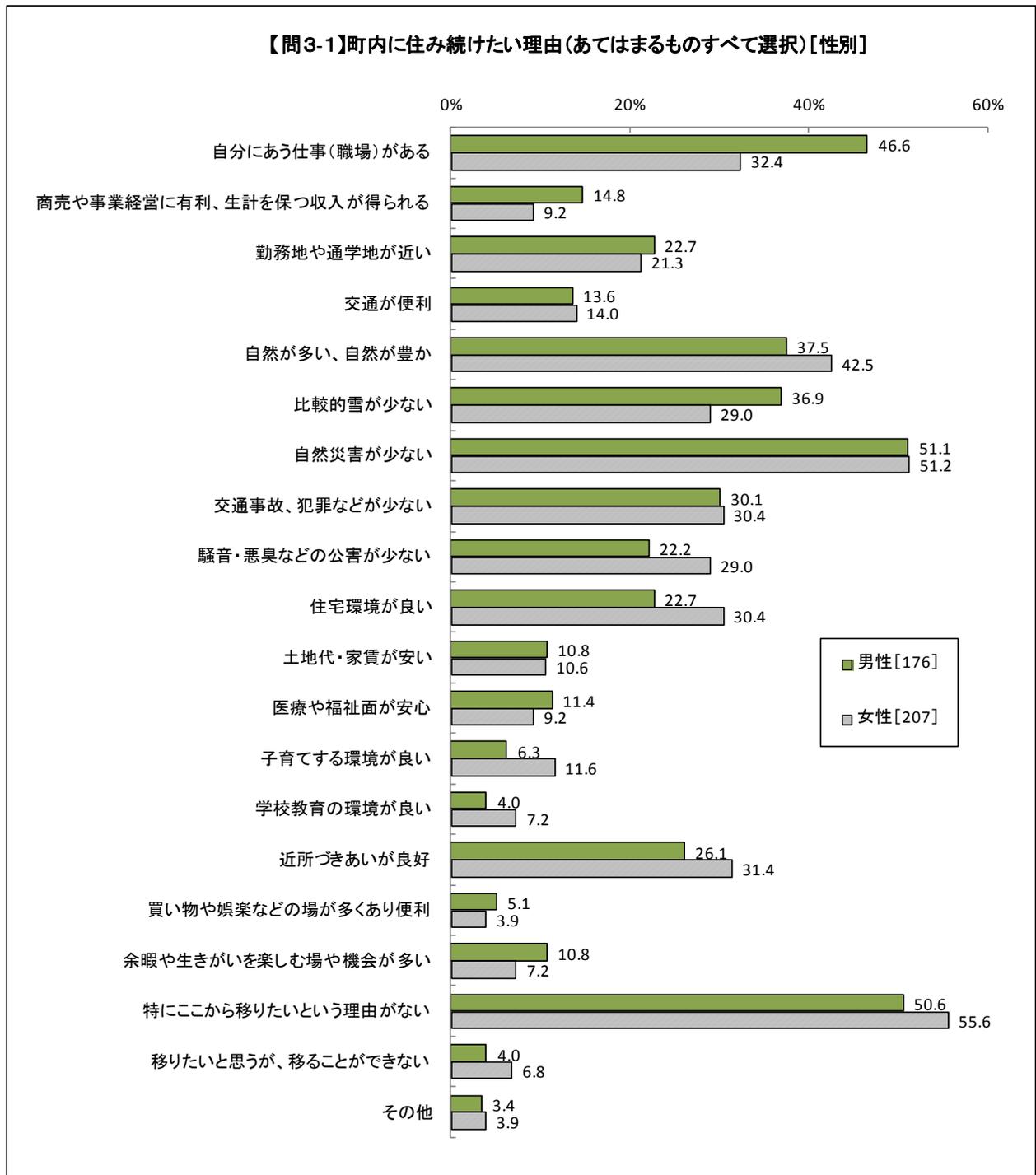
○「特にここから移りたいという理由がない」(53.0%)が最も高く、「自然災害が少ない」(51.4)が僅差で続きます。その後「自然が多い、自然が豊か」(40.9%)、「自分にあう仕事(職場)がある」(38.6%)と続きます。

【問3-1】今の場所に住み続けたい理由(あてはまるものすべて選択) [389]

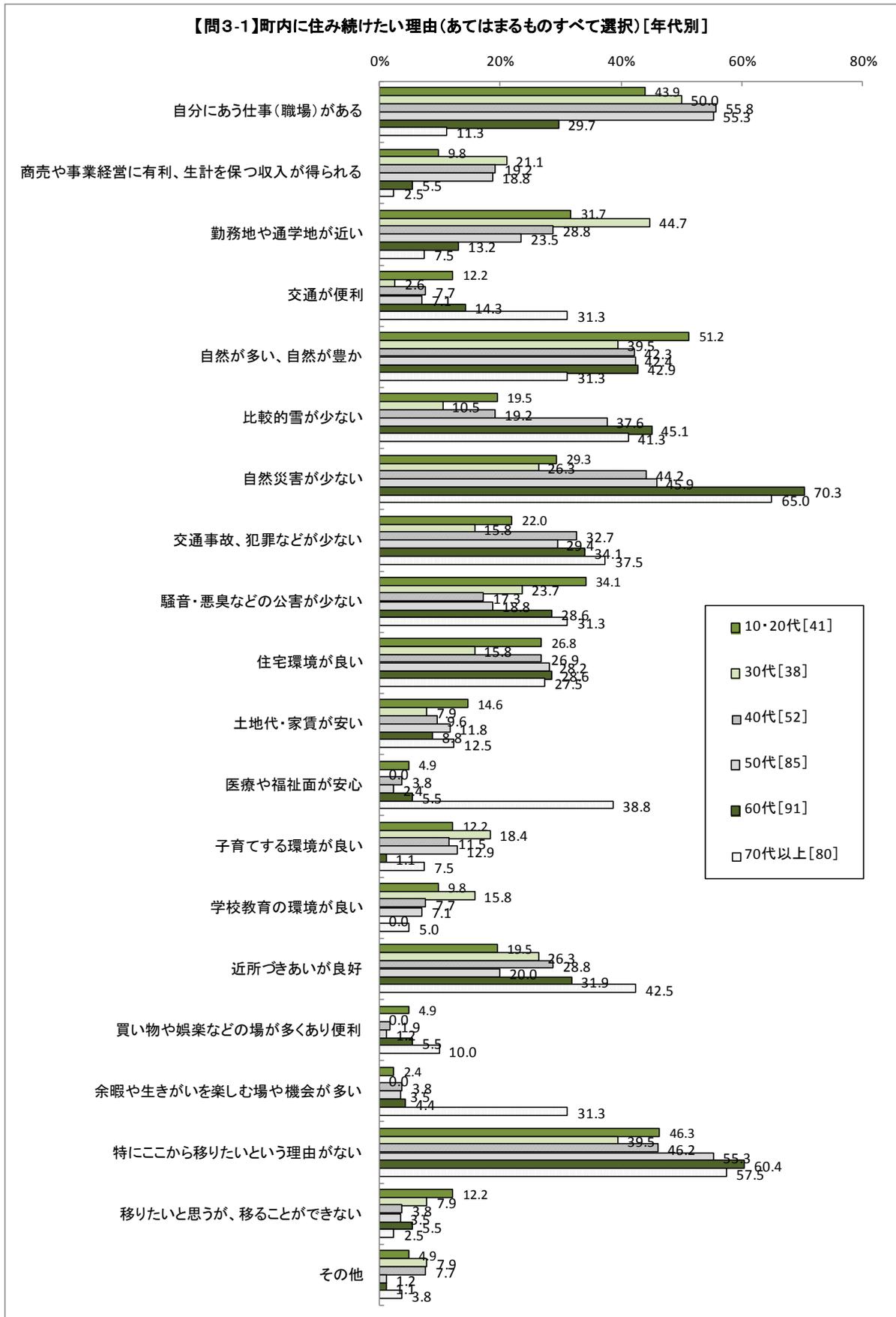


※「その他」の内容：持ち家があるため(6)。 農業をしているので(2)。 実家があるから。 親が居て老後を見たい。 住みなれている。 施設等が充実して清潔でよいのですが介護用トイレがないのは残念。 夫の職場があるから。 年齢が増すにつれ今の住宅に居る事が出来るか不安。

- 性別で見ると、男性は「自然災害が少ない」、女性は「特にここから移りたいという理由がない」が1位です。「自分にあう仕事（職場）がある」は男性が高く、差がめだちます。



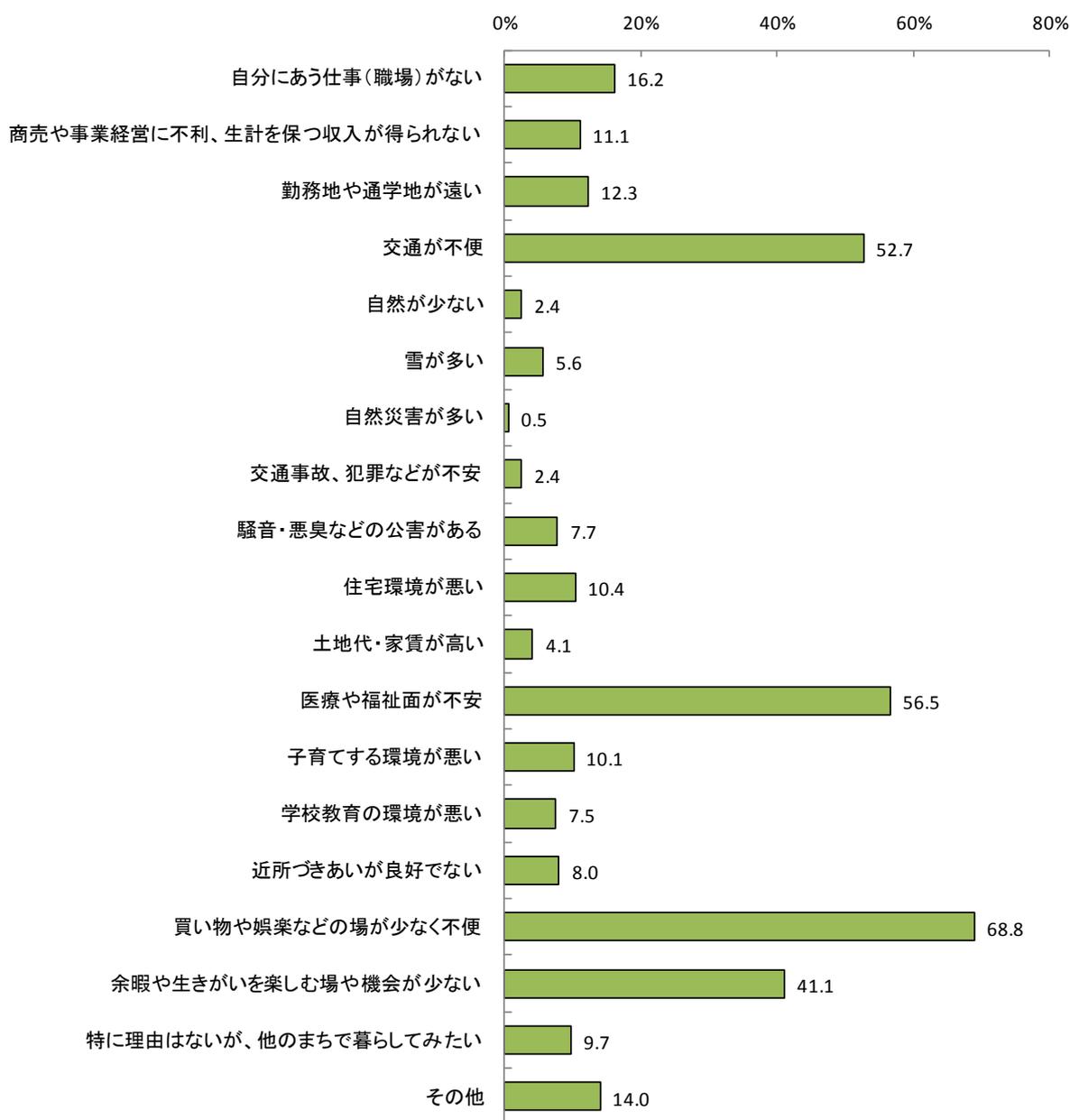
- 年代別に1位をみると、10・20代は「自然が多い、自然が豊か」と30代から50代までは「自分にあう仕事（職場）がある」、60代と70代以上は「自然災害が少ない」です。



【問3-2】問3で「2.町内の別の場所に移りたい」「3.どちらともいえない」「4.町外に移りたい」を選んだ方にお尋ねします。その回答を選んだ理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

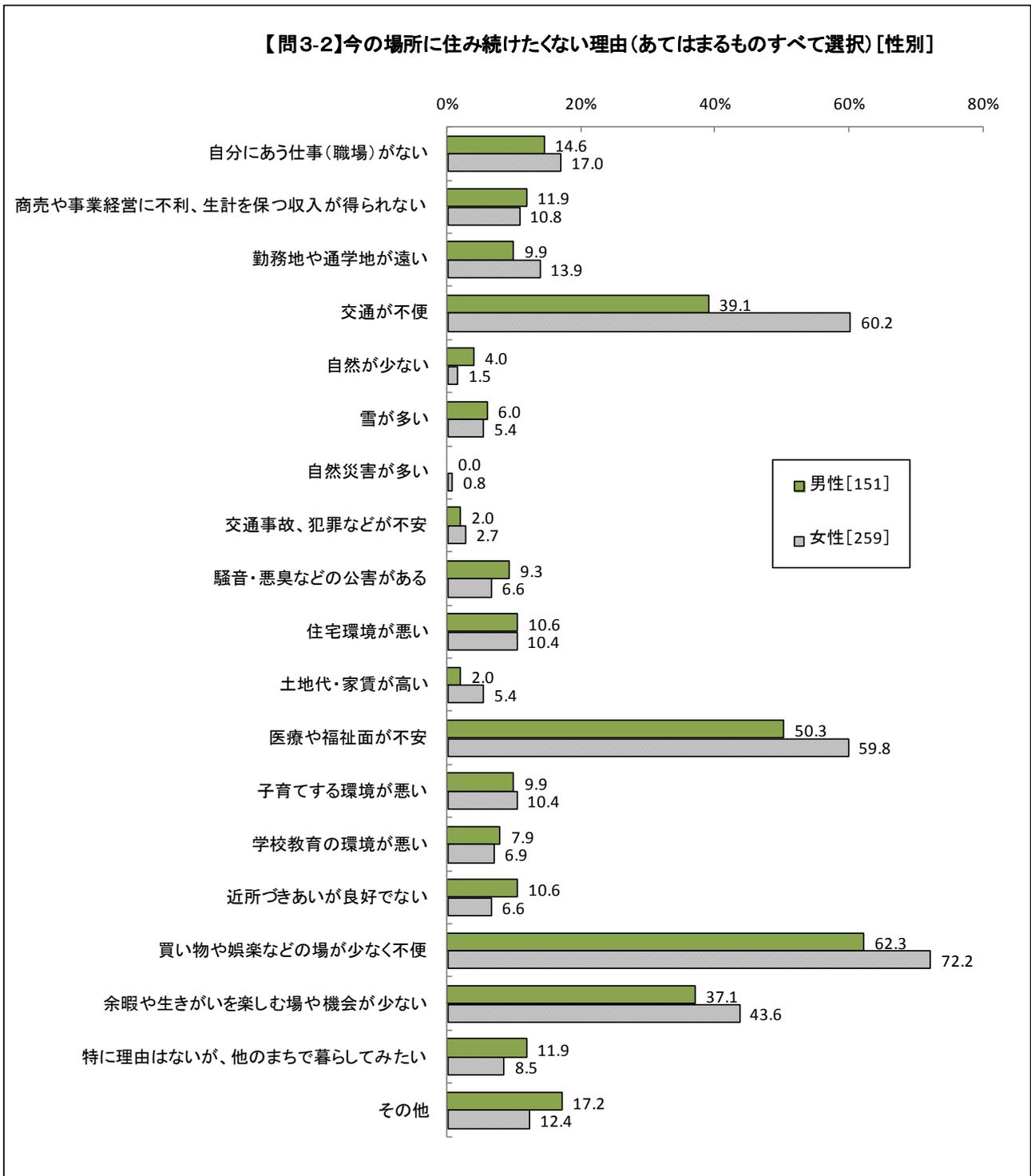
○「買い物や娯楽などの場が少なく不便」(68.8%)が最も高く、「医療や福祉面が不安」(56.5%)、「交通が不便」(52.7%)が続きます。

【問3-2】今の場所に住み続けたくない理由(あてはまるものすべて選択) [414]

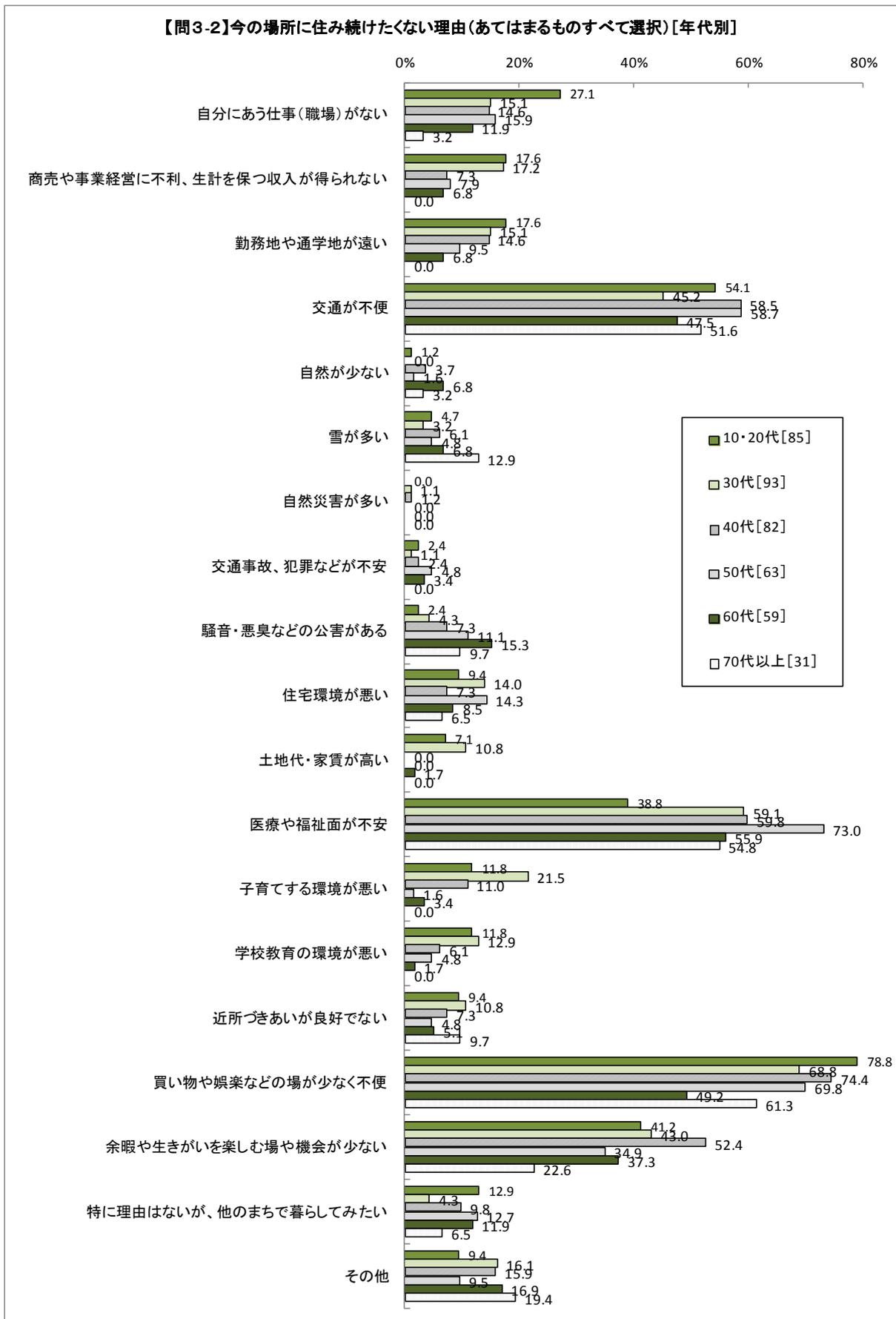


※「その他」の内容：実家が町外、親の面倒をみるため(7)。子供が町外(5)。先のことはわからない、今後の状況次第(5)。今後移動手段が心配(4)。今後健康面で心配(3)。魅力がない(3)。人の噂話が多い(3)。飲食店が少ない(2)。冬が寒い、雪が多い(2)。土幌町出身でないとなじみにくい。町外者や農家以外の人に冷たく、人を見下したり悪口や噂話ばかりしている。土幌の人がこわい。町民、特に僻地住民が過剰に保守、排他的で価値観の多様性を受け入れない。住人の価値観に疑問を感じる事が多々ある。野焼きが多く火事が怖い。公民館、農協と行事が多すぎる。旅行などの時、空港や駅が遠い。通信環境が悪い。樹木の枯れ葉が飛んで来てたまらない。住宅地の舗装を全然直さない。環境が変わった。この町でしたいと思えることがない。今の場所にずっと住んではいけないと思う。いなか。中土幌地区は店がなく不便だ。町づくりとしてのレベルが低い。独身だから。やはり都会は便利。しかし自然豊かな土幌も魅力的(悩)。

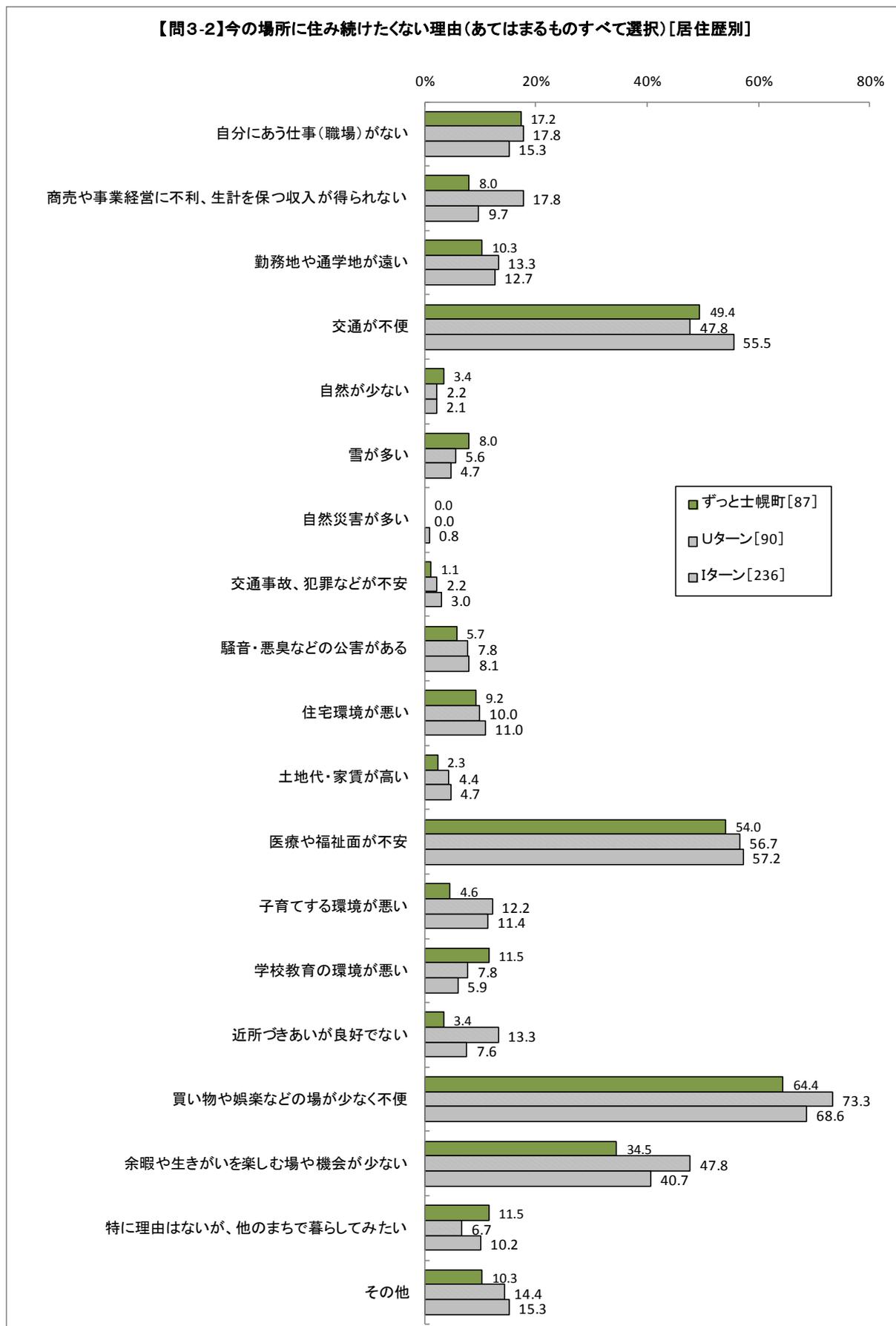
- 性別でみると、上位3位は男女とも同じですが、いずれも女性の回答率が高いです。「交通が不便」は女性の回答率が特に高く、男女の差がめだちます。



- 年代別に1位をみると、50代と60代は「医療や福祉面が不安」、その他の年代は「買い物や娯楽などの場が少なく不便」です。50代は「医療や福祉面が不安」が他の年代に比べて特に高く、差がめだちます。



●居住歴別でみると、上位3位はいずれも同じです。

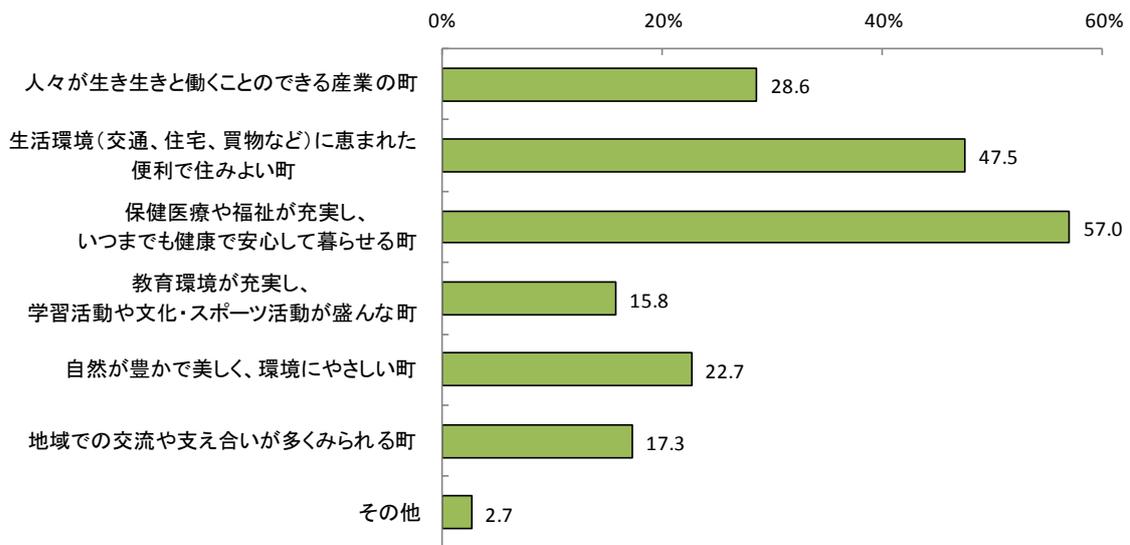


4 町の将来像

【問4】土幌町の将来に、どのような姿を望みますか。あなたの考えに近いものから2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」(57.0%)が最も高く、「生活環境(交通、住宅、買物など)に恵まれた便利で住みよい町」(47.5%)が続きます。

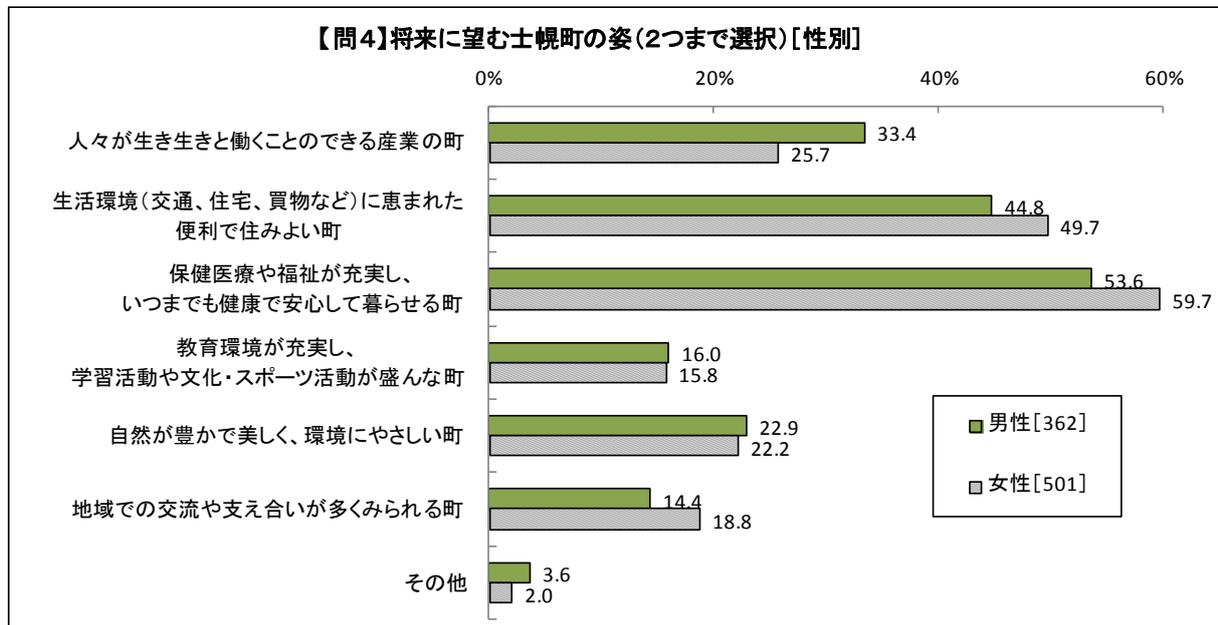
【問4】将来に望む土幌町の姿(2つまで選択)[874]



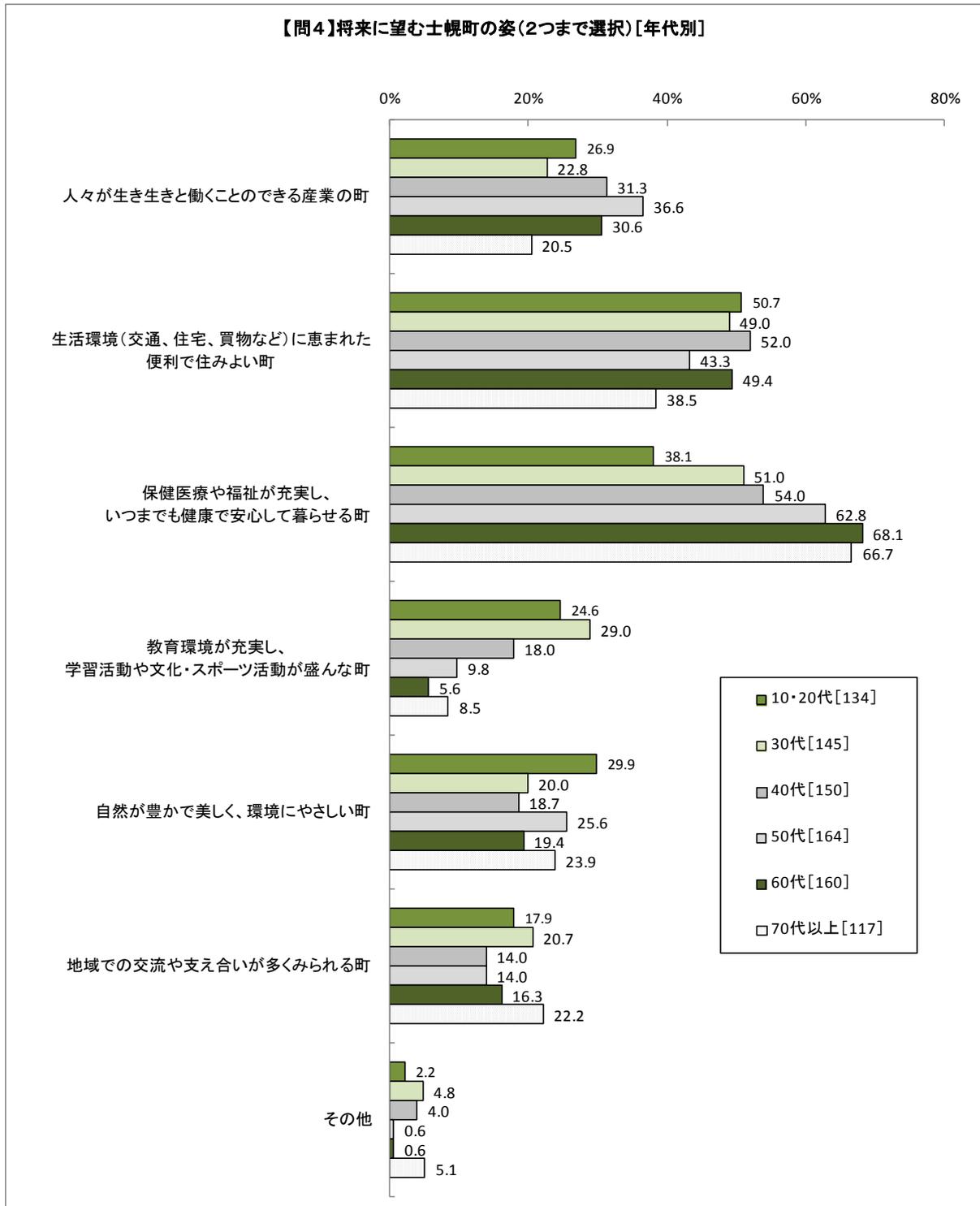
※「その他」の内容：安心して子供が育てられる様な町。 ゲームセンターなど若者が集まれる町。 若い人が増える環境。 高齢者が不安なく住めるような(行き場のないような事なく)。 娯楽のある町。 他町村の人達が立寄りたくなるような町。 産業が観光となる町。 農業の産業化による地域レベルの向上。 観光など楽しめる場があってほしい。 町外からも来てくれる。 土幌市街を中心としないで、小町中土幌を考えてほしい。 町外などの人への冷遇やうわさ話をする人が少なくなる様、お店、ご楽などの居場所がある町。 可能なかぎり原生林に戻してゆく。 保育士(特にベテラン)の意識の向上。 生活道路の維持に力を入れてほしい。

- 性別でみると、男女とも1位、2位は同じですが、いずれも女性の回答率が高いです。3位は男女とも「人々が生き生きと働くことのできる産業の町」で、男性の方が高いです。

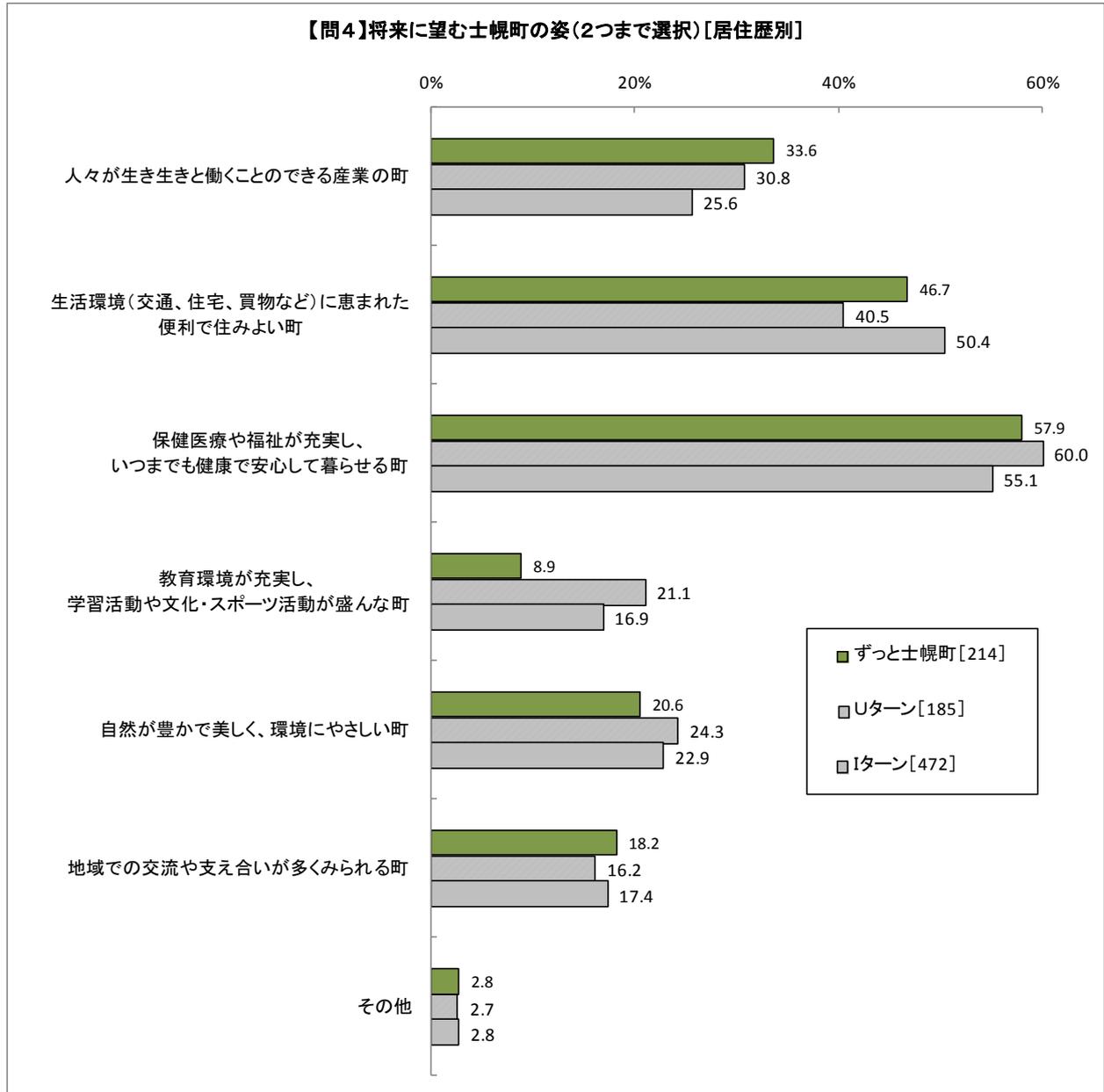
【問4】将来に望む土幌町の姿(2つまで選択)[性別]



- 年代別に1位をみると、10・20代は「生活環境に恵まれた便利で住みよい町」、その他の年代は「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」です。「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」は年代が高くなるにつれて回答率が高まる傾向にあります。



- 居住歴別でみると、いずれも「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」が1位です。「教育環境が充実し、学習活動や文化・スポーツ活動が盛んな町」はUターン、Iターンで高いです。

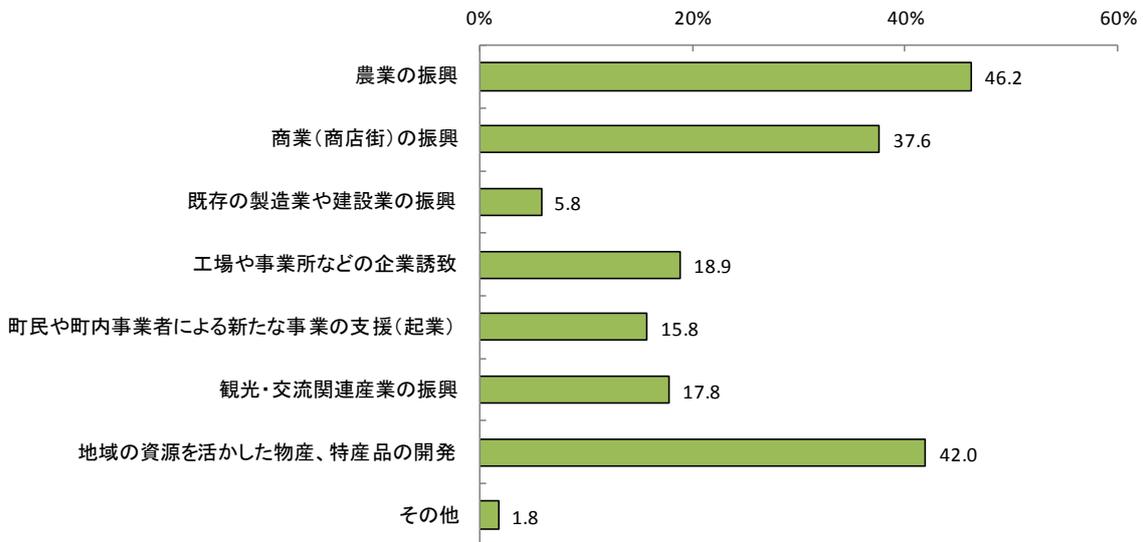


5 産業の振興

【問5】土幌町の産業振興として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

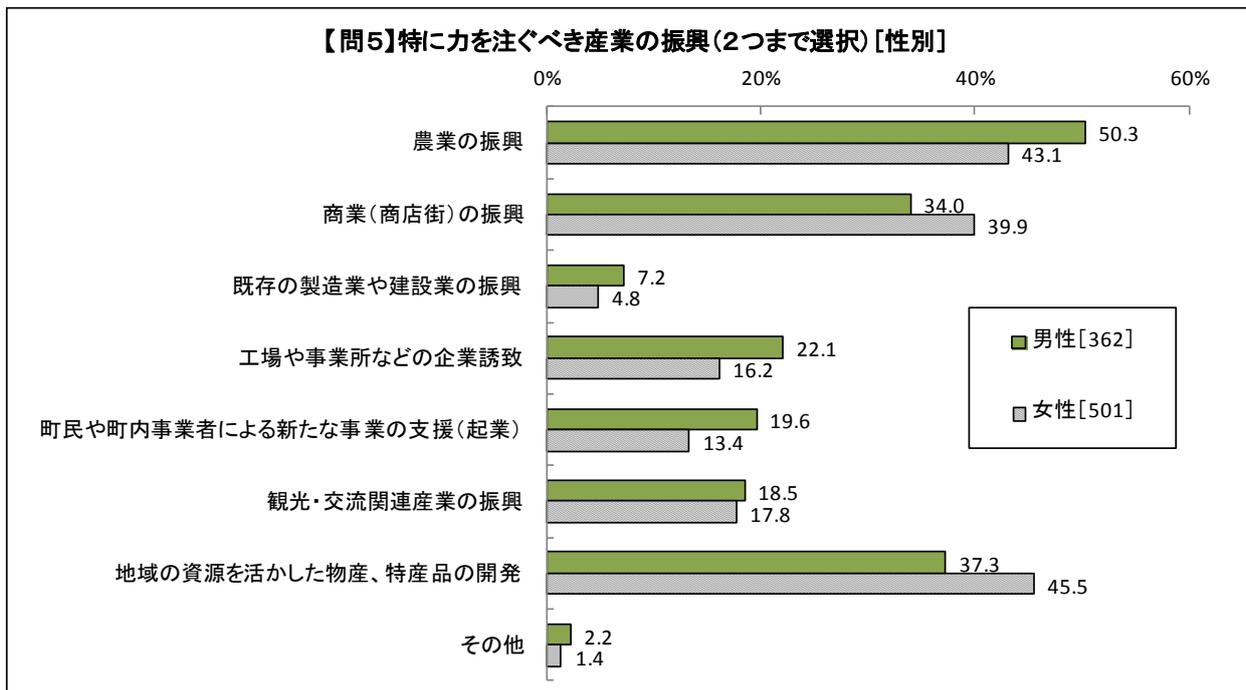
- 「農業の振興」が46.2%と最も高く、「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」(42.0%)が続きます。

【問5】特に力を注ぐべき産業の振興(2つまで選択) [874]



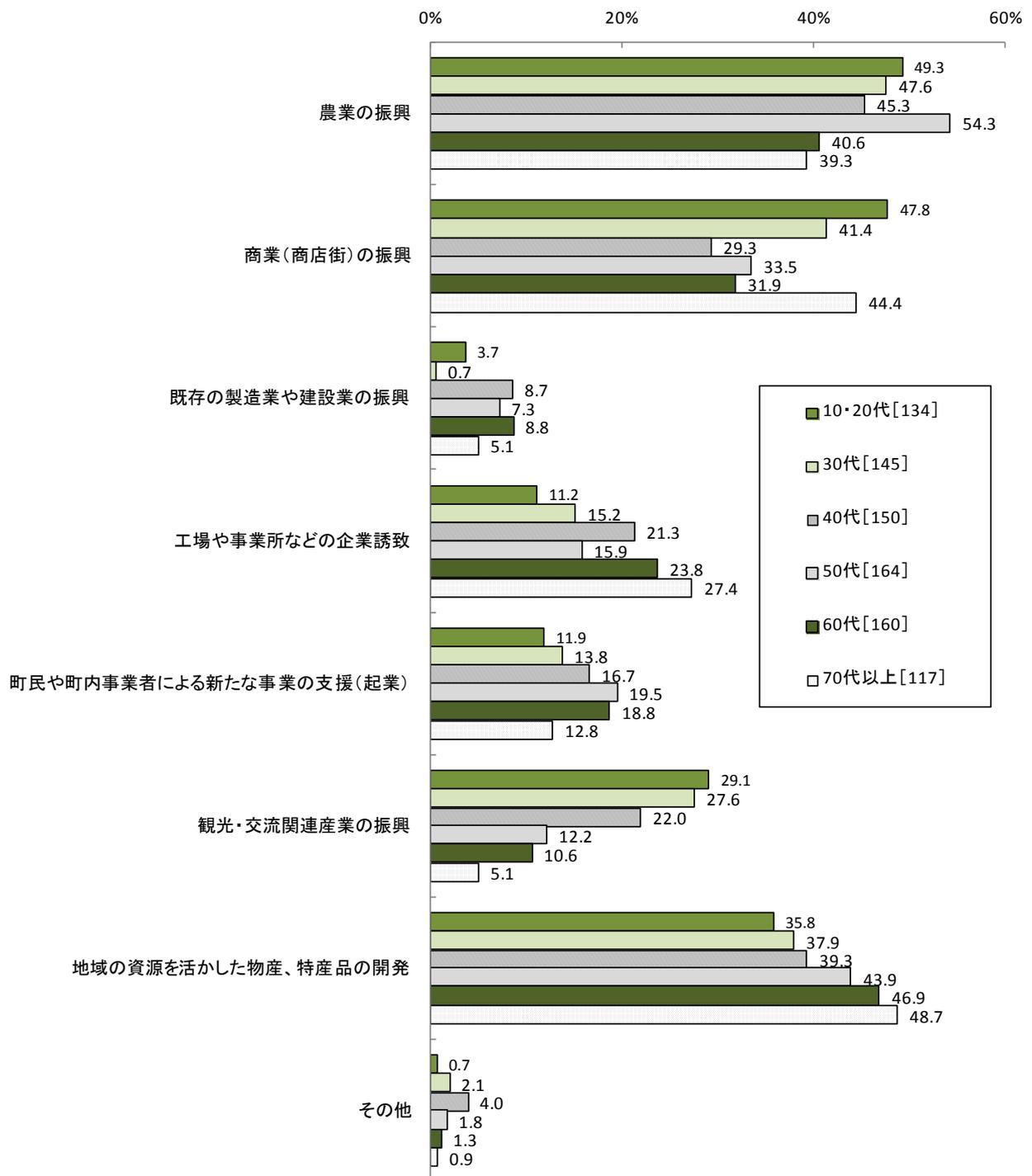
※「その他」の内容：空き店舗の活用(2)。中士幌市街に福祉と買物出来る所を。フクハラを入れる。若者が好む商業施設、娯楽の誘致。町外からの企業の受け入れ。今後重要になる分野の誘致(福祉分野のリハビリ等)し将来的に町内事業者として活躍してもらおう。仕事(就職先)を増やす。ありとあらゆる自然エネルギーを活用する。外国語の教育を進める。後継者の育成と働きかけ。若い人が自分の力を出していきいき活動出来るスポットがほしい。情報技術による田舎および田舎産業の営業、アピール。多様化された農業と商業の融合。人の住まない自然保護区にする。

- 性別でみると、男性は「農業の振興」、女性は「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」が1位です。

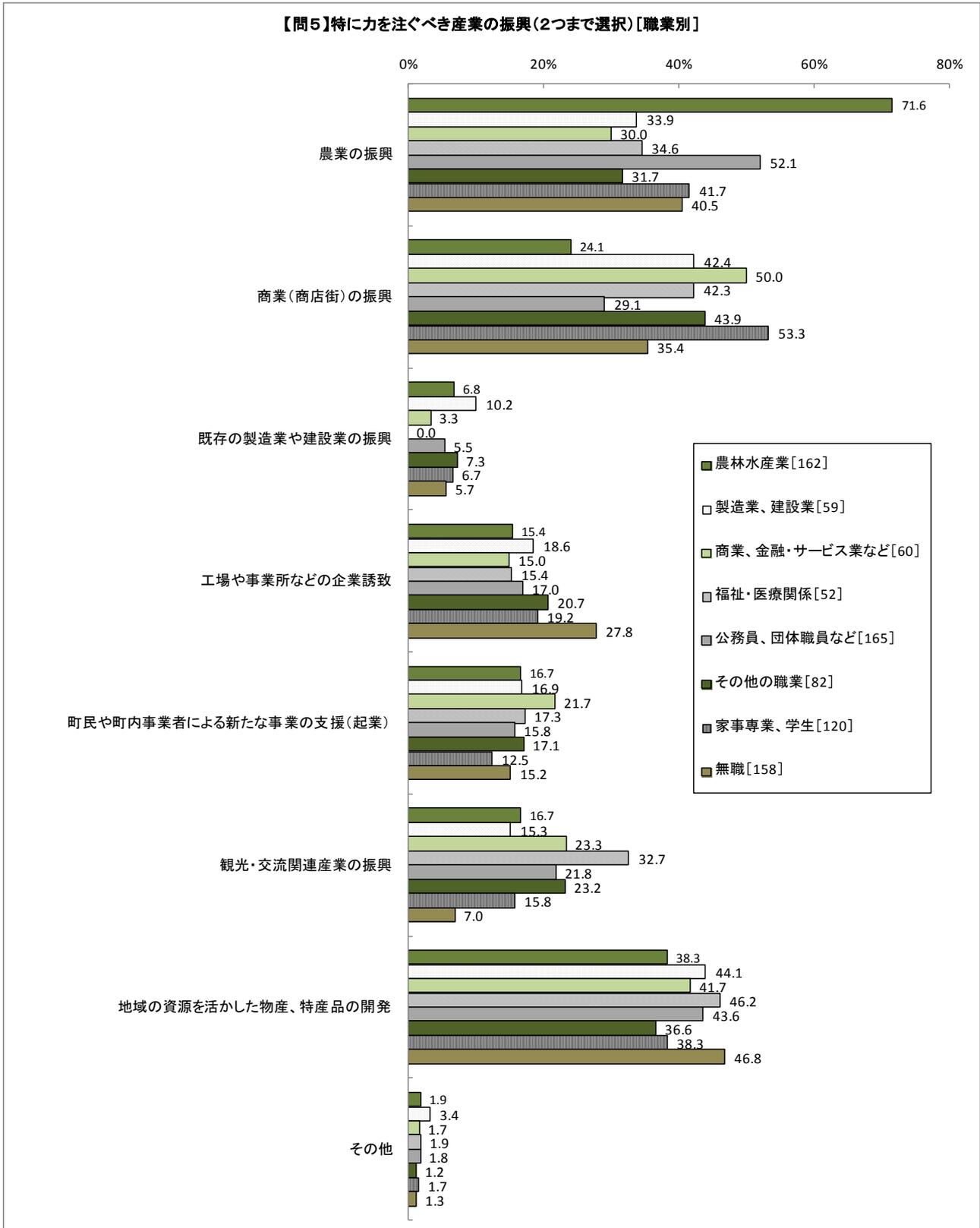


- 年代別に1位をみると、50代以下は「農業の振興」、60代と70代以上は「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」です。「観光・交流関連産業の振興」は年代が低いほど回答率が高くなり、「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」は年代が高いほど回答率が高くなります。「工場や事業所などの企業誘致」も年代が高いほど回答率が高くなる傾向にあります。

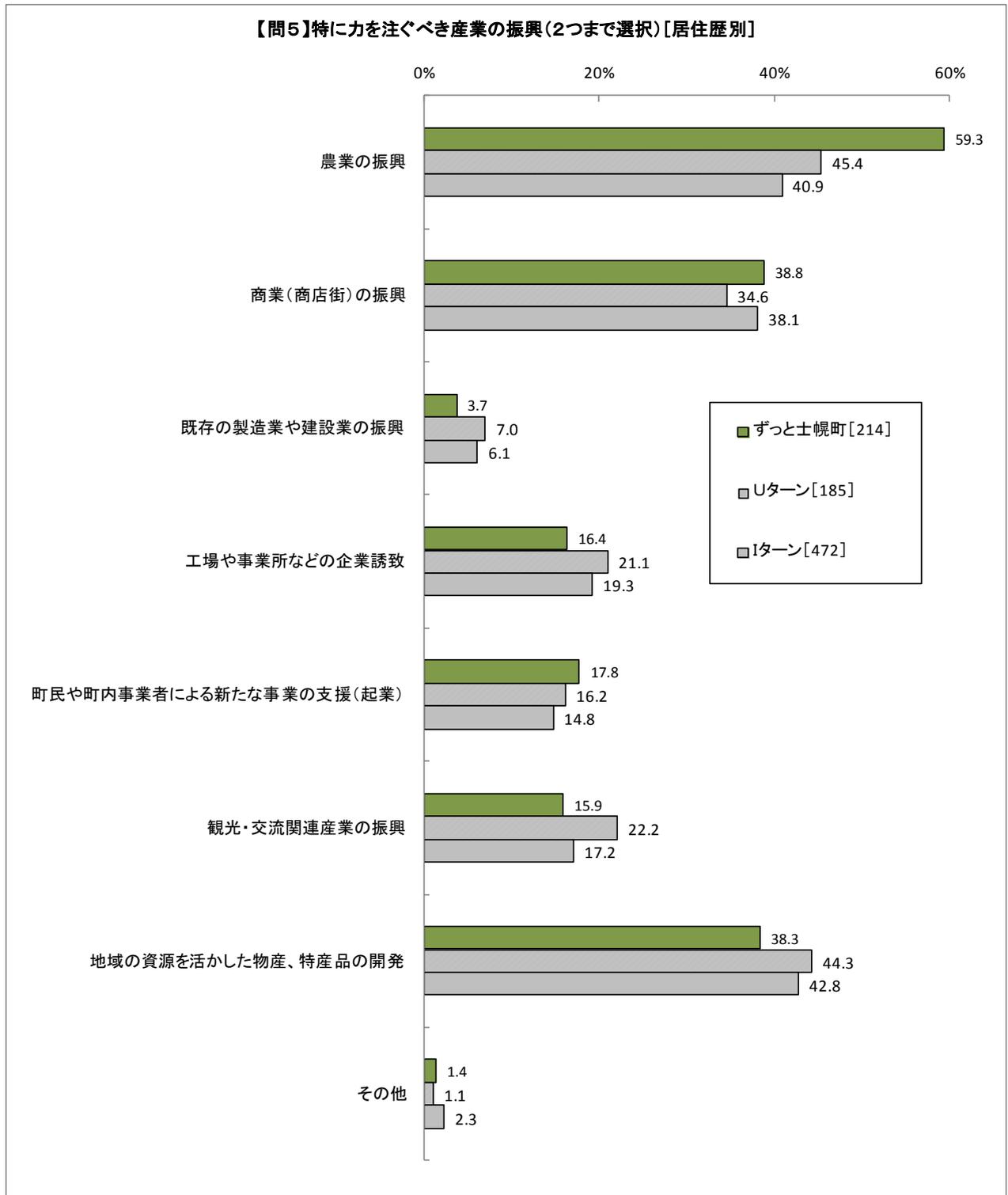
【問5】特に力を注ぐべき産業の振興(2つまで選択)[年代別]



- 職業別に1位をみると、農林水産業と公務員、団体職員などは「農業の振興」、商業、金融・サービス業など、その他の職業、家事専業、学生は「商業（商店街）の振興」、それ以外は「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」です。「農業の振興」は農林水産業、「観光・交流関連産業の振興」は福祉・医療関係で高く、差がめだちます。



- 居住歴別に1位をみると、ずっと土幌町とUターンは「農業の振興」、Iターンは「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」です。

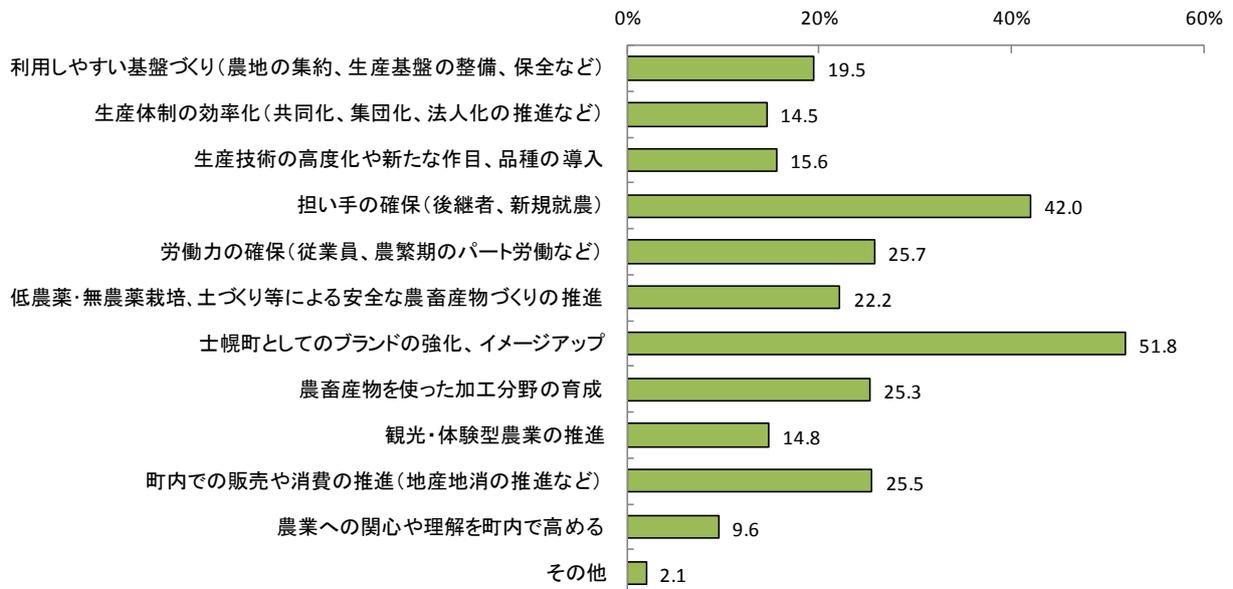


6 農業の振興

【問6】土幌町の農業振興として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

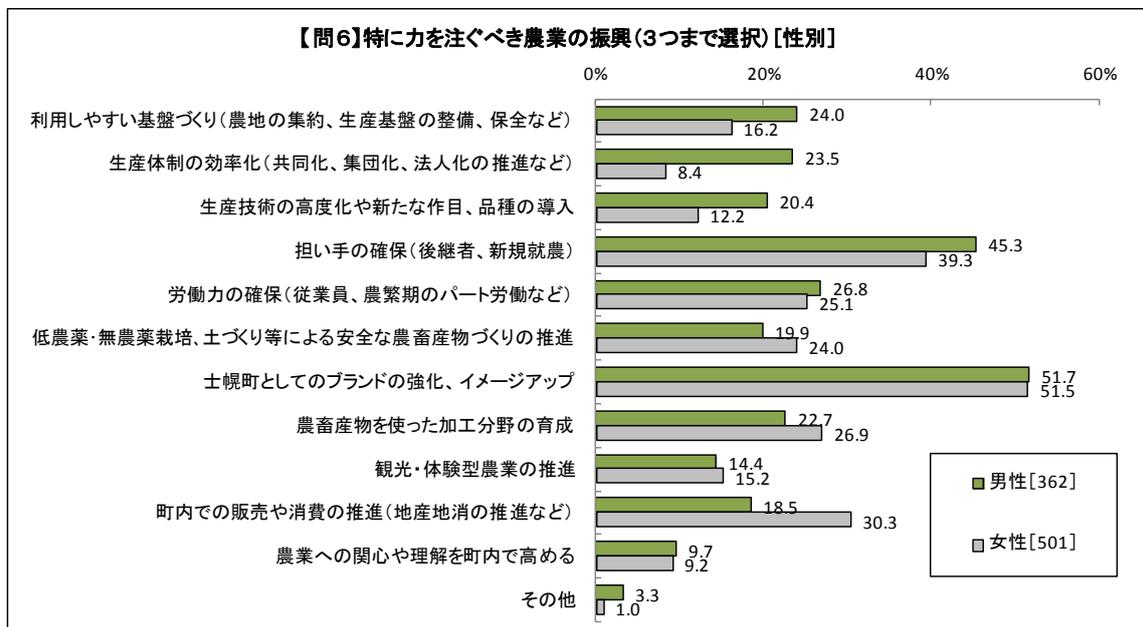
○「土幌町としてのブランドの強化、イメージアップ」が51.8%と最も高く、「担い手の確保（後継者、新規就農）」（42.0%）が続きます。

【問6】特に力を注ぐべき農業の振興（3つまで選択）[874]

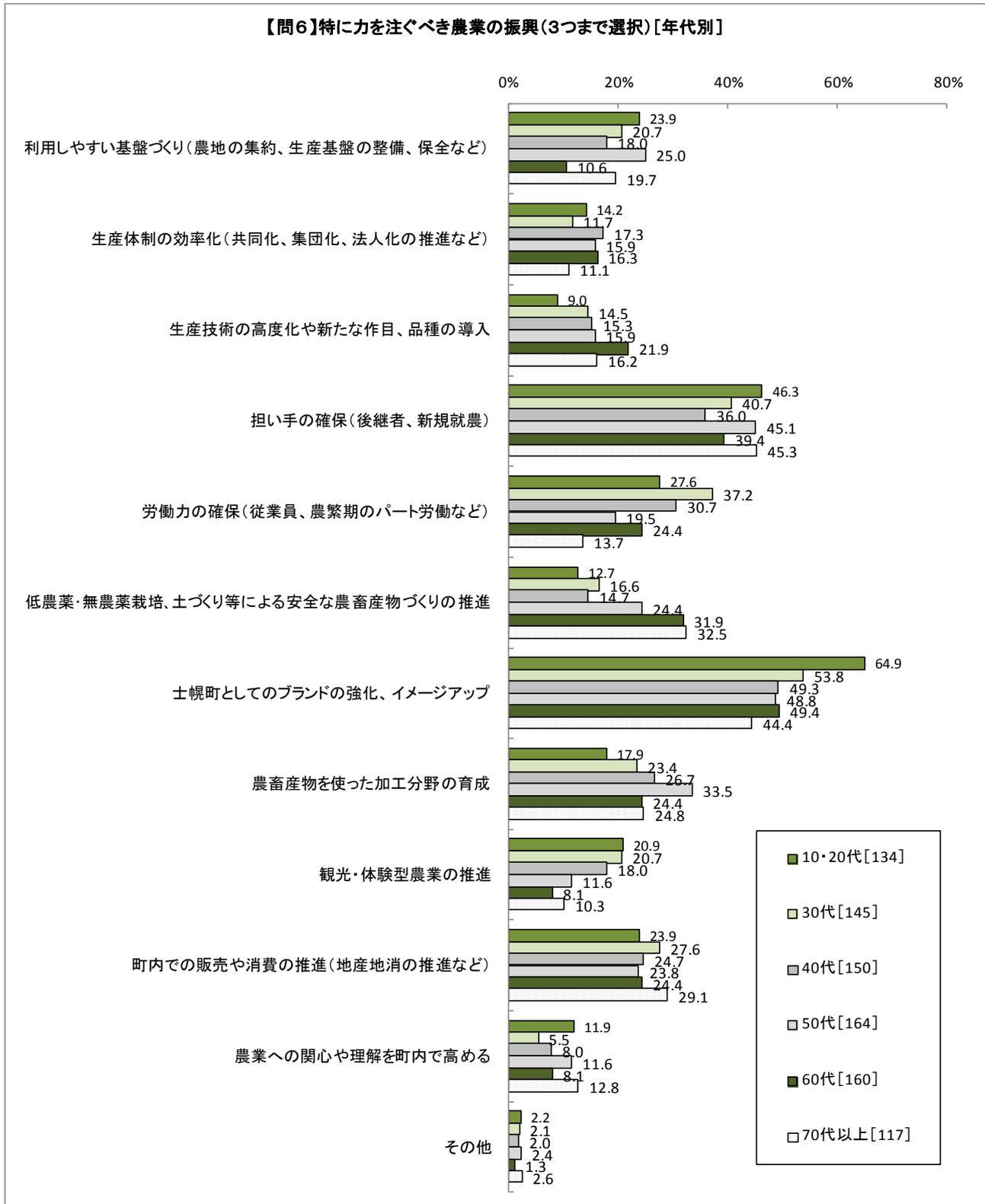


※「その他」の内容：町外へのPR（2）。JAとの提携（2）。JAが本気になる、積極的になる（2）。JAと同等で互いに力をあわせられる生産基盤の強化。でん粉工場、ポテチはもう忘れて新しいものを取り込んでブランド化を。牛肉、チップス、コロッケ等沢山生産物はあるが宣伝する気が全くない。基幹産業を理解し協力し合う（農業関係者以外の人も）。高校の農畜産物のブランドの強化・育成。農業生産者、農家の後継者への教育。農家となる人間がもっと外に出て広く世界を見聞して歩き、人間性、人格をみがく機会を増やす。後に生産者となった時に消費者目線で物を見られる様に。農家宅地の集約化。植林をして原生林に戻す。町民に農業の辛さをわからせる。

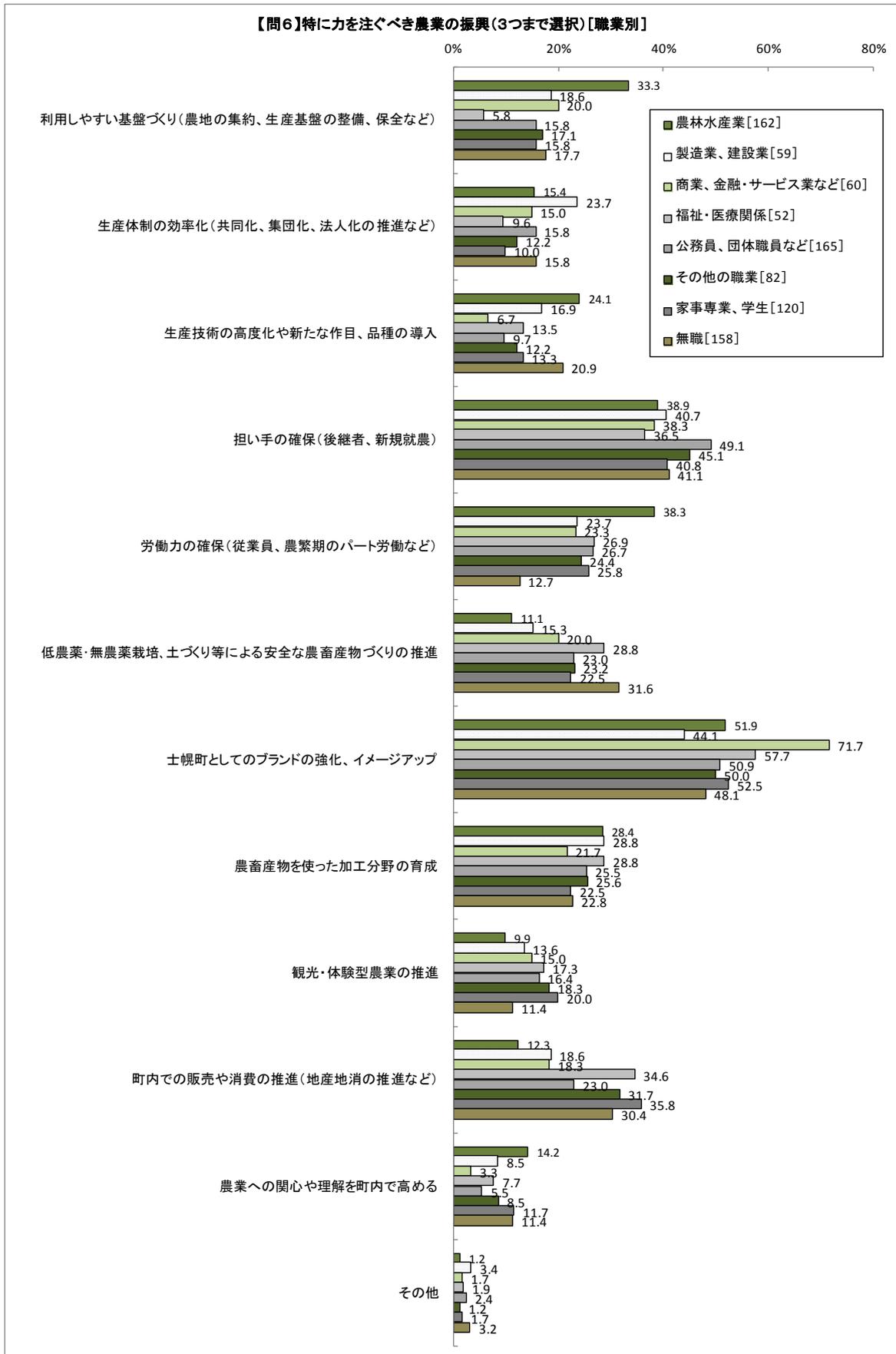
●性別でみると、男女とも1位、2位は同じです。3位は、男性は「労働力の確保（従業員、農繁期のパート労働など）」、女性は「町内での販売や消費の推進（地産地消の推進など）」です。「生産体制の効率化（共同化、集団化、法人化の推進など）」は男性、「町内での販売や消費の推進」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。



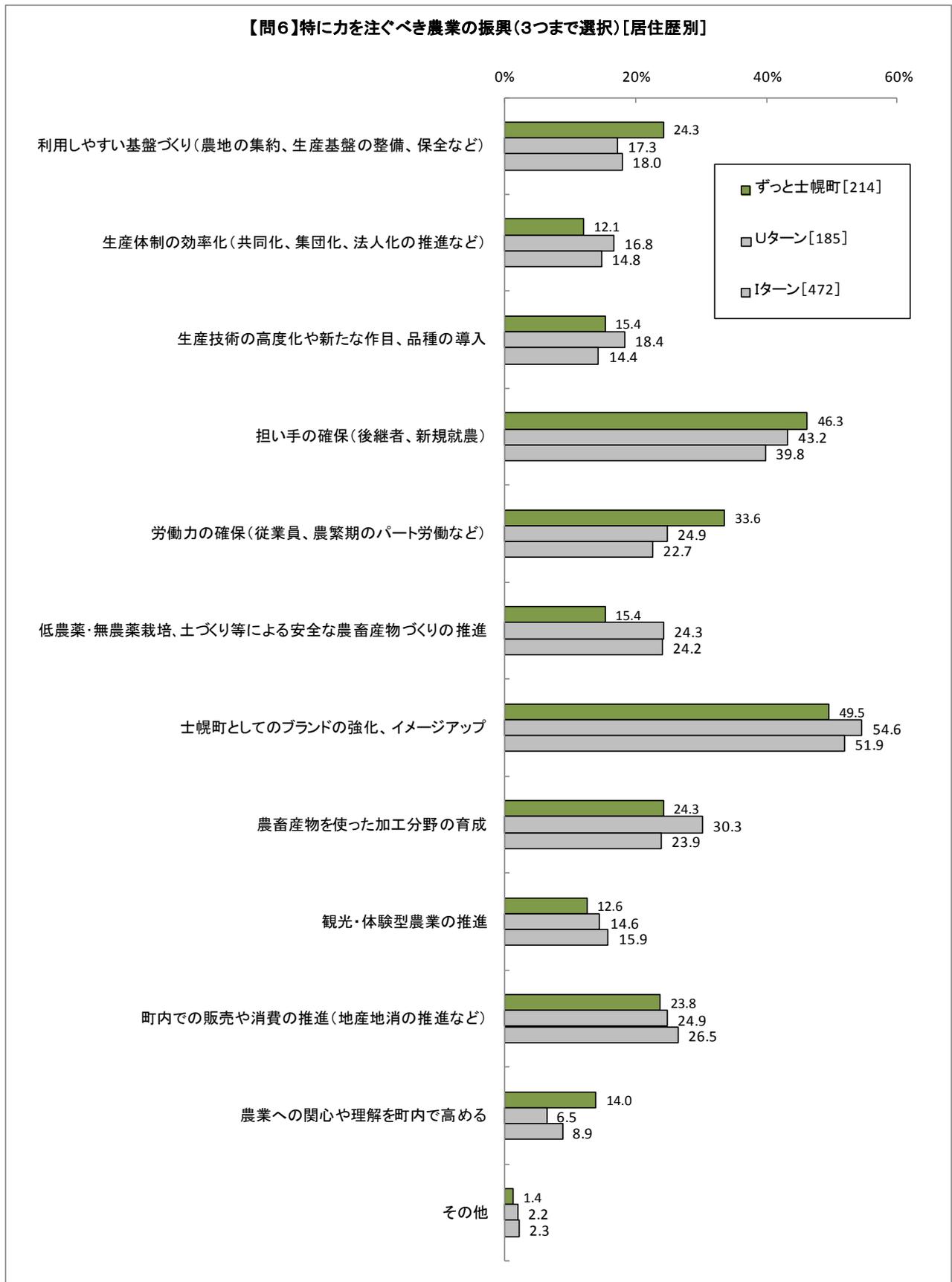
- 年代別に1位をみると、70代以上は「担い手の確保（後継者、新規就農）」、その他の年代は「土幌町としてのブランドの強化、イメージアップ」です。「土幌町としてのブランドの強化、イメージアップ」は年代が低いほど回答率が高いです。



●職業別でみると、いずれの職業も「土幌町としてのブランドの強化、イメージアップ」が1位で、特に商業、金融・サービス業などで高く、差がめだちます。「利用しやすい基盤づくり（農地の集約、生産基盤の整備、保全など）」は農林水産業で高いです。



- 居住歴別でみると、いずれも「土幌町としてのブランドの強化、イメージアップ」が1位です。

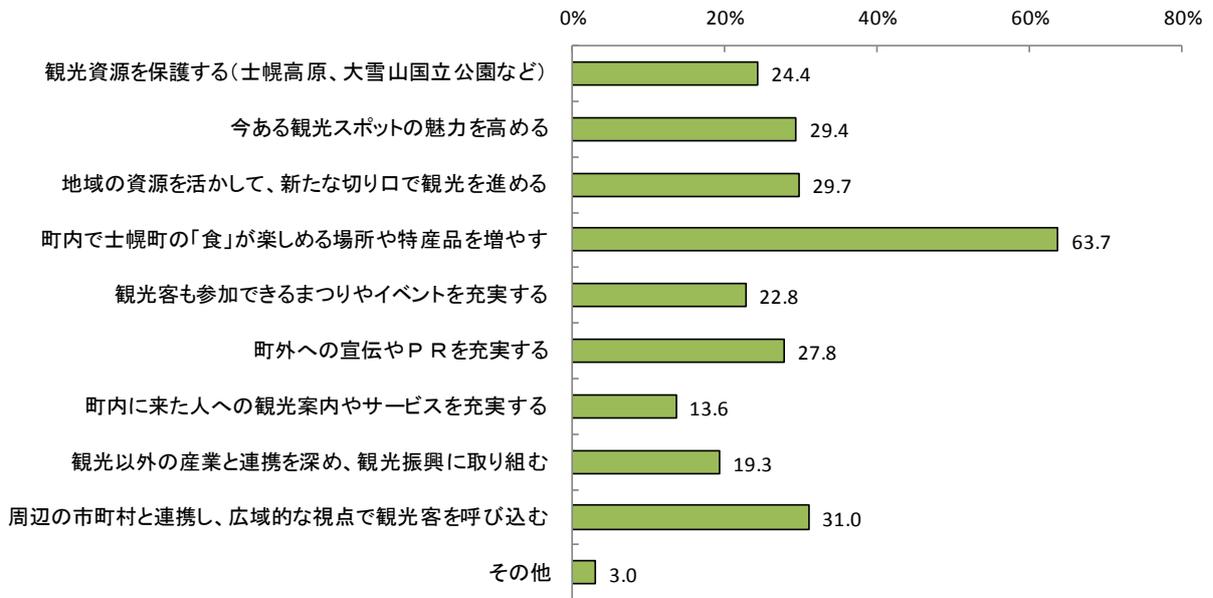


7 観光・交流の振興

【問7】観光・交流を振興するには、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

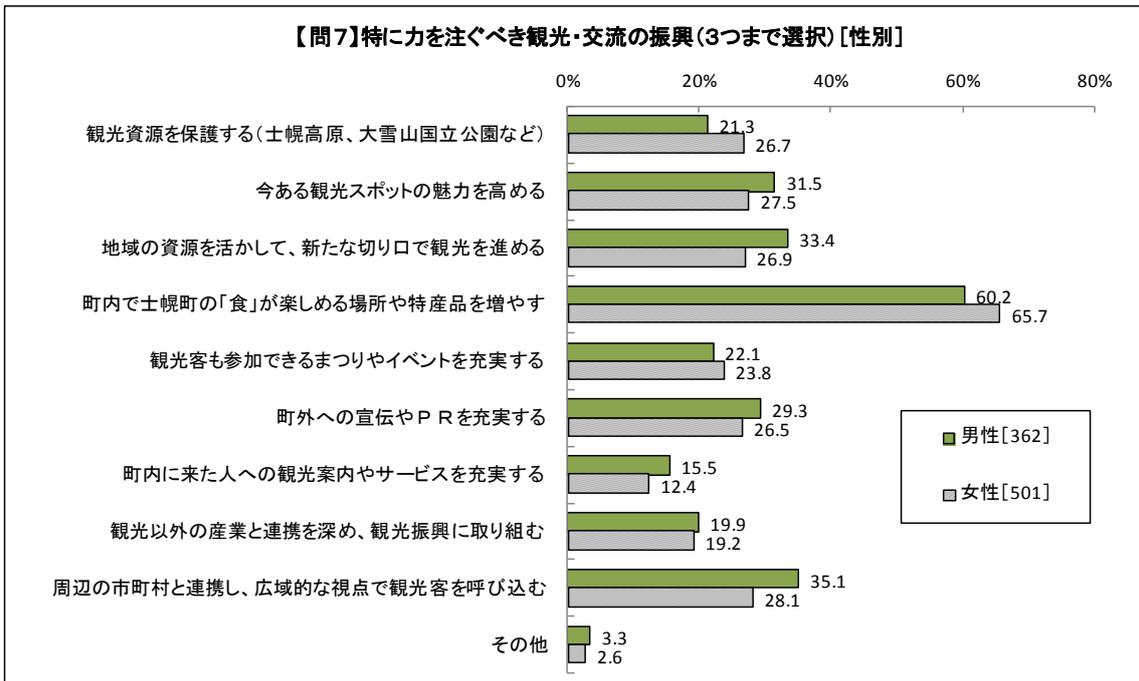
○「町内で土幌町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」(63.7%)が最も高く、突出しています。

【問7】特に力を注ぐべき観光・交流の振興(3つまで選択) [874]



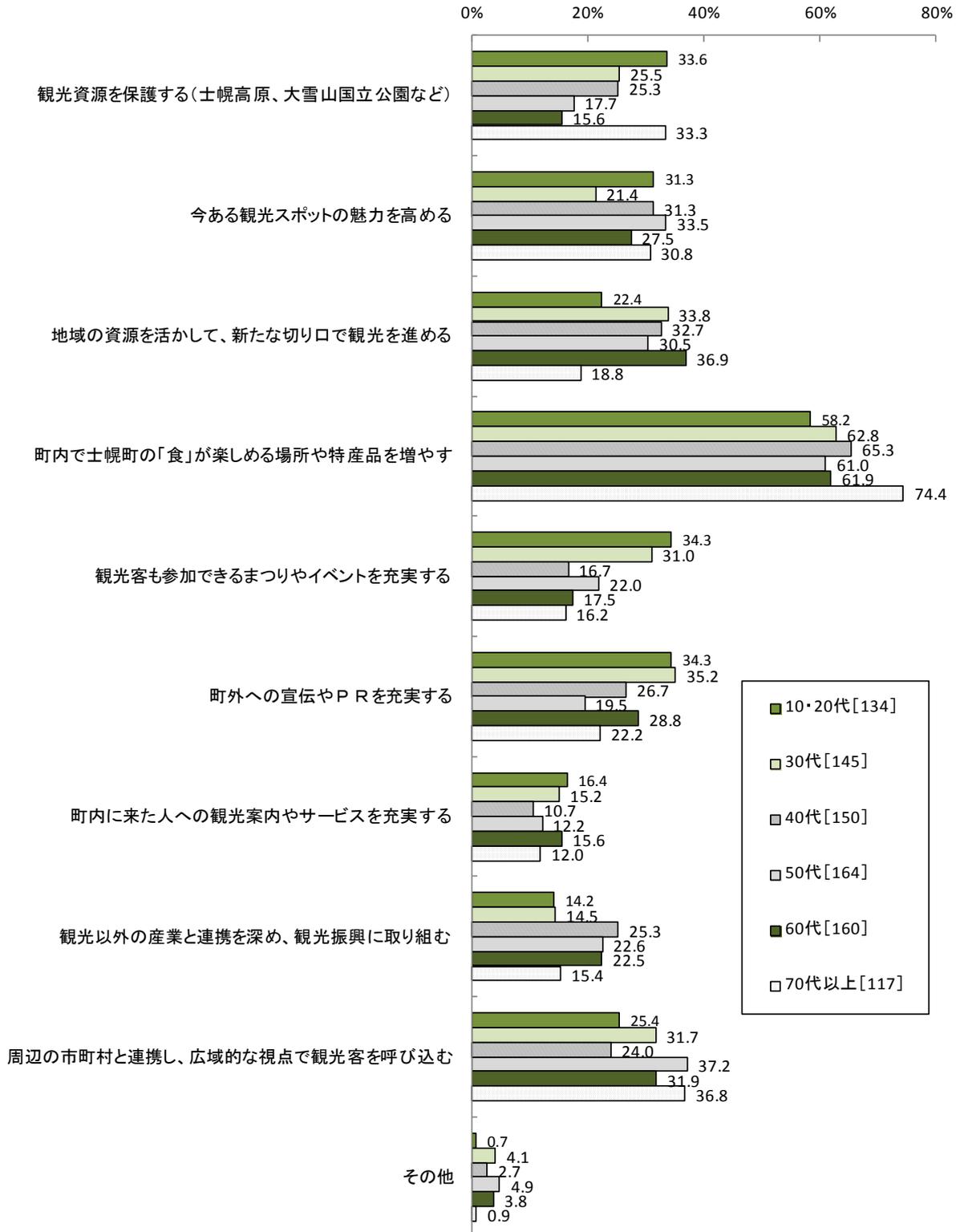
※「その他」の内容：道の駅の充実。ピア21の営業終了時間を20時頃にしてほしい。レストランに食べに行きたくても17:30まででは行けない。観光地での食を高める。新たな施設をつくる。アイドルを選出する。やちぼうず(北中)を活用、宣伝する。知らない人が多くもったいない。せっかく自然に囲まれていい場所なのだからキャンプ場にするなど利用者を増やしてみたい。外国語の教育を広く進める。然別湖への直通路(トンネル化)。魅力的なお祭りの開催等。物産展に行ってもだめ。もっと土幌に来てもらえる様に。広域な観光開発。商店街の活性化。日曜に店を閉めない利用状況への支援。町中のさびれた感じをなくす。観光スポットがない。観光にはそれほど力を注がなくてもよいのでは。

●性別で見ると、男女とも「町内で土幌町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」が1位です。

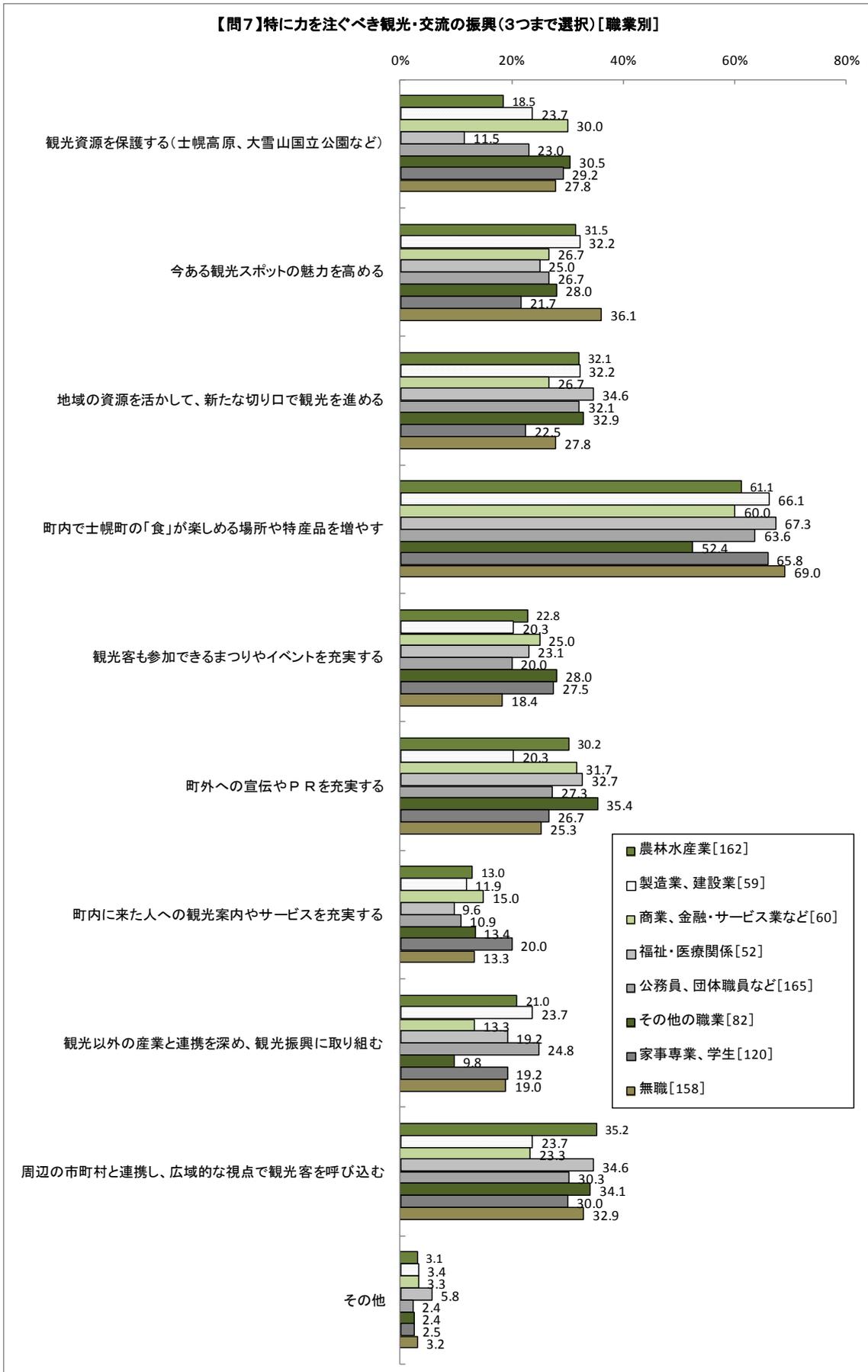


- 年代別でみると、いずれの年代も「町内で土幌町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」が1位です。10・20代や30代は「観光客も参加できるまつりやイベントを充実する」が他の年代に比べて高いです。

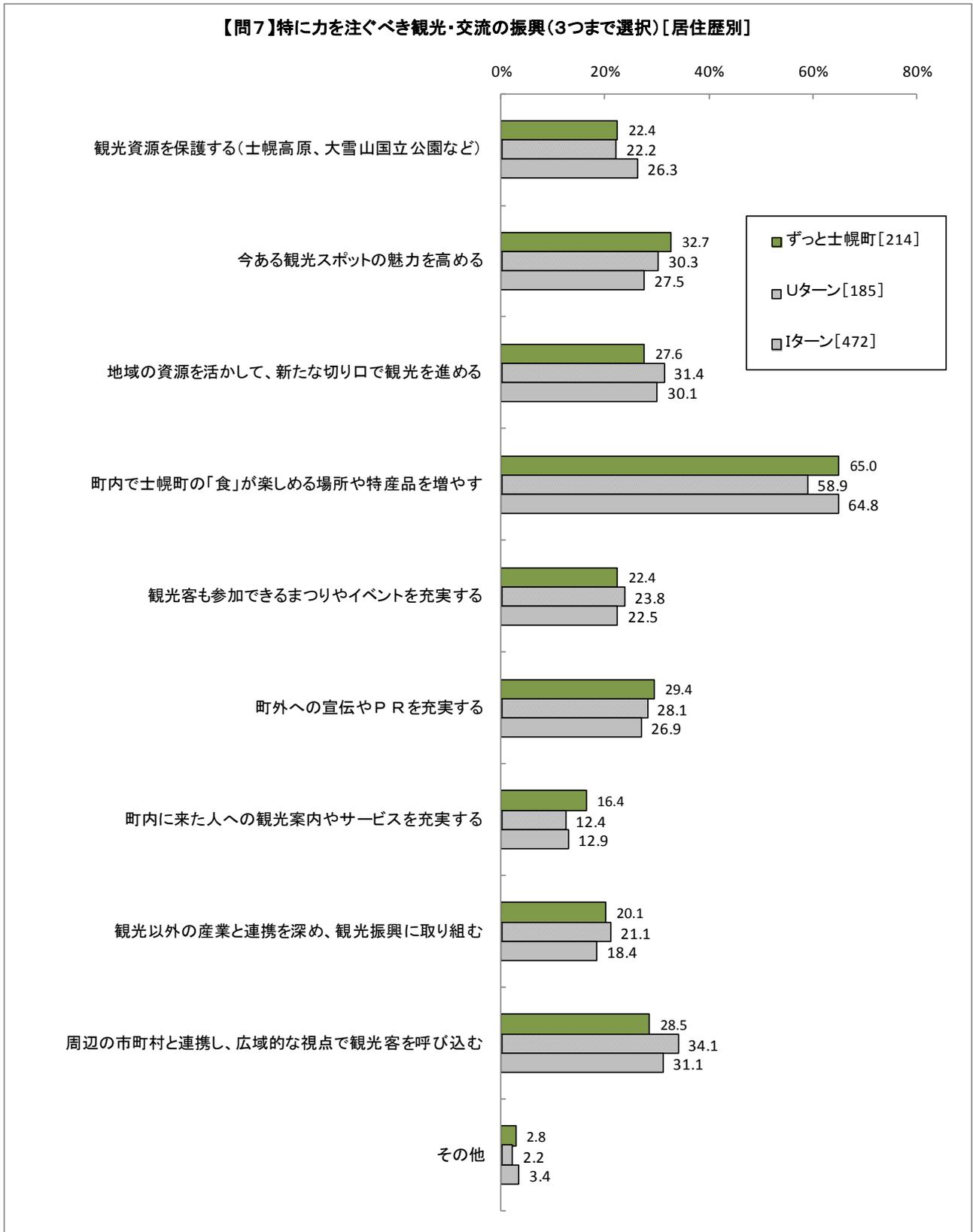
【問7】特に力を注ぐべき観光・交流の振興(3つまで選択)[年代別]



●職業別でみると、いずれの職業も「町内で土幌町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」が1位です。



- 居住歴別でみると、いずれも「町内で土幌町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」が1位です。

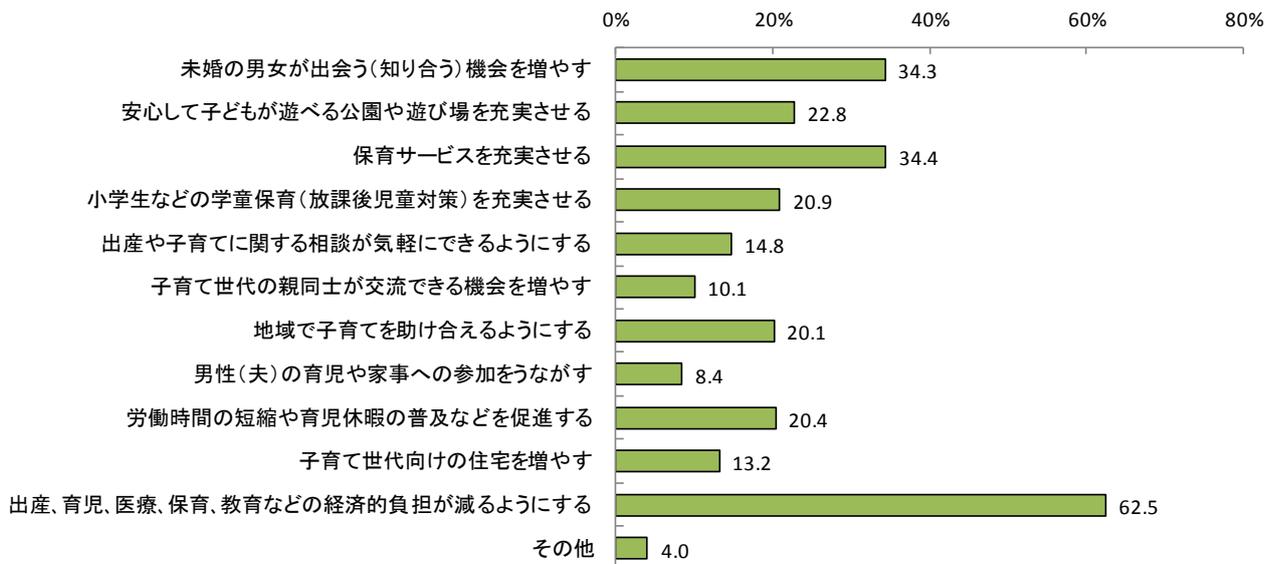


8 少子高齢化や子育て支援

【問8】少子化対策や子育て支援として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」(62.5%)が最も高く、間をあけて「保育サービスを充実させる」(34.4%)、「未婚の男女が出会う(知り合う)機会を増やす」(34.3%)がほぼ同率で続きます。

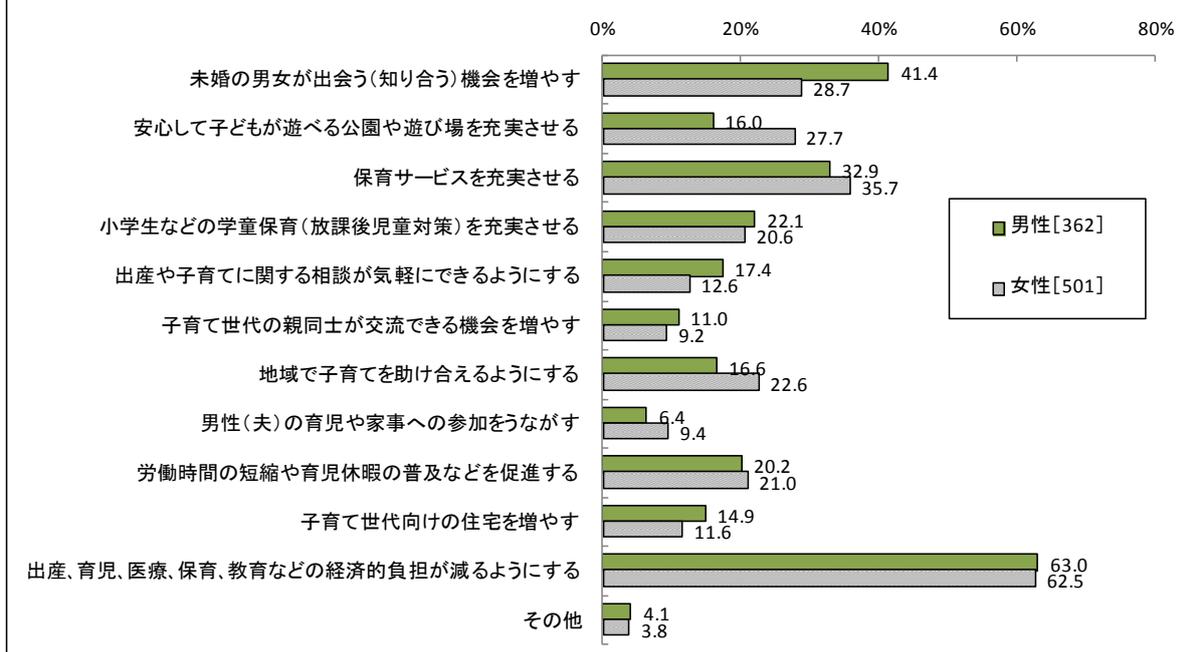
【問8】特に力を注ぐべき少子化対策や子育て支援(3つまで選択) [874]



※「その他」の内容：居住歴別のページに掲載しています。

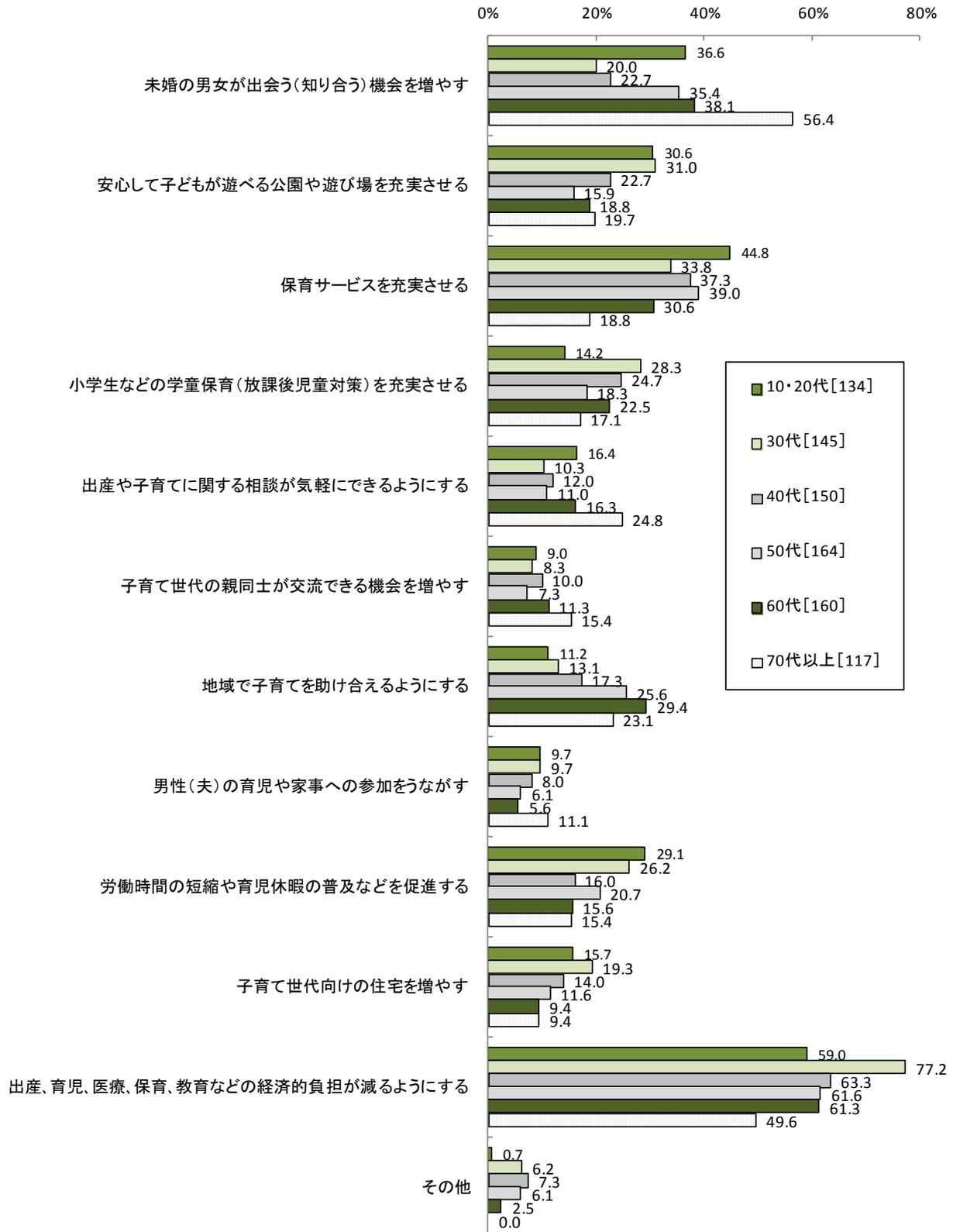
- 性別でみると、男女とも「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が1位です。「未婚の男女が出会う機会を増やす」は男性、「安心して子どもが遊べる公園や遊び場を充実させる」は女性の回答率が高く、差がめだちます。

【問8】特に力を注ぐべき少子化対策や子育て支援(3つまで選択) [性別]

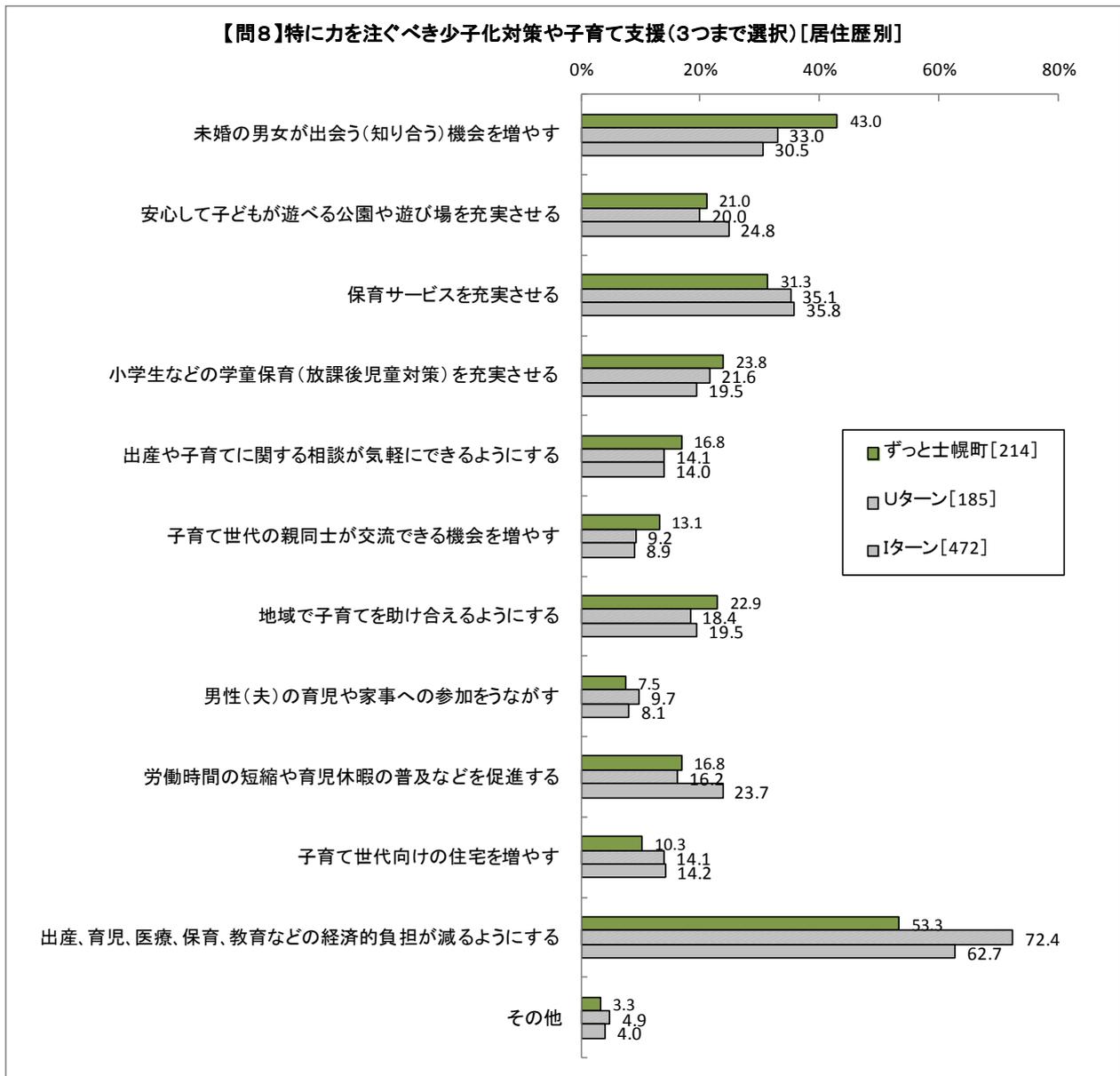


●年代別に1位をみると、70代以上は「未婚の男女が会う機会を増やす」、その他の年代は「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」で、30代で特に高いです。10・20代と30代は「安心して子どもが遊べる公園や遊び場を充実させる」や「労働時間の短縮や育児休暇の普及などを促進する」などが他の年代に比べて高いです。

【問8】特に力を注ぐべき少子化対策や子育て支援(3つまで選択)【年代別】



- 居住歴別でみると、いずれも「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が1位です。

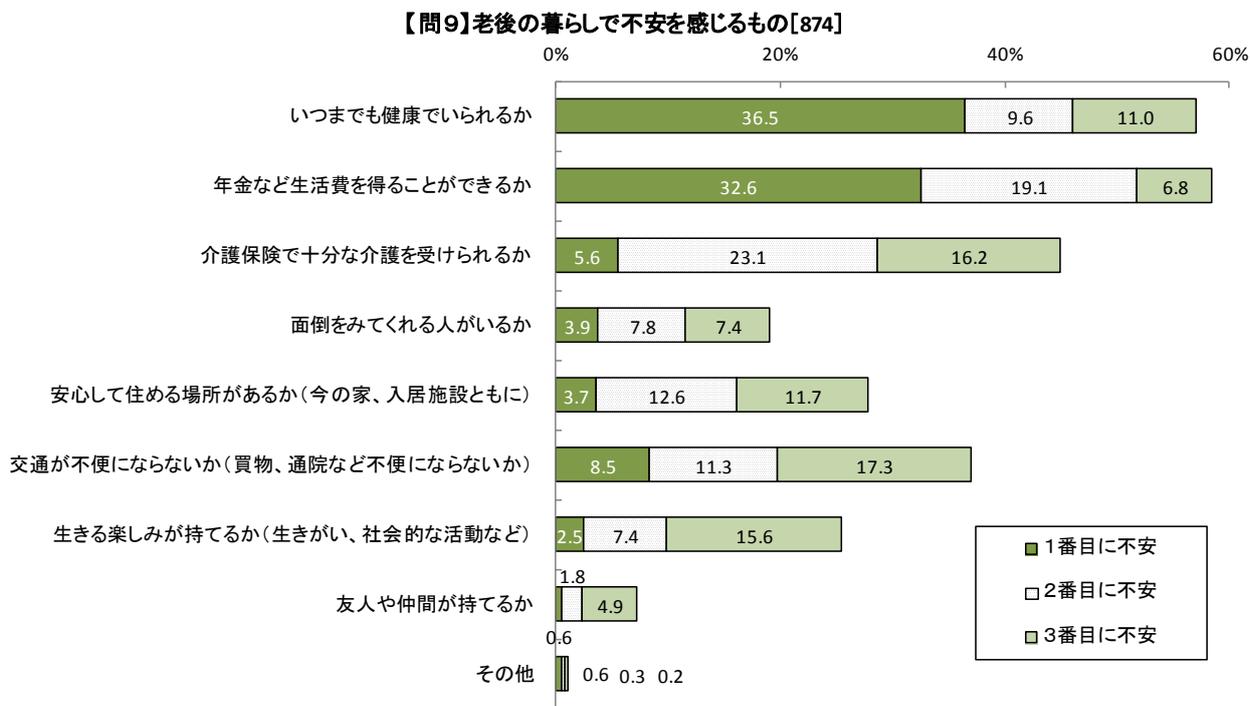


※「その他」の内容：就業場所の確保（4）。 若い人の収入増、地域の所得水準を上げる（3）。 正規職員として若い層が働き暮らせる条件整備。 金銭的補助、及び手当の充実。 幼児の医療無料年齢を5才までにしてほしい。 出産祝金、入学祝金やめるべき。無駄だと思う。 医療環境の整備（出産、育児）。 病院、サタデースクール、商店街の充実。 病院に小児科を作る。 障害児支援の充実。 病児保育。 単なる合コンではなく、ボランティアなど共同で作業するような出会いの場を意図的に設ける。 1人親となった人への支援（金銭でなく働く場など）。 シングルマザー（ファザー）が居住、働きやすい環境を整える。 土幌町ファミリーサポートシステムを中学生も対象にしてほしい。土日の部活があっても親の送迎なしでは行けないのが不便。町の公園にバスケットゴールの設置を。 子供手当を増やす。子供がいる世帯にもっと割引特典やサービスを提供する（親子で外食を楽しむことが出来るように町内の飲食店のクーポンを配布するなど）。 子供達に参加できるイベントを増やす。 小中学生の学業ボランティア支援（高校生 or 大学生）。 中高年との交流を持つ。 少人数の小学校は、統合し、多くの友人作りができる環境にする。 小学校の跡地を住宅地にする。又は小学校の近くの空地を住宅地にする。 職場でフレックスタイム制を取り入れてほしい。役場からすぐに取り組んでほしい。 未婚の男女多く住める町（特に女性）。 まずは子供の数を増やすことが重要。 子どもより高齢者に重きをおきすぎている。他の町を見習ってほしい。 少子化対策は若者が定住可能な仕事がなければ難しい。 特効薬が浮かばない。

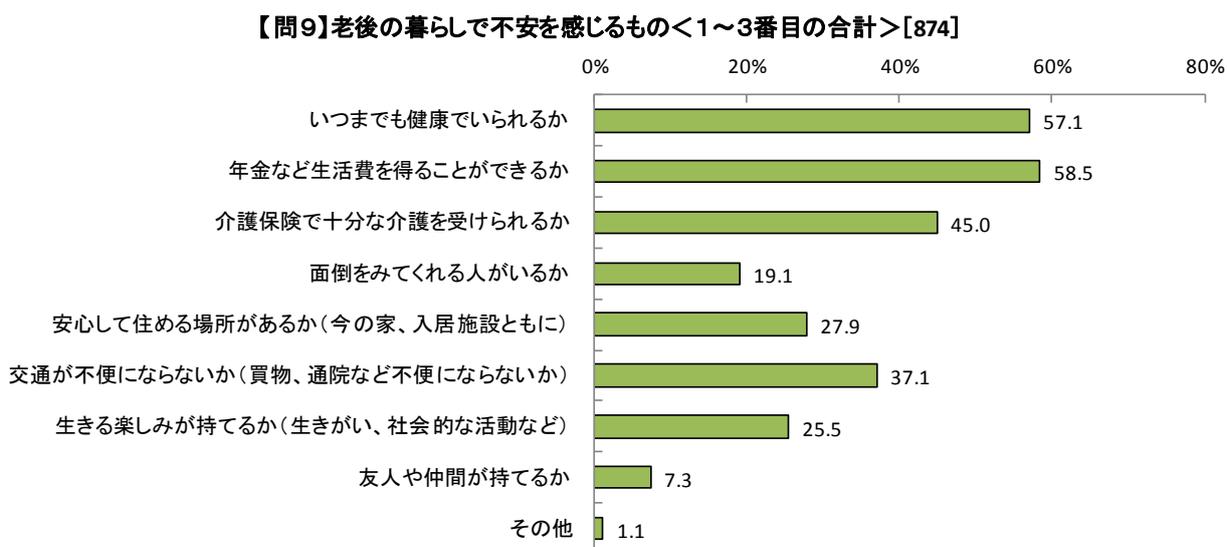
9 老後の不安

【問9】 老後の暮らしを考えた時、不安を感じることはどのようなことですか。不安の強い順に3つまで選んで、() に番号を書いてください。

- 1番目に不安で最も高いのは「いつまでも健康でいられるか」(36.5%)で、「年金など生活費を得ることができるか」(32.6%)が続きます。



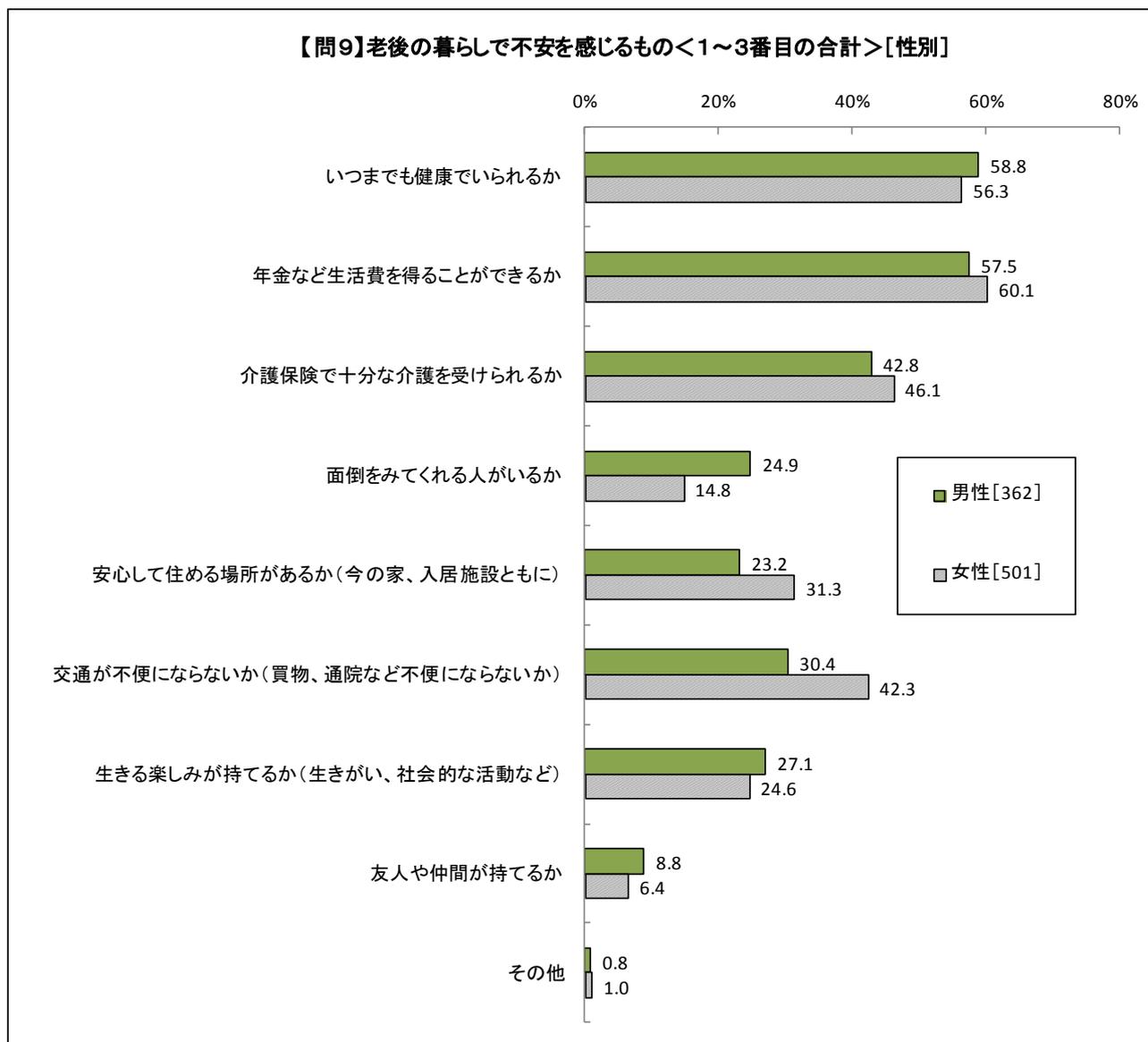
- 1番目から3番目までの合計でみると、「年金など生活費を得ることができるか」が僅かに高く、「いつまでも健康でいられるか」が続きます。



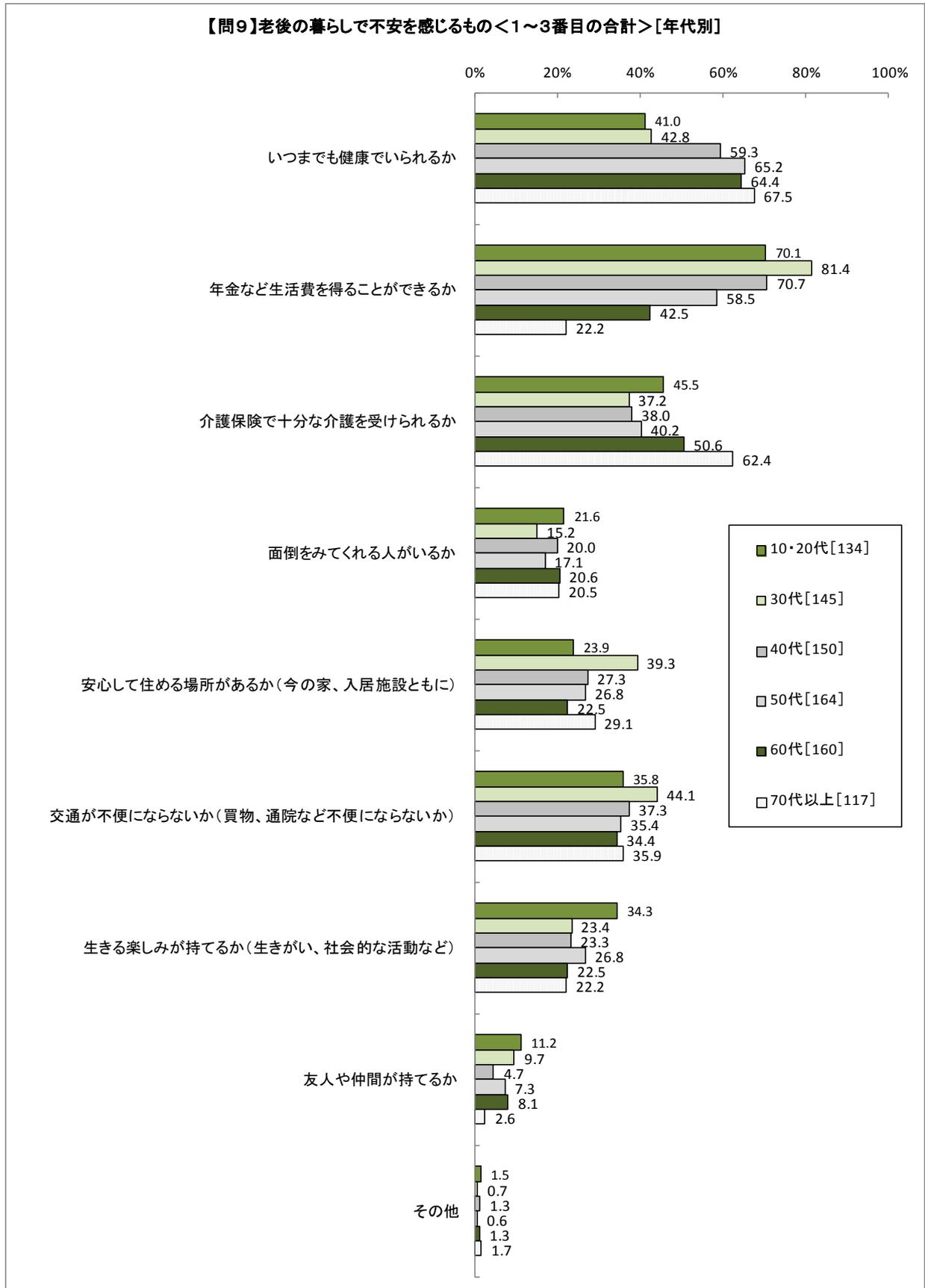
※「その他」の内容：いつ認知症になってしまうか。 子供が自立しているか。 生活に不自由がないか。 特老内が車いすで移動出来るスペースがない。介護用のトイレがないのに不安です。 病院があまり信用できない。 国の政策。 考えてもしょうがない。なるようになる。

< 1 番目から 3 番目までの合計での比較 >

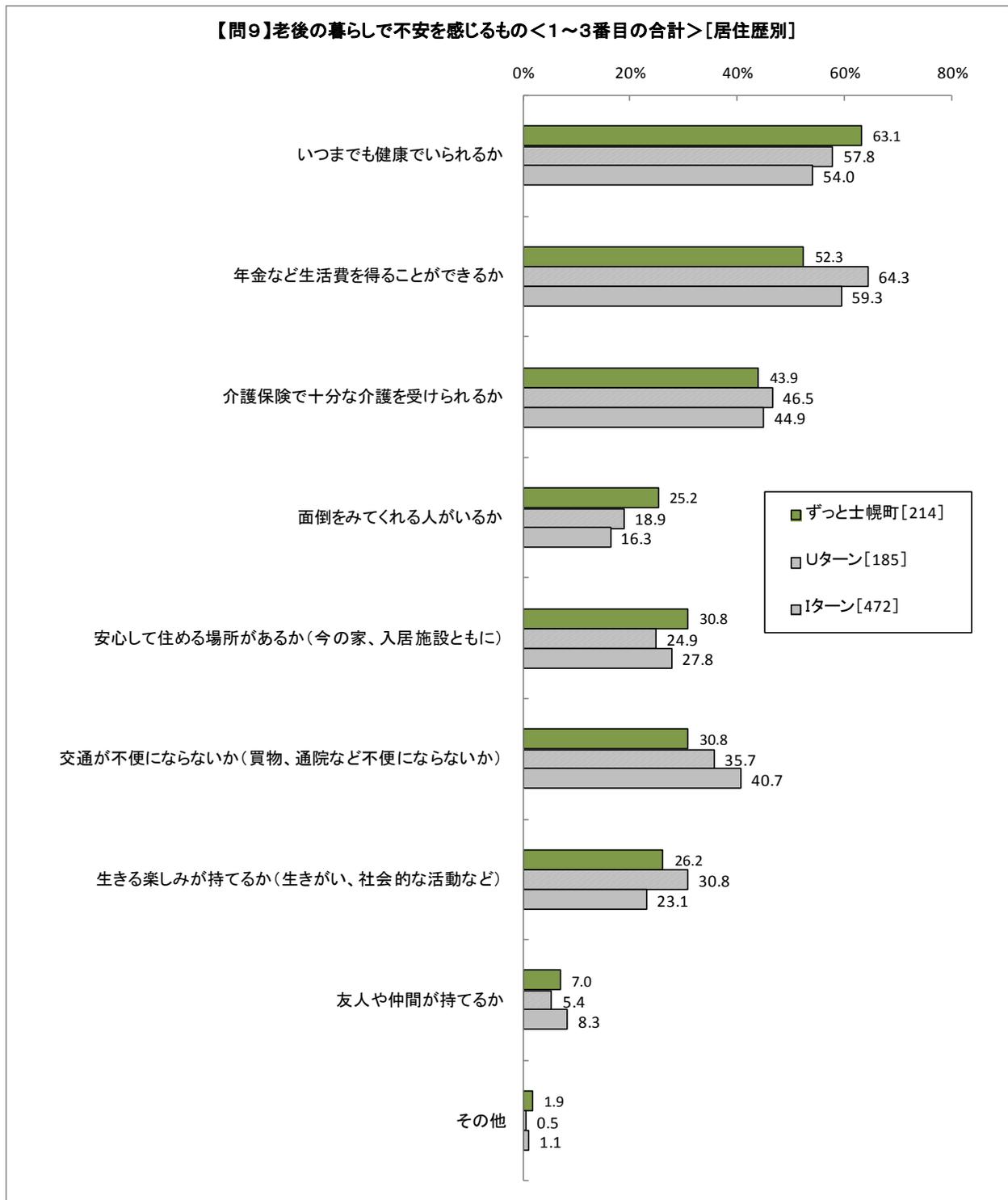
- 性別でみると、僅かの差ですが、男性は「いつまでも健康でいられるか」、女性は「年金など生活費を得ることができるか」が1位です。「面倒をみてくれる人がいるか」は男性、「安心して住める場所があるか（今の家、入居施設ともに）」と「交通が不便にならないか（買物、通院など不便にならないか）」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。



- 年代別に1位をみると、40代以下は「年金など生活費を得ることができるか」、50代以上は「いつまでも健康でいられるか」です。「いつまでも健康でいられるか」は年代が高いほど、「年金など生活費を得ることができるか」は年代が低いほど、それぞれ高くなる傾向にあります。



- 居住歴別に1位をみると、ずっと土幌町は「いつまでも健康でいられるか」、UターンとIターンは「年金など生活費を得ることができるか」です。

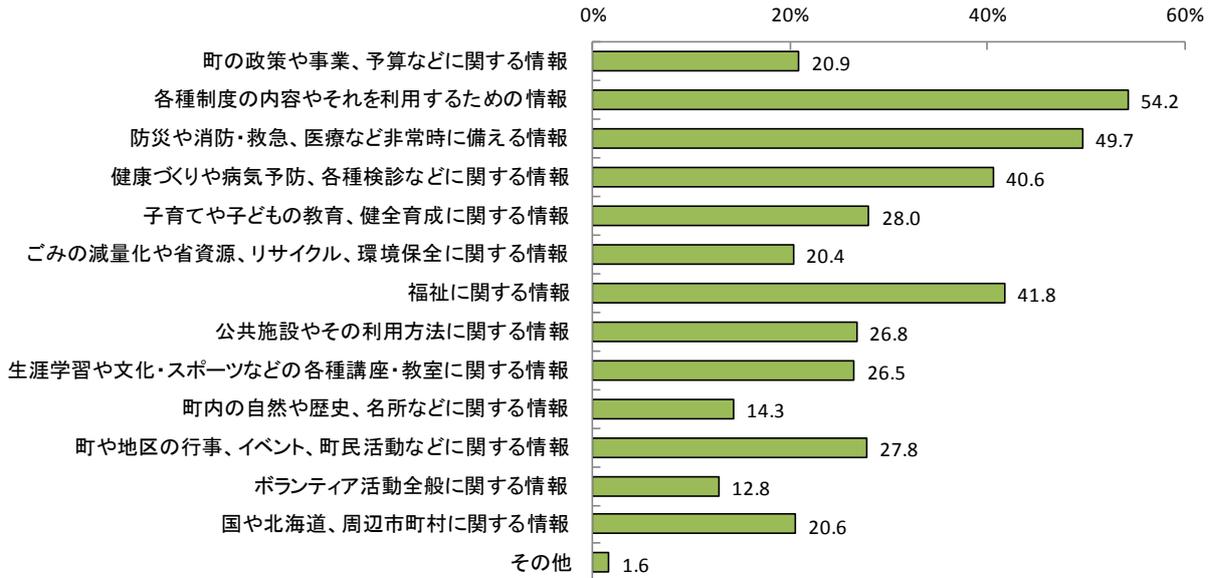


10 ほしいまちづくりや地域の情報

【問 10】 町政（まちづくり）や地域に関する情報として、どのような内容がほしいと思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

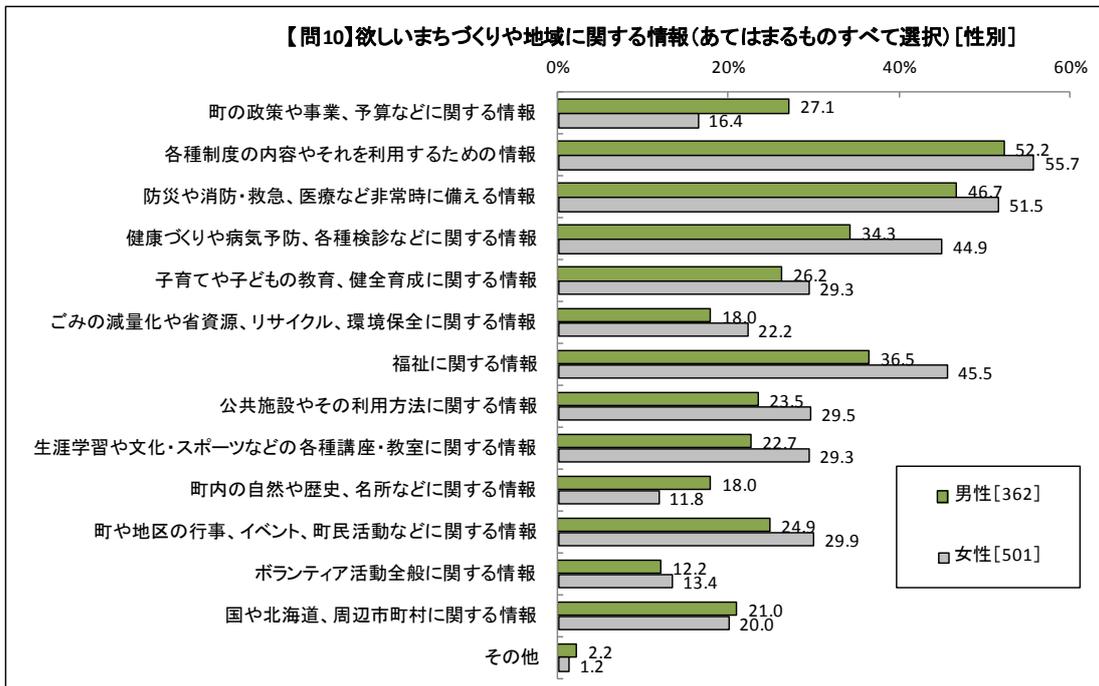
- 「各種制度の内容やそれを利用するための情報」（54.2%）が最も高く、「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」（49.7%）、「福祉に関する情報」（41.8%）、「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」（40.6%）と続きます。

【問10】欲しいまちづくりや地域に関する情報（あてはまるものすべて選択）[874]

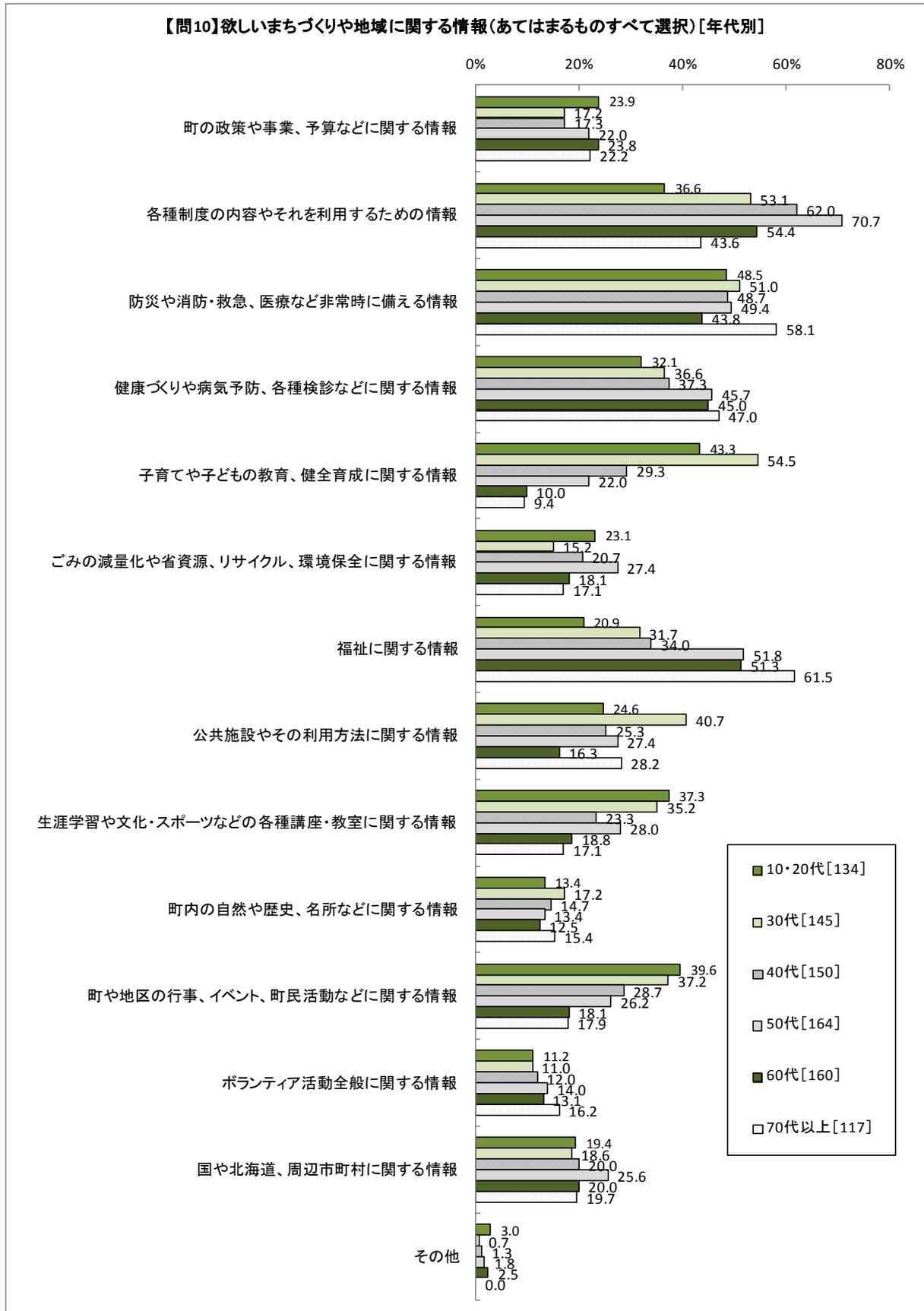


※「その他」の内容：公的民間の不動産（住宅、宅地）情報とその積極的開示。 犯罪防止等具体的なとり組み、安全対策はきちんと行われているのか。メール配信はされているが、その他の対応は知らない。 今のままで良い。

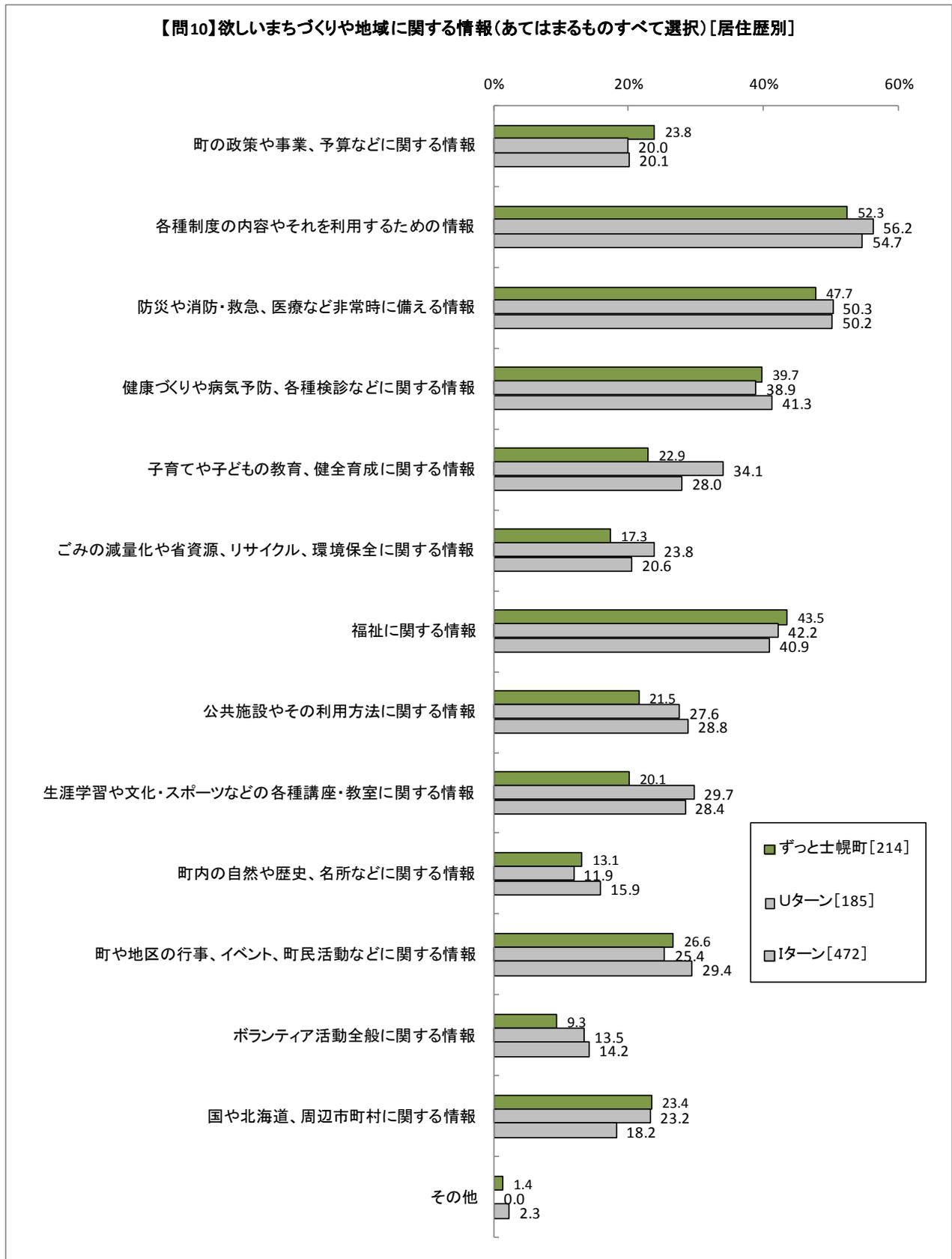
- 性別でみると、男女とも上位4位は同じですが、いずれも女性の回答率が高く、「健康づくり」と「福祉」は特に高いです。全体的に女性の方が高く、男性が高いのは「町の政策や事業、予算などに関する情報」「町内の自然や歴史、名所などに関する情報」「国や北海道、周辺市町村に関する情報」の3項目のみです。



- 年代別に1位をみると、10・20代は「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」、30代は「子育てや子どもの教育、健全育成に関する情報」、40代から60代までは「各種制度の内容やそれを利用するための情報」、70代以上は「福祉に関する情報」です。



- 居住歴別でみると、いずれも「各種制度の内容やそれを利用するための情報」が1位です。

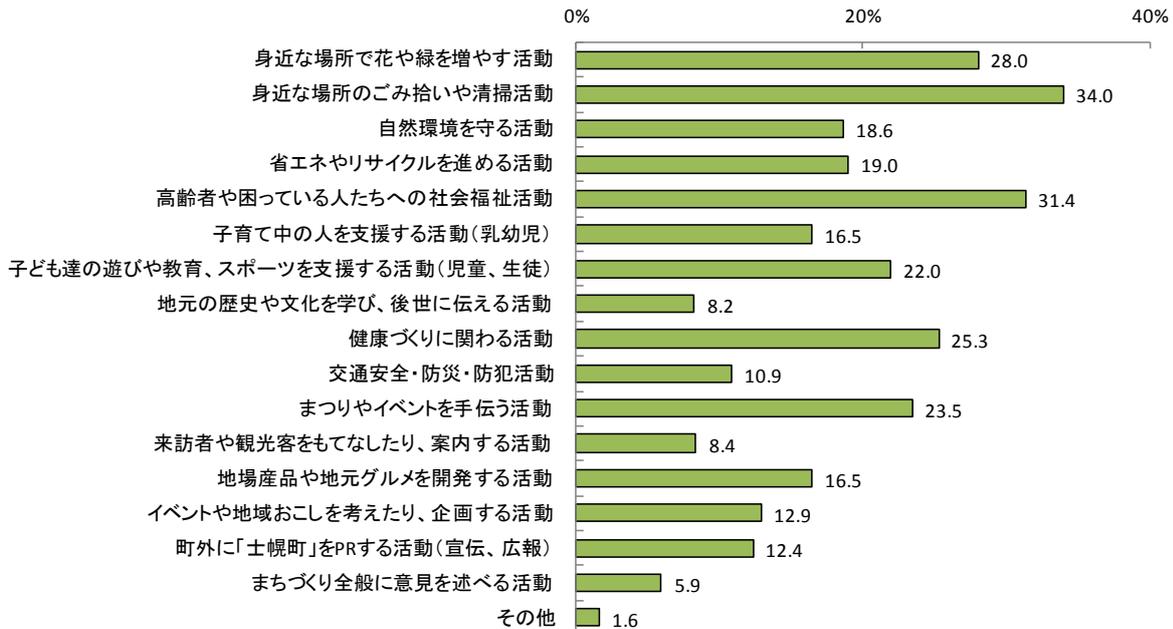


11 参加したいまちづくり活動

【問 11】まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。すでに参加されているものも含め、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

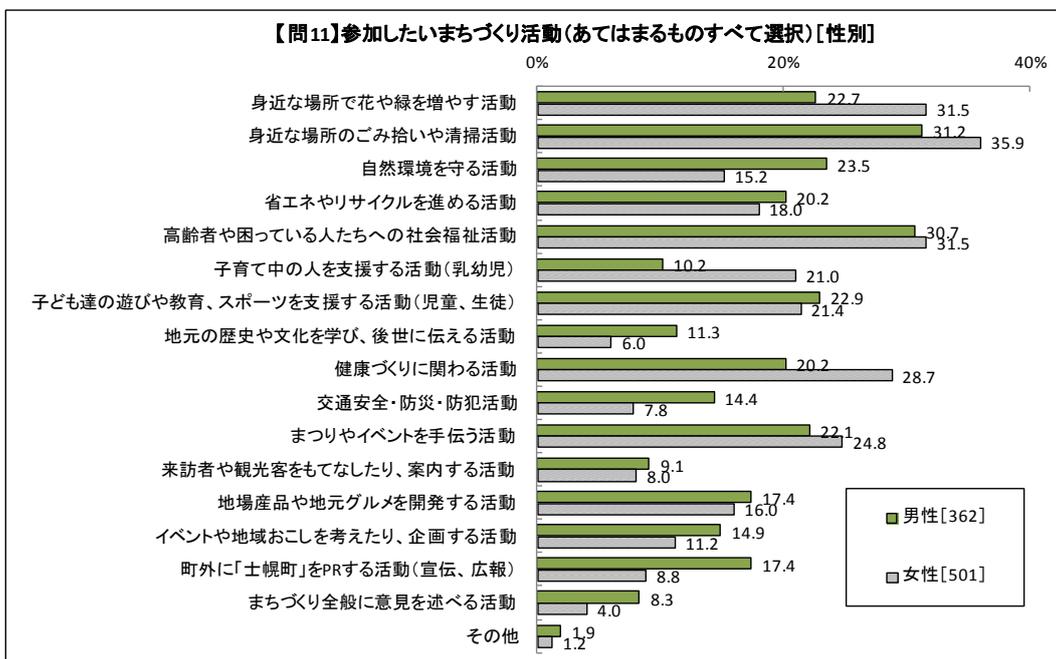
- 「身近な場所のごみ拾いや清掃活動」(34.0%) が最も高く、「高齢者や困っている人々たちへの社会福祉活動」(31.4%)、「身近な場所で花や緑を増やす活動」(28.0%) と続きます。

【問11】参加したいまちづくり活動(あてはまるものすべて選択)[874]

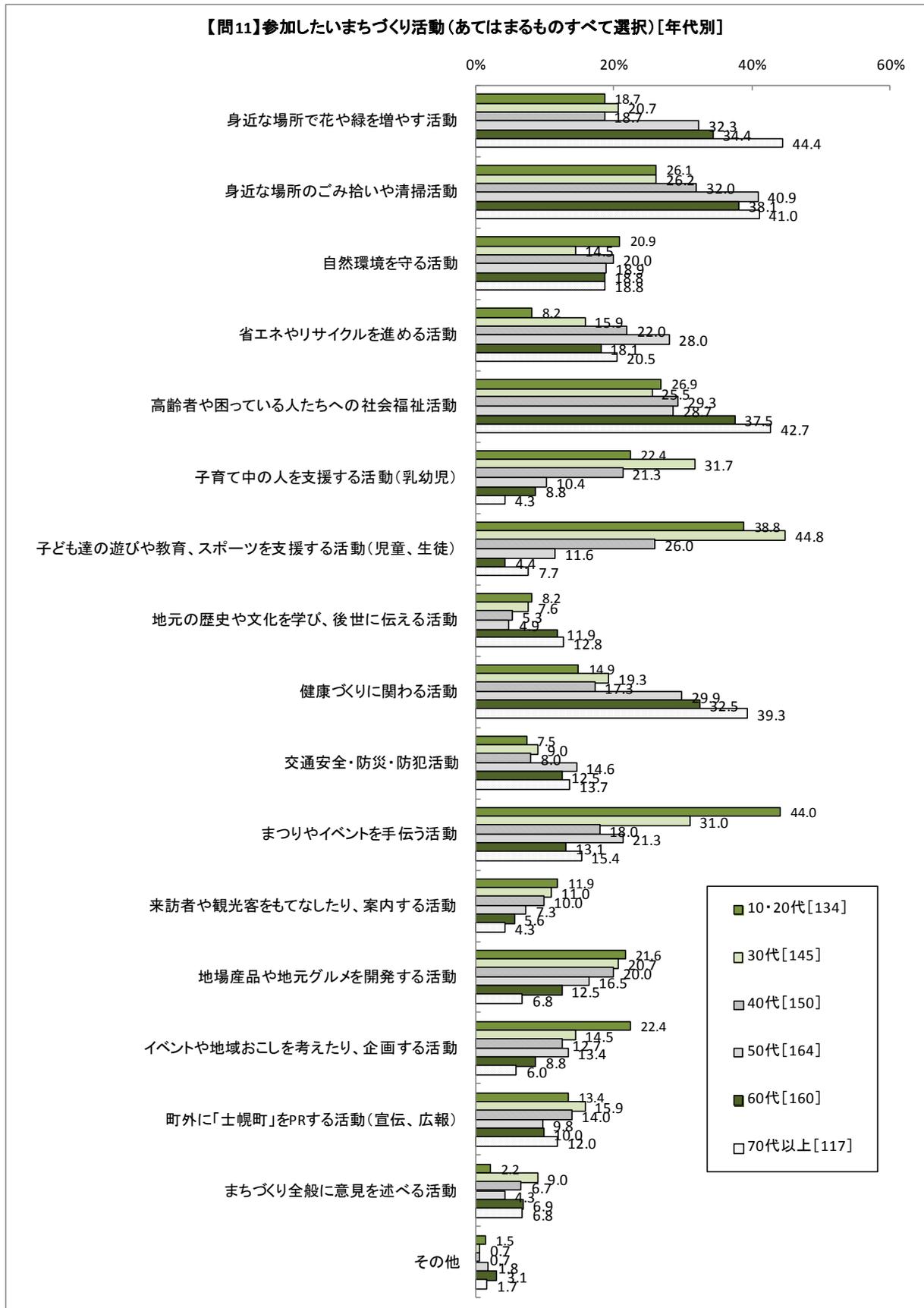


※「その他」の内容：活動はしたくない、興味なし(3)。認知症の理解を学生や20~40代もきちんとできたら協力体制が整いやすいのではないか。疾病があるので活動参加ができるかと考えているので該当なものはない。身体が不自由なので気持の中にあるものに○をつけました。ラジオ出演(町長が日高吾郎ショーなど)でPR。

- 性別でみると、男女とも「身近な場所のごみ拾いや清掃活動」が1位です。「自然環境」「交通安全・防犯」「町のPR」などは男性、「花や緑」「子育て」「健康づくり」などは女性の回答率が高く、差がめだちます。



- 年代別に1位をみると、10・20代は「まつりやイベントを手伝う活動」、30代は「子ども達の遊びや教育、スポーツを支援する活動」、40代から60代までは「身近な場所のごみ拾いや清掃活動」70代以上は「身近な場所で花や緑を増やす活動」です。全体的に、年代による差がめだちます。

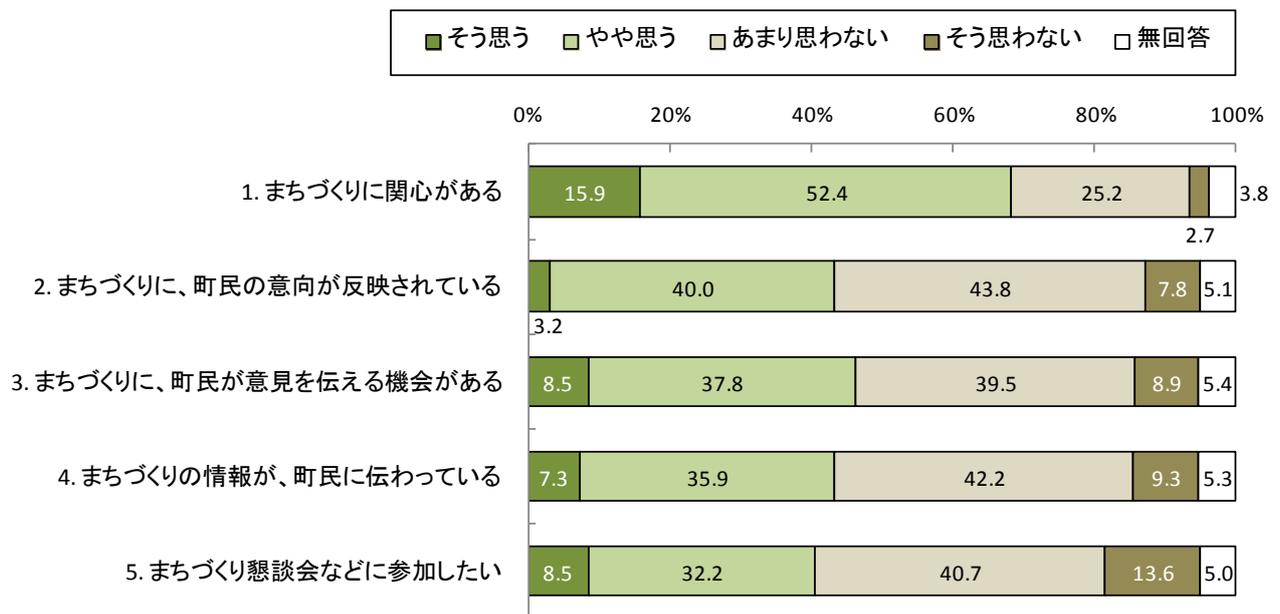


12 まちづくりや町民参加への意識

【問 12】土幌町のまちづくりや町民参加について、どのようにお考えですか。それぞれ、あてはまるものを1つずつ選んで、A～Dに○をつけてください。

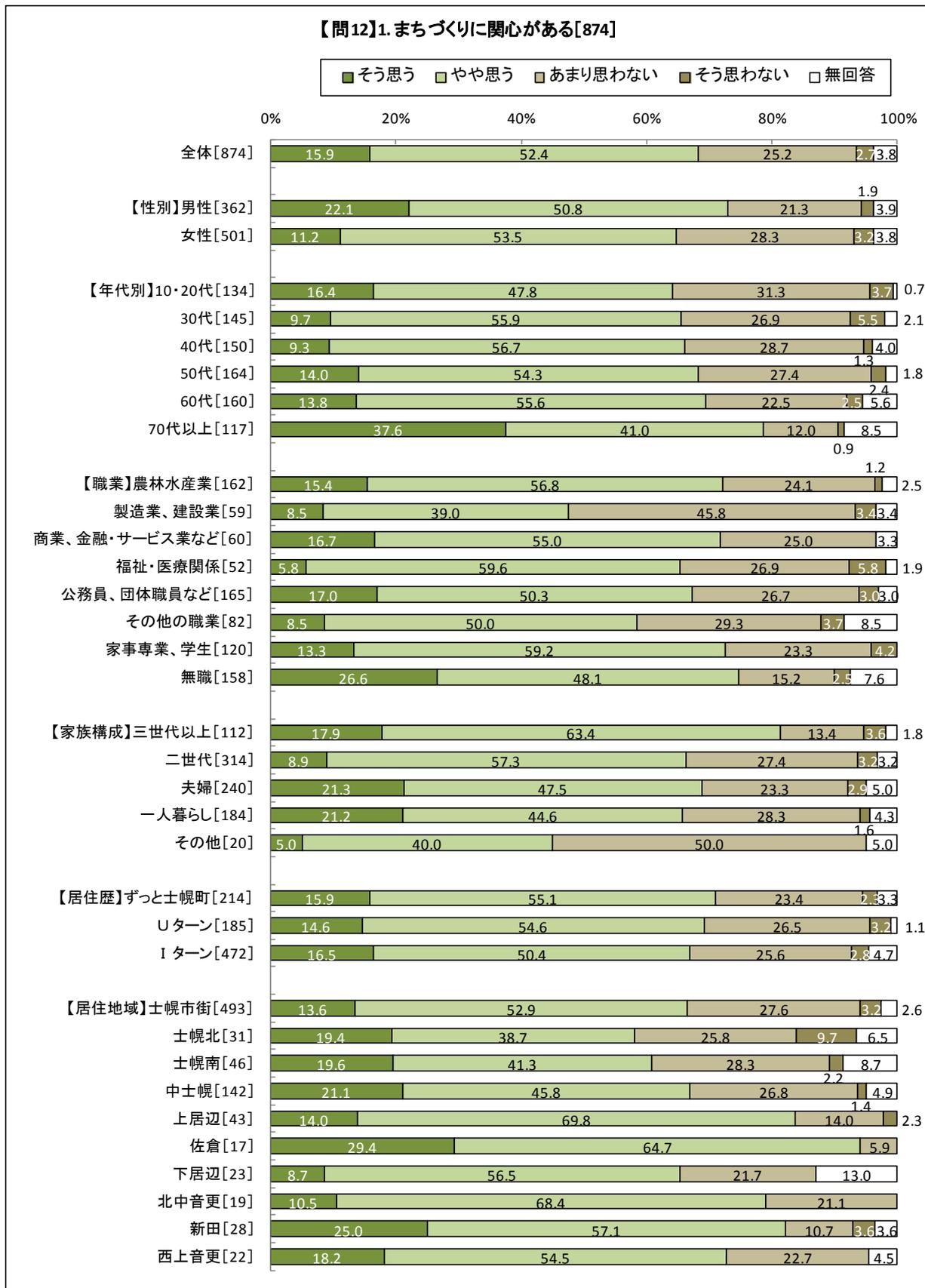
- 「そう思う」「やや思う」とも高いのは「1.まちづくりに関心がある」で、合計すると68.3%となり、約7割を占めます。
- その他の項目は「あまり思わない」が最も高く、「そう思わない」との合計が、「そう思う」と「やや思う」の合計よりも高いです。

【問12】まちづくりや町民参加について[874]



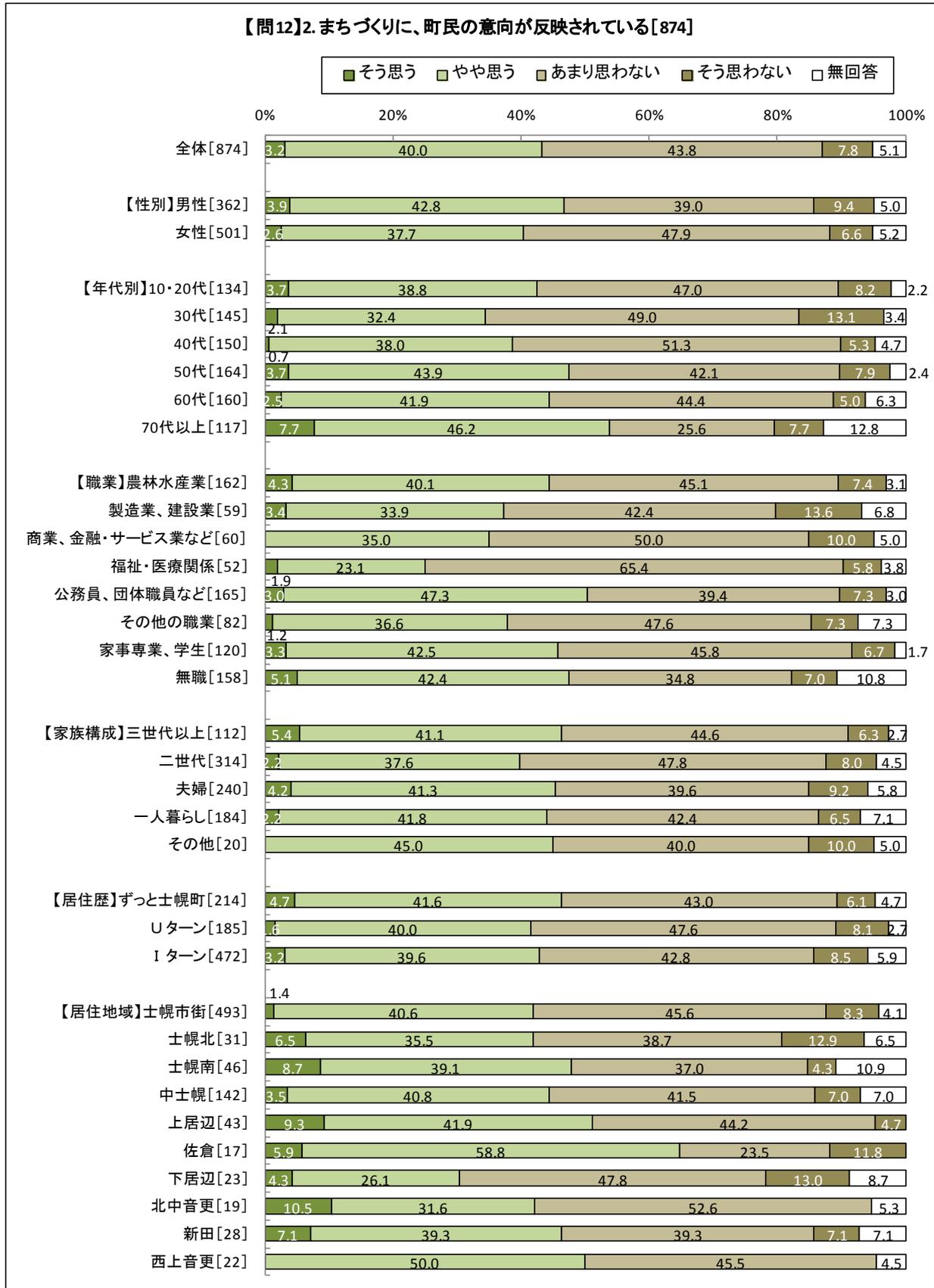
1. まちづくりに関心がある

- 性別で見ると、「そう思う」は男性、「あまり思わない」は女性が高いです。
- 年代別で見ると、70代以上は「そう思う」が約4割を占めます。年代が高いほど肯定的です。一方、10・20代は「あまり思わない」が約3割を占めます。



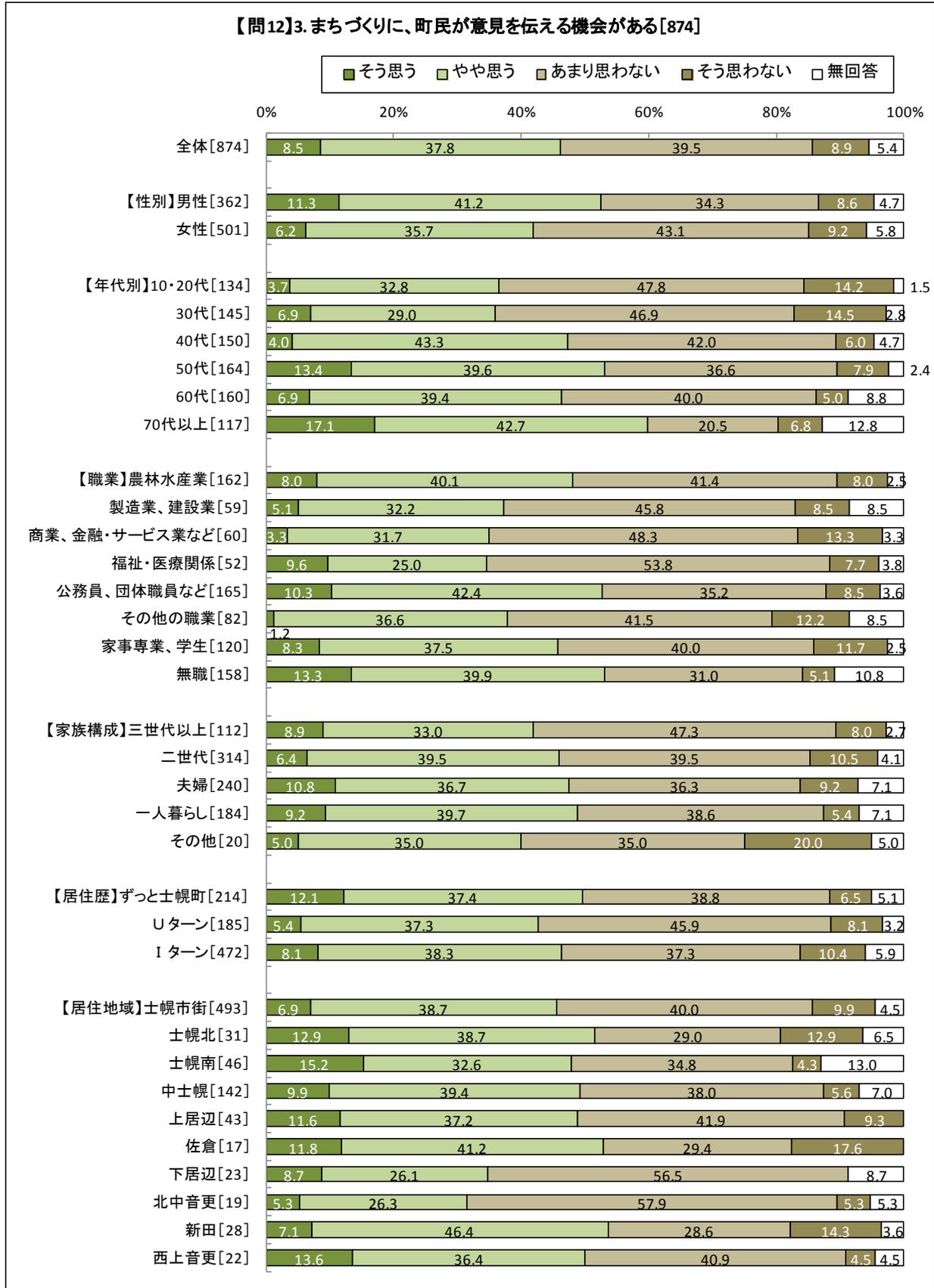
2. まちづくりに、町民の意向が反映されている

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は男性が高いです。
- 年代別で見ると、70代以上は「そう思う」「やや思う」の合計が過半数を占めます。一方、30代は「そう思わない」が1割以上を占めます。



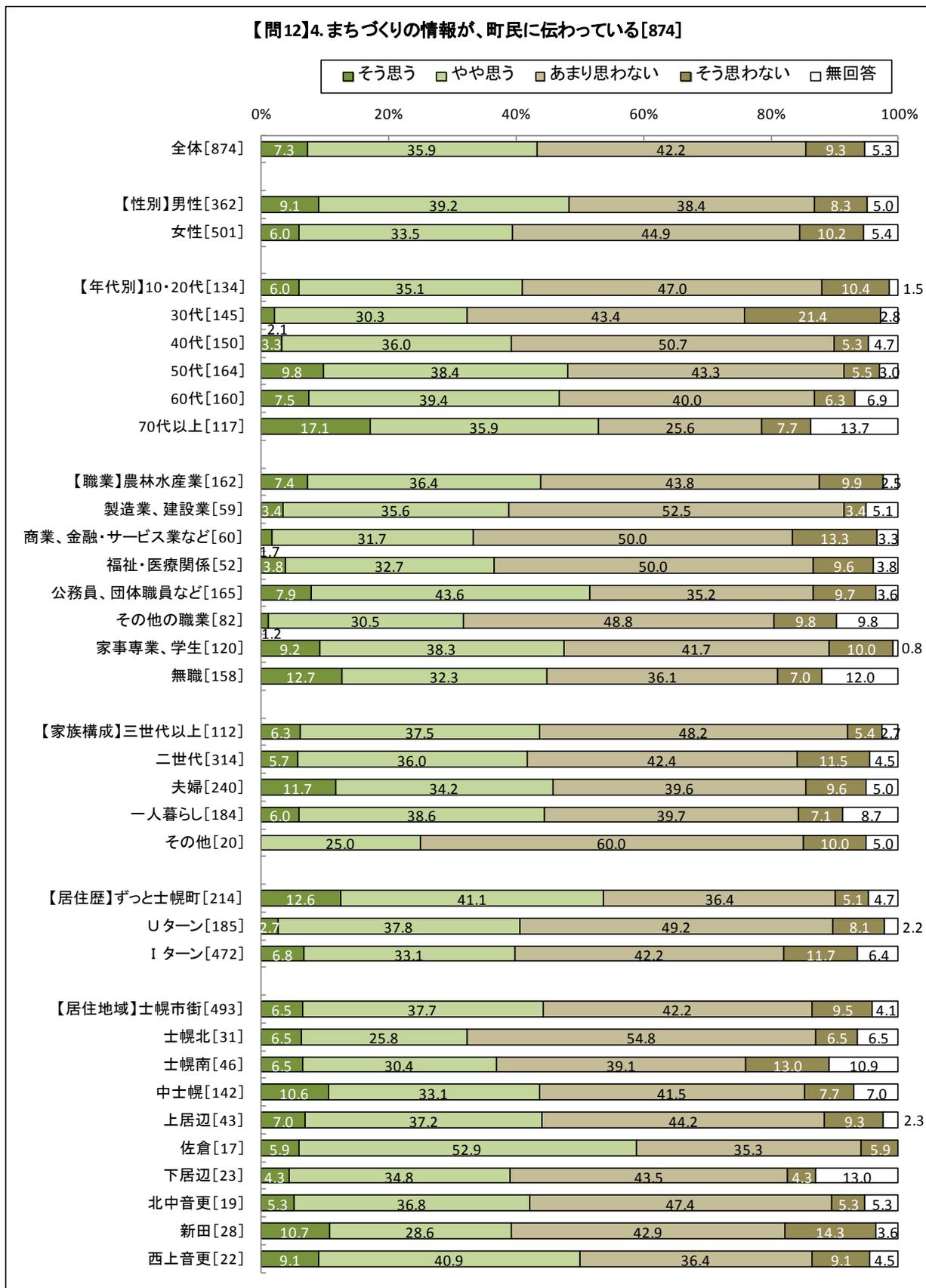
3. まちづくりに、町民が意見を伝える機会がある

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は男性が高いです。
- 年代別で見ると、50代と70代以上は「そう思う」「やや思う」の合計が過半数を占めます。一方、10・20代と30代は「そう思わない」が1割以上を占めます。



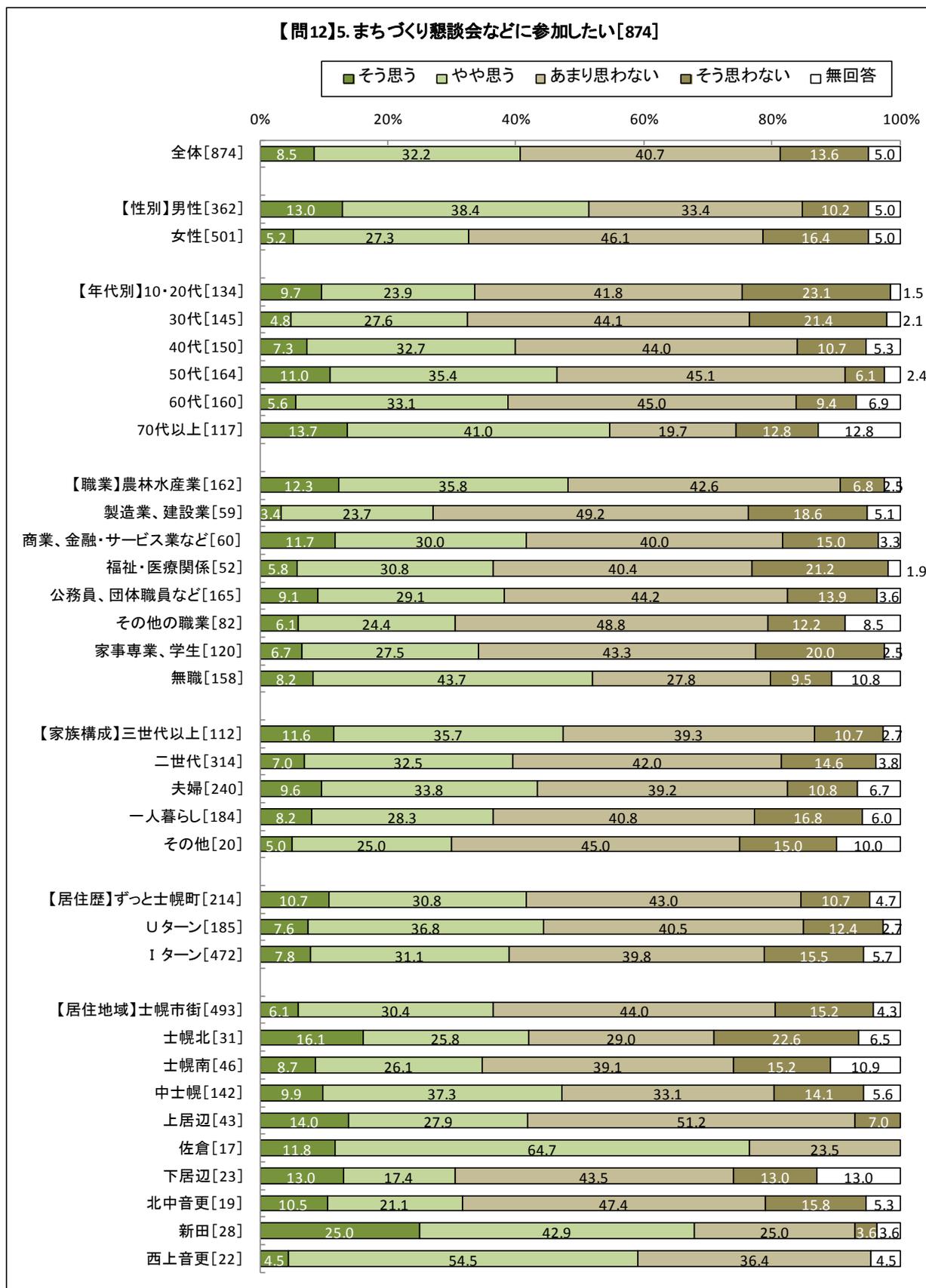
4. まちづくりの情報が伝わっている

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は男性が高いです。
- 年代別で見ると、70代以上は「そう思う」「やや思う」の合計が過半数を占めます。一方、10・20代は「そう思わない」が約1割、30代は約2割を占めます。
- 居住歴別で見ると、ずっと土幌町のみ「そう思う」「やや思う」の合計が過半数を占めます。



5. 審議会や町政懇談会等で行政に意見を言う機会に参加したい

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は男性が高いです。
- 年代別で見ると、70代以上は「そう思う」「やや思う」の合計が過半数を占めます。一方、10・20代と30代は「そう思わない」が2割以上を占めます。

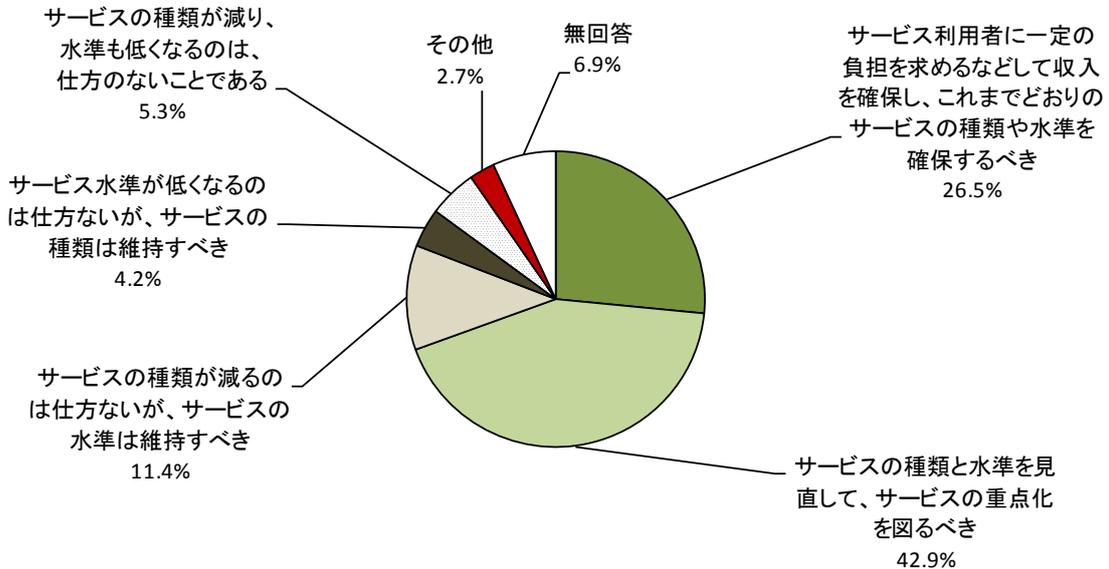


13 これからのサービスのあり方

【問 13】財政状況が厳しいなか、限られた財源でより効果的に行政サービスを提供していくことが求められています。町でも経費の抑制や収入の確保に努めていますが、これからのサービスのあり方について、お考えに近いものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

○「サービスの種類と水準を見直して、サービスの重点化を図るべき」が42.9%と最も高く、「サービス利用者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、これまでどおりのサービスの種類や水準を確保すべき」(26.5%)、「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべき」(11.4%)、「サービスの種類が減り、水準も低くなるのは、仕方のないことである」(5.3%)、「サービス水準の低くなるのは仕方ないが、サービスの種類は維持すべき」(4.2%)と続きます。

【問13】これからのサービスのあり方について[874]

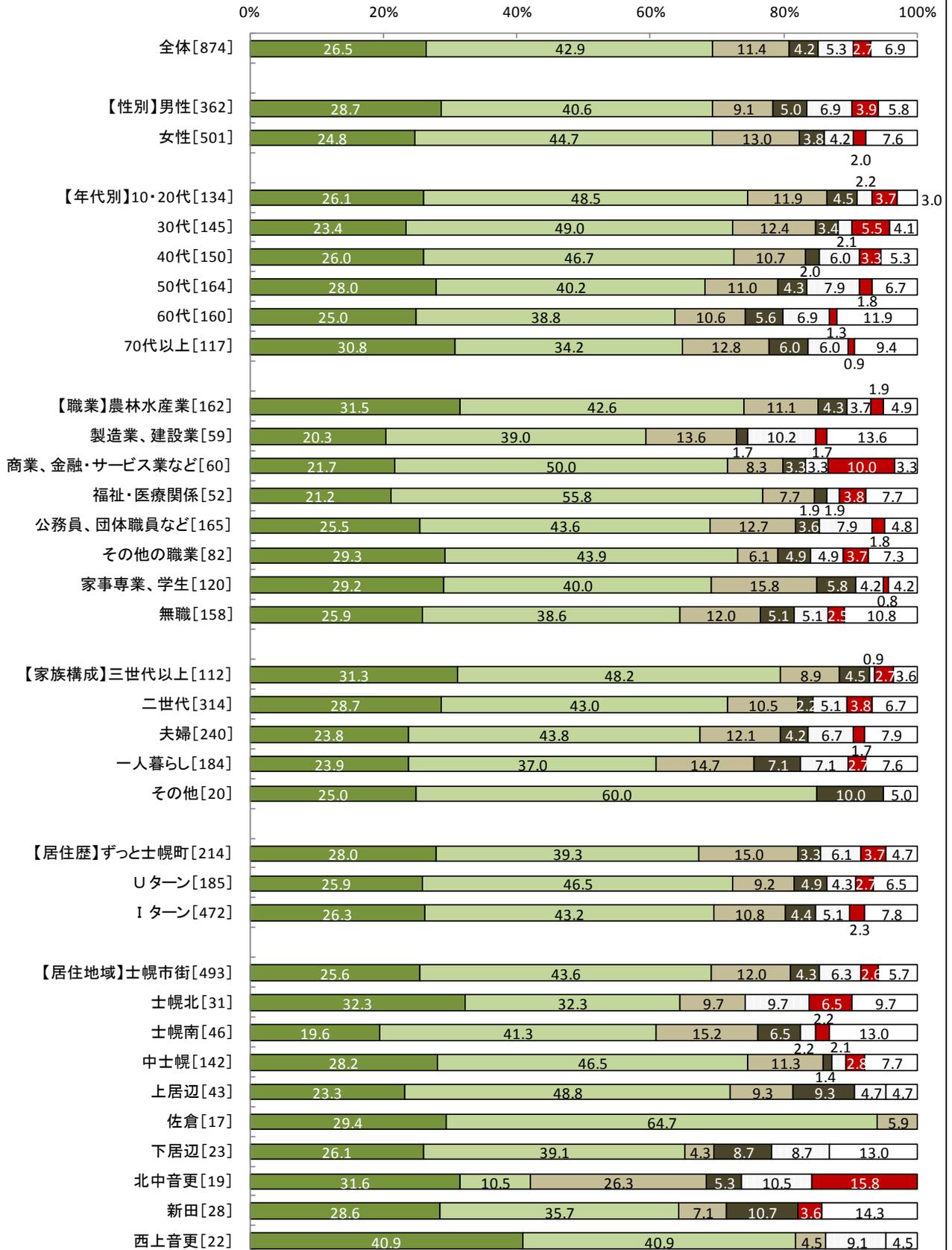


※「その他」の内容：財政の見直し（2）。財源を確保することを考えるべき（ふるさと納税等）。収入の確保のため、町の全職員が自分の職務を分析し、町の各種委員のすべてにアイデアを求め、それを実践する。更なる経費の抑制。サービス作業の効率化、人材能力の向上、アウトソーシング。発注価格等全て見直し市場調査する。どのようなサービスが求められるのか感じ取り（いらぬものはなくし必要なものは増やす）水準を高めていけるよう努力すべき。必要であれば負担も考えるが、最小限に。必要ない所に予算がまわっていないか再確認すべき。町民の優先順位と役所のつける優先順位は一致していない。重要なサービスは確保してほしい。サービスの種類、水準も現在の状況は最低確保。負担も現在のまま。最低限、種類、水準の維持。金がなくてもできるサービスはあると思う。サービスの低下を考えるのではなく、どうしたら増やせるのかを考える。新たな事にどんどん挑戦していくべき。経費を気にせず充実させてほしい。一度勝負に出てほしい。サービス内容によるのでは。

- 性別で見ると、男女とも回答傾向は同じです。
- 年代別で見ると「種類と水準を見直して、サービスの重点化」は年代が低いほど回答率が高いです。
- 職業別で見ると商業、金融・サービス業などと福祉・医療関係は「種類と水準を見直して、サービスの重点化」が半数以上を占めます。
- 居住地域別で見ると西上音更は「収入を確保し、これまでどおりの種類や水準を確保」が約4割、佐倉は「種類と水準を見直して、サービスの重点化」が6割以上を占めます。

【問13】これからのサービスのあり方について(属性別)

■ 収入を確保し、これまでどおりの種類や水準を確保
■ 種類と水準を見直して、サービスの重点化
■ 種類が減るのは仕方ないが、水準は維持
■ 水準が低くなるのは仕方ないが、種類は維持
□ 種類が減り、水準も低くなるのは、仕方ない
■ その他
□ 無回答



14 まちづくりへのアイデアや提案

【問 14】他の地域と比較して、土幌町の「自慢できること」と「良くなってほしいこと」がありましたらお書きください。

(1) 自慢できること

<自然、景観>

- ・自然が豊か、きれい (88)
- ・純農村地帯で自然が豊かなところ
- ・自然を大切にしてくれいな町
- ・まちのなかでも、リスや野生動物がいる

- ・山の景観、土幌高原の景色、ヌプカからの景色 (5)
- ・農村景観の美しさ (3)
- ・北海道らしい風景
- ・街がきれい (4)
- ・街がきれいにととのっている所、シャッターの降りた店前も清掃がいきとどいていて感心しました
- ・四季で変わる風景。いやされます。畑が色づく所はキレイです
- ・ロケーションが美しい

<空気、水、星>

- ・空気がきれい、空気がおいしい (6)
- ・水がおいしい (2)
- ・水道料が安い
- ・星空がきれい (4)
- ・高原でみえる流れ星

<気候>

- ・気候が穏やか、気候に恵まれている (2)
- ・天気が良い
- ・日照時間が長い
- ・雪が少ない

<静か>

- ・静か (9)
- ・夜静か
- ・騒音がない
- ・落ち着いた町 (2)

<安全>

- ・自然災害が少ない (12)
- ・事故・犯罪が少ない
- ・治安も良いと思う
- ・安全 (事故が少ない)
- ・安全で安心にくらせる街であると感じている
- ・平和である

<立地など>

- ・土幌町内でも買い物がある程度でき生活できる
- ・自然環境に恵まれた農村地域でありながら比較的、音更や帯広市などの商業エリアに近い
- ・交通が便利
- ・空間が広い

<穏やか、のどか>

- ・穏やかで住みやすい町
- ・のどか
- ・ゆっくりしている
- ・田舎だということ

<町民性>

- ・人がやさしい、親切 (4)
- ・あいさつしてくれる子 (児童) も意外に多い、子供達 (特に小学生) が礼儀正しい (2)
- ・人々がおだやか
- ・ゆるさ
- ・町民みんなが明るいと思う
- ・みんなにいい人といわれている
- ・近隣住民とのつながり
- ・ご近所さんが家族みたい

- ・若者が多い
- ・商工会青年部が町を盛り上げようと頑張っている
- ・商工会青年部の活動
- ・町を愛し町づくりに努力する青年が多い
- ・「今のままではいけない」と行動を起こしている、起こそうとしている若者がいる

<温泉>

- ・温泉 (2)
- ・温泉の泉質 (2)
- ・温泉の無料券の配布 (2)
- ・プラザ緑風の温泉が良い

<道路、除雪>

- ・農村地帯の道路が素晴らしい (舗装化)
- ・生活道路の環境が良い
- ・除雪が早い、道路の除雪が良い、除排雪等が割と充実している (2)

<施設>

- ・公共施設 (箱もの) が多い。
- ・スポーツ施設が多い
- ・公園が多い
- ・公共施設がキレイ
- ・施設等が清潔で環境も良い
- ・総研アリーナ、図書館などが利用しやすい。必要な時にアリーナが無料で使え、新刊本をすぐに借りて読める！

<働く場、雇用>

- ・働く所が多い、働く場所がある (2)
- ・「働く」町である
- ・町外に住む方が、働きにくる工場がある (帯広、札内等からわざわざくるのはすごいと思う)
- ・工場が多い

<農業>

- ・農業、農業が盛ん、農業の町、農業王国 (34)
- ・広い畑、農地が広い (4)
- ・先進的な農業の町、農業の近代化、全国トップレベルの農畜産業 (5)
- ・農村ユートピア、先人達のユートピアにより日本一の農業の町が構築された (2)
- ・安定した農家 (農業)、産業 (農業) の基盤がしっかりしている (2)

- ・畑作、酪農に等しい土地である
- ・畑作共済
- ・農業への情熱
- ・農業生産力の高さ
- ・畜産（2）
- ・酪農（2）
- ・家畜飼育頭数日本一、日本で1番ホルスタインが多い（2）
- ・農協、農協が大きい、農協が日本一、農協がしっかりしている（14）
- ・農協の収益が高い、農家さんや農協のおかげで近くの町よりも所得が高い（2）
- ・農村工業（2）
- ・農産物を土幌町内で加工する工場が充実している、特産品を利用して作る工場がある（3）
- ・農業を中心とした6次化産業を昔から行なっている（2）
- ・いもの施設が大きい

<食、特産品、加工品>

- ・農畜産物や特産品の品質が良い、安心安全な農作物（64）
- ・食べ物がおいしい、食が豊か（17）
- ・野菜が安くておいしい、野菜が豊富（4）
- ・農畜産物の生産量が多い、加工品の豊富さ（2）
- ・自給率がものすごく高い。十勝で作った農作物だけで夕食が食べられる
- ・給食がおいしい
- ・ジャガイモの加工品が作られている
- ・ポテトチップス（23）
- ・「土幌生産者還元用ポテトチップス」を嫌いな人はいない
- ・町外の友人にポテトチップスを送るととても喜んでくれます
- ・ポテトチップ工場は強みだと思う
- ・ジャガイモ（7）
- ・冷凍コロケ（4）
- ・土幌町のでんぷんが全国的に有名になっている
- ・土幌牛（18）
- ・土幌牛が農協で一般人でも買う事ができる
- ・高等学校ヨーグルト（3）
- ・ピア 21 のアイス（3）
- ・プリン
- ・ハスカップ
- ・スイートコーン
- ・土幌高校やピア 21 で販売しているお菓子など

<観光>

- ・土幌高原、道の駅など観光スポットがあること
- ・ヌプカ、ヌプカウシの山脈、ヌプカの里（3）
- ・道の駅が2つある
- ・ピア 21 がいつも賑わっている

<イベント>

- ・夏の祭りなどイベントが多い、おまつりが多く子供が楽しめるイベントが多い（2）
- ・まつりごと
- ・花火祭り

<福祉>

- ・福祉、福祉が比較的充実している（4）

- ・私は利用していないが、きめ細かな福祉があると聞いている
- ・保健医療や福祉が充実している
- ・ゆりかごから墓場という様に充実している
- ・年寄りと子供にやさしい街
- ・福祉、交通など高齢者にやさしいところ
- ・高齢者障害者への支援
- ・高齢者福祉
- ・福祉介護
- ・福祉村がすばらしいと思います
- ・子育て支援が充実している
- ・子供に関する補助が充実している方だと思う
- ・こども園、支援センター等の内容
- ・3人目出産で祝い金もらえる
- ・町立病院が急患の時見ていただけるので安心です

<教育>

- ・6年生で美濃に行ける
- ・土幌が好きと言うようになる教育を小学校がしてくれている

<行政、まちづくり>

- ・土幌町として自立しようとする姿がある
- ・地域の自治力
- ・行政に対し町民の一体化
- ・町民のまちづくりへの意識の高さ
- ・町長が頑張って町民が安心して暮らせるまちづくり
- ・町長さん始めスタッフの皆さんが住みよい町づくりのため努力していること
- ・良き指導者が居た事が今日の土幌町に継がっている
- ・堅実、派手さはないが堅実な行政 (2)
- ・変わらないこと
- ・保守的で安定しているところ
- ・行政が身近に感じられる
- ・引っ越してきたころ、役場庁舎の広場で子ども達が遊んでいる様子を見て、大人が来る所という印象でしかなかったので明るい開けたところだなと思った

<その他>

- ・何もないこと (4)
- ・暮らしやすい、住みやすい、生活環境が良い (4)
- ・長くすんでいる人にとって住みやすい町
- ・転入がしやすく、町営団地も住みやすい
- ・講演会等大変為になる事業があり楽しみにしている
- ・何か特別悪いところがないところ

- ・ない、特にない (34)

(2) 良くなってほしいこと

<自然>

- ・自然を活かした住みよいまちづくり
- ・自然環境を守ってほしい
- ・森林
- ・自然景観を活かした町作りへの町民意識の向上

<景観>

- ・街並み、さびれた町並み (2)
- ・綺麗な町になってほしい
- ・農村の景観
- ・防風林の中のゴミ草等。
- ・友人が来ても見せる物がないのでもう少し景観等考えてほしい
- ・木の枯葉 (特にかしわの) 飛んでこないように
- ・樹木がもう少し増えてほしい

<生活環境>

- ・悪臭対策、土幌独特の臭いを解消してほしい (7)
- ・工場からの臭い
- ・空気汚染
- ・てんとう虫が出なくなればいい。冬でも建物内に出る
- ・マイマイガによる被害の改善
- ・ゴミの収集回数、週2回にしてほしい

<道路>

- ・道路が悪い、道路整備、道路のデコボコを治してほしい (4)
- ・音更へ行く国道、道道が冬の間畑の雪で状況が悪くなるため運転が大変怖い。道路対策を
- ・冬に車の事故が多いため、道路の整備をしてほしい。
- ・散歩する歩道がもう少し良くなってほしい、遊歩道などの整備 (2)
- ・道路の汚れ
- ・除雪を早い時間にしてほしい (3)
- ・地吹雪対策

<土地利用>

- ・これだけ農地があるのに何か活性化にとぼしい。

<住宅、宅地>

- ・公営住宅、町営住宅建設、公営住宅の建て替え (3)
- ・住宅、住居環境の改善 (2)
- ・アパート、マンション増やしてほしい
- ・安く入居できる家を建ててほしい
- ・賃貸住宅が少ない
- ・住宅地や町営住宅受け入れ体制をとり、町外からの家族の転入を増やす
- ・市内の空き家の解消

<水道>

- ・水道水の水質を改善してほしい (4)
- ・水道水のカルキがひどい (2)
- ・昨年2度も断水があり、ひどい町だと思った

<公共交通>

- ・交通が不便 (14)

- ・バスなどの交通改善、町外へ行くバスの充実（4）
- ・バスがもっと便利に利用できるように
- ・交通料金が低い
- ・バス時間が少ない

<情報通信>

- ・インターネット等のインフラ整備（3）

<福祉>

- ・福祉の充実（2）

<子育て支援>

- ・子育て支援、安心して子育てをしたい、子育てがしやすい町に（9）
- ・高齢者を大事にしすぎ。子供の事も考えてほしい
- ・子育て世帯への支援（幼、小、中学生のいる世帯）
- ・未就学児の預け先の充実
- ・保育サービスの質を向上してほしい（人材）
- ・へき地保育所の保育内容の充実化
- ・こども園等の施設（他町村と比べてみてほしい）
- ・子供にかかる教育費の支援
- ・子供にかかる医療費の支援、子供の医療費無料（3）
- ・子供の医療費無料を3歳まで引き上げてほしい
- ・子供の医療費を中学生位まで無料にしてほしい（2）
- ・子どもの医療費の割合を収入によってではなく、せめて中学生までは一率一割負担にしてほしい
- ・乳児の予防接種が町外の病院
- ・乳幼児等医療費全額助成期間をせめて就学前までにしてほしい
- ・子供の遊ぶ場が少ない

<医療>

- ・病院、医療機関の充実（18）
- ・医療の安心、医療の質（7）
- ・医師の確保。町職員も行くのが少ない医師ではだめ。町民が信頼できる病院を
- ・すべての外来を用意しなくて良いので他の町や市に無料バスなどを出して対応すると良い。診断もリハビリも、すべて町の病院に求めるにはお金がかかりすぎる
- ・町立病院が機能してほしい、信頼される国保病院に（2）
- ・訪問診療や訪問看護ができる体制を（2）
- ・病院運営の安定（2）
- ・町立病院の医師の定着（利用する患者サイドにも何か課題があるのかも）。地域に根ざした医療者（他地域にはクリニックや個人病院もあり、公立病院の医師も定着しているように思います）
- ・気軽に通院できる国保病院にしてほしい
- ・国保病院に小児科がない、小児科の充実（3）
- ・厚生病院の誘致

<高齢者支援、障がい者支援>

- ・老後の暮らしやすさ、老後を安心して暮らせる町に（3）
- ・老人の施設、私達が老後すんなり施設に入れること（2）
- ・高齢者の交通、移動支援（2）
- ・高齢者サービスの質を向上してほしい（人材）
- ・高齢者が近くで、買物、お金、給油でる事の、第2のインフラが安定しているように
- ・障害を持っている人も働けて、一般の人々と変わりのない生活ができるようにしてほしい
- ・障害者施設の充実
- ・各施設に介護用トイレをつけてほしい。特に特老、火葬場など

<生涯学習、教育、スポーツ>

- ・学校、教育、教育水準（4）

- ・子供の教育を他の地域よりも外国語やパソコンの充実した学校が必要
- ・奨学金等
- ・文化や芸術面、文化水準の向上（2）
- ・地域文化として美濃地方の文化が知られていない
- ・図書館の利用と活動
- ・習い事が増えたらいい
- ・スポーツ施設がもう少し充実させてほしい
- ・一般の人が利用できる体育館

<農業>

- ・一次産業の維持、発展
- ・農業の支援等
- ・一生に一度農業をしてみたいと思える職業に
- ・意識、農業生産者団体
- ・農業、農協に頼りすぎている感がある。もっと他の面が出てきてほしい
- ・後継者確保対策
- ・町外からの新規就農者の受入れ（血の入れ替え）
- ・自然エネルギーを活用した農業や林業がもっと前に出るべきだ
- ・ユートピアを継続すること
- ・農産物の向上、加工品の促進（2）
- ・農産物の「ブランド化」の波に乗りおくれた
- ・産直がない。アスポのもぎたて市では会員以外の人は何も出来ない。後継者にゆずった人も年齢が若いのでその人達が少しでも収入を得る為に産直があるとよいが、起業しても手助けはなく、情報はもらさない様にしている感じがする

<商業>

- ・買い物が不便、商店が少ない、閉店した店がめだつ、商業の振興（34）
- ・地元の商業が弱くなっていて、街で老後を過ごすのに不安がある
- ・商店街がさびしい、商店街の活性化（26）
- ・商店街の接客態度が熱心でない
- ・商工業の発達（3）
- ・スーパーを増やしてほしい、大型店の進出（3）
- ・店の品物の数（物）がたりない（2）
- ・町外に比べて目玉商品がない、高い（2）
- ・何でも買える商店があればと思う
- ・安くお買物ができる所が増えてくれればいい
- ・町内で一通りの買いものがすむようにしてほしい（ドラッグストアの誘致、スーパーの競合等）
- ・靴屋がないのは本当に不便
- ・ホームセンターがあると便利
- ・士幌の良い所をもっと活かしたお店などを多くしてほしい
- ・飲食店が少ない、夜の飲食店（3）
- ・レストランやカフェ等の充実
- ・銀行ATMの設置
- ・お店が早い時間に閉まってしまうので、もうすこし営業時間を長くしてほしい
- ・流通を良くする
- ・娯楽場が少ない、娯楽を増やしてほしい（3）
- ・お店や施設など楽しめる場所がもっとよくなってほしい
- ・若い人向けの商業施設、イベントが無い
- ・学生の遊べる場の確保
- ・子供や若い人達が遊べる場所がない

<観光>

- ・観光の発展、観光の町づくり、観光にしても何か中途半端にみえる（6）
- ・観光スポットなどがもう少しあれば良い、観光場所（3）
- ・いも倉庫など見学ツアー等、出来るようになるとよい（テレビにPR）

- ・士幌町の農産物を観光客の方々に沢山知ってもらえる場所が充実してあれば良い
- ・何か士幌町をアピールできる事が必要なのは（体験・参加型イベント）
- ・ピアの拡大となり観光客を増やす考えがほしい。子供を呼び込む観光が考えられないか
- ・道の駅を充実させてほしい
- ・道の駅のレストランの営業時間を長くして、立ち寄りやすくしてほしい。鹿追のような売店になってくれると嬉しい
- ・他町村と連携した観光の振興
- ・イベントが一部の人でなりたっている
- ・まつりを増やしてほしい
- ・子ども達がここで育って良かったと思うような町ならではの教育やイベントがあるといい

<特産品>

- ・これだと自慢できるものを作ってほしい、アピールできるものがほしい（4）
- ・地場産品の活用の向上、観光につなげる、PRをもっとしてほしい（4）
- ・土産にしたいものが殆どない（2）
- ・肉牛（しほろ牛）の知名度が低い
- ・友人が来ても見せる物がないのでもう少し士幌町でなければ食べられない物等考えてほしい
- ・従来通りの農産物の加工品だけでなくもう少し変わった農産物を作り、そこに付加価値をつけて売りこみ士幌町の名を広めてほしい
- ・地産地消を目指し、それをPRすることで町の活性化をアップしてほしい
- ・もっと食の安全をアピールし、活気ある町にするためにも外部の人を呼び込む

<PR>

- ・士幌町の良さをPR、士幌町をみんなに知ってもらいたい（3）
- ・今ある観光施設を見直して、もっと町外、外国にPR出来る物にする
- ・今ある観光スポットのPR。まずは町民にとってもっと魅力のあるイベントの開催など
- ・全国にもっと士幌町の良さをアピールすべき
- ・ゆるキャラとか作るといい
- ・近くの町村（鹿追・上士幌）より知名度がない
- ・アピール出来るものがとぼしい気がします。士幌町といっても上士幌とまちがわれます
- ・町への入り口→ピアから奥に入るためなのか、他町の人が「音更、中士幌、上士幌…士幌はどこ？」と言われる。士幌町から来たと話しても「上士幌って遠いね」と勘違いされて驚いている

<働く場>

- ・働く場所を増やす（5）
- ・企業の誘致（2）
- ・企業受け入れ（スーパー・ドラッグストア等）住民が増える、税金が入ってくる
- ・若い人が就労に恵まれた環境になってほしい

<交流>

- ・もっと町民全体の交流の場を増やしてほしい
- ・男女の出会い

<町民性、コミュニティ>

- ・排他的な町民性、町外から来た人への接し方、町外者に対しての柔軟な対応を（5）
- ・人間関係、人付き合い、日頃の地域交流の親密化（4）
- ・人の心がもう少しやさしくなってほしい（2）
- ・互いに協力し合うこと（2）
- ・嘘や噂話ばかりする士幌出身者の人柄（人のあら探しばかりしている）
- ・他人の悪口を言わないでほしい
- ・近所などに無関心なのも問題だが過剰なおせっかいは困りもの（そういう方々が多い）
- ・互いに関心を持って、助け合う気持ちと心の距離感を

<行財政運営>

- ・行政サービスのきめ細かさ、行政サービスの向上（2）

- ・財政（赤字軽減）、赤字→黒字（2）
- ・なぜ断水したかわかりしだい連絡すると言ったのに無視された
- ・パブリックコメント等を出したら誰が出したということがわかってしまう（守秘義務意識が薄い）
- ・町職員の残業。出来る限り定時で終る努力を。どうしても終らない時の残業は仕方ないですよ
- ・本気になって役場の人達が未来の組立をしてほしい
- ・隣の町上土幌のように新たな取り組みから町民へのサービスにつながる積極的な取り組みが必要
- ・行動力
- ・箱ものはあるが連携がない
- ・今ある素晴らしい物に目を向けて建物行政にならない様にしてほしい
- ・誰にも分りやすい町のしくみ
- ・職員の人考えは聞きたいです
- ・ふるさと納税を増やす取組
- ・税金の使い方があまりよろしくない
- ・町財政が厳しいので無駄を省く
- ・町民税軽減

<町民の意識、参加>

- ・行政に頼りすぎている面はないか
- ・町主催の行政懇談会にもっと町民出席者を増やす
- ・町民一人一人の意見をきちんと聞いてほしい
- ・若い人の意見をもっと聞くべき
- ・町民がこの町の魅力に気づいてほしい

<住みやすさ>

- ・住みやすい町に（3）
- ・新しく来た人にも住みやすい町になる
- ・農業系でなくとも暮らしやすくなってほしい
- ・結婚、出産など若者が住みたいと思う町づくり

<人口減少対策>

- ・人口が減少している、人口減少対策（10）
- ・人口が増えてほしい（8）
- ・人口の維持
- ・若い人を増やしてほしい（3）
- ・外から人（住民）を呼び込むような施策が必要
- ・他の地域からの受け入れる体制

<活気>

- ・市街地の活性化、中心街の活性化（7）
- ・町が暗い、もう少し活気のある町になってほしい（8）
- ・人の歩く街に、人が行き交う町になってほしい（2）
- ・若い人が多く集まり活気ある街になってほしい
- ・雰囲気さびしい
- ・夜がにぎやかに
- ・町外からの人がたくさんくる町（魅力的な産業があつて、開かれた感じのする、人が集まってくるような雰囲気のある町）
- ・田舎さを生かした体験や企業があり、メインストリートがもう少しにぎやかになると良い
- ・上土幌町がふるさと納税でテレビでもよくとりあげられているのを見ると、土幌もがんばっていいアイデアを出して活気づいてほしいなと思います

<その他>

- ・「まちがえても良いから行動をおこして変えよう」という思いをつぶさずにいるほしい
- ・町の中心ばかりでなく、へき地へも目を向けてもらいたい。色々な方面で
- ・町の繁栄が第一、ますますの発展を（2）

15 人口減少対策に関するアイデアや提案

【問 15】近年、土幌町の人口は減少しており、減少を抑えることが課題になっています。「今住んでいる人達が将来も住み続けるために特に必要と思うこと」や、U ターンを含めて「土幌町に移り住む人を増やすために特に必要と思うこと」などで、意見やアイデアがありましたら、お書きください。

(1) 今住んでいる人達が将来も住み続けるために特に必要と思うこと

<生活環境・基盤全般> (24)

- ・生活環境が整っている、生活環境がよいこと、生活インフラの整備 (7)
- ・安心感、安全・安心な町、治安の良さ (5)
- ・便利な町にすること (4)
- ・自然を守っていくこと (2)
- ・悪臭をなくす事
- ・美意識の向上 (一人一人が) 例えば、ゴミをそこらへんに捨てないなど…そういう小さなことが、みんなができれば
- ・気持ち良く散歩ができること
- ・日常生活がもう少し便利であれば良いのでは。休みの日は必ずといってよいくらい音更や帯広に行く必要性がありすぎる (病院・買い物・食事など)
- ・都市集約化、コンパクト化
- ・自然エネルギーで作った電気が町民に配給されるなど

<公共交通> (37)

- ・交通機関の充実、交通の便の改善 (22)
- ・コミュニティバスの継続、拡充 (4)
- ・バスの本数を増やす (5)
- ・車がなくても住めること (市街地に行くには自家用車で行くしかないから)
- ・帯広までのバスの本数を増やす
- ・町内での買い物のための交通
- ・バスが有るが時間帯が悪い
- ・交通 (特に冬)
- ・車が運転できなくなった時には今の家には住み続けられないだろうと思っている

<道路> (7)

- ・除雪等
- ・冬場の国道等の道路の整備
- ・冬場の除雪をもっと早い時間にしてほしい
- ・冬場の道路状況の改善。(吹きだまりの様になっていることがあり、運転するのが怖い)
- ・音更方向や上土幌方向に行く時に冬の道は吹きさらしなどが多くとても怖いので、雪よけなどもっと増やしてほしい
- ・国道が冬怖い。木で風よけを増やすべき。切りすぎ
- ・防風林がほしいです

<住宅> (35)

- ・住があること、住みやすい住居環境 (13)
- ・家賃を低くしてほしい、家賃軽減、住宅支援など (4)
- ・町営住宅を増やす (2)
- ・安く住宅を供給すること、手頃なアパートや公住の整備 (3)
- ・借家が少ないのでマンションばかりでなく一軒家も増えたらいい (引越したいがなかなか見つかりません)
- ・住宅及び住宅費が足りず、あっても古いのに高いのでそこを改善する
- ・1世帯1家の居住環境

- ・古い建物なので次住める家の確保
- ・住まいが確保されていれば（現状をキープ）
- ・住む所（町営団地など）の確保
- ・小さなことですが住むまわりをきれいにしたい。
- ・町営住宅が寒く暖房費がかかりすぎる。
- ・町営住宅のアリ、ネズミの駆除
- ・老朽化した町営住宅の補修。水道水が鉄臭くて飲めない、風呂場が寒いなど静かで住み良いのに残念
- ・水道の水が薬くさくて飲めないのどうにかするべき
- ・フレンドハウスに風呂と除雪車がほしい
- ・人口の減少が今後続くと思われる中、廃屋対策が重要

<公園> (2)

- ・公園など子どもお年寄がいこいの場として活用する場所の維持管理をする。せっかくいい施設があっても、初めはきれいだが、今は、使えないような場所がたくさんある
- ・子どもがのびのびと遊べる場所、公園

<医療> (83)

- ・医療の充実、医療の質の向上、利用の不安をなくす (47)
- ・病院の充実、病院を残す (12)
- ・医療費の助成、無償化の拡大 (4)
- ・良い病院があること、病院の信頼度を高める (5)
- ・医師・看護師の充実 (3)
- ・医療機関の充実（小児科、皮フ科など）
- ・近隣に大病院等があるため沢山の望みはしませんが、せめて良い医師を置いて頂けば、何も他には望みません。
- ・高度な医療でなくてもよいので具合が悪くなった時まず町の病院で受診し後の治療のメドが立つこと
- ・土幌でないものはネットで購入もできますが、やはり医療だけは不十分な感じがします
- ・子供も安心してかかれる病院があると助かります（小児科だとなお良い）
- ・小児科、眼科などあれば良いと思う
- ・国保病院の充実 (3)
- ・国保病院では足りない科（特に小児科、皮フ科）を、週1の出張医で良いので作ってほしい。
- ・帯広の病院への交通機関の充実又は助成などが必要なのは
- ・帯広、音更との提携など医療サービスをもう少しよくしてほしい（ここじゃどうもできない、とせっかく行っても言われる）

<福祉全般> (24)

- ・福祉の充実、福祉サービスの充実 (24)

<若者> (5)

- ・人口を減らさない（若者）
- ・若い人たちも住みたいと思える町、若者が集まるような街づくり (2)
- ・若い人を増やす
- ・農業後継者だけでなく勤労者（男・女をとわず）に結婚、永住してもらう

<子育て支援> (37)

- ・子育て支援の充実、子育てしやすい環境 (21)
- ・保育の充実、保育サービスの充実 (4)
- ・療育の体制整備
- ・もっと子供が楽しめるような施設があったらいいなと思う。
- ・小さな子供のいる親はママ友などお友達ができやすいが、大人ばかりで引越してくると友達ができない。交流の場が見つからない。そういう場を作ってほしい
- ・託児所などがあれば共稼ぎの家が増え夫婦が安心して生活出来るだろうし増税にもなると思う
- ・保育園の増加。任意で保育園をえらべること。
- ・保育士の資質。若い保育士ほど優秀！信用できる。お局のために力を発揮しきれずにいる。
- ・子育て世代にサービス向上、町民の協力

- ・子育て世代の社会的役割の軽減
- ・子育て世代を経済的に助ける。
- ・自然豊かで子どもを育てていく分にはとてもよい環境だと思うが、小児科新設、幼稚園プレ保育の導入など子育てでのサービス向上も必要かと思います
- ・ひとり親家族が住居も含め安心して暮らせる町
- ・転入して来た世帯の将来（特に子供の）のビジョン形成を手伝う

<高齢者支援> (42)

- ・高齢者支援、高齢になっても住みやすい環境づくり（医療、交通など）(27)
- ・介護の充実(3)
- ・高齢者が安心して生活できるサービスの充実(2)
- ・家族の介護力がなくても独居で住み続けることができるサービス力
- ・介護が必要な状態になっても終末まで安心して住み続けることができる住居
- ・老人施設にもっと安く入所出来るなど
- ・自分の家族に介護が必要な状態になった時相談でき、力になってくれる窓口がわかりやすく身近に感じられること
- ・身体に不安のできた敬老者の住める場所が多くある事（ケアハウス、特老等）
- ・サロン以外で高齢者が町中で自由におしゃべりが出来る場所などがほしい
- ・高齢者の集いの場所が必要。高齢者が閉じこもらない様にみんなが気楽に集まる事が出来る所
- ・老後の健康管理又その後の福祉関係に不安がつかない。安心して年を重ねていけたら、この町に住んでいてよかったなと思われる
- ・老後の安泰・気配り
- ・豊かな自然を生かし、お年寄りが安心して暮らせるように福祉に力を入れること

<教育> (15)

- ・教育の充実、学業に力を入れるべき(6)
- ・教育水準が高いこと(2)
- ・学校教育
- ・学費無償化
- ・高等学校は土幌町の子供がどれくらい入学しているのか
- ・奨学制度の拡大
- ・この地域ならではの教育（スケートなど少人数教育のメリットなどの説明）
- ・土幌高校への進学率を上げる。そのためには農業以外にも特色のある学校にする必要がある
- ・今の町に住んでいる子供達すべてに、良い教育を…。塾代無料などにして優秀な子を多く作り、将来、医者や看護師になってもらい、土幌にもどって来てもらう（Uターン）

<文化、生涯学習> (4)

- ・後世に伝えていくためにも地域文化の継承、発掘。良い環境を末代まで残す
- ・今まで残っている文化などを受け継いでいって未来にも残せるようにする
- ・色々な事を学べる場がほしい（年齢に関係なく）
- ・同じ趣味を持つ人同士の集まれる機会、場所を提供してほしい（パン作り、料理教室、手芸など）

<働く場、雇用> (103)

- ・雇用の場や仕事があること、就職先が増えること(59)
- ・生活できる収入を得られる職場、家族を養えるだけの給料が頂ける職場が必要(9)
- ・安定した雇用の場があること、安定収入を得られる仕事、賃金の安定化(7)
- ・新たな企業誘致(8)
- ・生き生き働く事が出来る雇用、将来に希望を持てる職場があること(3)
- ・若い人々が働ける環境(3)
- ・子供たちがUターンできる仕事(2)
- ・働ける場所が色々あると良い(2)
- ・労働環境が良いこと
- ・働く人の正職、準職の見習し
- ・仕事ができる環境（子育て中の女性）
- ・一度離職した女性や障害者の仕事があるかどうか

- ・ 齢をとっても仕事があること
- ・ 若者の給料を土幌町内独自の給料体系にする、または家賃を半価にする
- ・ 土幌では農協が役場より強いと聞きますが、農協には農協の良さがあって企業を受け入れたとしても選択するのは客であって企業競争させるのも大事な事だと思う
- ・ 産業の活性化
- ・ 農畜産物使った加工販売をする仕事を充実させ雇用を増やす
- ・ 一次産業と労働力不足。労賃の支払える格差があるので畜産ヘルパー、農業ヘルパーの派遣を

<農業> (7)

- ・ 農業の振興、農業支援 (3)
- ・ 農業の協同 (会社組織)
- ・ 農業関係以外での仕事の場を増す
- ・ 農協にたよらない
- ・ 農協以外の農産物加工の工場

<商業、店など> (141)

- ・ 商店を増やす、商店がなくなること、買物が便利であること (52)
- ・ 商店街の活性化、商店街の充実、市街地の活性化 (19)
- ・ 娯楽を増やす、レジャー施設、ゲームセンター、中高生でも楽しめる施設 (13)
- ・ スーパーを増やす (8)
- ・ 物価が高いので安くする (6)
- ・ 食糧品が買える店があること、日常に必要な生活用品が買えること (5)
- ・ ショッピングモール、百貨店、総合的な店舗が近くにある (3)
- ・ ドラッグストア (7)
- ・ 100円ショップ (6)
- ・ ホームセンター (4)
- ・ リサイクルショップ (2)
- ・ ファーストフード店
- ・ 衣料店
- ・ 子供用品、ベビー用品や衣類は町外へ行かないと買えないので残念
- ・ 音更町が近いので多くの人が音更に行って買いだめしているので町内の魚の鮮度が悪い
- ・ 商工会の活性化
- ・ ここで生活して安心して老後を迎えることができるよう…買物等についても市街地から離れていて、車を運転できなくなっても自立している限り買物も楽しめるようにしてほしい
- ・ 歩ける範囲に商店があること
- ・ 夜おそくまで買い物できるところがほしい
- ・ 仕事で家に帰るのが遅くなる人はコンビニしか買い物する場所がない。23時ぐらいまでやっている弁当屋や24時間チェーン店がもっとあると、地元帯広まで帰らなくてすむ…。
- ・ 仕事帰りでも買い物の出来る場所があると良い (21:00 ぐらいまで)
- ・ スーパーでクレジットカードが使えるようにする
- ・ レストラン、飲食店を増やす (3)
- ・ 食事をするにも閉店時間が早い
- ・ 商店街の空き店舗を利用して子供達・高齢者のいこいの場所を (高齢者が子供を見たり世話したり)

<観光> (4)

- ・ 市外に観光出来る所が少ない
- ・ 観光客の体験型イベントを考案
- ・ オートキャンプ場の整備などを進める
- ・ 祭りなどのイベントの強化

<コミュニティ、交流など> (27)

- ・ 地域の交流と支え合い、地域の人達と仲良くする、近所の助け合い、適度な近所づきあい (6)
- ・ 人と人のつながりを大事にする (2)
- ・ それぞれの立場を理解し合い仲良く協力し合うこと
- ・ 行政、町民、若者、年配者などの立場やくくりをなくし話し合える支えあえる関係づくり。家族も必

- 要だが「誰かに気にかけてもらえている」という状況でも住みやすくなるはず
- ・孤独にならぬよう人とコミュニケーションをとれる環境がある町であればうれしい
- ・お互いの人格を尊重し、一人一人が自立出来るようになること
- ・行政区の充実
- ・地域住民参加でのイベント、おまつりなど。昔は多かったと思います。活性化には大切なことと思う
- ・一人で多く参加出来るイベントを企画して行動する
- ・自分達が携われる活動があること
- ・新しく入った人達をいつまでもよそのあつかいしない、排他的な意識をなくす (3)
- ・閉鎖的な雰囲気が町全体にある。町民の視野を広げる活動などはどうでしょう
- ・男女の出会いの機会が必要、独身の交流機会を増やす (3)
- ・未婚の人が多いため人口が減る要因にも。結婚推進を！
- ・協力し合うところは協力し合い (町内活動など) 個々の生活も大切にしていく。町内活動や公民館活動が負担にならないように
- ・学校役員、町内会、子ども会等属すると何かの役員がまわってくる。昔のように人口が多いわけではないので各場所で実施状況を見直し、人口に見合う活動にしたほうがいい。人口 7,000 人と 6,000 人の時で同じ事をやるのは不可能では？
- ・催事等への役場、農協職員の中核的な参画→町内会活動においても参画がみられない

<行政> (14)

- ・行政サービスの質をおとさないこと、住民サービスの維持、向上 (3)
- ・情報のわかりやすさ、情報開示 (2)
- ・町の人や農家の声を聞く
- ・懇談会などで土幌町の良い所やこんなところが住んでいて良いという意見があったなら、参考にしたら良いと思う
- ・いろんな面で安心してきて気軽に相談できる場所がある
- ・行政が町民のためにきちんとしていること
- ・役場職員の接遇向上
- ・他の町より町民税を安くする
- ・税金の還元
- ・町の未来図を明確に
- ・役場全体が暗い (節電は良いと思う)

<その他> (31)

- ・人口が増えてほしい
- ・人口減少は仕方がないので、人口が減っても安心して暮らせる町づくりが必要だと思う (2)
- ・土幌町の町のいいところのPR
- ・土幌町に住んだらこんないい点があるという所をつくる
- ・魅力的な町にすること
- ・都会に比べての優位性
- ・土幌町への愛着の気持ちを育む、土幌町を誇りに思う気持ち (2)
- ・生きがいがあること、楽しみ充実感のある生活 (3)
- ・思いやりある町に！
- ・衣食住の充実をより実感できるような町づくり (2)
- ・健康推進 (2)
- ・地産地消の推進
- ・郵便局、学校等公的機関の維持存立
- ・中土幌に住んでいますが、これから先、郵便局が無くなり、農協での給油が出来なく成る事、そして金融が不便に成る事で住み続ける事が出来なく成る事が心配です
- ・共同埋葬墓があつて良いのでは
- ・公衆浴場 (下居辺遠くて不便である)
- ・自助、共助
- ・離農者に対する支援 (住宅、余暇の情報提供など)
- ・現状、生活する上で不便な事が多く、それを満たすには、音更町、帯広市へ行き解消している。往復で1時間という時間を短縮できれば、将来住み続けたいと思えるかもれない

- ・行政に過大な期待をせず自給自足の生活を心がける
- ・今までは福祉の町をうたってきたがそれは一段落して、これからは人作り、子供支援
- ・土幌だから出来る事を是非やってほしい
- ・物事をないがしろにせずいいと思うこと、新しくどんどんやっていってほしい
- ・働いていない人を減らす（何もしていない人）
- ・町民自身（親）が子供達に土幌で働いてほしい気持ちになり伝えて行く事でUターンの道になると良いですね。若者（青年）を信じて見守る中高年になること

(2) 土幌町に移り住む人を増やすために特に必要と思うこと

<生活環境・基盤全般> (19)

- ・ 便利さ、生活における利便性の確保（病院、買い物、金融など）(7)
- ・ 町並の改善、もっと明るく魅力的な街並みにする (3)
- ・ もっと自然を生かす、自然環境を活かす (3)
- ・ 暮らしやすい雰囲気 (2)
- ・ 悪臭をなくす、臭気対策。「昔よりマシ」に終始せず「より快適に」(2)
- ・ ゴミ出しの日を増やす
- ・ 不法投棄やポイステをなくす

<公共交通> (10)

- ・ 交通の便の改善 (9)
- ・ バス利用も含めて交通の利便性

<情報通信基盤> (7)

- ・ 通信インフラ（光通信網）の整備、インターネット環境の充実 (4)
- ・ インターネット及びデータの時代であり、若者、起業家を集めるためには日本一のインターネット環境の整備が求められると思う
- ・ インターネット環境の充実化とその宣伝
- ・ 携帯の通信整備

<住宅> (110)

- ・ 住む場所を増やす、住宅の確保、住みよい住宅を増やす (45)
- ・ 安く住宅、土地を供給する、アパート、マンション、住居の家賃を安くする (12)
- ・ 住居の助成、居住手当など (4)
- ・ 住宅、宅地、アパート、マンション公住の供給、増加 (3)
- ・ 住宅が古すぎる、住宅も古い家では子育ては大変だと思う (2)
- ・ 住宅費や固定資産税を安くする
- ・ 若い人の住居の充実 (3)
- ・ 单身向けの安いアパート、单身住宅の整備など (2)
- ・ 家族で住める家、世帯で住める賃貸住居が必要 (4)
- ・ 家族で住める3DKぐらいのアパートを増やすか公営住宅を新しくする
- ・ 老後住む場所があれば戻りたいという声をきいた事があります
- ・ 移住する人に住宅優先的に住むことができるようすること
- ・ 移住者の家が少なく、単身者用、世帯用があれば人口増加につながるのではないのでしょうか
- ・ 賃貸物件を増やす (2)
- ・ 家をたてる人に補助金を出す
- ・ 土地の無償提供や家屋の補助
- ・ 土地代無料もしくは家代の半分免除でずっと土幌に移住してもらう
- ・ 他町村からの通勤している人を永住させるような土地購入の際の支援
- ・ 戸建賃貸住宅の充実。人づて以外での情報提供
- ・ 土幌に住みたいと思わせる何かがあればいい。TVで子供のいる世帯にマンションなど借りる時にお金がもらえると言うのを見たことがある
- ・ 新築、中古住宅購入、リフォームに助成金
- ・ 民間アパート建設のサポート
- ・ 新規住宅建築者への土地の誘致（固定資産税、住民税等の税収UPがみこまれる）
- ・ 緑風近くで温泉をアピールし、別荘をつくって頂く
- ・ 温泉を中心とした移住住宅（団地、村）の整備
- ・ 空き屋の有効活用 (3)
- ・ 公営住宅の整備、改善 (7)
- ・ 公営住宅の質をよくしてほしい。少々家賃は高くなっても、すぐに住めるような状態にしてほしい
- ・ 公営住宅の充実。家賃と釣り合っていない。直さないんですか？との問いに、役場の方は直さないと

言っていた。家の状態を良くしないと移り住もうか考えている人も来ないと思う

- ・公営住宅の入居条件の見直し。世帯で町内に住みたいと思っても現状賃貸がない事が多い。戻ってきたくても家がなければ戻れません！
- ・町営住宅の建て替え。夏場のおい（臭いです）、冬は雪かき（除雪はもう少しきちんとやるべき）
- ・空いている町営住宅を他の市町村（音更や上士幌など）で働いている単身者に貸す。町に税金が入り若者が増えて活気が増す
- ・教員住宅、町営住宅などの空き家の利用しては
- ・公営住宅の申し込み方法が簡素に。移り住んでくる人に、町内に住んでいる人が保証人ってありえないです。

<公園、遊び場> (7)

- ・子供が安心して遊べる公園、公園の整備、充実 (3)
- ・遊ぶ場所をつくる（親子、若者）(3)
- ・子どもが体を動かせる場所（冬期）

<医療> (24)

- ・医療の充実、安定 (15)
- ・医療施設の安定と安心が必要 (4)
- ・医療機関があること
- ・士幌の病院に通うようにする
- ・小児科がほしい
- ・通院の便利さ
- ・病院の先生などスタッフが不足していると思うのでふやしてもいいと思う

<福祉全般> (4)

- ・福祉、福祉面の充実 (3)
- ・安心した老後が暮らせる事

<若者、子ども> (16)

- ・独身者には結婚をすすめる
- ・男女の出会い、独身の人達のお見合い (2)
- ・若い人の出会いの場所を作る
- ・非就農者への出会いのある場所をつくる（現在は就農者しかしていないため）
- ・若い人が住みたくなる様な支援、若い世代への支援を手厚くする (5)
- ・若い世代が元気なまち、若者がたくさんいるまちに、若い人の人口を増やすことが必要 (3)
- ・Uターンして来てほしい
- ・子ども達が士幌町内に就職し、定住できると良い
- ・この士幌町で生まれた素晴らしさを子ども達に伝えていくことが必要。教育資金の援助、親を助け、子どもが将来良き人物になり士幌に帰ってくる事

<子育て支援> (67)

- ・子育て支援、子育てしやすい環境づくり、子育てにやさしい町になる (40)
- ・子育ての助成、経済的負担を減らす、子育てに金がかからない町になる (8)
- ・お年寄りにやさしい町のイメージがありますが、子育て支援がもう少し充実していれば出生率も上がる
- ・昔みたいにおじちゃんおばちゃんが回りの小さい子供達をみる。若い両親は働く事ができる
- ・保育サービス (3)
- ・子供を低い金額であずけらる事
- ・保育職員の質を改善し「あそこの子ども園は頼れる」という環境になれば移住してくれるのでは
- ・子供の医療費負担軽減 (2)
- ・小学生まで医療費無料
- ・中学生くらいまでの医療費の無料化
- ・高校生までの医療費を無料にする
- ・子供が多いほど町税を安くする。小学校、中学校の教育費はただにする。
- ・子育て世代だと就学前は申し分ないので、小学校～士幌町独自の教育の取りくみのPR
- ・学童が終わる時間が早く母親は働けない。共働き家庭は住めない。へき地にいたっては学童がなくあ

- ・ っても休みがあり役に立たない
- ・ 学童の更なる充実化
- ・ 学費の補助、高校で給食開始など
- ・ 子供教育支援
- ・ 子供の学習環境の向上

<高齢者支援> (11)

- ・ 老後の環境
- ・ 生きがいがある老後が大前提
- ・ 高齢者サービス
- ・ 高齢者が移住できるようにし、介護等の仕事を生み出し、若者の移住者を増やすよう試みる
- ・ 高齢者が施設に入居しやすくすべき
- ・ 下居辺温泉の様な施設が市街地に出来れば良いと思う（高齢者のための）
- ・ 高齢者向け施設や住居等の充実（3）
- ・ 特養など福祉施設がたくさんあればいい
- ・ 閉校校舎の再利用し高齢者用福祉施設をつくる

<教育> (9)

- ・ 給食費を無料にする（3）
- ・ 教育の充実、学校教育の充実、学校に魅力があるといい（4）
- ・ 教育水準が高いこと
- ・ 学校整備が充実しているPRが出来るぐらいにしておく

<働く場、雇用> (223)

- ・ 雇用先の確保、働く職場を増やす、仕事を増やす、現在より就業の機会を増やす（143）
- ・ 企業の誘致、会社誘致（23）
- ・ 安定した収入が得られる職業があること、生活できる仕事があること、正規雇用の拡大（16）
- ・ 若い人の働く場所を増やす（14）
- ・ 新卒の求人があった方が、住んでくれる人増えると思います
- ・ 高齢になってからも働ける場所があること
- ・ 年齢層に準じた仕事（働き口）があれば人は集まって来る
- ・ 選べる職種、色んな職種があったら良い（2）
- ・ 魅力的な職場
- ・ 地場産業の発展
- ・ 農業に従事しようと思わないと、士幌にわざわざ住まない。新たに事業をおこす支援など必要かと。
- ・ 第一次産業以外の雇用
- ・ シリコンバレーみたいな所にする。
- ・ 農、工、商、等の職種が町内では少ない
- ・ 雇用体制、労働環境を整える（3）
- ・ 就業者支援（2）
- ・ 補助、手当の充実
- ・ 働く母親が増えていく一方、働く環境がない為に町外に通勤したり、母親の職場を優先して引っ越していった家庭もありました。働ける環境、そして安心して子どもを預けられる環境があるといい。
- ・ これから就職していく若者の働き口が限られている。音更、帯広であれば通勤は可能だが、道東から出る若者も多い。近郊の町との連携を図りながら幅広い働き口があればよいと思う。通勤手当も重要だと思う
- ・ 若い主婦の働き方への対応を考える
- ・ 出産等で一度離職した女性や障害者などが正規雇用の促進を進め町外にアピールする
- ・ 仕事で移り住む人たちが長く働いていけるように、各職場での勤務状況等を随時確認していくことも必要ではないかと思います。魅力的な職場が多ければ自然と人は増えるのではと思います
- ・ 士幌町だけではなく、帯広でも就職がない。技術を身につけても、就職がないのでわざわざ戻ってくるのは不安と言う方が多い
- ・ 事業を受け入れる雰囲気
- ・ 新規事業者への助成金
- ・ 地元・近隣企業等と連携した雇用機会の創出

- ・役場で町内の働く場所の仲介をする

＜農業、農業関連＞（28）

- ・農業を中心に雇用の確保が課題になっているので、雇用確保に力を入れる
- ・後継者の確保、就農者支援（3）
- ・生産性のある農業者を創出する。離農後への新規就農。農協組合員の出資金の10年ローン等就農しやすい状況をつくる。農協の協力と努力を引き出す。金を持つと意欲がなくなっている
- ・農業への新規就農者（後継者以外）の支援をする、新規就農への支援（4）
- ・リースの施設など一から農業を始める人への手助けがあればいい
- ・農業や酪農に興味がある人を受け入れ、離農された方の場所を利用してもらう
- ・離農した所に、新規就農者を募集する等道外からの移住しやすい環境を作る
- ・営農中止者の施設を利用した受入など
- ・農地もだんだんと余って来ると思うので、それを利用して新規就農者を全国から呼び集めて（会社方式で）古い公住も若者向きに変えて若い人の移住を促進する
- ・就農したいと思える環境
- ・就農条件の緩和
- ・農業をやりたい若者は全国に居ると思う。新規参入をしやすいようなシステムがあれば良いと思う。土幌に余っている土地があればの話かもしれませんが…。
- ・第一次産業の収入を増やし、その方々に町でお金をつかってもらい商工会を発展させる事により就職場所を確保する
- ・農業関連産業の発展、農畜産物に関連する職場、特産品を利用できる企業誘致や新たな事業（4）
- ・土幌ブランド農畜産物の加工場建設（2）
- ・今農協で加工トマトを試験しているが今後大々的にやってほしい
- ・農作業の人材バンクや6次産業の支援など
- ・土幌は十勝管内でもぼんやりしたイメージしかない（食べ物は知られているが）起業などでおもしろそうというようなイメージがつくと良い。土幌高校の卒業生で食品加工とか事業としてもっとうちだしてくといいのでは？土幌以外の卒業生が土幌に住むきっかけになると思う
- ・従業員を雇おうとする法人農家の“オヤカタ”も含めて企業経営者の意識改革、教育が必要

＜商業、店など＞（46）

- ・店を増やす、商業施設の充実、買い物等の利便性の向上（15）
- ・商店街の活性化、商店街を利用しさびれさせない（4）
- ・ドラッグストア（3）
- ・スーパーをつくる（2）
- ・ショッピングモール
- ・イオンですな
- ・ホームセンター
- ・それぞれのジャンルのチェーン店を町に呼び込み、働き口を増やし生活の利便性を良くすること
- ・「森のくまさん」のような店（おしゃれな）が増えるといい（若い人には）
- ・ピア21しほろとASPOの閉店時間を長くすべき。
- ・スーパーをキレイに。スタンドの接客態度、なあなあをなくし、他の人もよりたい感じに
- ・スーパーでクレジットカードが使えるようにする。
- ・音更や帯広まで出かけなくても一定の必需品は、揃うようなお店が必要と思う
- ・ある一定の商業施設だけではなく、他の企業も進出できるようにする
- ・美味しくて安い土幌の食品を気軽に食べられる店を作るなど
- ・農畜産物を活用した食品、加工品、飲食店などを提供する場所づくり
- ・空き店舗を少なくする。さびれた印象を持たれるので何かに活用する。アンテナショップとか
- ・販売機をもっと増やしてほしいです
- ・娯楽、楽しめるスポットなどを増やす（6）
- ・ゲームセンターを作る
- ・町内でしか使えない商品券より全国どこでも使えるTポイントなどのほうが便利

＜観光＞（2）

- ・観光事業に少しでも力を入れる
- ・道の駅をどうにかした方がいい。町の玄関口なのにつまらない

<コミュニティ、交流など> (31)

- ・新しい人々を受け入れる空気を作る、よその扱いをしない (9)
- ・移り住んだ方が溶け込みやすい環境作り、容易に地域の人達になじめるようにする (5)
- ・元々士幌町に住んでいる人々との交流の場をつくる、情報交換ができる場を提供する (4)
- ・人とのつながり、助け合いが必要、周囲の人達の理解・協力 (5)
- ・気持が通う仲間作り、町民同志のコミュニケーションの場所作り (2)
- ・コミュニティの充実、町内会、地区の交流 (2)
- ・移り住んで来た人と地元人との食を通してのイベント、交流の場をふやす
- ・地域の密着性が強いことは良いことだが、移り住もうとしている人には少し辛い面もあるので町全体で適度な支援や誘いがあると安心できると思う
- ・移り住む方々をあたたかく迎えらるる環境が必要。それには地域での交流や支え合いが多くみられる町にするよう教育が必要と思います
- ・農村交流など地域行事を身近に

<行政> (5)

- ・行政がきちんとしていること
- ・税金を安くする、優遇する (4)

<特典> (12)

- ・移住者への支援や特典、Uターンで得られる特典、移住に興味を持てる制度な (9)
- ・温泉券やバター配布など特典の力は大きいかも知れない
- ・他町村からの移住者には町の特産品をプレゼントしたりする
- ・移り住む人に対する住居や職場の供給のサービス

<イベント、PR> (47)

- ・士幌町のよさ、魅力をPRする、知名度を高めることからやっていく (20)
- ・士幌町にしかない魅力づくり、町のアピールできるものをみつける (7)
- ・士幌町のことをもっと知ってもらう (2)
- ・士幌の長所を活かす
- ・住みやすさのPRや環境整備
- ・空気がきれい、自然豊かで、子どもを育てるには良い場所ですと伝える
- ・温暖化、積雪少ない、日照時間が長い等住みやすいところのPR
- ・地域資源のPR
- ・知名度をあげてほしい。テレビ、ラジオで取り上げてほしい
- ・他と比較したものを提示し町をPRする
- ・福祉や医療の充実さをアピールする事
- ・中年の都会の人が田舎の良さをわかってもらえるように宣伝する
- ・町に住んでいる人が町のことをよく知っていること
- ・職と住の確保を町外に向けてもっとPRする。魅力ある町を発信する。特に子育て世代に向けたPR。たとえば、アレルギーを持つお子さんに対応できる町（給食や学校他環境を提供する）など、具体的にターゲットをしぼって。
- ・宿泊施設（居住場所）
- ・条件つき物件を提供しまちのPR活動をする
- ・ちょっと暮しをもっと普及させ、士幌町を知ってもらう機会を増やす
- ・イベントを充実させる (3)
- ・各年代別・男女別・各障害別等々に分けた『マラソン大会』の開催。フルマラソン、ハーフマラソン、クォーターマラソンを企画・実施する。冠に“十勝の国・士幌町”をつけ、全道・全国応募する

<その他> (30)

- ・三笠市のような移住しやすい環境や対策 (2)
- ・生活の安定が得られること、安心して生活できるまちづくり (2)
- ・自然の恵みを求めて来る人は多いと思うので何かに特化するか。良い思い出があると、帰ってくるものだと思います
- ・仕事と住居をセットにした求人などを出したら人が集まりそうに思う

- ・ 定年した人のUターン、住みやすい状況を作る
- ・ 良質な食材が多数生産される事
- ・ 町を活気づける
- ・ 町のたのしい雰囲気
- ・ よその町がやってないこと
- ・ 低賃金でも生活しやすい町づくり
- ・ 土幌まで行かなくても中土幌でも出来る事を増やしてほしい
- ・ 本気で取り組む何事も
- ・ 全国の小規模だが人口問題に悩んでいない町村の政策を見習う
- ・ 新規事業支援や農業以外の仕事、生活環境・子育て支援など、仕事+生活で総合的に他から移り住むのに魅力的なまち
- ・ 夏場に自給する畑を用意した上でその近くに団地が用意されている所があったら退職した年代の人がもどって来て暮らすことが多いかな？
- ・ 教員家族全員住むには、交通機関の便利さを良くして、買い物（特に食糧関係店舗）出来る様になると住む人多くなるのでは。
- ・ アートでIターンをうながしている地域など若い人が居住すれば結婚、出産とつながり人口増につながっていると思います。観光で人も来る良い例だとは思いますが
- ・ アートを盛り上げてみる
- ・ 東京－土幌会、札幌－土幌会を通じて、出来れば小学生のいる家族、又は高齢者のいる家族に来町してもらい夏季及び冬季の『ユートピア休暇村』を開設する
- ・ 個人でも工夫次第で（頭脳と身体を使い）多様な生活を楽しむ事ができる。そのカリキュラムを作り、PRする
- ・ 子育て家族や高齢者への支援だけでなく、他の年代にも支援があると平等な感じがあって嬉しい。独身者も使える割引など
- ・ 都合良い宿と化している体験宿泊施設などは維持費等の無駄使い。外面ばかりのサービスアピールだけでなく、町民生活の充実が見えてくる必要がある
- ・ 一部（行政や一部の人）で考えるのではなく町民全体で意見を出し合い、それを実行するべき
- ・ 職員（町役場及び関係者）がまず町内に住む。退職者も一定年は住みつづける事
- ・ 町職員の町内定住。町外から通っている方が一番わかっているのでは？
- ・ 近隣町村との交流を充実し、町としての積極的な方向づけと活動が必要
- ・ 美男美女を土幌に沢山移住させる
- ・ 静かで良い所なんだけどネ

16 まちづくりへのアイデアや提案

【問 16】最後に、今後のまちづくりでの新たな取組み、重点的に行うべき取組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、お書きください。

○242 人の方から、意見を頂戴しました。一人の方が複数記載されているものも多く、分野ごとに区分して示すと次のとおりです。

<自然環境>

女性	40代	西上音更	・土幌高原の環境保全、PR。土幌高原周辺の自然を楽しめる何か、イベントやツアーなど。
女性	70代以上	中士幌	・空気がきれい自然豊かな町なので、他町村にない宣伝ができる環境を。
男性	70代以上	佐倉	・百年の計という言葉がありますが、それは自然豊かな山や川を残すと同時に先人の足跡を残すことも大切と思う。巨木とか林など少ないと思います。

<景観>

女性	10・20代	士幌市街	・桜並木をつくる。国道ぞいの桜の切り方ががさつ。昔はもっときれいで“おおー！！”って感じだったのに。
女性	10・20代	士幌市街	・町内はキレイになってきているけど、もっとやるべき。(道路とか歩道とか街灯とか)
女性	50代	士幌市街	・市街地と緑風間を桜、ナナカマド等の美しい並木に。せめて坂道を下る回りからでも美しい並木を作りその季節の名所にしたいです。春は桜、冬はナナカマド…と、温泉を訪ねるお客様にも喜んで頂けるものと思います。
男性	10・20代	中士幌	・国道沿いの畑をひまわりなどの花でいっぱいにする。補助金出して、やってほしい。
女性	30代		・町並がうす暗く、すごくさみしい感じがする。元々住んでいる人からしたら良いかもしれないが、あまりにもうす暗く、さびれた感じがすごくどうしても困った時以外、土幌で買い物しようと思わない。こういう町並、店の種類などを改善すべき。町の人意識から改善しないと何も変わらないと思う。町並、人、すべてをクリアに、明るく風通しよくしないとだめだと思う。
男性	60代	中士幌	・私が住み始めた時期には、国道 241 号沿いには桜の木があり春にはきれいな花が咲いていました。道の駅も新しくなると聞いています。もう一度桜で国道沿いにきれいな花を咲かせてはどうでしょう。
女性	10・20代	新田	・商工会は、花壇(プランター)をおそろいの物を置いているが、農家の看板はバラバラ(地区でそろってはいる?)なので、町内で統一した方が良い。音更は町でそろっているの、「あ、このカンバンは音更だな」と感じる(気づく)が、町内でバラバラだと、町の区切りがわからないと思う。また田舎くささがある。統一して、さらに畑、乳牛、肉牛で色を分けるなどすると良いと思う。
	30代	中士幌	・町並整備。
女性	40代	士幌市街	・難しい事はわからないので、自分がいつも思っている事を書きたいと思います。まずは市街中心、役場周辺の歩道が、ブロック調になっていますが、新しくした頃はきれいですてきだったと思いますが、ブロックの間から雑草が出てきたり、コケがこんもりと生えて街並みが非常にきたなくさびれて見えます。家の前がブロック調の歩道になっている方は、手入れをして下さっている方もいると思いますが大変な作業だと思います。普通のアスファルトにしてくれた方が、よっぽど美しいです。一度、夏によく見てみて下さいと言いたいです。
女性	40代	西上音更	・防風林がどんどん少なくなっている。農村景観、自然環境に影響あると思います。
女性	40代	西上音更	・牛がほとんど放牧されていない。都市部から遊びに来ていた知人に指摘され気が付きました。知人は牛が見たかったとのこと。

<自然エネルギー>

男性	70代以上	士幌市街	・更に雪氷潜熱エネルギーを組み合わせ活用すると良い。太陽熱の利用；チーズ
----	-------	------	--------------------------------------

			の製造室は暖かく、肉加工は低い温度環境、電気や雪氷潜熱エネルギーの活用、低温長時間熟成や乾燥、濃縮した製品の味は素晴らしい。
--	--	--	--

<ごみ、リサイクル>

女性	30代	中士幌	・ゴミ袋の5Lがあると嬉しい。
女性	30代	中士幌	・ゴミ袋（もえるゴミ）の5Lがほしいです。10Lだと一杯になるのに2週間かかり、夏は困っています。まだ入るのに出すのはもったいないので5Lがあったらすごく助かります。
女性	30代	中士幌	・燃えるゴミの日が週に2回ほしい。
女性	30代	士幌南	・夏場になるとゴミがくさい。せめて夏場くらいは生ゴミを週2にしてほしい。
女性	50代	西上音更	・ゴミの分別の仕方が毎年のように変わるのでわかりづらいです。
男性	50代	中士幌	・ゴミも分けるのが多すぎる。くりりんセンターに行くと分けた物は結局同じ所で処理しているが何故士幌は細く分けるのかが分からない。以前に住んでいた街でも最も分けなければならなく、納得できていない。
女性	30代	中士幌	・もえるゴミの回収日が週に1回と言う事にびっくりしました。転勤が多く色々な町に住みましたがだいたい週に2回でした。不満の声は出ていないのでしょうか？（特に夏は大変だと思うのですが…）
女性	50代	士幌市街	・ゴミの回収も生ゴミが週1回はありえないです。いくらあみで困んだり石を置いてもねこやカラスが必ずちらかされています。
男性	30代	中士幌	・ゴミ出しの日が少ない。音更町は危険ゴミ以外の回収は毎週必ずあり、しかも燃やせるゴミは週2回、燃やせないゴミも週1回あります。この差は生活をしていく上では重要なことです。
男性	50代	士幌市街	・かしわの葉が秋に問題になる。収集してくれた人に商品券など還元できないか。葉は肥料として価値を高められれば、有効活用できる。枯れ葉がゴミに見えるなくなるのでは。
女性	60代	士幌市街	・士幌町には、自分の好きなかしわの木が沢山あります。毎年秋になると家の回りに沢山のかしわの葉が集まり、これをなんとか資源として使用出来ないものかと毎年思います。本当は畑で燃やして灰として自然に帰りたいのですが環境は出来ません。とても残念に思っています。少しでも腐葉土に土に入っていますが思うようにいきません。自分は専門家でないのに、ここに書いている事が間違っているかもしれませんが提案させて下さい。たとえば森産業さんと協同で実験などしないとわからないと思いますが、士幌は農業が主力なので地力回復などに役立たないでしょうか。もしかしわの葉を集めた人に還元もあれば喜んで自分は集めます。どうか考えてもらえれば大変ありがたいです。

<道路>

男性	50代	士幌市街	・道路も上記同様、歩道含む道路の補修が先決。
女性	50代	士幌市街	・細い道路のアスファルトがデコボコしていたり、マンホールのフタの部分がへこみすぎて車のタイヤにはまったら危険です。道路整備をお願いしたい。
女性	50代	士幌市街	・又、中士幌と緑風を結ぶ道路があると、とても便利になると思います。
女性	50代	士幌市街	・道路の整備。

<除排雪>

女性	50代	士幌市街	・除雪に来るのが遅い。夕方から降っていたら、夜中か朝方5時位には1度除雪に入ってもらいたい。朝8時すぎても除雪に来ない為、仕事に車で行けず、歩いて行く人や、遅刻をする方もいます。
男性	50代	中士幌	・除雪がとても上手にキレイに行っていると思う。が、まずは1本でも良いので全ての道をあけてほしい。それから細かく雪をよけてほしい。現在はどこからか分からないがキレイによけるのが先決で全の道をあけるのが遅い。実際昨年冬の冬で自宅前が中士幌で一番遅くにあいたようで2h仕事に行けなかった。すぐ先に除雪車が見えているのに一定の所を除雪して来なかった。それは差別ではないか。今思っているのは除雪。
女性	50代	士幌市街	・除雪も早くきてくれず、今年は特別ですが2日も仕事を休む事になってしまいました。

男性	10・20代	士幌市街	・除雪をしっかりとしてほしいです。
男性	10・20代	新田	・町中の除雪をしっかりと綺麗にする。

<防災>

女性	60代	中士幌	・縦横の連携を密にして災害に強い備えのある町づくりをお願いします。
女性	40代	中士幌	・避難所へのペット持込みについて（出来たら、一緒に避難したい）。
女性	40代	中士幌	・公民館に非常用の食料が準備されないなど町の中心部のようなサービスは受けられない。自分で車が運転できる間しかここには住めないと思って将来の予定を立てている。

<公園>

女性	10・20代	士幌北	・子ども（小学生）がケガなく遊べる場所を。遊水公園の様な思わず変な所から登りたくなる遊具ではなく、きまりをつくらなくても良い危ない遊びが出来ない遊具など子どもとして生きている人が大人になっても、「こういう施設や場所があるから安心して住める」と思える様なまちづくりを。
女性	30代	士幌市街	・更別村のように公園を充実させて人を集めれば色々な所でお金も使ってもらえるのでは。
女性	30代	士幌南	・最近DS、ゲームで遊んでいる子供をよく見かけます。もし、おもいっきり体を動かせるような室内付きの公園があれば。と思います。冬、子供達は総研に行くと言ってゲームをするそうです。道立公園並の大きな遊ぶ場所があってもいいのではないかと思います。そこで働く人、仕事の充実にもつながってきます。又、ゲームじゃなく、子供と親同士の交流も出来ていいのではと思います。
女性	30代	西上音更	・もっと遊具がたくさんある、大きな公園を作ってほしい。子供達の遊ぶ場所が少なすぎる。
女性	40代	士幌市街	・子供の遊ぶ場所があると嬉しい。名寄市の道立サンピラーパークや、本別町の公園のように、外でアスレチック遊びができたり、屋内で走り回ったりできるような場所があると町外からも利用者が来ると思う。
女性	30代	士幌南	・子供を連れて遊べる大きな公園がほしい。遊具（アスレチックジム）が中央にあり、水遊びも出来てそのまわりにはランニングやウォーキングが出来ると、歩いている大人達が子供を見守れるような施設。商店街の近くにすればお昼（ランチ）など、買い物など沢山利用してくれると思う。ライトアップに力を入れれば夜のカップルも増えるかも…
女性	60代	士幌市街	・遊水公園の水の流れがゆるいためか、コケや藻が生え、子供達が入って遊ぶにはすべてあぶない。又雑草がはえあまりきれいとはいえない。

<住宅、宅地>

男性	50代	士幌市街	・土地や住宅の整備。
男性	40代	佐倉	・街よりも山に住みたい人のための土地がほしい。
女性	40代	士幌市街	・他の町村よりは働く場所は比較的多い気がするがその人達が士幌に住んで働けるような住宅の確保。
男性	50代	中士幌	・住宅地の魅力ある整備、家を買おうと土地がついてくる。
女性	50代	士幌市街	・公営住宅等の整備。
男性	50代	中士幌	・公営住宅が他の町村よりとても安くする。
女性	30代	士幌市街	・公営住居の単身用の充実。
男性	70代以上	士幌市街	・7,000人の町には区域が広すぎるので、街の中心地に公住をたくさん作る。まだまだ空地あるので。
女性	70代以上	士幌市街	・高齢者になると、町営住宅前の芝生の草刈り腰が痛くて大変です。夏の雑草の生える頃-夏に2回位でも刈って下さる方、いませんか。入居者が刈るべきなのですか？それも若い人は二階ですので一階の入居者（年寄り）が現在刈っています。

女性	30代	士幌南	・町営住宅を増やす（ファミリータイプ）移住してくる人の住むところが少なすぎだと思えます。一軒家の促進も大切ですがまず、住むところの環境づくりをしてほしいと思えます。「衣・食・住」を大切にしてもらいたい。マンションに入るにもウチは、金銭的に入れませんでした。
女性	50代	士幌市街	・仕事の都合で引越して来ました。その時士幌に住むという条件で住む所を探しましたがマンションに空きがなく公営住宅に住む事になりましたが、あまりにも古く、古いのはいいのですがカビだらけで臭い体には悪いし。住民をふやすと他企業が力を入れているわりには役場の方の受け入れ体制の悪さが一番始めに感じてしまい、未だに士幌にはなじみません。
女性	30代	士幌市街	・私は上士幌で働き、士幌の町営団地に住んでいます。住む場所を探している時、士幌は転入がしやすい、町営団地も入りやすいと聞き士幌に住む事にしました。団地は古いですが作りは丈夫で静かですし、住みやすく助かっています。私は関東で生まれ育ち、仕事の都合で北海道に来ました。人は生きる為には収入がいります。士幌や近隣で働く場所があり、士幌の団地が入りやすいければ人は増えるように思います。仕事と住居セットでの求人幅広く出せば人の興味を引く事ができるのでは、と思えます。
男性	50代	中士幌	・各団地内での空地、中古住宅、売地の情報全部が一ヶ所で見られる。
男性	40代	北中音更	・賃貸不動産の充実→積極的情報収集、空家の持主に賃貸を促す、あくまで戸建。個人情報で尻込みしない、保証人対策も必要。
男性	70代以上	士幌市街	・住宅環境の紹介、整備について、移住者の希望や経済事情にもよるが、公営住宅や中古住宅等の紹介は必要である。最近のリフォーム用資材、設備、技術をもって対応すれば、中古住宅の場合でも新築に近いような寒地住宅に生まれ変わる。快適な冬を過ごせる。リフォームする場合、屋根、外壁はもとより、この際、耐震補強を必ず施工する。暖房は蓄熱床暖房にすると、イニシャルコストは高むが、省エネで温度差の少ない快適な住生活を送れる。FF暖房等を組み合わせる。停電に備えてポータブル暖房器も必要である。今日の技術を駆使すれば50年以上住める。
女性	30代	中士幌	・中士幌の国道ぞいの古い建物が風の強い日などにガタガタと窓がおちてきそうな所が多く、通るのが怖い。
男性	50代	中士幌	・人の住んでいない古い家屋の解体を安くできるよう助成。
男性	60代	中士幌	・国道 241 号沿いの中士幌地区は空家が多く人影がまばらで通ると淋しい思いがします。空家は何かかならないのでしょうか。景観が良くないです。

<水道>

女性	40代	中士幌	・年に何度か、水質が悪くなることもある（いずれも、すぐ対応してくれている）。雪溶けの時季などで、しょうがない点もあるかと思えますが。
男性	30代	中士幌	・水道水があまり美味しくない。ミネラルウォーターを常備しています。

<下水、排水>

女性	50代	上居辺	・へき地の方に来ると住宅は新しく水洗になっているがその水の処理に困っています。道路側溝が整備されず浄化槽の水を流す事が出来ず困ります。
----	-----	-----	---

<交通>

男性	40代	中士幌	・交通の充実。
女性	70代以上	中士幌	・交通機関がもう少し便利になればと思います。
男性	10・20代	士幌市街	・近くに駅もなくバスの便も良いとは思わない。
女性	40代	中士幌	・中士幌は音更にも近く、地理的には住みやすい場所だと思うのだが、巡回バスがこない。
女性	40代	中士幌	・一定料金を支払ってもいいので巡回バスは広く行うべきだと思う。バスが無理なら大型タクシーの乗り合い制でもいいと思う。
女性	70代以上	中士幌	・農協近くのバス待合がとても風当りが寒く、何か対策をしてほしい。
女性	30代	士幌市街	・武蔵村山市「むらタク」みたいなものが、士幌町で出来れば、いいですね。一度、視察やネットで調べてみる価値はあると思えます。コミバスは市街地に住んでいる人にしかメリットがないので。

男性	10・20代	士幌市街	・帯広に出るにも車が必須な状況である。長年そうだったのであれば仕方がないとは思いますが財源確保のためには、観光客の誘致は必要だと思ひ、今の士幌町には車で帯広から1時間かけて来たいと思うものは少ないと思ひ。
----	--------	------	--

<情報通信>

男性	30代	士幌北	・光ファイバー網の整備推進。
男性	10・20代	上居辺	・光回線を利用できる地域を広げてほしい。

<健康づくり>

男性	30代	上居辺	・中高年、高齢者向けの介護予防のための運動や指導を受けることができる環境を整えることが必要ではないかと思ひます。年をとり、仕事を引退し、痴呆症になり、寝たきりになる様な人はこれから我が町にもたくさん出てくるのではないかと思ひます。要介護になることを防ぐことができるよう、そうなる前から運動ができる環境を作れないかと思ひます。
女性	50代	中士幌	・外来での健康維持・予防のため、教育と啓蒙活動。

<子育て支援、保育>

女性	10・20代	士幌市街	・子育てをするには環境が良い。
女性	40代	士幌市街	・高齢者や障害者の支援に力が入っているが、少子化対策、子どものサービスをもっと充実させたほうがよい。
男性	40代	士幌市街	・他の町では、ふるさと納税に力を入れ、子育て支援が充実しているのに、士幌は、全くといっていいほど、とりくんでいるように思えない。児童の医療費無料化や子育て支援の充実等、子育てしやすい町づくりをしてほしい。
男性	50代	士幌北	・士幌に生まれた人が、士幌に住んで結婚し、子育てができるまち。
男性	30代	上居辺	・子供がたくさんいればいいと思ひ。
男性	30代	西上音更	・子育て支援。
女性	30代	士幌市街	・子育て支援の充実。
	30代	中士幌	・子育て世代へのアピール（保育園、小学校、公園）。
女性	30代	士幌市街	・子育て家庭にもっと手厚く。
男性	10・20代	中士幌	・保育の充実。
男性	10・20代	士幌市街	・士幌町内で働く方に、士幌町に定住しやすいような環境づくり（育児支援等）を行うのはどうでしょうか。
男性	60代	士幌市街	・義務教育前の児童に健康診断・保育・教育等無償行為。
女性	30代	上居辺	・母親が子育ての不安を相談できる気軽な相談所、支援センターの行きやすさ、保育園等の保育内容に（特にへき地）不安を感じます。子育てマップ等はすばらしいと思ひますが、周知が弱いのか、悩む親への手助けが必要かと思ひます。
男性	30代	中士幌	・保育所へ入所希望を申し込んだが、いきなり説明会のお知らせが届く。これは、入所が可能となったのが不明。その文章も届いていない。
女性	30代	士幌市街	・町外から移住してきました。士幌に来る前にも保育サービスを経験していましたが士幌町の保育スタッフ・幼稚園スタッフの質の低さには本当に驚きました。一人一人はとて素晴らしい方で大好きで意見を言うのが申し訳ないと常々思っています。ただ専門性となると他町村と比べて、経験上や情報を聞いてもとても劣っています。一度保育現場で「私たちは公務員なので」と、ある意見に対して先生がおっしゃられたことがありました。それはその言葉内容だけではなくの言い方に関してとても冷たく、私の子供を預かって貰っている感謝の気持ちに対してとても悲しく思われる場面でした。利用者から見たら「保育の資格を有する専門家である」と言う立場の方が「公務員である」という立場よりも前提に来ています。「公務員」ゆえに冷たくしても良い、実行しなくても良いというのが士幌の保育なのかと非常にがっかりしました。できないとしても言い方があると思ひました。アンケートを取ったり町民の意見を聞いたりすると千差万別で時にはモンスターペアレントのような言う方がおかしいという事もあると思ひます。ただ、他の地域の保育現場ではないであろう経験を何度か

			問いかけたのにもかかわらず流され、何も変わらないこども園である状況を見ていると「何を言っても変わらない土幌なのだ」と諦めの気持ちがわき、いま諦めています。私は子育て世代が土幌を変えようと思っています。一番生き生きとしているこの年代が自分のこととしてこの土幌の現状をとらえれば必ず変わってゆきます。子育て世代の親をしっかりとした保育の指導者に支えてもらい、先生たちも生き生きと子供たちを見てくれればその様子が他町に伝わり小さな町の存在感が大きいものになるのではないのでしょうか。一度こども園を第三者委員なる方や、他町の専門家に調査してもらいたいです。きちんと親と向き合えるリーダー、スタッフ育成を気を引き締めてお願いしたいです。こども園が変わることが直接土幌が変わることに結びつかないかもしれませんが、実際言う場もなく「田舎の保育所はこんなもんだ、言っても無駄だ」と口をつぐんでいる方は多いと思います。そんなんだったら都会に住んでそこの保育所に預けて自分が通うほうが便利だと思ったりそういう風潮が土幌にはいるんな箇所出ていると思います。若い人の意見を聞いてがっかりさせない場面づくりをお願いしたいです。
女性	30代	土幌市街	・土曜日の児童ステーションの取り組みがよいと思います。
女性	30代	土幌市街	・学童保育の時間延長、毎週土曜開所。
男性	30代	土幌北	・子供の習い事が充実したら良い。
男性	10・20代	土幌市街	・子どもたちの教育に力をいれるのが一番大事ではないか。今後の土幌町の未来をになっていくことになるので。
女性	40代	土幌市街	・子どもの放課後教育の充実（選択肢の多い習い事ができる、少年団活動などがたくさんある）。
女性	40代	土幌市街	・学童保育の改善。
男性	40代	土幌市街	・商工会で託児サービスを。
女性	30代	土幌市街	・英語などに力を入れても良いのでは。
女性	30代	下居辺	・山村留学など、子育て世代の呼び込み。その方達が働ける所の確保。
女性	30代	土幌市街	・子どもの医療費無料の年齢引き上げ。土幌は遅すぎる。
女性	30代		・子供の医療保障年齢の引き上げ（音更は5才、土幌は3才）。
女性	30代	土幌市街	・18才未満の教育、医療の無料代（子育てに関する事を無料にすることで、一切、子育てにお金がかからないイメージをつくる。）。
女性	30代	土幌南	・中学生位まで無料にしてほしい。他の市町村では、なっているのに土幌の国保で小児科医を探すのであれば、それなら中学生位まで無料にしてくれたほうが何倍もうれしい。（2年前位に役場に電話して「検討してみます」という回答でその後、この話はなかった事にされているのでしょうか。）
女性	30代	土幌市街	・子供の医療費も他の市町村は無料なのに土幌町はなぜ無料ではないのですか。インフルエンザワクチンなどもお年よりは無料ですが。いちばんインフルエンザのかかりやすい子供を無料にするべきです。土幌町は子供にこんなに優しいということをしてほしいです。
女性	40代	中土幌	・子供への医療補助があったほうが、若い世帯の増加につながるのでは。

<医療>

女性	10・20代	土幌北	・医療（特に小児科。個人開業医でも可）。
女性	40代		・小児科（優秀な）を作ってほしいです。内科・外科も優秀なお医者さんをお願いします。
女性	30代	新田	・今ある病院は何のためですか。小児科医が常にいるようにしてほしい。急な病気で、夜中でもわざわざ音更や帯広まで行かなければいけない。子育て世代にはとても不安です。少子化と言うなら子育てを安心してできる町づくりして下さい。すぐみてもらえる小児科があるのか、ないのかでは大分違うと思う。現に、母親同士が集まるとこの話題がいつもあがってきます。あと、3才から病院代がかかるなんて、他の町の人にビックリされました。せめて中学入るまでは無料にしてほしい。ありえません、今の時代。
女性	10・20代	土幌市街	・子育てをする中で一番困るのが急病です。町内外へ受診すると「小児科ないの

			は大変ね]とよく言われます。病院内の小児科開設をご検討下さい。
女性	30代	士幌市街	・小児科もないし。ゼロから子ども達の事を考えて下さい。
女性	10・20代	士幌北	・医療・福祉関連の充実。
女性	50代	士幌市街	・今までのまちづくりに加えて、今後は、医・食・住を充実させていく事が必要かと思います。医～高齢者だけではなく全ての年代からしたわれるようなかかりつけ医のようなお医者さんの存在。
女性	30代	士幌市街	・医療面でも外科がない等安心した医療サービスを受けられないのが不安。
男性	10・20代	中士幌	・医療に不安ありすぎ。そのせいで高齢になる前に、引っ越す人が多い。今のままだと、士幌は消滅予備軍から抜けられない。(このままなら、僕は引っ越す。)とりあえず、様々なサービスに充実するよう頑張してほしい。
女性	50代	士幌市街	・病院が一番困る 必ず音更か帯広への通院も大変です。
女性	30代	士幌市街	・年を重ねると健康面が不安になるので医療機関の充実。
女性	30代	士幌市街	・全く役に立たない病院をなんとかすべき。
女性	40代	士幌市街	・国保病院の改善。
女性	60代	士幌市街	・病院の縮小。
女性	60代	中士幌	・病院の信頼性。
女性	50代	中士幌	・町立病院の体制を充実させる、信頼を得る。
女性	50代	中士幌	・質向上のため、他地域他病院との交流を積極的に行なう。
男性	50代	士幌市街	・町財政を圧迫する病院経営をやめ近隣市町と連携した医療を。
女性	50代	士幌市街	・国保病院に1人でも良い医師が居てくれると他町村からも大勢診療に来てくれるのでは。
女性	30代	士幌市街	・町立病院に患者さんに来てもらうのではなく、その地区にDrが行き、月1回公民館で顔色を見て聴診をして、変わりがなければ、お薬を翌日、公民館に町の薬剤師が届けるのは士幌ではできないのでしょうか。7年前、池田町立HPでは僻地医療として、このようなことを実施していました。その僻地に住んでいる90代の夫婦は「本町には行けないから、ここ(公民館)に来てくれるのはありがたい。」と話されていました。症状が悪化している時だけその息子さん本町の病院に連れて来ていました。(今考えると、息子さんも仕事をしていたので、地区往診は息子さんの介護軽減だったと思います)このような事例から、僻地医療のあり方、家族介護のあり方を士幌町で考えていってほしいです。病院や行政窓口はその場所で待っているのではなく、自ら、僻地に向かうという視点が今後必要だと思います。そうすると、交通の便に関しては少しだけ、不便さが改善されると思います。高齢者と医療、福祉は切ってもきれないので…。ちなみに、池田では公設民営になっても、地区往診を実施しているようです。
女性	50代	士幌市街	・町立病院には今、外科・整形外科がない。土・日も内科の医師なので、ちょっとした傷でもみてもらえない。帯広の病院に行かれている方もかなり多い。やはり整形外科があってほしい。
男性	50代	上居辺	・町民が利用し易い病院にしてほしい。
女性	30代	士幌南	・町立病院を正常に機能する病院にしてほしい。立派な施設があるのにもったいないと思う。良い先生がいれば患者として行きたいが今のままでは誤診が多く怖くて行きたくない。
女性	40代	中士幌	・病院の改革が必要。客(患者)を客とも思わないようなお役所仕事を改善してほしい。町民がどんな病院を望んでいるのかももう少し考えてほしい。患者の話をもっと真摯に聞く医師の配置(現在態度があまりにも悪すぎる医師がいる)。

<高齢者福祉>

女性	10・20代	士幌市街	・士幌町は社会福祉に力を入れているイメージがあり、子どもや高齢者の方には優しい町だと思います。
女性	50代	中士幌	・高齢者が安心して、生き生き生活できることを重点にまちづくりを取組むべき

			である。
女性	60代	士幌市街	・老後一人でも暮せる（病気しても寝たきりでも）安心して暮せるまちづくり。
女性	30代	士幌市街	・お年寄りにもっと手厚く。
男性	60代	士幌市街	・高齢者の特別扱いを行い、諸待遇を良くして負担の無いサービスを提供。
男性	50代	士幌北	・高齢者施設の充実で働く世代が安心して働けるまち。
女性	30代	士幌南	・私が、もし年をとったら一番不安に思う事は生活していけるか？体もお金も。
女性	40代		・独居の方の除雪と安否確認。
男性	60代	士幌市街	・他の自治体でも同様ですが、人口減少・高齢化の対策が重要と思います。
女性	50代	中士幌	・高齢者の方が多いですが、帯広や音更の病院に通う人も多くおられます。在宅医を誘致し、訪問看護ステーションのある在宅医療を立ち上げてほしいと思います。
女性	50代	西上音更	・1人暮らしのお年寄の方が、年金は上がらないが介護保険料が上がり病院に行くのも厳しい、と聞いた事がある。お年寄りにもやさしい町になってほしいと思いました。
男性	50代	士幌南	・携帯電話やインターネットをうまく利用して、老後の生活が安心して暮らせる町づくりができると良いと思います。「住んでよい町」が、本当に実感できるようになってほしいです。
女性	70代以上	中士幌	・私達高齢者自身がこれからどうしたら良いか頭が痛いです。地方でも同じ所がありますが今士幌町、中士幌は先の見えない希望もない所だと思います。
女性	30代	士幌市街	・小さい町ならではの、地域ぐるみでの子育て、高齢者を支える環境作りや仕組み作り。福祉村の構想の中に、施設だけではなく、地域の人々も住んで、皆で支え合えるような福祉村に出来たらいいと思う。施設が町内の中で、孤立している印象がある。国内に限らず、海外の取り組み等も参考に考えていけたらいいと思う。
女性	50代	士幌市街	・心の通った町づくり。行事もそうですが精神的な面で満足できることが大切だと思います。町内には昔取った杵柄の方がたくさんいます。そういう方達を掘り起こして町や町民に役立ててもらおうようなことがあっていいと思う。（数人の意見です）
女性	50代	中士幌	・地域包括ケアシステムを作るために訪問診療訪問介護を実施する。
女性	40代	中士幌	・高齢者に対するサービスの充実が住み続けるポイントになると思う。
男性	50代	中士幌	・老人は病院への通院が不便だと感じているので、病院を中心にした病院と住居一体型のものが出来ると安心できると思います
女性	40代	中士幌	・特老や老健はあったほうがいい。
女性	40代		・老人保健施設が必要では。
男性	50代	中士幌	・独居老人を少なくするため集合住宅への勧め、そして給食の充実。

<障がい者（児）福祉>

男性	50代	士幌北	・身の不自由な人や高齢者が安心して暮らせるまち。
女性	50代	中士幌	・最近、「発達障がい」の児童生徒も増えているようです。本人はもとより家族の側では、将来への不安や悩みを抱えているのではないかなと思うのですが、なかなか障がいを帯広、芽室、幕別などで受け入れることにも難しさがあるかもしれません。以前青年期にある当事者親子のお話を伺う機会がありました。知的障がいをもつ青年（幕別町）高機能自閉症の青年（芽室町）からは、自分の特性に悩みながらも受容し、自分らしい生き方を自分の言葉で語ってくれました。そこにはまさに小学生の我が子の障がいに悩んでいる親御さんや保育士、幼稚園、町などが参加し、当事者の気持ちに学んでいました。障がいなどを抱える子を持つ、士幌の親御さんが学びあう、そして元気になるようなペアレントトレーニングのような機会が多くあるといいなと思います。

<生涯学習>

男性	30代	西上音更	・労働時間の短縮→仕事以外の趣味等、自分の取り組み～ボランティア、まちづ
----	-----	------	--------------------------------------

			くり等へのアイデアや提案の時間確保。
女性	60代	中士幌	・町の文化を活発にする為にも図書館の利用者が増えること、子供の本の利用、学校も含めて。

<学校教育>

女性	50代	士幌市街	・教育についての充実。
男性	50代	士幌市街	・小学校は、子供のためにも、財政上も、統合すべきと思う。地区から小学校がなくなったら困るというのは、大人の都合のように感じます。集団生活の重要性、人数が多くないと出来ない事など、子供主体に考えるべきではないでしょうか。
男性	10・20代	上居辺	・小学校は町に集約させるか、一つに絞って児童を集めた方がいい。
女性	10・20代	士幌市街	・小学生、中学生時代に地元の愛着をはぐくめるような教育をすると若者が住み続けたり、戻ってきやすくなると思います。実際はきついと思うので、土、日に希望者をつのり、バスツアーなどするなど工夫は必要になってくると思いますが、“小さい頃から”というのが大切なかなあとと思います。
男性	40代	新田	・現在、小学校、高校および食品加工センターは、点在もしくは僻地に存在し、利用者に寄り添った立地とは言い難い。小学校は、複式学級を解消できる程度まで統廃合を行い市街地に近づける。
男性	10・20代	上居辺	・高校が遠すぎる。
男性	40代	新田	・高校および食品加工センターについては、路線バスで通学可能な場所に移転するべきであろう。
女性	50代	士幌市街	・町立の高校ともう少し距離が近づいても良い。とりわけ物販（農作物や園芸）を町民が気軽に購入できるシステムをつくる。町民は年寄りが増えるので若い高校生と話をできる機会があっても良いから。
女性	50代	上居辺	・現在、高校に通っている町内の子供が2～3人と聞いてびっくり。町外の子供の為にバスを運行すると言うのもちょっと考えもの。地元の高校って人気がないのがすごくさみしいです。中学生の子供達にもっと耳を傾けて、大人の意見じゃあなく子供の意見も重要だと思う。
女性	50代	中士幌	・士幌高校の学生の力を発揮。貴重な街の資源として活躍。
女性	60代	士幌市街	・高校の品もいつでも手に入りません。
女性	40代	士幌市街	・士幌高校の隣の食品加工センターですが、何年も前に申し込みをしてパンやどらやきなど調理する体験ができるときいた事がありますが、それができるのなら申し込み方法などもっと周知できるようPRしてはダメなんでしょうか。あのすばらしい施設、おいしいヨーグルトなど町外の方にも知ってもらいたいなと思っています。士幌高校の事ももっと知ってもらえるのでは。
男性	40代	新田	・士幌中央中からの士幌高校進学率の向上。士幌高校から国公立大学の進学率向上を図る。特進クラスの設置やセンター試験受験相当学力の課外講義（部活）を実施する。
男性	40代	新田	・いつまでも高校が特別だという意識を持たないこと。

<スポーツ>

女性	40代		・以前にバレーボールの選手が来町したが、今後も有名スポーツ選手を呼んで子供達に夢を与えて下さい。
女性	50代	上居辺	・孫がスポーツ少年団に入りたくても、親が働いていたら送迎も難しく、僻地の子供達にもっとスポーツの楽しさを味わってほしいのでバス送迎とか出来ると助かると思う。僻地では指導者不足でのびる素質の子も全然のびないので残念だと思う。週1のバス送迎でもいいので。
女性	30代	上居辺	・腑に落ちないのは、町民陸上大会がなくなってしまったという事。もちろん学習は大事ですが、運動を頑張っている子にとって、目標としている大会を大人の都合で勝手になくしていいのか、と思いました。複式校の生徒はもともと少ない人数の中でしか競い合うことができない中で、町民大会はかなり重要なものであったし、普段なかなか親しめない高跳びやボール投げ、幅跳びなどで自分の可能性を見つけたり、自信をつけたりする貴重な機会であったと思います。町民大会を目標に家でコツコツ走ったり、学校の休み時間を利用して頑張

			っていました。目標に向かって努力して頑張るって成果につながることは、子供に大切な教育だと思います。学習にもつながるし。学校の先生が授業時間が削られて、大変だと言っているのを聞きました。学校の先生にも何とかして時間を作ろうという努力が足りないと思います
女性	40代		・総研の体育館に筋トレのマシンと個別プログラムを組んで指導してくれるインストラクターを置き、格安で利用できるといいなと思います（サンドーム音更のような）。
女性	60代	士幌市街	・有料でもいいのでスポーツジム・プールなど作ってほしいです。
男性	30代	士幌市街	・スポーツ施設が不足しています。野球場やサッカー場はありますが、テニスコートがありません。老若男女を問わずに出来るテニスは、需要はかなりあると思います。テニスコートを作ってください。
女性	10・20代	下居辺	・プールがなくてびっくりした。町民プールがあれば良いと思いました。ただ、通年営業するにはかなりお金がかかりますよね。夏期だけですとか、どうでしょうか。運動不足の高齢者にもオススメできるし、ぜひご検討お願いします。
男性	30代	上居辺	・総合研修センター内に筋肉トレーニング設備を増設してほしい。体育館だけでは、団体競技や球技などしかできない。一人でも体作りができるような設備の充実を要望します。

<芸術、文化>

女性	10・20代	上居辺	・資料館等すでにある施設の宣伝、活用。
男性	70代以上	佐倉	・昔はどこの町も貧しく、先づ経済的に豊かになることを最優先に考え、先人達もリーダーも頑張ってきた。それが実を結び豊かになった事に敬意を表します。そこに重点を置くあまり総体的に人造りや連体感、文化の興隆などは遅れていると感じます。お金は豊かになっても、後世には残りません。だれもが住んでみたい町とするため、文化の薫り豊かな町、温かく連体感のある人々、そしてそれらの人脈作りが大切と考えます。

<農業>

男性	50代	上居辺	・農業振興。
女性	50代	士幌市街	・農業を核にした士幌町らしいまちづくり。
男性	10・20代	士幌市街	・農業しかない町なので、もっと町内外へ農業の“よさ”をアピールすること。
男性	40代	中士幌	・農業を中心とした町づくり。
男性	10・20代	西上音更	・T P Pの問題についてなるべく早く解決する方法を提案してほしい。
男性	10・20代	士幌市街	・士幌町民の子ども達が、地元で就労したいと思えるよう、子どもに農業に興味関心を持てるよう、教育の一部に反映してはどうか。
男性	70代以上	士幌市街	・今後後継者のいない農家が、自分達が苦勞して作った資産をそのまま受け継いでくれる町外から農業に夢を持った若い人達を受け入れる制度を農協と協同で作って行くことが必要（士幌はその点おけていると思う）。安心して離農しその人達は街で生活出来る様に。
男性	50代	中士幌	・後継者がいなく農業をやめる方への新規就農者の斡旋。
男性	70代以上	中士幌	・農業の活性化を図り後継者を増やす。
女性	30代	西上音更	・学生の実習受け入れ→その為にまず受け入れる側も勉強。
男性	30代	上居辺	・農家が人を通年雇用できる支援を充実して働ける環境をつくる。
女性	40代	西上音更	・安全な農・畜産物への取組み。P R。
男性	50代	士幌市街	・大都市から人を呼ぶために農業研修→自立という道すじをつける。
女性	30代	士幌市街	・働き盛り世代の収入がもっとあがるよう企業、農業の活性化を望みます。
男性	30代	上居辺	・士幌町の基幹産業は農畜産業であることから、農畜産業の維持・発展のために必要となる施策の継続的かつ、充実を図ることは必須であると考えます。基幹産業の継続的な発展が元気な地域を創ることにつながると 생각합니다。農業体験・農畜産物提供施設の整備【農業体験・地産地消レストラン・地場農畜産物加工品販売など食提供機能のある施設の整備】。現在の農畜産業は、T P P 経済

			<p>連携協定や国内の経済状況の低迷、消費者の価値観・ニーズの変化により、安心・安全な農畜産物を低価格でほしいという風潮があり、これは、生産者としては、とても憤りを感じざるを得ません。ただ、農産物を作れば売れるという時代は終わりつつあると感じているし、安全・安心な生産に取り組む生産者の実情をもっと、もっと、消費者に伝えられる場があればいいと思います。町とJAとが連携して、「ホクレン くるるの杜」的な機能を持った施設を整備できればいいのではないかと思います。(施設整備(ハコ整備)だけではなく内容のともなった施設の新設。都市部の幼い子供が居る食品の安全・安心に興味の高いと思われる、若い世代の家族をターゲットにして)施設整備には、財政的な問題もあると思うので、できないかもしれませんが、我が町には、先人の努力により立派な農協があり、大規模な貯蔵施設や加工工場があります。土幌町の農畜産物の良さを都市部の消費者にPRするために、それら施設を説明付きで案内・見学してもらえようような取り組みができないのでしょうか。(社会見学・工場見学旅行的な取り組みの実施)農畜産物の生産量の多い地域にとって、小口の消費者に対するPRを大々的にやる雰囲気はないことは理解できますが、これからの世代に、少しでも土幌町の農畜産物に興味を持ってもらえるような取り組みができないのかと思います。</p>
男性	60代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を基軸とした新たな産業の構築に向けて、行政が主体的立場で動き出すべきである。(住民の総意を待つのではなく。)
男性	30代	上居辺	<ul style="list-style-type: none"> ・農家への価値向上。
女性	30代	西上音更	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験。
男性	40代	新田	<ul style="list-style-type: none"> ・農村部で道路に泥や家畜糞尿がまき散らされている状態が散見される。また、堆肥化処理を適切に行っていない農家が多く、糞尿散布時期に悪臭が強い。
男性	40代	土幌北	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集約。コントラの利用など農業の効率化。
男性	40代	新田	<ul style="list-style-type: none"> ・農家意識を変更して、無理を通せば道理がひっこむような意識を持たない。
女性	30代	西上音更	<ul style="list-style-type: none"> ・農協にたよらない。
男性	50代	中土幌	<ul style="list-style-type: none"> ・農家と農協の共依存関係からの脱却。“都会化”ではない、“美しい田舎”(環境、人、生活)“一元集荷、一元出荷だけじゃない農業”の存在を認め、小さな商圏をターゲットにした多様な農産物の生産(おもしろい農業)。
女性	40代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・農業以外でのアピール出来る土幌町を考える。農業はどの町でもやっておりますので。
女性	60代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の町というイメージが強く、移り住んで見ますとイメージ通り農業色が強く、一般サラリーマン側から感じると、町の色も農業色ばかりを引き出すのではなく違う産業色も出せる工夫が必要。

<特産品>

男性	40代	北中音更	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業の推進。一次産業経営者に有利。起業コンサル、加工販売の資格認可の助成、提供ノウハウの提供。
女性	10・20代	中土幌	<ul style="list-style-type: none"> ・土幌町の美味しい食材をもっと町外に売り出し、土幌ブランドをもっと世に出して行ってほしい。
女性	40代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・しほろ牛は生産日本一なのに全国的にあまり知られていない。もっとアピール戦略、ブランド化をして産業化しては。
女性	40代	西上音更	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進。芽室の野菜直売所のようなものがあるのもいいと思います。
男性	40代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展に参加するのは良いがただその場限りだと思う。それなら参加しない方がいい。この商品を食べたければ札幌の○○スーパーで買えるとかならやる価値あり。ただ売っただけでは自己満足にかすぎない。
女性	50代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい素材を外へ発信するだけではなく、町内でもどんどん食べて「土幌の○○(←いもや牛など)はおいしい」と外に言えるようになること。
女性	10・20代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・土幌町のポテトチップスがとてもおいしいので、また土幌で味わいたい、ピア21 しほろのソフトクリームが大好きで、帯広などから時間をかけて食べにきたという方々など、そう言ってもらえると土幌人としてもうれしいです。もっとそのような方が増えるといい。ポテトチップスのデザインって、何度変更しているか、歴史?みたいな特集を号外などで出してくれたらうれしいです。

女性	10・20代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 私のまわりには役場職員や農家などたくさんの方がいます。その中でもよく話す農家の主人が「士幌には焼肉屋がない」とよく言っています。というのはオーバーオールを着て汚れたまま行ける場所がないと話しています。士幌には「しほろ牛肉」というブランド肉があります。その直営店を出店したいとも考えているとのことでした。せっかくおいしいブランド牛肉を身近に食べる機会が少なくしかも高額（これは生産者、消費者両方から聞いています。）なため、J Aには流通せず、本来の金額で町内外の方々に食べてもらいたいと語っていました。しかし、テナントがない、衛生面や人員不足などで町がバックアップして頂ければ少しずつではありますが進展するのではないかと考えます。どうかご検討のほどよろしくお願い致します。
男性	10・20代	新田	<ul style="list-style-type: none"> 農産物をP Rする。（じゃがいも、スイートコーン、牛肉、乳生品）
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ハラル認証対応屠畜場が無い事による士幌産牛肉の取り扱い、将来に向けてハラル認証屠畜場の整備はどのように考えているのか、認証を取得した肉を使用し、認証工場で加工出来ても、同じ工場で豚肉の加工は出来ないと考えるが、この場合士幌町の考え方は整理されているのか、豚肉は加工しないで、牛肉他ハラルに抵触しない製品のみ生産するのか、グローバル化されている社会の中で研究する必要がある。
女性	40代	新田	<ul style="list-style-type: none"> 観光ではなく、やっぱり農畜産物利用で。おいしい物が食べたくて人は働いているのだと思うから。
男性	50代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> 農家の独創的なものづくりへの支援。
男性	30代	上居辺	<ul style="list-style-type: none"> 農産物のイベントを増やす。
男性	50代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 高校のシーベリー産品など町外にみられない取組がある。もっと拡充し地場産品としてP Rできないか。
女性	50代	下居辺	<ul style="list-style-type: none"> 北見や東川町でも少しずつ取り組まれているみたいですが、産業用の大麻栽培とか、推進されるとカッコ良いと思います。
女性	60代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> 町の特産品のP Rと利用。
男性	10・20代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 特産品のブランド化・周知。
女性	60代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 町特産の贈答品少ないので困っています。
女性	60代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> フグはどうなったのでしょうか。町民の口に届くのはいつ頃ですか。地ビールも手に入るようにしてほしい。士幌町の名前入った品いつでもどこでも（町内で）手に入る様にしてほしい。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 食品加工技術等は微生物の力を活用、応用する技術が存在する。乳酸菌や黴、酵素の力を活用し素材には無い美味しさ、保蔵性を付加させた牛肉発酵食品の開発、水分活性A WとL A Bを組み合わせ制御した食品の開発研究。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の力を活用した発酵食品に特化した町創りを行う。C o z、R h s h、D r v、K a・発酵食品は保蔵性が高い。災害時の非常食的性格も備えている。その物を直接食べても良いが、士幌にある食料資源と組み合わせ、調味料素材として使用する事も出来る。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 現在の多岐にわたる情報を駆使すると、素材さえあれば相当のレベルまでお客様にサービス出来る。士幌町で生産される素材を正確に捉え、少量使用の特殊な材料、ハーブ等は栽培するか、他から調達する。主なスパイスは輸入品を使用しなければならない。・スパイスやハーブの香り、アロマ、静菌力を積極的に活用し自然調味料を組み合わせた食品、調理食品の開発。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 多くの観光客が来た場合の対応策、そのようになればよいが、短時間で多人数に対応可能な方策、基本になる保蔵性の高い加工食品種をできるだけ多く、その関連品種を安定的に生産される必要がある→インフラ整備：低い温度で長時間かけて、発酵をうながすことによって、雑味の少ない、化学調味料には無い美味しく、きれいな味で膨らみのある食品が出来る。最高温度を10～13℃、あとは、またゆっくりと温度を下げて熟成する。発酵食品に良い環境が士幌にはある。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 士幌の素材、素材が無かったら作ればよい。リンゴ、梨、桃、栗、コクワ、マタタビ、ハスカップ、ベリー類、山葡萄、その他にも沢山の素材を見出すことが出来る。

男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境を上手に活用し、町民の知恵や技術、蓄積されてきたノウハウを生かし、農家から豊富に生産される一次「食財」に付加価値を与えた町創りを行なう。町民の知恵を結集し、先進地とは別のコンセプトで展開し、士幌町に足を運んで頂けるような特色のある発想と展開が無ければならない。士幌の【農業と食】で町－創生－。具体的には士幌特産の牛肉、馬鈴薯、小麦、豆類等の多様な資源を見直し、それらの特色を最大限発見し活用する事が重要である。更に新規作物の検討、忘れ去られた作物や植物を組合せ、基本に据えた特色ある【士幌の農業と食】を具体的に利用する方法を提案していくべきである。X婆ちゃんの漬物、Y爺ちゃんの野菜や昔話、士幌の開拓当時の様子・苦労話、昔の文化、語部、今、口述筆記しないと永久に葬られてしまう。－素晴らしい知恵や技術が沢山あると思う－
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 料理人は自分の力を発揮すべく、血眼になって特色ある調理素材を探している。場合によっては一株あつたら何百倍にも付加価値を与える品物もある。肉牛は鼻先から尻尾まで無駄なく全てを活用する方法を開発する。骨、骨髓・スープ、ゼラチン、牛脂、内臓、それは鼻先から尻尾まで飼料コストは同じに掛っているからである。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 自然の生み出した素晴らしい食材が目前に現れる。それは、色彩性、自然が作り出した造形美、香り、清潔、可愛い、小さい、栄養性、美味しさ、食感、健康的、食用花などである。それらの食資源をW e b的に活用する。エネルギーコストを掛けない。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の力を活用した発酵食品に特化した町、創生。基本として士幌町で生産される食に拘り、微生物の力を活用した発酵食品に特化した町創りを行う。各種環境、素材を最大限活用する。発酵食品の長所は一度醗酵すると腐敗しない所である。更に分解しアンモニア臭等が出る事もある。水分が蒸散し硬くなる事もあるが腐敗はしていない。従って食中毒も起こさない。美味しい氷下魚とまずい氷下魚どこに差があるか。乳酸菌L A Bの仲間には有害微生物の増殖を阻止する特別な物質を生産する菌種も研究実用化されてきている。乳酸菌は、さまざまな発酵食品の製造に用いられてきた。ヨーグルト、乳酸飲料などの発酵乳・肉製品、沢庵漬、キムチ、浅漬、ピクルス、ザワークラウトなどの発酵植物製品、鮎寿司などのなれ寿司などが挙げられる。乳酸菌による発酵は、これらの食品に酸味を主体とした味や香りの変化を与えるとともに、乳酸によって食品のp Hが酸性側に偏ることで、腐敗や食中毒の原因になる他の微生物の繁殖を抑えて食品の長期保蔵を可能にしている。野菜の旨みや味を形成している。また、乳酸菌は発酵の際、ビタミンCも生成し、発酵前の生乳等のビタミンCよりも濃度が高くなる。牛乳にはビタミンCがほとんど含まれていない。その理由は、子牛が自らビタミンCを合成できるので牛乳から摂取する必要がないためである。牛乳を発酵して作ったヨーグルトでは若干ながらビタミンCが合成されている。L, l a c t i sは、ナイシンとよばれる抗菌ペプチド（バクテリオシン）生産する。ナイシンは、黄色ブドウ球菌やリステリア菌などの食品腐敗菌に対して高い抗菌活性を持つため、その抗菌作用を期待して食品添加物として世界中で広く用いられている。日本では、科学的根拠がある特定保健用食品（トクホ）には食品の機能の表示が認可されている。プロバイオティクス。士幌町で利用可能な資源として、味噌、醤油、諸味、漬物類、沢庵漬、ニンジン漬他、ピクルス、ザウアークラウト、肉醬、牛肉加工品、ハム、ソーセージ、チーズ、パン、デザート類、生パスタ、麺類、消費の少ない豆類、荳胡麻、鬼胡桃、秋鮭の山漬、アンチョビなど。

<観光、温泉>

女性	40代	佐倉	<ul style="list-style-type: none"> 観光地としての士幌町を新しく宣伝してはどうか。
男性	10・20代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 観光・商業・サービスなど、今までの士幌とは違う何かを行ってほしいです。
男性	30代	上居辺	<ul style="list-style-type: none"> 娯楽やコミュニティ、まつり、イベントを増やす（観光）。
男性	50代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業にも力を入れて活気のある街に。
女性	10・20代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> 観光地を作る。
女性	50代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> 士幌高原に行く道を新しいルートでP Rしてはどうか。
男性	60代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> 士幌町に利用されていない農地があれば観光（都会の人に畑作用として貸し出す）に利用すれば良い。

男性	40代	新田	・観光の振興を考えるのであれば、観光地の充実も必要であろうが、観光客に移動中も不快感を与えない環境整備も必要であろう。
男性	30代	士幌市街	・士幌町は、近隣の町村と比べると、特色の薄い町な気がします。個性的な近隣の町村の良さをより伸ばし発展させる様な役割を担ってみる、そんな方向はどうか（イメージだけです。）。北十勝の資源をより大きく付加価値化し、その中で、士幌町内に企業を増やし、人も増える。士幌町単独では出来る事は多くないかも知れませんが、北十勝の資源はとて大きいはず。具体的に何が出来るのかは、わかりません。
女性	50代	北中音更	・自然が豊かな町なので自然を満喫できる環境をつくってほしい。例えば古い線路を今流行りのトレイルのコースにしてみたり士幌高原から然別湖までの登山道を整備したり観光客にもアピールできるのではないのでしょうか。せっかく士幌高原という場所があるのでお弁当注文販売で受けて然別で温泉には行って士幌高原に帰って来てロッジに泊まってもらうなんてコースは楽しそうです。夕食は士幌牛の焼肉なんてしたらいいかなあとか、道外から来る人はそんな体験型の観光に魅力を感じるのではないかと思います。何かの施設を覗くだけの観光は1回で終わりだけ体験型はまた来年も行きたいと思わせると思います。
女性	40代	佐倉	・キャンプ場などの施設を作る。個人的には、下居辺が良いと思う。せっかく緑風が道の駅として利用されているのに、足湯しかないというのもどうか。（室内に温泉はあるが）併設してキャンプ場があれば、きっともっと士幌町を知ってもらえるチャンスだと思う。
女性	10・20代	士幌北	・観光業は、アスポで設置しているコーナーの様に地元のおばあさま方が作ってくれた野菜を道の駅にも置いてほしいです。地方の家族や友人を道の駅に連れていった時にそう感じたので書きました。
男性	30代	中士幌	・また、士幌市街地に観光客が入って買物して頂ける様、新たな道の駅の他に市街地に観光サービスを提供できるものがあると良い。国道が2本通っている条件的には良い町かと考えられるので、素通りではなくまず立ち止まってもらえるとなる様期待します。また、商業、農業振興もこれからも期待しております。
男性	60代	中士幌	・ランドマークが無いように思います。広大な畑でしょうか。ヌブカの里でしょうか。
女性	40代	士幌市街	・他の町村へ行くと、道の駅やわざわざ行ってみたいと思える場所があります。そういう場所が増えたらいいですね。それには、役場の方々が考えるのではなくもっと商工会の方々ががんばっていただければ楽しい街になるのではないかと思います。
男性	70代以上	士幌市街	・士幌には資源が無いと思われているが、決してそのような事はない。沢山あるが伝えられていないか、認識が希薄なだけである。単独、単品では確かに少ないが、使用方法に知恵を出し合う。国際的なメニューで良い。Web的に組み合わせ使い方を志向する。コンサルタントは具体的な事までは教えてくれない。地方創生は地域を熟知している者が主体的に活動しなければ前進はしない。資源は沢山ある。
男性	70代以上	士幌市街	・見学コースなどは当然あると思うが、研修室・体験工房、調理試食のできるアトリエを付帯させる。町民、旅行者、外国人に対する体験教室などを積極的に組み入れ、作った品物を食事に組み入れることが出来れば印象に残る旅になると考える。この様な取り組みをするとリピーター増に結びつく。長期熟成品は後日届ける。体験学習は有料ツアーにする。体験型観光ツアーを組んで、食事に組み入れる。豆腐、パスタ、ソーセージ、チーズ作り、軽農作業、芋掘り、スイートコーン、枝豆収穫等、とにかく士幌の本物を紹介する。食に拘りメニューを整備すれば大都市からのツアーも組めるのではないかと、素朴で良い物を提供する。プラス士幌にある他の資源を組み合わせる。
女性	40代	士幌市街	・士幌は観光に力が入っていない。東京ではフライドポテト専門店が流行っているので士幌こそあれば良いのと思いました。メニューも専門店並に力が入ったもので。あわせて「じゃがいも推し」でイベントなんかも。じゃがいものランタン（ジャックオーランタンのじゃがいも版）でキャンドルイベントとか（どこかの街で夜のランタンみたいなので街おこしてるのありますよね。）、じゃがいものカービング（野菜を彫って花などにする工芸）体験後、それを調理して食べられるとか、いも判でステキなアートイベントとか（SNSにアッ

			<p>プしたいと思うようなこと)。農業と観光がうまく結びついて、たくさん人が来る街、いろいろな業種のある街になれば、農業従事者ではなくても住みたい街、おもしろい街になるのかなと思いました。</p>
女性	10・20代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・士幌産の食べ物はとてもおいしいし、評判がいいので、それをもっとPRするためにイベントなどを活発にしてもらいたい。ちょっと遠いから、などの（道が冬は危ないとか）理由で来ない人もいるのでバスツアーや施設、イベントを増やしてほしい。
男性	60代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色を生かした産業の開発や地域特産品の開発による観光産業の振光で地域が活性化すること。
男性	50代	上居辺	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の観光策としてのイベントの検討や、他の町村の催し物との連携を考える。例えば、他町村との店舗との共通割り引き券の発行等。
女性	30代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・士幌の観光する場が少ないので、何かイベントや特産品等「士幌って〇〇があるよ！」と言える物がほしい。
男性	30代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> ・士幌町は観光産業が比較的弱いですが、これ以上目玉となる観光もなかなか出てこないと考えられる為、他町村の観光地と連携して士幌町にも足を運んでくれる観光客をつくる事もあるのではないのでしょうか。観光市巡りのスタンプラリーで全てまわったら温泉入浴無料などの町内サービスを提供)。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語研修、標記、案内パンフレット、ガイド教育、スラム教礼拝堂。
女性	70代以上	新田	<ul style="list-style-type: none"> ・緑風荘の事ですが扇風機が動かないと伝えたら動かなくてもいいのと返って来ました。答えた人がどのような立場か分りませんが町外の人が聞いたらサービスの面であきれられるでしょう。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・下居辺の風呂は町が入浴券来れるからもったい無いから行くけどガソリン代の下敷に成る。風呂の管理が非常に悪い。サウナ室に時計が無い。サウナのタオルが全然無くなって知らんぷり。冬場水風呂の温度下げ夏場に上げる其の為サウナに入りたくとも入れない。脱衣室の所へフロントが係員の居所に通じるインターホンでも作ったら良いのではないですか。

<道の駅>

女性	60代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・観光目玉を作る（道の駅）。
女性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい道の駅の取り組みに期待しています。単なる物品の販売だけでなく、町の目玉となる様な企画を期待しています。中札内の道の駅のような集客の出来る工夫も大切ではないのでしょうか。
女性	50代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の移転の計画があるらしいが、例えば中札内のような多くの人を訪れる魅力あるものを造ると良いと思う。
女性	50代	西上音更	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅で、手作サークルなどの作品をもう少し販売する様にしても良いのではないのでしょうか（希望者を募るとか）。
男性	10・20代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅、移転には反対。立地がいいものを移す必要なし。
女性	50代	士幌北	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅新設につき、場所は反対→国道 241 号沿いにすべき。町の職員を中心として話しを運ぶと目先の事ばかりに行き、アイデアに乏しい。外部目線で士幌を見ている。たとえば、町に職員で入っていた外国人の意見とか。プロの考え、ものを作る、売る経験豊富な人（外部からでもよし）男よりも女の感性を重視すべき。町長のように加工の女性人の一部ばかりを助成金を出すのはいかがか。ひいきしてはだめ。女性を敵にまわすと、道の駅はなりたない。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の加工施設では、どの様な具体的構想を持っているのか。加工製造する原材料名、主力品名、品種数、生産量等、それをどの様な方法で具体的に加工してお客様に提供するのか。
男性	70代以上	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用を柱に子供、年寄（車に乗れない人）が利用容易な場所である。適当と思われる場所は、旧国鉄士幌駅を基準としたところ。町立緑風荘温泉廃熱利用。大型ハウスでメロン、マンゴーの栽培を。
男性	60代	士幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅ピア 21 しほろ」のレストランの閉店時間が早く、夕方から夜に食事が不可で利用しづらいので、遅くても午後 10 時閉店なら利用客増えるはず。物産館及びレストラン内にて「しほろ牛」常時販売出来る様にしておくで販売促進に繋がるのでは。

女性	40代	士幌南	・寄りたい道の駅はトイレがきれい、コンビニがほしい（コンビニのファーストフードがほしい）Aコープじゃ嫌。顧客誘引力が高まる、物産、ステキな建物・自然・写真を撮れるような、雑貨屋があると長居したくなる。顧客誘引力。小さなステキな小屋が数件並んで町内の作家さんの品物が入っていると、想像しただけで行きたい。加工センター：団体でしか入れない。もう少し考えてほしい。町内の最近の介護施設とかの要塞みたいな建物は、本当やめてほしい。立ち寄ってみたいと言う気持ちが半減する。どんなイメージの建物にするか公募してその中からアンケートをとってほしい。
女性	40代	士幌市街	・新道の駅構想を軸に、士幌町の魅力を発信し、そういった事業に町民が積極的に係わることによって「わがまち再発見」をし、誇りを持って豊かな暮らしができるようにする。
男性	50代	中士幌	・他の市町村をよく見て道の駅をつくるべき。
男性	70代以上	士幌市街	・国際化を視点において、道の駅に免税店の許可申請の考えは。
女性	50代	士幌市街	・道の駅（新）を楽しみにしています。道の駅に公園、水遊び場（幼児用）を隣接してほしいです。近隣の方、若夫婦も立寄れるように。
男性	70代以上	士幌市街	・道の駅が移転する予定と聞いているので其の新しい予定の道の駅に風呂を設置したらいいと思う。
男性	60代	士幌市街	・道の駅が新しくなるそうですが、希望としてアスレチックなどがある公園があると良いです。駐車場が広い事、・商工の店などの看板（アピール）の様なものがあると良いです。町民がいろんな店を出店出来るといいですね。乱文乱筆お許し下さい。
男性	30代	士幌市街	・中途半端なものを作らず、道の駅に更別村の公園みたいな、大規模な遊具施設、農業体験施設（时期的な収穫体験や、牛の乳搾り体験など）を併設させるなどして、観光客が来たいと思うものを作るべき。
女性	40代	中士幌	・道の駅を、士幌町の観光・商業・農業にうまく結びつける拠点となるように、ソフト面が充実した施設にしてほしい。
男性	50代	上居辺	・道の駅等を核とした、観光の振興に重点的に取り組む。
女性	30代	西上音更	・道の駅はあれでいいのだろうか、もっと魅力ある場所にできないものか、具体的案はうかびません。ちょっと休憩して子どもが安心してゆったり遊べる場所をつくるとか。
男性	30代	士幌市街	・人口増を望むなら、少子化対策や、子育て支援、高齢者支援にもっと力を入れるべきだけど、あまり力を入れていないようなので、せめて観光だけでも力を入れるべきだ。その一つとして、道の駅の計画は重要だと思う。

<商業>

男性	50代	中士幌	・経営者への一流のビジネススクールの開設。
女性	60代	中士幌	・中士幌のセイコーマートにイトコーナーが出来たのがすごくいいと思いました。特にこれからの季節、ちょっとしたコミュニケーションの場として利用されていくのではと思います。以前からそうした場があればと思っていたところに出来たので感激しました。「士幌町のまちづくり」にとっても貢献していると思います。
女性	10・20代	士幌市街	・買い物（食品以外）が不便。結局町外ですませることとなりガソリン代も考えると町内に住宅を設ける必要もないのではないかと考えることが多いです。
女性	70代以上	士幌北	・買い物しても物品が高くて購入しにくい。
女性	10・20代	下居辺	・子どもが入りやすいお店にしてほしい。今は入りにくい感じがするので。
女性	50代	士幌市街	・買い物が不便すぎて生協にたよるしかないのモかなしいです。
男性	30代	士幌北	・ディスカウントスーパーがあったら良い。
女性	40代	士幌市街	・フルタイム勤務のため就業後の買物が不便です。スーパーの閉店時間が早く日曜も休業が多いため休日は音更や帯広へ行かなくてははいけない。
女性	10・20代	士幌北	・昼（学生のいる時間）の活動も、夜（仕事帰り）の活動も、音更や帯広に足を運ばないといけないうことが多く、その分の町の経済が損していると思われ、結果的に町を出て行ってしまおうのではないかと移り住んでいて思います。折角商

			工会の皆様が頑張っているのでも上記の「学生が買い物する」という所だけでも、工夫して入荷すれば出来るのではないかと思います。
女性	40代		・食品を扱う以外の店（例えば超大型書店など）を誘致して人を呼び込んではどうでしょう（10代子供達の意見）。
女性	40代	士幌市街	・町内にフクハラかダイイチ・サツドラかサンドラかツルハがあれば年代を問わず大変便利になると思う。商店は大変になると思うが現在の店では品ぞろえが悪く、値段も高い。正直若い人は町外の上記の店に行っていると思う。
女性	30代	士幌市街	・大型スーパーなどの参入。（雇用の充実）
女性	40代	士幌市街	・商店街の改善。
女性	50代	士幌市街	・大手スーパー、ドラッグストア、ホームックなどの開店、来店。
女性	10・20代	士幌市街	・サービスなどの競争のためにもフクハラやいちまるなどのスーパーを入れてほしいです。
女性	10・20代	士幌北	・商店街の発展。
男性	30代	西上音更	・巨大商業施設等。
男性	10・20代	士幌市街	・いわゆるチェーン店がほとんど見られないので、空店舗等があれば誘致してみるのも手かもしれない。
女性	30代	士幌市街	・今のままの買い物であれば、確実にJ A、A S P Oだけになる。競争できるものは、フクハラぐらいしかないと思うので、入店させたほうが町外で買い物する人が減ると思います。
女性	50代	中士幌	・町内の自主グループが印刷作業を格安で行えるような場所を提供いただけませんか。帯広市の場合、交流センターがあり、1枚の原稿につき100円の手数料で印刷できるサービスを提供しています（紙は持参）。
女性	40代	士幌市街	・若い人はツタヤ、カラオケ、その他商業施設等（フィットネスクラブなど）のない田舎に魅力を感じないのかなと思います。商店誘致が厳しいなら今ある資源の中にそれに近いものを利用できるようになれば、と思います。例えば、カラオケセットの貸し出し、ジムのマシンを公共施設に置くなど。サンドーム、芽室総合体育館などでは若者から高齢者まで生き生きと運動されています。新たな施設（箱もの）は必要ありませんが、なんとか工夫できるのではないかなと思います。
男性	10・20代	士幌市街	・商業活性化を重点的に行うべき。
女性	50代	下居辺	・商店街の活性化（元気さ）。空き店舗が目立つ様に感じます。ピア、21にも期待します。プラザ、緑月も期待します。
女性	30代	士幌市街	・食材に対しても士幌は高い。若者向けの服、子どもの服もなく、町外へ出たくなります。
女性	30代	士幌市街	・ある程度便利に必要なものがそろそろ環境。
女性	50代	士幌市街	・西の帯広のフクハラ、ホームック、ツルハ、百均などのような複合施設があればと思います。アスポは、暗いし配置が良くない。もっと明るく、分かりやすく、飲食の場も含めて利用しやすい複合施設にしてほしいと思います。アスポの中の奥に本屋さんが有るのも3年たって初めて人から聞いて知りました。
女性	60代	中士幌	・アスポの値段がスーパーより高いと思う。割引を引いても高いように思うので地元を利用するよう目玉を置くようにしたらどうでしょう。
男性	50代	士幌北	・町内に店が無くなってきており店がやれるような取り組みを望む。
男性	30代	上居辺	・アスポの品ぞろえを良くし、増やす。
女性	30代	士幌市街	・農業が中心なのはわかるが、街中での買い物など町内へお金をおとす為に商業の重要性にも目を向けるべき。お互いの協力をすべきなのに商業は後回しで農業ばかり優遇されている。
男性	40代	北中音更	・商店街、商工会主導の月イチイベント。既存の祭り等含め、料理コンペ等小規模で、商店街を意識してもらおう事が目的。
女性	60代	中士幌	・移動販売車（生活食料品）の充実
女性	10・20代	士幌北	・学生が町で買い物する所。

男性	10・20代	中士幌	・中士幌地区の商業施設が非常に少ないので、できれば増やしてほしい。あと、ゲーセンを造ってほしい。そうすることで、娯楽が増えるのでは。
男性	40代	中士幌	・娯楽施設誘致。
男性	10・20代	新田	・楽しめる施設やお店をつくる。
男性	30代	士幌市街	・飲食店を増やしてほしい。
女性	50代	下居辺	・今までにないようなカフェをつくるか。
女性	50代	中士幌	・中士幌は古き良き昭和の雰囲気があるホッとする街並みなのでそれを活かして、おしゃれなカフェを誘致したり雑貨店を増やしたりして若い人達が立ち寄りたくなる街にしたら良いと思います。

<町のPR>

女性	10・20代	士幌市街	・札幌でも誰も士幌の事知らない。自慢出来るものもない。
女性	30代	士幌南	・何か一つ明らかに目を引くものがあれば良いなと思います。そうでないと近隣の地域にうもれてしまいそうです。
男性	70代以上	士幌市街	・身近に町を紹介する為に、特色ある名刺作り、お節介やき町民、観光客との立ち話、フランクで明るい町の印象、親しみのある印象作り、町民の目線で情報収集と改善に結びつける。
男性	60代	士幌市街	・北海道は自然環境が優れているのですから、そのあたり士幌町は特に知名度upを計ることが必要です。手段は別にして上士幌町は最近何かとTVなどで認知度が上がっています。士幌町も積極的にPR活動をすべきだと思います。
女性	60代	士幌市街	・士幌町全体をもっと々、大きく宣伝する事。この町はずこし閉鎖的な所がある。20~40代頃他の土地に住んでいたのでもそういう事が感じます。高齢化社会はどの市町村にもある事だからもっと開放的にどんな年代の人が住んでも良い町に。
男性	10・20代	士幌市街	・町外の人が観光にきて、人が集まる町だということをアピールしてはどうか。明るい町、豊かな町だということをアピールし、町外からの移住者を増やしてはどうか。
女性	50代	士幌市街	・ご当地キャラを作って、町をPR。
男性	70代以上	士幌市街	・遠隔の地で生活している子供や孫に安心して生活している様子、生き甲斐をPRする事も出来る。この事から、更に次の世代に結びつける心のつながりや故郷を作ることができる。
女性	30代	士幌市街	・町外へのアピール不足で隣町（上士幌）をもう少し見習ってほしい。

<雇用>

男性	50代	士幌市街	・士幌在住の従業員を雇用している企業、団体に対し税務上の優遇措置か、何らかの奨励措置をすることで士幌町定住への誘因になると思います。
女性	50代	中士幌	・町内在住労働者の正規/非正規の割合を調査し、非正規の実情を知るために、実態調査も必要だと思います。
男性	10・20代	士幌市街	・若者がはたらける場所を確保することが重要だと思います。
男性	40代	中士幌	・生産、加工、流通、販売までのトータルで企業誘致。若者がリターンしたくなるような受皿（働く場所）。
女性	30代	士幌南	・生活面で一番大切なのが「お金」「仕事」「生活」お金があつての生活。仕事があつての給料。仕事を選ぶ選択肢もない。町外に移り住んでしまうのもわかります。企業を新たに受け入れる事によって住民が増える。企業の受け入れによって新たに働く場所が出来る。生き生きと働ける場所がどんどん出来たら、町内の人も生き生きとし、お金お給料をもらおうと、それを価格競争している士幌の町で買い物する。ライバル店になるので企業努力をしたいと思います。女性も今よりもっと働きやすくなると思います。役場が給料のベースアップを促進したら…。もし、ベースアップにつながったら、家族で生活していけるだけもらえたら…。求人を出しても自然と移住につながってくると思います。「給料があつての生活、仕事」基本だと思います。
女性	30代	士幌南	・雇用を増やす事によって若い人達が安心して職につけるようにサポートし、町

			外に移ってしまうのを阻止する。これには、新しい企業受け入れが大変重要だと思います。若い人達が土幌にいる事で、これから結婚し、家庭をもち、家族をもつ。若い人がいなくなると、人口も増えなく、お年寄りがお年寄りを見る事にもつながってきます。若者を大切に！！雇用、仕事する場、新たな企業職場を増やす事が大切だと思います。ただし給料が低い場合も転出につながってくると思います。「生活していく事」「生きていくには、お金がかかる」ので。子供をもつとなおさら。
男性	70代以上	土幌市街	・仕事場がたくさん出来る様に。
女性	10・20代	土幌市街	・働く場所を増やす。
男性	50代	下居辺	・今、新たな取り組みをすると、資本金が増えて来ます。現在の中での充実を考えた方がと思います。
男性	50代	土幌北	・地元の高校を卒業して、地元で生活の糧があるまち。(農協や事業者を受け入れる力がある事)
女性	30代	土幌市街	・生活の基盤となる職場の確保。
女性	40代	新田	・働く場所(仕事)があると人はそこに、生活を始めます、家族も生まれます、この町で働きたくなる、この町だからできる職場があると良いです。
男性	40代	北中音更	・農業周辺事業、人材派遣事業者の誘致。今後、最も需要増加が見込まれる、将来への準備、労働者定住の画策、町外事業者乗り入れ対策。
男性	50代	中士幌	・農業関係以外での正社員を雇用する企業の誘致。
男性	10・20代	土幌市街	・若者の雇用の場を確保するためにも企業誘致を考えるべきでは。小規模商店も大事だが、少なくとも今のままでは人口は増加することはない。
女性	30代	西上音更	・地元以外の企業への誘致。
男性	40代	新田	・人口減少を抑える政策よりも、人口増加を目指す政策を意識した方がよい。農協と個人商店では人は集まらない。事業所誘致とショッピングモール誘致で上土幌町や鹿追町からの集客も可能と考えられ、利便性が高まれば転入者の増加も考えられる。
男性	60代	中士幌	・現代において絶対に欠かせないデータ通信、インターネットの環境を徹底的に整備する必要があると思います。普通のネット環境だけでは注目されず誰も来ない。更に土幌町が他と比べて自然災害の少ない地域(地震、津波、台風、空港の欠航の少なさ等)であるということを出し、特に大企業(特に金融)、政府が進めているデータバックアップセンターを思い切って招致することに“力”を入れてはどうでしょうか(最先端のデータ環境と農業の街土幌町として全国にアピール)。データ・インターネット環境がピカイチであれば自然環境のすぐれた点もあわせて土幌町に若い人が集まってくるに違いない。その為に同時に住環境もしっかり整える必要もあります。すばらしいインターネット環境があれば現代社会では世界中どこでも仕事ができる状況ですので抜きん出たネット環境と自然環境があれば若者、起業家などは集まると信じています。

<祭り、イベント>

男性	30代	土幌市街	・どんどんイベント・スポーツを増してほしい。
女性	10・20代	中士幌	・もっと市民が参加しやすいお祭りなどを町全体で行い町おこしをしたいと思うし、もっと大々的に行ってほしい。
女性	10・20代	土幌市街	・上土幌でやっていたでか盛りイベントとかも結構他の町から来ていた人いたみたいなので、土幌でも何店かで何かのラリーをやる。
女性	40代	土幌市街	・おまつり、イベントに参加お手伝いはしたいです☆ずーっと土幌町に居ます。
女性	10・20代	上居辺	・七千人祭りやふれあい広場のような若い人向けの行事の増加。
女性	10・20代	上居辺	・若い人も気軽に参加出来る行事(フリーマーケット等)の実施。それに伴い、町内外への積極的な宣伝。
男性	10・20代	土幌市街	・町のイベント(七千人祭り等)が、“町内完結”過ぎる気がします。H26年度の収穫祭のように町外への呼びかけ、集客環境を整えていくべきではないかと思っています。イベントに限らずですが。

女性	40代		<ul style="list-style-type: none"> ・小さなお祭りが多すぎて、七千人祭りの魅力が半減しているような気がします。
男性	30代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・7千人祭りに実行委員会を立ち上げたがあまり内容が変わらなかった。他のイベントを含め今一度検討するべきだと考える。
女性	30代	上居辺	<ul style="list-style-type: none"> ・土幌に住んで年数が経ってないので町の事業、農業の知識も活動もよくわからないので、意見すらもてないのですが、すいません。町内の祭りに行くと、町民の協力体制や活気がすごく感じられ、良いと思います。ステキですね。
女性	30代	土幌南	<ul style="list-style-type: none"> ・まつり好きな私としては、イベントをもっともっと増やしてほしい。まつり好きな子供、イキな子供の育成にもなるのでは！！元気な人の周りには元気な人が集まるので、代表幹部の方は元気があふれている人がいい！町民の声に耳を傾けてくれる町長にとっても感謝しています。これからも宜しくお願いします。
女性	70代以上	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> ・町づくりは、必要なことはやってきたのではないのでしょうか。むしろ住んでいる私達ももっと町を知ることではないのでしょうか。今とてもウォーキングが盛んですが、町の良い道を知らしめてもいいのではないかと思います。町中は知れていますが、近郊の道を他の町村に知らしめて、イベントを計画したりすると、これからの季節おもしろいかなと考えますけど。
女性	50代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・土幌産業まつりには町外からたくさんの方がくる年もあればそうでない年もあります。この産業まつりは一大イベントだと思っています。民放のラジオとかでもPRしてくれる。外からの人々が土幌の町に来てお金を使ってくれなければ商業者もうるおっていかないので、イベント的なものはあらゆる手段を使ってPRをして行っていくべきだと思います。
男性	30代	中士幌	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の知らせをテレビ、ラジオ、新聞で取り上げてほしい（7千人祭り、夏まつり、収穫祭）。

＜コミュニティ、まちづくり活動、ボランティア活動＞

女性	50代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・冠婚葬祭について、町内でできる体制を整えてほしい。特に葬祭など町外で多くなってきているので、お年寄りの方には負担が大きい（町内の業者さん+数名のスタッフで取り仕切るような方法で）
女性	60代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・団地が沢山でき若い方が入っているが常会に入ってくれる方は少なくイベント参加（常会）も少ない。常会の維持も難しくなってくるのでは…。
男性	40代	新田	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体等の役の数が多く感じております。もう少しスリム化を図り、一人一人の負担を軽減しなくてはならないのではないのでしょうか。人口が少なくなる一方で役の数は減らないどころか、増えているようにも思えます。
女性	50代	下居辺	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんからお年寄までが土幌はいろんな面で最高って思えるサポート体制を。ボランティアになってしまうかもしれないが、子育てが終わった母親が若い母親をサポートする形、お年寄でも、まだ自立されている方々が幼い子供たちとふれあう等、各世代でできることを、無報酬でできる形で登録して土幌一丸となって住み良い街をつくっていくという意欲を求めたい。
女性	50代	土幌市街	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人達を助けるNPOを立ち上げては、「なんでも屋さん」みたいな。1人での参加、趣味の会での参加、参加の形は色々で良いのです。登録制度にしたり。まとめ役が種類ごとに一覧表を作り、本人がお手伝いできる分野に希望したり。大切な事は、井戸端会議での集まりではないのですから誠実な活動が求められます。あまりにも親しい者ばかりの集まりでは、健康的な活動は出来ません。自己主張の強いメンバーは、他の活動者のやる気をなくしてしまう恐れもあるからです。頭に立つ人が重要になって来ますよね。乗りが良すぎても困りますが。平等に、いかに正しい判断が出来るかが大切だと思います。参加される方の年齢や性別は関係なく、自分の得意な事での少しの参加も良いとします。経費は町からの少しの助成金をお願い出来れば有難いですね。そして、各自手弁当の意識での行動です。ボランティアとちがうものを求めてはと思うのです。何故なら、そこには少しの生きがいも発生してきますし、困っている方に手助けができたという充実感と満足感、そこから出会いを増やす事もあります。外に目を向けたくてもきっかけが無いという事もあります。1人でお住まいの方など尚更のことです。「なんでも屋さん」みたいな活動から、昔懐かしい、上質の人情のある町になれば良いのと思います。

<広報、広聴、情報提供>

女性	30代	士幌市街	・広報誌が読み易い。士幌高校の読み物も配布されていて、高校の事も身近に感じます。
女性	40代	士幌市街	・町の広報が来ないため町の事がわからない。町外からの移住者は住所だけではどこに何があるかわからない。
女性	30代	士幌市街	・広報で図の説明などがあり、わかりやすくしてもらっていると思っているのですが、制度の表現や説明を行政サイドのかたい表現ではなく、ほとんど知識のない町民が、さっと目を通してわかるような表現になってくれたらうれしく思います。
女性	30代	士幌南	・ユートピアでは、名前、住所がとくていされるため言いたいけど言えないという人が沢山いました。匿名で出して返信は広報でしてくれたほうが他の人も読むと思うので言いやすい、返答皆が気になっている事、皆知れるチャンスだと思います。広報に町の声と返答をのせてほしい。匿名だと言いやすいし、町が変われる良いチャンスだと思います。
男性	30代	中士幌	・HPに記載のあるアドレスへ意見を送信したのですが、全く返信がなされていない、担当者は確認しているのでしょうか？

<交流>

女性	30代	新田	・小さな子供がいるので、なかなか積極的にまちづくりに参加することができませんが、小さな子供がいても地域の方々と交流する場があれば、助かります。例えば、料理をお年寄りから学ぶ機会だったり、一緒に活動する場があると嬉しいなと思います。
女性	10・20代	士幌市街	・上士幌や音更、鹿追とか近い町と一緒にイベントをする（街コンでも、おまつりでも）。大きいイベントがあればそれを見にくる観光者も増えるだろうし。
女性	40代	士幌市街	・職場同士で交流。
男性	50代	中士幌	・小学生の高学年の子供達と老人会との交友として共にそば作りやパン作りなど共に交流する機会を持つことで子供達との遊び方等学べるのではないかと思います。
女性	50代	士幌市街	・大人から子供までが交流できる場所を作り、買物ができ、イベント、スポーツと多種が体験できる統一型施設があると、それぞれの顔が見れ、少し笑顔が増すのでは～と思います。
女性	60代	士幌市街	・町内企業間（役場も含め）若者交流があり生き生きしたイメージを大切。
女性	60代	中士幌	・他の町村との交流を活発にとします。士幌町がなくなるのはこまりますね。上士幌町は頑張っていると思います。
女性	10・20代	士幌市街	・美濃市との交流は、考え直した方が良いでしょう。どこも財政難で交流をやめている中、人数分だけのホームステイできる家もないのに、なぜ無理をしまで続けるのか疑問である。

<町民参加、協働のまちづくり>

男性	70代以上	西上音更	・地方創世の推進に全力で力を注いで行くよう心から切望する一人です。詳細について町政こん談会等で町民の声を聞いてやっていただきたいと思います。
男性	50代	士幌市街	・町民の意見をこのようなアンケート形式でも良いので、2～3年程度に1回は聞いてほしい。特に街（町）中心部に居住している一般住民の意見は町に届きにくいように感じます。
女性	10・20代	士幌市街	・まちづくりでは町外から来た人にも分かりやすくPR出来たらいいなと思います。（ポスターを貼るなど）
女性	50代	士幌市街	・まちづくり懇談会を毎年2回開催。色々な要望意見が寄せられていたら、こんなアンケートを集める必要があるのですか。まちづくり懇談会の必要性を検討してはいかがでしょうか。
男性	10・20代	士幌市街	・役所だけでなく町民がアイデアを出しあって同じ目標に向かって協力していくことが必要ではないかと思う。
男性	30代	士幌市街	・現在私は30代だが、30代や20代の若者の意見がまちづくりに反映されているか疑問である。これからのまちづくりを考える上で若者の意見がとても大切になってくる。最近震災後、女川町の復興が最も進んでいるが、その復興には、

			これからのまちづくりに若者の意見をとりいれ一緒にまちづくりを行ったことが大きい。まちづくりの実行委員長は、60歳以上は口を出すなど言ったほど、若者の意見、まちづくりへの参加を重視した。若者自らまちづくりに関心をもつことも重要だが、町としてこれからのまちづくりを考える若者の集まる機会をつくっていく必要があると思う。
女性	50代	下居辺	・土幌は多くのイベントがあり、町を活性化しようとする人が多いので、その活力を生かし、土幌ならではのもの（今は思いうかびませんが）を行うと良いのではないのでしょうか。
男性	30代	土幌市街	・地方創生セミナーが2度開催されました。とても勉強になったことは事実ですが、その内容は町民へ伝えなかったのか、役場さんへ伝えなかったのか不透明でした。また役場さんのHPには「まちづくり」というフレーズも見つけることができなく非常に残念に思います。まちづくりのアイデアにつきましては、セミナーをただ単に行うのではなく役場職員の皆様と町民と顔を合わせてワールドカフェ形式の会議を実施することによって、案が見えてくるのだと思います。（飲み会でも何でも形は関係ありません）批判みたいになってしまい申し訳ございません。ただ、本気で町の未来を心配しているからです。是非、小規模の対話形式を実施してほしいと思います。みんなで手をつないで「まちづくり」をしましょう。
女性	50代	中土幌	・中学生、高校生がまちづくりへ参加できるしくみづくり。
女性	50代	中土幌	・町民との話し合いから、中学生、高校生が、街の課題を発見して取り組む。例えば高齢者との交流や、雪かき隊、外出支援、などのボランティア活動。
女性	30代	土幌市街	・町内で募集し町民参加型のしくみを充実させる。町長ももう少し町民と直接触れ合う機会を増やすべきではないのでしょうか？
女性	30代		・町外からの人の意見（生活しやすい感じなどを伝える）場所や交流の場を作ってほしい。土幌の人達は人の噂話や悪口が多いので、何か意にそわないと他から来た人のせいにしている。現にその被害を受けた人も知っているが、事実とちがっても土幌の人はおもしろがって噂話などをやめない。しかもその中には町に住んでいる以上、利用する施設の人もいて、そういう人も参加して話しているのを改善していかない限り、他から来た人は少しでも早く土幌と関わらない生活を望み続けると思う。引越など町外へ出る人が増えると思う。子供のいる親（特に20～40代の）ママたちがすごくたちが悪く、子ども園、小学校、中学校でそういう被害にあっている人たちの声を聞く機関を作るべきだと思う。
女性	70代以上	土幌市街	・農村地域では春、秋に町作り懇談会等が地区ごとに有る様ですが市街地区でもそういう懇談会があるのですか。私は知りません。「役場だより議会だより」を見ればその必要はないのですか。
男性	70代以上	土幌市街	・町長直属の（直接出席する）『賢者会議』を創設（男子8名女子7名からなる）し、3か月に1度会議を開催すること。目的は、町の具体的発展を目指して、町長提案の課題と会議員独自の提案課題に対して建設的・積極的・活動的な意見を集約して、それを「実施主体」を作り、賢者会議が後押しして実践すること。提案するだけで終わりにしない。
女性	50代	中土幌	・アンケートを取りまとめるだけでなく、町民の声を聞いて、積極的にまちづくりを行ってほしい。
女性	30代	土幌市街	・医療と子育てについて今までも意見や要望を出してきましたが、一向に反映されておらず残念に思います。“意見交換会”“説明会”なども、町の一方的な場に思えます。思う事は沢山ありますが、そういう場で言っても無駄なんだなと思うと参加しようとは思えません。もう少し町民の声を聴き、町民に寄り添ったまちづくりをお願いします。
女性	30代	土幌市街	・書きたいことはたくさんありますが、お願いしたい事は要望を聞いてほしいと言うことです。「要望として伝えます」とよく言われますが伝わっていないのか何も変わりません。

<行政運営>

男性	10・20代	中土幌	・公共料金の支払いが不便。
女性	30代	土幌市街	・ウォームピズをしているのにスカートの方もいます。寒くないのでしょうか。

			それとも「女性はスカートの方がいいよね」という考えがあったりするのでしょうか。
女性	10・20代	士幌市街	・役場の窓口にいる何人が態度悪い。
女性	40代	士幌市街	・役場職員の対応もお役所体質ではなく、役場に来る人たちをお客様だという気持ちで接すると利用者も快く思う（一人一人の考え一つで役場のイメージがかわる）。
女性	30代	士幌市街	・窓口で、大声でどなっていくような農家のおじさんや息子達は町の恥なので、どなり返してほしい。他町の人がみていることもあるし、恥ずかしいと思う。
女性	10・20代	士幌市街	・家の近くに住んでいる役場の方があいさつもしないし（見て見ぬフリ）、ゴミをゴミの日にも出さない（燃える、資源など一緒に一気に出す）、ゴミ捨て箱の外に置いてカラスでゴミがあさられるということがあり、一度注意してもらったのですが、時々今でもそういうことが起こります。しかも分別もちゃんとされていなくてゴミが散乱した時見つけました。役場の職員の方がそういう様子だととても役場には行きづらいし、いい気がしません、改善してほしいです。（20代女性の職員です）
男性	40代	新田	・町組織の縦割をなくすこと。
男性	40代	新田	・それぞれの組織が正しいだけの仕事をしないこと。
女性	40代	士幌市街	・療育専門の職員を増やしてみてもどうか。足寄なら佐々木さん、上士幌は藤田さんのような他町にもネットワークのあるような人材。
女性	30代	士幌南	・町民が住みやすくするには、町民の声だけを聞くだけではなく、実行に移す事が一番大切だと思います。町外に転出する人は、もちろん転勤もあると思いますが、その他にもあります。魅力を感じられない、不便、子育ての環境がちよっと十分ではない等。魅力があり、町民の声を実行にうつす事で、町民自身声をきき入れてくれた等喜びを感じられるような町づくりをしてほしい。検討してみます＝流されたと感じてしまいます。町長、役場の方が町づくりではなく、全体で町民が盛り上げてくれれば自然と結果もついてくるのではないかと、思っています。
女性	30代	士幌南	・新しい事にチャレンジしてほしい。前例がない事で不安に思う事があるかもしれませんが「いい事はいい！」どんどん意見を受け入れて、どんどんチャレンジしてほしいと思います。他の市町村が士幌いいなとうらやむ位新しい士幌町づくりをしてほしい。そうする事で他の市町村の注目になる。いいPRにもなると思う。
男性	50代	士幌市街	・士幌町のことは町内に住んでいる人（職員・アドバイザー）が考えるべき。
男性	40代	下居辺	・広報配付も業者任せではなく、職員が配付することで住民の生活環境を観察するぐらいのことはやって良いのでは。役場職員こそが最も危機感に乏しいと思えてなりません。
男性	60代	士幌市街	・管内他町村に比べ課題があるにも拘らずアイデアに乏しく、取り組む意欲、認識が希薄→他町村の方が積極的。ふるさと納税、特産品作り、観光コースの設定、催し等。
女性	50代	士幌市街	・今後10年間の計画よりも、もう少し近い計画を立てて真剣に取り組んで達成する努力をしてほしい。中間見直しを行うなら3年間の計画を立てた方が良いのではないのでしょうか。
女性	10・20代	士幌市街	・何でも後々で上士幌町や鹿追町より遅れている。お金が十勝の中であるのは良いが、いまのままではいけない。
女性	50代	士幌北	・今までのカラを破る。毎年同じようなことをしない。常に変化を求める部分を持ち続ける。世の中は毎日変化している。それに対応できる町政でなければ、他の地域に置いていかれる。その為にも広く世界中や、日本中の先駆的な所をよく勉強、研修し、自分の町でできることを、一つでも二つでも実行する。
男性	10・20代	士幌市街	・最近の士幌町を見ていると、様々な分野での冒険・勝負をしておらず、士幌独自の“色”が全く出ていないような気がします。違う表現をすると、「若さ」ではなく「老い」しか感じられません。人口減少などの問題は、町の努力一つで変わるはずではないのでしょうか。
男性	10・20代	士幌市街	・士幌町と似た町村の政策を見て、何をすれば、士幌町に活気がでるか検討する

			こと。
女性	40代	士幌市街	・新しい施設を作る時に外観、内装ともにデザインが1番ではなく、使いやすさ、エコ、利用する人の意見をもっと取り入れて、価値あるお金の使い方をしてほしいです。
女性	60代	士幌市街	・町職員、議員さん海外、国内視察していると思う。こちらの方がどんなアイデアを持っているかお聞きしたいです。自分の足で歩いて町の中、町の外を見たり聞いたりしてほしいです。
女性	60代	士幌市街	・若い職員さんの考えで10年20年先のことを考えて仕事をしてほしい。
男性	40代	新田	・財政難を理由に安易に公共サービスを低下させるならば、人口減は必至。小中高校の教員は転勤族であり、帯広市や音更町からでも通勤可能。利便性に欠ける士幌町が、住民に不利な政策を行えば近隣町村へ転出するのは目に見えている。また、良い噂も悪い噂も今後の転勤先で人伝えに広がる。北部耕地の事業で高校の土地の整備を行う知恵があるのだから、その他の公共サービスにも知恵を使ってほしい。
男性	40代	中士幌	・町村合併。
男性	50代	士幌市街	・将来的な財政健全化のためには、近隣市町との合併も視野に検討すべき。
男性	50代	士幌市街	・身の丈にあった行政を。
男性	30代	上居辺	・働いた金が士幌町で使われる。
女性	30代	士幌市街	・財政の見直しが急務だと思います。計画策定にあたり、市街地の人を中心に考え、事業を作り、評価するのではなく、僻地の人を中心に考え、事業を作り、評価した方がよいと思います。
男性	10・20代	士幌市街	・人件費（退職手当も町内企業と比較して、妥当であるのか）も含めて、見直す必要があると思われます。若者のはたらける場所があまりありませんから、士幌で生まれ育った者の多数は町外に出ていっております。町の収入も減ると考えるべきではないでしょうか。
男性	40代	新田	・サービスも共有化すればもっと経費削減できるのでは。
女性	40代	士幌市街	・特老、病院、保育所など法人化や民営化して財政負担を減らす。
男性	50代	中士幌	・役場の職員を減らすそのお金で医療等に回す。役場職員が他にくらべ多い。
女性	30代	士幌市街	・役場の人間の、町外からの交通費カット。
女性	70代以上	中士幌	・汚職や税金のむだ使いの無い町が良い。
男性	70代以上	佐倉	・財政が厳しいと次に取り組む行政については二の足を踏んでしまう。ヌブカの観光施設、士幌病院の件、地元の子供達が多くない士幌高校などについては、その取り組みを見直すべきでは。今までどおりのことをしていたらよくなるはずがありません。他町村で取りくんでメディアで紹介されたりしているのを見聞しています。その取り組みを知って今後士幌ではどのようにしたらよいか少し参考になると思います。収集してもらいたいです。
女性	50代	中士幌	・国保税が大変高く困惑しております。
男性	60代	士幌南	・士幌町は農業が基幹産業で成り立っていると思いますが、長い間、国、道、町などの補助金により全国有数の農業大国になっていると思います。農業への補助金をへらしては、その分若者が働く場所に使っては。
男性	30代	士幌北	・生活保護をもらっておきながら、パチンコに行ったり、車を所有、喫煙したりするバカ共を何人も知っています。まず、このバカ共をしっかり役所の人間が管理するべきだと思う。こんなバカ共のために税金が使われていると思うと腹が立つ。

<ふるさと納税>

女性	50代	西上音更	・ふるさと納税など他からの収入面も考えた方が良いのでは。
男性	40代	士幌市街	・ふるさと納税等で魅力のある政策を期待します。
男性	70代以上	士幌市街	・ふるさと納税の積極的な取り組み。
男性	10・20代	新田	・ふるさと納税をとりいれる。

女性	30代	下居辺	・ふるさと納税の充実。
男性	70代以上	士幌市街	・ふるさと納税の促進。
女性	50代	士幌市街	・士幌もふるさと納税でしほろ牛肉やピアのアイスなどを進呈したらいいと思います。
男性	50代	士幌北	・ふるさと納税等、とにかく消極的で、箱物だけにこだわる姿勢は早く是正しなければこの町の将来は消滅する。間違いなく。
男性	10・20代	士幌市街	・ふるさと納税特典（上士幌町のようなになれば町のPR、税金、移住者、Uターン確保できるのでは。）。
女性	40代	士幌市街	・NPOなどを介入してふるさと納税活用し町の財源に。
男性	50代	士幌市街	・ふるさと納税は隣町のマネでなく、ちゃんとした目的を持ち、商品を配ることが先行しないように。
女性	70代以上	士幌市街	・上士幌町のようなふるさと納税により町の名前を全国に知ってもらおうような取り組みにも挑戦してほしいです。
女性	50代	士幌市街	・「ふるさと納税」の取り組みはどのようなのでしょうか。お礼品を送る事も良いのですが、士幌町の事を知ってもらおうチャンスと考えれば、いろいろなアイデアが出そうです。商工会、行政が元気出せば町の活性化になりそうです。
女性	30代	中士幌	・ふるさと納税を今すぐにでも見直した方が良くと思います。隣の上士幌町等を見ならうべき。税金を増やす努力が全く見られない。せっかくの制度を有効に利用すべき。→特産物のアピールにもなるのになぜ特典、特産物がないのか。
女性	30代	士幌南	・上士幌ではふるさと納税が、子供達にそそがれています。子育てしやすい環境だと思えます。地産品が似ている事もあり、士幌には沢山の美味しい物があります。新たなアイデアで独自の地産品を作り上げる事が大切だと思えます。自信をもってPRできる独自の物、話題になるような物を町民で考え、開発、発進できたら最高だと思えます。納税で高齢者や子供達がより住みやすくなればうれしいです。納税がどんな事につかわれるか明白にし町民の協力をあおる事も大切だと思えます。
男性	60代	士幌市街	・上士幌町は「ふるさと納税」など全国的に有名になり、マスコミで取り上げられております。以前は、士幌町の方が、何かと色々な面で話題が多かったと思えますし、有名だった。今の中央の行っている政治は、地方を大事に考えていないので、地方自治で色々なアイデア等を出していかなければ益々地方がやせほそっていくような気が致します。

<施設の管理、集約、再配置など>

男性	50代	士幌市街	・福祉施設や道の駅など施設の新設を仕事とせず、修理して維持管理運営すべき。
男性	70代以上	士幌市街	・将来的には人口減少社会に対応するため、スマートシティを目指すべきと考えます。町の中心部が空地、空屋が増えて、景観、環境、防犯上からも心配される事が予想されます。住宅団地を中心市街地近くに集約化することにより、空地・空屋対策ともなり、高齢化する住民の買物の利便性も良くなり、上・下水道・除雪・外灯など、全てのコストが軽減出来ると考えます。
男性	40代	新田	・士幌町の規模であればコンパクトシティ化を視野に入れた町づくりも有効と思われる。
女性	50代	士幌市街	・新しい建物と古い建物の共存（何でも廊下でつなげる）：公共施設の設計面。

<若い世代を大切に>

男性	10・20代	上居辺	・年寄りへの施設を建設する等よりも、保育所や出会い等若者をよび込めるまちづくりを。
男性	10・20代	上居辺	・若い人向けの経済支援をするべき。
女性	30代	士幌市街	・なにより、外から若い血を受け入れる土台をつくるべし。
女性	10・20代	士幌市街	・若い世代や働く世代にはとくに何も無い印象もあります。他の市町村と比べて町民税もそれなりに高いわりにかえってくるものが温泉の券くらいというのは正直どうかと思います。

女性	50代	士幌市街	・若い年代の高校生や20代の人あまり恩恵をうけてないように思います。この年代に何か楽しいことがあると街ももっと元気になるまちづくりが可能になるのでは。
女性	60代	士幌市街	・町で働いていられる、若い方々に意見を引き出して頂き、進める事も大事だと思います。担い手は町政を知る、町職員と考えられますので、若い方々の斬新的な考えが得られるのではないのでしょうか。
男性	30代	上居辺	・若者が少ない町に人は集まらない。
女性	30代	士幌市街	・高齢者には多額のお金を使い、これからの若者達の事を士幌は考えていないのでは。遊ぶ場所がないなど。総研で遊んでいたら「うるさい!!」と大人の人警備員の人に怒鳴られたと。決してこの町で子どもを育てようとは思いません。
男性	60代	士幌市街	・人を最大に生かしてこそ、全ての組織が維持・発展出来るので有る。特にエネルギーギッシュな人間に、又若い世代の人に特に投資して貰いたい。個を生かして、全体の繁栄を勝ち取る。その為に今何を目標にそえるのか、次にその為にどの様なアクションが成定されねばならぬのか。どうか平均的な対応ではなく、個別的な人間活動に投資して貰いたい。

<アンケート>

男性	50代	士幌市街	・今回のアンケートの対象16歳以上ですが、設問を変えて中・高生を対象にしたアンケートの実施など、検討されてみてはどうでしょうか。
男性	30代		・今回のアンケート調査は非常に良いと思います。書かない方も多いかと思いますが、十人十色で人の意見も十色で、みなさん色々な思いを持たれています。良いか悪いか、間違えか間違えてないか、とらえ次第で、変わりますし、多くの方の叡智を聞き、反映して頂くことは大事だと思います。自分は、小学生の方々からも(16才以下)話は聞くべきだと思います。おもしろい、思い浮かばないような発想力もあります。町という、1つの団体になりますと、意見をまとめられないとは思いますが、多くの方々の思いや考えを、もっと聞くべきだと思います。
男性	40代	下居辺	・町外転出率の高い役場OBこそがより多くの意見や不満を持っている筈。町外から通っている職員も居られるとのこと。そうした町外者の意見にこそ現状の不満に対する本質が率直に現われるよう思います。スタンドプレー的な2千件アンケートよりも…。
女性	30代	士幌市街	・返信用封筒が小さ過ぎませんか。相手の立場(町民)を考えた仕事をする事からまちづくりが始まると思われれます。
女性	40代	士幌市街	・返信する封筒のサイズがちいさいと思います。ちょっとした気づかいて、とても大事な事だと思います。
男性	30代	中士幌	・アンケート用紙返信用封筒にこのアンケートを三つ折のまま入らない。
女性	60代	士幌市街	・返信用の封筒小さい4つ折にするのですか。出す時3つ折りで大きい封筒そのまま3つ折りで出したいですね。薄いアンケート用紙だら理解出来ますけど。
女性	50代	士幌市街	・返信用の封筒に配慮がないですね。こんなことで返信しない方もいるかもしれません。
男性	10・20代	士幌市街	・返信用封筒の規格とアンケート用紙の折り目が合っていません。ちょっとしたことです、多くの人にアンケートの返信をしてほしいのであれば、規格に合うようアンケートを折っておくなど、気づかいは見ると返信率も上がると思います。
女性	70代以上	中士幌	・うぶ声から墓場まで、住んでよい町・訪ねてよい町これが重点目標であり課題ではなかったのではないのでしょうか。町民が何を考え、願っているか傾向を確かめるアンケートにしては内容が多岐にわたり、何を狙っているのか焦点がぼけているように思えます。私は、治水、災害、地産にしっかりと焦点を定め、国道の沿線の作物の競演の美など耕作者と共に考え安全で安心な作物等を中心に視点を定めては、あれもこれもは無理だと思います。
男性	50代	士幌市街	・このアンケート事態が意味不明。農業・産業にかかわらない人には答えようがない。
男性	10・20代	士幌市街	・アンケートの量が多く、枚数を多くしたり同じような質問に答えさせられると

			正直書く気が失せます。熱意は伝わりますがもっと簡潔にまとめて頂きたいです。
女性	10・20代	北中音更	・誰もがアンケートに答えられるようにする。アンケートボックスとかネットワークとか、こういう風に来るのは難しい。多く答えがえられる。

<その他>

男性	50代	中士幌	・福祉自動車燃料（無鉛レギュラーガソリン・軽油）（ハイオクガソリンは対象外）の制度の検討をお願いします。（1リットルに付 10～15 円の値引き、1か月 100 リットルまで）
女性	50代	士幌市街	・町在住独身者の結婚への働きかけを。農業者は農業委員会で、他の市街地区に関しては商工会に各1人か2人お世話して下さる方がいたなと思います。職員でなくて良いのです。元町議会議員など町内の情報に詳しいお世話好きな方がいらしたら良いですね。是非、町長の方から依頼して頂きたい。恋愛も良いですがお見合いが客観的に相手を見て上手くいく事も多いと思います。人生の経験者として、個人を優しく見てあげて、奥深くある気持ちを読みとって上げてほしい。職場でも上司や先輩は心がけてあげてほしい。そういった事も、遠目で見れば、士幌町全体の活性化につながる原動力となると思います。町づくりは、施設を建てることも良いですが、それ以前に行わなければいけない事もあると思います。そこに住んでいる方々の心を育てる事も大切な町づくりではと感じます。表面の今の評価を重視するのではなく、人が本来持っている本気の思いやりを育て 20 年後 30 年後に通じる町づくりを求めたいです。一人一人の欲の無い純粋な気持ちは、今よりも先になった時、士幌町を支えてくれる底力になってくれる気がします。
女性	10・20代	中士幌	・北海道以外の場所を訪れて、いろいろなまちづくりに関するヒントを得ることも必要では。
男性	50代	中士幌	・士幌を良い町にしたいと思うなら、ユニクロ方式に習い“悪口”を募るのがよろしいでしょう。士幌出身者でUターンしない人とは、生まれ育った所以以外の場所で働き、生活していける能力や適応性を持った人だとも言えます。そういう人が帰ってこないのは士幌の良さよりもダメさが勝っている場合も少なくないのではないのでしょうか？そのような人から意見を募ってみるのも一考かも知れません。
男性	30代	中士幌	・士幌町に本当に居住してもらいたい、移住してもらいたいと考えるのであれば、もっともっと“外からどう思われているか”という視点に立って物事を判断すべきだと考えます。士幌町の常識は、移り住んだ人には常識ではないことを念頭におき今後のまちづくりを。
女性	10・20代	士幌北	・移住（移り住んでくる方）へのサービス向上。
女性	30代	中士幌	・士幌生まれ、士幌育ちで一度も他の市町村に住んだ事のない人ばかりではこのまま衰退してしまうのでは。新しい風を入れるべき。
女性	10・20代	士幌市街	・福祉サービスを充実させる→今住んでいる人を大事にする。
女性	50代	士幌市街	・町民の支援や保護等を通じて1人1人の自立が大切だと思います。
女性	30代	士幌市街	・士幌町に住んでいて良かったと思うために、住民がお得と感じられることをしてほしい。近くに公園はない、夜道が暗い、休日は店が休みの所が多い、など不便です。
女性	70代以上	士幌市街	・昔の様ににぎやかな町になってほしいです。全国的に子供の数が少ないのですから仕方がないですね。
男性	60代	上居辺	・町民や郊外者がくつろげる場所造り。仕事に対して余裕の持てる居場所作り
女性	10・20代	士幌市街	・士幌町の魅力を伝えるために、お店や病院など対応を今よりももっと良くしたり、商品の開発など行って、住みたい町にしていくことも必要だと思います。
	60代	中士幌	・積極的と特色の強いものをうちだし、魅力のある活動をリーダーがうち出すことから始まると思う。あまり消極的と、周りを見るということは、前進的は方向がみえてこなく、協力者へも伝わらないと思う。この地域をいかし、すすんで方向性を示してほしい。
女性	60代	士幌市街	・中心部（帯広）より遠いのに何かと便利で住みやすいイメージづくり。働く場所・居住・子育てのしやすさを若い世代から意見を求めたら良い。

男性	40代	北中音更	・混住化の覚悟。人口流入に伴い異なる価値観を受け入れる必要がある。また、福利厚生、教育等の地元優先は定住敬遠の原因となる。住民への啓蒙が必要。
女性	70代以上	中士幌	・中士幌は士幌から離れた音更からも離れて何か町づくりになる建物そして人を呼べる様な事を、また、町、町議さんが働く事を考える事だと思います
	30代	中士幌	・人口を増すためには、中士幌地区の整備が必要。
男性	10・20代	中士幌	・音更に近い、中士幌を重点的に開発すべき。いろいろな施設、老人ホーム等々をつくることにより、人口は増えることが予想される。
男性	30代	士幌市街	・統計によると、士幌町は「町外に住んで士幌町で働く」人が多い町だそうです。このような人たちに士幌町に住んでもらうような取り組みを行うことで人口減対策になるのではないのでしょうか。
男性	40代	新田	・大学進学後、特に優秀な者には、奨学金を貸与し卒業後、役場で雇用する。もしくは、高卒で採用し大学へは研修という形で給料を払う等、優秀な人材のUターンを促し、大学等で築いた政治家や官僚とのパイプを太くする。
男性	40代	北中音更	・今年度はじめて士幌町に住んでみて、とても住みやすく、町民のための町であるということを実感でき、とても良い町と感じています。きっと様々な多くのことが町民のために考えられ、取り組んでいる結果だと思います。町に住むためにはやはり仕事、医療、教育の充実、便利さだと思います。
男性	70代以上	中士幌	・情報機器の発達により、世界規模で情報格差は少なくなって来ている。士幌町の自然条件はよそに比べめぐまれていると思う。生活が豊かになると人口減少は自然の成り行きのようなのである。人を増やす試みと相俟って個々の人々が住み安く感ずる施策が大切と思う。職場、学校、病院、交通機関、郵便局等の充実、士幌町は全体としては良い方向に向っていると思う。
女性	30代	士幌市街	・仕事で士幌町に住んでいますが、買い物、病院、飲食店は近くの音更まで行くことが多いです。公共サービス（図書館、プール、総研体育館等）が充実していると、士幌町に住み続けたいなあと思います。
女性	60代	士幌市街	・今後の町づくり、大変でしょうが、自分達も毎日生活で一杯の為、税金が増す事の無い様、お願いします。低年金生活者に出来る事は、なるべく生活保護者にならぬ様（増税の為）に過せる日々を願っています。
女性	10・20代	士幌市街	・基本的には、このまちが好きです。よりよいまちづくりに期待しています。頑張ってください。
女性	30代	士幌市街	・夜間、街も郊外も静かで、住みやすいです。
女性	60代	士幌市街	・我々年配者は余生を静かな環境の中で生活をしたいと切に願うのと孫達が安全な環境で成長するのを見守られればと考えます。
女性	60代	中士幌	・中士幌に移り住んでまだ1年と少しで良くわからず、自分達の生活でいっばいで士幌町を考える余裕がありません状態ですのでこれから町内に馴染んで徐々に町の事を知って行こうと思っています。
男性	10・20代	士幌市街	・町外から士幌へ引っ越してきた身分ですが、おそらく定年をむかえ、労後の生活も士幌で送る予定です。今後ともよろしくお願いします。
女性	30代		・町外から来た人が生活する上で困ることが多すぎるのですぐ改善してほしい。
女性	50代	士幌市街	・他町では住宅が急に必要になった時公住に空がなく空まで教員住宅をお世話してくれて、ものすごく親身に何度も様子を見に来てくれたり、連絡をくれたり士幌とはまったく違う対応におどろきを感じた。他の町から移り住むことは大変な事です。誰も知りあいのいない町でたよりになるのは一番に役場の人と対応です。私のようにいやな感じる事がないようになればいつまでも永住したいと思うのではないですか。私は士幌に移り住んで本当に嫌です。いつか良い町だよと友人に言える日がくる事を願います。
男性	60代	中士幌	・毎日の生活全般において、必要なものを町でどの程度自給しているかを調査し、できるものから自給化を進め、自給度を上げることによりお金が外に出ず町内で回るようにすればお互いに安心して住み続けられる基盤が出来るのではないか。現在の生産体制はほとんど大手企業により大量生産されており、町内には利益が全くない。このことを町民はよく考え、自分達が必要な物は自分達で作るという自立した（他人にまかせるのでなく）考え方を持って創意工夫することで新しい町づくりが出来るのではないかと思う。自給度を高めるための

			運動、学習をすべきだと思う。
女性	50代	下居辺	・東川町みたいな感じがいいかなあ〜と思ったりします。難しいでしょうか。
男性	30代	土幌市街	・町民の願望をとにかく優先して実行に向けて進めてほしい。何度もアンケートを取っていても行動に移している姿が見られません。上土幌のようにどんどん名前が広がるほどの事を、ぜひ実行してほしいです。住みやすい町づくりをしていかななくては、土幌町民の人口は減っていくばかり。自分の周りも2人に1人は土幌から出たいという声を聞きます。このままでは、いくら家を購入しても出ていく世帯が増えていく一方だと思えます。(医療、買い物場所)(娯楽施設が必要)。
男性	70代以上	土幌市街	・足元に先人が研究した技術が潜在している。眠っている。色々な技術が隠れている。それらを応用、発展させるとよい。新しい手法を縦横に活用し、古い物、技術を組み合わせる。古きをたずねて新しきを知る。温故知新、古い物から新しい物を創造していく姿勢も必要である。問題を発見し、多角的に掘り下げ、「問い続ける」事が思考を深め問題を解決していく事になる。まずは取り組み、見える形にすることである。
男性	70代以上	土幌市街	・これからのインフラ整備は人に優しい、生産性のあるハードでなければならない。自然の法則を絶対無視しない事。西・北風に逆らわない設計。陽圧仕様、太陽エネルギーを電気的、熱的に活用する方法を組み入れる。理由は間違いなく労働力、エネルギー不足の時代が到来する事、二酸化炭素削減と環境負荷の軽減、そして、弱者や女性、高齢労働者が作業に従事するようになる事は間違いない。従って労働強度の強い仕事は機械化、合理化、システム化を図らなければならない。施設・設備を整備する場合、発注者側で具体的な製品名、1日/Kg生産量、何品目生産するかによって、導入する設備、能力は変わってくる。主力となる施設の整備は、先進国の技術を導入した方がよい。工程管理や微妙な作業のタイミングは人間の能力では対応できない。製造現場では機械に任せる内容と、人間の役割を明確に分けて考える必要がある。
男性	70代以上	土幌市街	・現時点で日本の企業は建屋や衛生管理システムまでは対応すると考えるが、特別な食品加工については、専門の知識やノウハウまでは持ち合わせていない。企業連携で外国の技術も提案してくると考えるが見極めも必要になってくる。ソフトウェアが明確であればハードウェアはついてくる。問題は発注者側でソフトウェアをどこまで捉えているかによってインフラ整備は変わってくる。施設整備を整備する場合、単に形だけ作って終わりではない。その後の検証、アフターケアまでお金を払っているのであるから、発注者側も受注者側もその責任は重大である。
男性	70代以上	土幌市街	・全国有数の長時間日照など説明要素は沢山ある。第2の人生、明日を探し、生き甲斐を探す。自分の頭脳と身体で生活を楽しみ、生きる力になるカリキュラムを編成し提案する。花や野菜など栽培して楽しむホームガーデンも必要。駆け込み寺の様な相談窓口も必要になってくるであろう。その場合、衣、食、住、にわたって相当生活経験が豊富なアドバイザーも必要になってくる。
男性	60代	中土幌	・発想の転換。人口が多ければ良いとは、限らない。

IV 調査票

まちづくりアンケートにご協力願います

日ごろから町政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

土幌町は、平成28年度から平成37年度までの町づくり計画の策定を始めました。この計画は、今後10年間の土幌町の進むべき方向を明確に示す指針とすると同時に、財政の健全化など自主・自立の行政運営を計ることを視点に策定するものです。計画の内容に町民のみなさんのお考えやご意見を反映させていただくため、アンケートをお配りすることとなりました。

返信いただいた内容は計画策定以外に利用することはなく、ご回答いただいた方を特定するような公表はしません。回答結果は、広報などでお知らせします。

お忙しい時期に、お手数をおかけいたしますが、できるだけ多くのご回答をいただけると幸いです。ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年2月
土幌町長 小林 康雄

対象者	<p>○このアンケートは、16歳以上の町民の方2,000人を無作為に選ばせていただきました。</p> <p>○宛名の方が回答できない場合は、代わりにほかのご家族の方（16歳以上）が回答してください。（その場合、代わりに回答された方ご自身として、回答をお願いします。）</p>
ご提出の方法	<p>○アンケート記入後、同封の「返信用封筒」に入れて、郵便ポストに投函してください。切手はいりません。</p> <p>○以下の場所に回収ボックスを設置しますのでそちらに投入いただいても構いません。</p> <p>役場入口、総合研修センター、総合福祉センターの事務所窓口</p>
締め切り	平成27年3月13日（金曜日）
問合せ先	<p>○ご不明な点がございましたら、こちらにご連絡ください。</p> <p>土幌町役場 総務企画課企画グループ 電話：01564-5-5212</p>

調 査 票

はじめに、回答される方についてお尋ねします。次の（ア）から（カ）について、あてはまるものをそれぞれ1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

（ア）性別	1. 男性 2. 女性
（イ）年齢	1. 10代・20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70歳以上
（ウ）職業 ※アルバイト・パートの方は業種で選んでください。	1. 農林水産業 2. 製造業、建設業 3. 商業、金融・サービス業など 4. 福祉・医療関係 5. 公務員、団体職員など 6. その他の職業 7. 家事専業、学生 8. 無職、退職された方
（エ）世帯の家族構成	1. 三世代（親・子・孫等）以上 2. 二世帯（親・子） 3. 夫婦 4. 一人暮らし（単身赴任も含みます） 5. その他
（オ）居住歴	1. 土幌町で生まれ、ずっと土幌町に住んでいる 2. 土幌町で生まれ、一度町外で暮らして再び土幌町に住んでいる 3. 土幌町以外の場所で生まれ、土幌町に引っ越してきた
（カ）居住地	1. 土幌市街 2. 土幌北 3. 土幌南 4. 中土幌 5. 上居辺 6. 佐倉 7. 下居辺 8. 北中音更 9. 新田 10. 西上音更

【問1】土幌町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」を評価してください。具体的な内容は示していませんが、全般としての評価をお願いします。

<p>「①満足度」と「②重要度」のそれぞれについて、番号に○をつけてください。</p> <p>《例》1. 自然環境のよさ、保全の状況</p>	①現在の「満足度」						②今後の「重要度」					
	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	6 分からない	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要ではない	5 重要ではない	6 分からない
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■環境等について

1. 自然環境のよさ、保全の状況	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
2. 農村景観の美しさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
3. 市街地の景観、まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
4. 自然エネルギーへの取組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■生活の安全・安心について

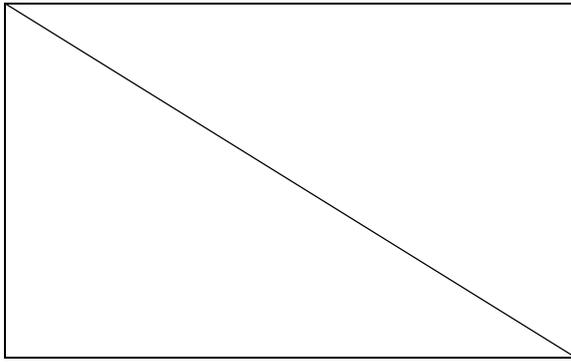
5. 自然災害など防災への取組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
6. 消防・救急体制	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
7. 交通安全に対する取組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
8. 犯罪の防止、取り締まり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■生活基盤について

9. ごみの収集・リサイクル	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
10. 道路や歩道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
11. 除排雪の対応	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
12. 公園の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
13. 公営住宅、宅地の供給	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
14. 水道の整備、水質	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
15. 生活排水処理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
16. バスの利用しやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■健康・子育て・福祉について

17. 子育て支援（保育所、幼稚園含む）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
18. 健康づくりや病気の予防対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
19. 病院などの医療環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6



①現在の「満足度」					
1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	6 分からない

②今後の「重要度」					
1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要ではない	5 重要ではない	6 分からない

■健康・子育て・福祉について

20. 高齢者支援
21. 障がい者（児）支援

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

■教育・スポーツ・文化などについて

22. 各種講座の開催、情報提供
23. 小学校、中学校の教育
24. 高校の教育
25. 芸術文化活動の推進
26. 文化財や史跡の伝承保存
27. スポーツ活動の推進

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

■産業の振興について

28. 農業の振興
29. 林業の振興（森林の保全、活用）
30. 商業の振興（買い物の便利さ）
31. 観光の振興
32. 企業誘致や新たな事業への支援

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

■地域での活動、まちづくりについて

33. 自治会などの地域活動
34. ボランティア活動(機会・内容)
35. 役場からの広報、情報提供
36. 町民のまちづくりへの参加
37. 役場の窓口対応やサービス

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

【問 1-1】 上記の項目（1～37番）の中で、今後のまちづくりで特に重要と思うものを5つまで選んで、下の枠に番号をお書きください。

--	--	--	--	--

【問2】総合的に考えて、土幌町の住みよさはいかがですか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 住みよい
2. どちらかといえば住みよい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらとも言えない

【問3】将来も土幌町に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|---|------------------|
| 1. 今住んでいる場所に住み続けたい | → | 1を選んだ方は【問3-1】へ |
| 2. 町内の別の場所に移りたい | } | 2～4を選んだ方は【問3-2】へ |
| 3. どちらともいえない | | |
| 4. 町外に移りたい | | |
| 5. 転勤があるので、転出すると思う | | |

【問3-1】問3で「1.今住んでいる場所に住み続けたい」を選んだ方にお尋ねします。
その回答を選んだ理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分にあう仕事（職場）がある
2. 商売や事業経営に有利、生計を保つ収入が得られる
3. 勤務地や通学地が近い
4. 交通が便利
5. 自然が多い、自然が豊か
6. 比較的雪が少ない
7. 自然災害が少ない
8. 交通事故、犯罪などが少ない
9. 騒音・悪臭などの公害が少ない
10. 住宅環境が良い
11. 土地代・家賃が安い
12. 医療や福祉面が安心
13. 子育てする環境が良い
14. 学校教育の環境が良い
15. 近所づきあいが良好
16. 買い物や娯楽などの場が多くあり便利
17. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が多い
18. 特にここから移りたいという理由がない
19. 移りたいと思うが、移ることができない
20. その他 ()

【問9】老後の暮らしを考えた時、不安を感じることはどのようなことですか。不安の強い順に3つまで選んで、()に番号を書いてください。

1番「不安」があるもの … ()

2番目に「不安」なもの … ()

3番目に「不安」なもの … ()

1. いつまでも健康でいられるか
2. 年金など生活費を得ることができるか
3. 介護保険で十分な介護を受けられるか
4. 面倒をみてくれる人がいるか
5. 安心して住める場所があるか（今の家、入居施設ともに）
6. 交通が不便にならないか（買物、通院など不便にならないか）
7. 生きる楽しみが持てるか（生きがい、社会的な活動など）
8. 友人や仲間が持てるか
9. その他 ()

【問10】町政（まちづくり）や地域に関する情報として、どのような内容が欲しいと思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 町の政策や事業、予算などに関する情報
2. 各種制度の内容やそれを利用するための情報
3. 防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報
4. 健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報
5. 子育てや子どもの教育、健全育成に関する情報
6. ごみの減量化や省資源、リサイクル、環境保全に関する情報
7. 福祉に関する情報
8. 公共施設やその利用方法に関する情報
9. 生涯学習や文化・スポーツなどの各種講座・教室に関する情報
10. 町内の自然や歴史、名所などに関する情報
11. 町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報
12. ボランティア活動全般に関する情報
13. 国や北海道、周辺市町村に関する情報
14. その他 ()

【問13】 財政状況が厳しいなか、限られた財源でより効果的に行政サービスを提供していくことが求められています。町でも経費の抑制や収入の確保に努めていますが、これからのサービスのあり方について、お考えに近いものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. サービス利用者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、これまでどおりのサービスの種類や水準を確保すべき 2. サービスの種類と水準を見直して、サービスの重点化を図るべき 3. サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべき 4. サービス水準の低くなるのは仕方ないが、サービスの種類は維持すべき 5. サービスの種類が減り、水準も低くなるのは、仕方のないことである 6. その他 () |
|--|

【問14】 他の地域と比較して、土幌町の「自慢できること」と「良くなってほしいこと」がありましたらお書きください。

自慢できること	
良くなってほしいこと	

【問15】 近年、土幌町の人口は減少しており、減少を抑えることが課題になっています。「今住んでいる人達が将来も住み続けるために特に必要と思うこと」や、Uターン※を含めて「土幌町に移り住む人を増やすために特に必要と思うこと」などで、意見やアイデアがありましたら、お書きください。

住み続けるために 特に必要と思うこと	
土幌町に移り住む人 を増やすために 特に必要と思うこと	

※「Uターン」とは、土幌町で生まれた後、現在は町外で暮らしている人が再び土幌町に戻って暮らすことです。

